

令和4年度

品川区一般廃棄物排出実態調査等業務委託

業務報告書

令和4年9月

品川区



## 目 次

	ページ
第1章 調査概要	1
第2章 家庭ごみ(区民)アンケート調査	2
第3章 事業所ごみアンケート調査	83
第4章 家庭ごみ排出原単位調査	117
第5章 ごみ組成分析調査	124
5-1 調査概要	124
5-2 ごみ組成分析結果(家庭系)	130
5-3 ごみ組成分析結果(事業系)	141
5-4 スプレー缶等分析	154
5-5 小型家電	158
5-6 排出容器	161
第6章 事業系有料ごみ処理券貼付状況分析調査	171
第7章 資源・ごみのフロー推計	173
第8章 考察	176
資料編	200
別紙1 区民宛てアンケート依頼文	
別紙2 区民宛てアンケート調査票	
別紙3 事業所宛てアンケート依頼文	
別紙4 事業所宛てアンケート調査票	
アンケート詳細	

# 第1章 調査概要

## 1-1 調査概要

### (1) 業務件名

品川区一般廃棄物排出実態調査等業務委託

### (2) 調査目的

家庭および事業所から排出される燃やすごみと陶器・ガラス・金属ごみについて、組成割合・分析調査、排出原単位調査、区民アンケート等、排出実態を調査することにより、一般廃棄物処理基本計画(第四次)策定や事業展開および指導業務などの基礎資料とする。

### (3) 各調査概要

#### ① 家庭ごみ(区民)アンケート調査

区が選定した調査対象世帯(2,000 世帯)に対してアンケート調査を実施した。

#### ② 事業所ごみアンケート調査

区内の事業所約 2,000 カ所に対しアンケート調査を実施した。

#### ③ 家庭ごみ排出原単位調査

家庭から排出される家庭ごみの 1人1日当りの原単位を調査した。

#### ④ ごみ組成分析調査

家庭ごみ及び収集事業系ごみが適正に分別されているか、あるいは、燃やすごみや陶器・ガラス・金属ごみの中にどのくらい資源物が含まれているか調査した。

食品ロス、小型家電、水銀含有物製品、プラスチック類、容器包装プラスチック類、およびエアゾール缶及びコンロ用カセットボンベなどについては詳細な調査を行った。

また、排出容器については種類、数量などについて調査した。

#### ⑤ 事業系有料ごみ処理券貼付状況調査

収集した事業系ごみについて、ごみ処理券の貼付の有無、袋容量、処理券容量などを調査した。

### (4) 留意事項

・表やグラフ、文中の記述などの数値は端数処理の関係上、表記と計算値が一致しない場合がある。

・グラフ、表などにおいて数値が0の場合、見やすくするため表示を省略する場合がある。

・「陶器・ガラス・金属ごみ」を「陶ガ金ごみ」などと略して表記する場合がある。

## 第2章 家庭ごみ(区民)アンケート調査

### 2-1 調査概要

#### (1) 調査目的

清掃リサイクル事業に対する区民の意識や今後の施策に対する意向を明らかにすることとあわせ、家庭から発生する不用物の量と流れを把握することとした。

#### (2) 実施内容

- ① 調査票(アンケート票)は前回の調査を参考に区と協議を行い設計した。
- ② 区が選定した調査対象世帯(2,000世帯)に対して、アンケート票を送付した。
- ③ 返信された回答を分析した。

#### (3) 把握事項

- ① 発生する不用物の物流フローの入り口段階における状況。
- ② 区民のリサイクル取組み状況。
- ③ 現行施策の協力度や課題。
- ④ 今後の施策への要望。
- ⑤ ごみやリサイクルに関する意識・意向。

#### (4) 調査の詳細

- ① 区が選定した調査対象世帯(2,000世帯)に対して、依頼文(別紙1)及びアンケート回答用紙(別紙2)、返信用封筒を送付した。アンケートの発信者は区からとし、返信先は受注者とした。その際に区からの委託関係を明記した。
- ② 発送先は宛名ラベルの状態でご提供いただいた。個人情報の扱いには十分に配慮し、貸与いただいた発送確認チェックリストはチェック後返却した。
- ③ 返信されたアンケートを集計した。締め切り日以降に到着したものについても、できる限りデータに反映させた。

#### (5) 調査期間

令和4年7月13日に調査票を送付した。回答期限は7月25日とした。  
実際には8月10日までに到着した分までを集計対象とした。

## 2-2 調査結果

### 回収状況

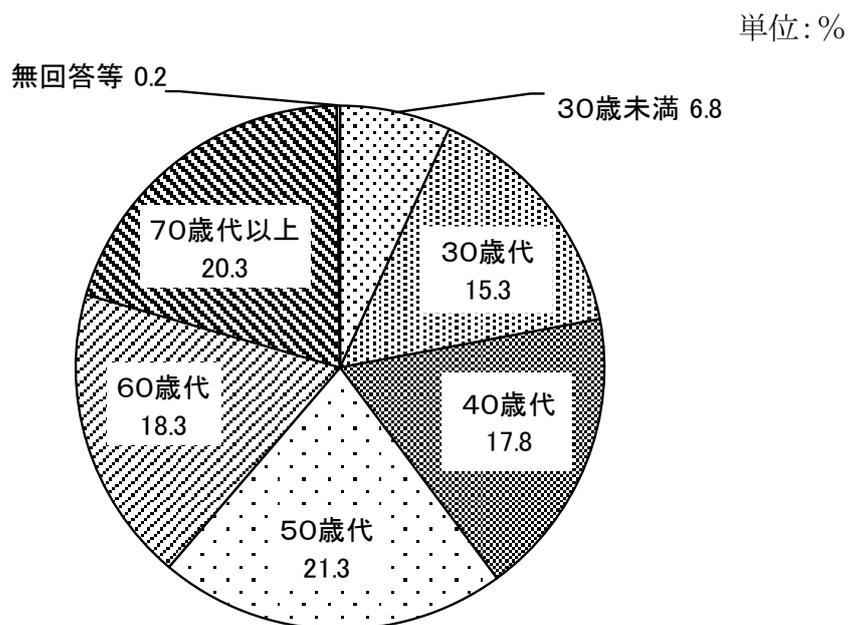
発送した 2000 票のうち、695 票返信があった。宛先不明や転出等で返送された票は 11 票であったため、回収率は 34.9%であった。

### (1) 回答者の属性

#### ① 年齢

回答者を年齢別にみると、「50 歳代」が 21.3%、「70 歳以上」が 20.3%で2割以上とやや多く、「30 歳未満」が 6.8%でやや少ないが、おおよそ各世代からの回答がバランスよく得られる構成である。

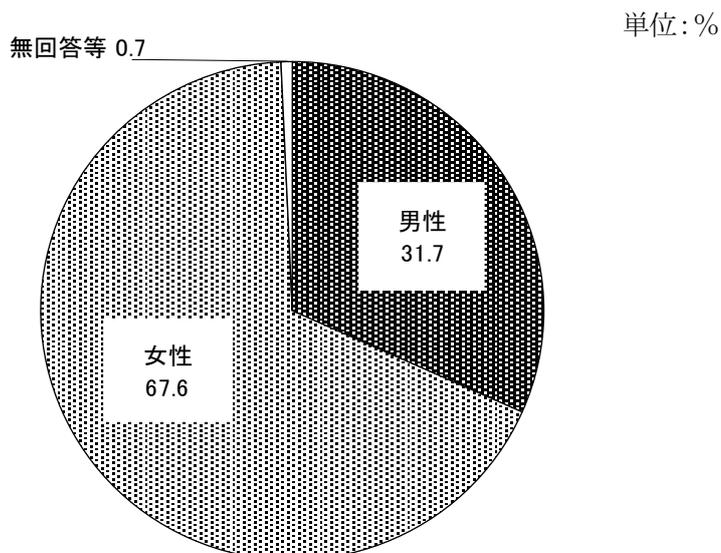
図2-1 年齢



## ② 性別

回答者の性別は、「女性」は67.6%であり、「男性」は31.7%、「無回答」は0.7%である。これは「アンケートの記入のお願い」として「ご本人ではわからないことは、ご家族の中でおわかりになる方がお答えください」とあったため、資源とごみの分別・排出にかかわることの多い主婦の回答が多くなったものと考えられる。

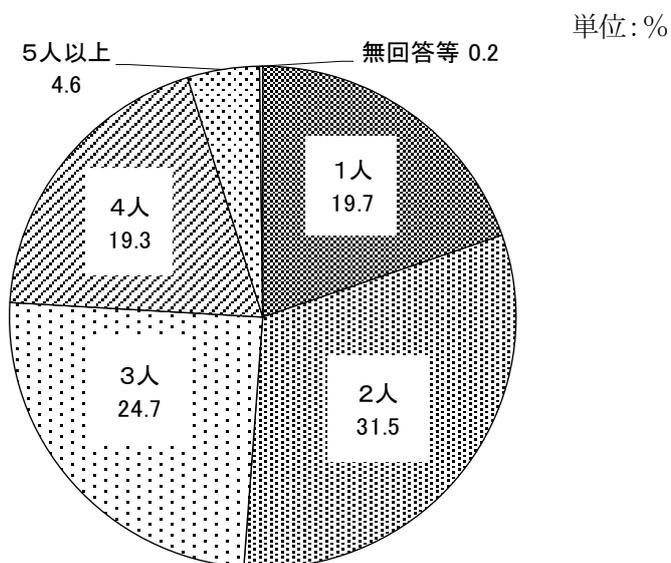
図2-2 性別



## ③ 家族人数

家族人数は、「2人」が31.5%で最も多く、次いで「3人」が24.7%、「1人」が19.7%、「4人」が19.3%の順である。「5人以上」は4.6%で1割以下である。「無回答」は0.2%である。

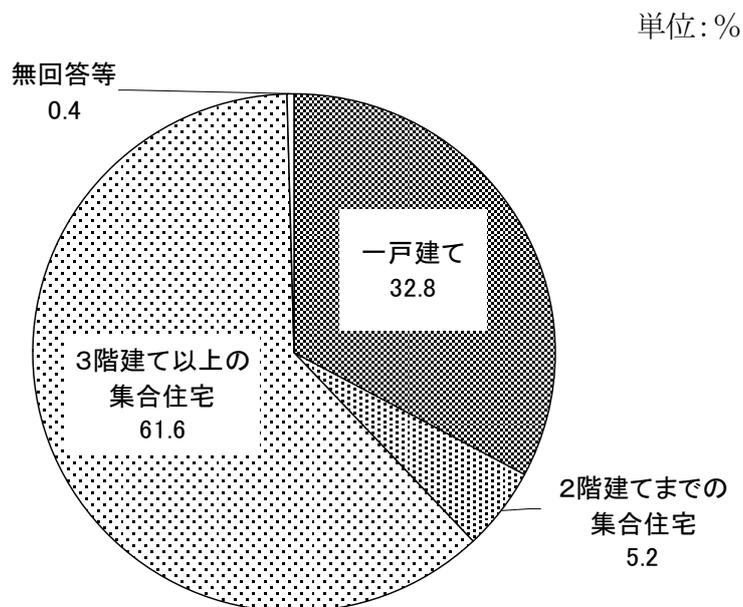
図2-3 家族人数



#### ④ 住居形態

住居形態は、「3階建て以上の集合住宅」が 61.6%を占めている。「一戸建て」は 32.8%で、「2階建てまでの集合住宅」は 5.2%である。

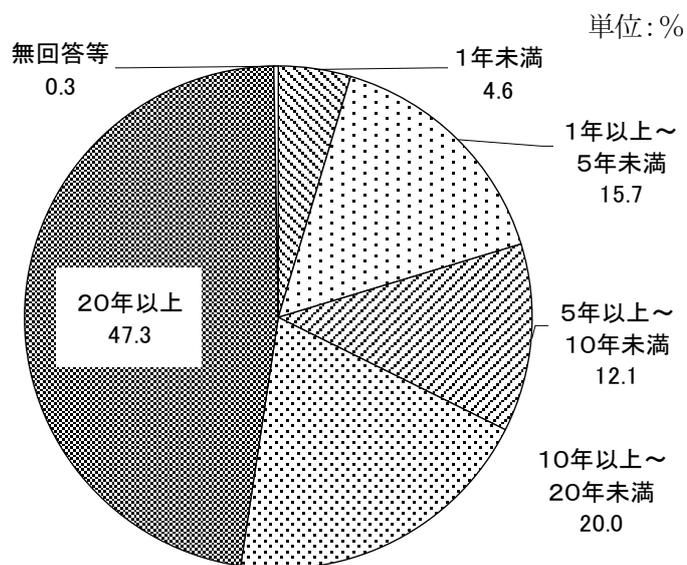
図2-4 住居形態



#### ⑤ 居住年数

居住年数は、「20年以上」が 47.3%で5割近くを占め、次いで「10年以上～20年未満」が 20.0%である。7割近くが 10年以上居住している。「1年以上～5年未満」が 15.7%、「5年以上～10年未満」が 12.1%、「1年未満」が 4.6%である。

図2-5 居住年数



## (2) 意識・意向調査

### ① ごみの収集回数の満足度

ごみの収集回数の満足度は、「満足している」が57.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が33.4%、「どちらかといえば満足していない」が4.2%、「よくわからない」が2.0%、「満足していない」が1.6%である。「満足している」と「どちらかといえば満足している」とで9割を超えており、高い満足度を得ている。

年齢別にみると、「満足している」は40歳代が62.9%、次いで50歳代が62.2%と高く、60歳代が50.4%で最も低い。「どちらかといえば満足している」は60歳代が40.2%で最も高く、50歳代が29.1%で最も低い。「どちらかといえば満足していない」は30歳未満が6.4%で最も高く、30歳代が2.8%で最も低い。「満足していない」は30歳未満が2.1%で最も高く、50歳代と70歳以上がともに1.4%で最も低い。「よくわからない」は30歳未満が4.3%で最も高く、60歳代では0.0%である。

性別では、「満足している」は女性が56.8%で、男性が59.5%である。

家族人数別にみると、「満足している」は3人世帯が60.5%で最も高い。「どちらかといえば満足している」は1人世帯が35.0%で最も高い。「どちらかといえば満足していない」は5人以上世帯が9.4%で最も高い。「満足していない」は5人以上世帯が6.3%で最も高い。

図2-6 ごみの収集回数の満足度

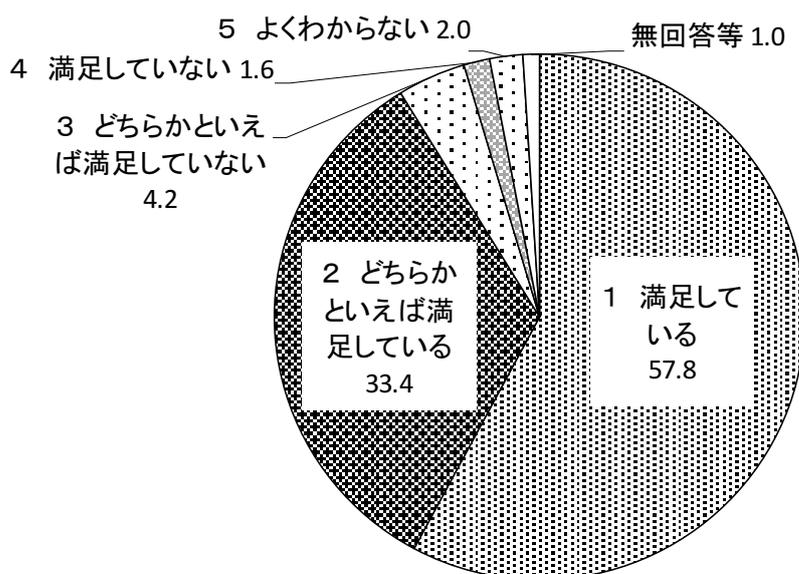


表2-1 ごみの収集回数の満足度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回 答					無回答 無効等	合計
		1 満足している	2 どちらかとい えば満足し ている	3 どちらかとい えば満足し ていない	4 満足してい ない	5 よくわからな い		
全 体		402 57.8	232 33.4	29 4.2	11 1.6	14 2.0	7 1.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	26 55.3	15 31.9	3 6.4	1 2.1	2 4.3	0 0.0	47 100.0
	30歳代	60 56.6	36 34.0	3 2.8	2 1.9	4 3.8	1 0.9	106 100.0
	40歳代	78 62.9	37 29.8	5 4.1	2 1.6	2 1.6	0 0.0	124 100.0
	50歳代	92 62.2	43 29.1	6 4.0	2 1.4	4 2.7	1 0.6	148 100.0
	60歳代	64 50.4	51 40.2	7 5.5	2 1.6	0 0.0	3 2.3	127 100.0
	70歳以上	80 56.7	50 35.5	5 3.6	2 1.4	2 1.4	2 1.4	141 100.0
性 別	男性	131 59.5	66 30.0	5 2.3	6 2.7	10 4.5	2 1.0	220 100.0
	女性	267 56.8	165 35.1	24 5.1	5 1.1	4 0.9	5 1.0	470 100.0
家 族 人 数	1人	75 54.7	48 35.0	5 3.7	3 2.2	5 3.7	1 0.7	137 100.0
	2人	123 56.2	76 34.7	10 4.5	4 1.8	3 1.4	3 1.4	219 100.0
	3人	104 60.5	60 34.9	4 2.3	1 0.6	3 1.7	0 0.0	172 100.0
	4人	81 60.4	40 29.9	7 5.2	1 0.8	3 2.2	2 1.5	134 100.0
	5人以上	18 56.2	8 25.0	3 9.4	2 6.3	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	138 60.5	74 32.5	8 3.5	5 2.2	0 0.0	3 1.3	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	17 47.2	13 36.1	4 11.1	1 2.8	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	245 57.2	144 33.6	17 4.0	5 1.2	14 3.3	3 0.7	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	17 53.1	11 34.4	2 6.3	1 3.1	1 3.1	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	64 58.7	35 32.1	3 2.8	1 0.9	5 4.6	1 0.9	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	51 60.7	26 31.0	2 2.4	0 0.0	4 4.8	1 1.1	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	76 54.7	53 38.1	4 2.9	4 2.9	1 0.7	1 0.7	139 100.0
	20年以上	192 58.4	107 32.5	18 5.5	5 1.5	3 0.9	4 1.2	329 100.0

## ② ごみの分別区分の満足度

ごみの分別区分の満足度は、「満足している」が52.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」が39.7%、「どちらかといえば満足していない」が3.5%、「満足していない」が2.0%、「よくわからない」が1.4%である。「満足している」と「どちらかといえば満足している」とで9割を超えており、高い満足度を得ている。

年齢別にみると、「満足している」は40歳代が60.5%で最も高く、60歳代が46.5%で最も低い。「どちらかといえば満足している」は60歳代が44.9%で最も高く、70歳以上が37.6%で最も低い。「どちらかといえば満足していない」は30歳未満が8.5%で最も高く、40歳代が1.6%で最も低い。「満足していない」は50歳代が2.7%で最も高く、70歳以上が1.4%で最も低い。「よくわからない」は30歳代が3.8%で最も高く、30歳未満、50歳代は0.0%である。

性別では、「満足している」は女性が52.6%で、男性が52.3%で大きな差はみられない。

家族人数別にみると、「満足している」は2人世帯が57.1%で最も高く。「どちらかといえば満足している」は5人以上世帯が46.9%で最も高い。「どちらかといえば満足していない」は1人世帯が7.3%で最も高い。「満足していない」は2人世帯が3.2%で最も高い。

図2-7 ごみの分別区分の満足度

単位：%

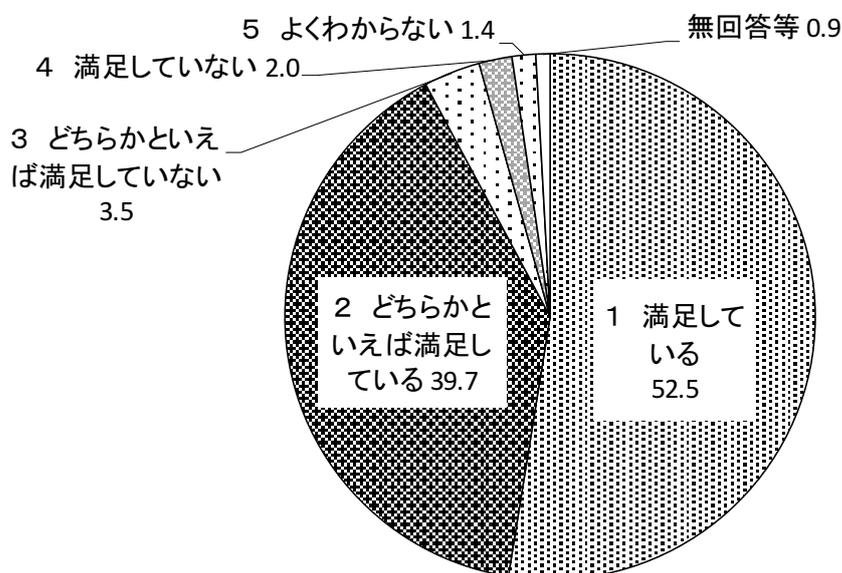


表2-2 ごみの分別区分の満足度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回 答					無回答 無効等	合計
		1 満足している	2 どちらかとい えば満足し ている	3 どちらかとい えば満足し ていない	4 満足してい ない	5 よくわからな い		
全 体		365 52.5	276 39.7	24 3.5	14 2.0	10 1.4	6 0.9	695 100.0
年 齢	30歳未満	24 51.1	18 38.3	4 8.5	1 2.1	0 0.0	0 0.0	47 100.0
	30歳代	52 49.0	41 38.7	5 4.7	2 1.9	4 3.8	2 1.9	106 100.0
	40歳代	75 60.5	43 34.7	2 1.6	2 1.6	2 1.6	0 0.0	124 100.0
	50歳代	75 50.7	64 43.2	4 2.7	4 2.7	0 0.0	1 0.7	148 100.0
	60歳代	59 46.5	57 44.9	5 3.9	3 2.4	1 0.8	2 1.5	127 100.0
	70歳以上	78 55.3	53 37.6	4 2.8	2 1.4	3 2.1	1 0.8	141 100.0
性 別	男性	115 52.3	79 35.9	11 5.0	7 3.2	6 2.7	2 0.9	220 100.0
	女性	247 52.6	196 41.7	13 2.8	7 1.5	4 0.8	3 0.6	470 100.0
家 族 人 数	1人	59 43.1	59 43.1	10 7.3	4 2.9	2 1.5	3 2.1	137 100.0
	2人	125 57.1	78 35.6	6 2.7	7 3.2	1 0.5	2 0.9	219 100.0
	3人	88 51.2	75 43.6	5 2.9	1 0.6	3 1.7	0 0.0	172 100.0
	4人	76 56.7	49 36.6	2 1.5	2 1.5	4 3.0	1 0.7	134 100.0
	5人以上	16 50.0	15 46.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	125 54.8	92 40.4	6 2.6	4 1.8	0 0.0	1 0.4	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	15 41.7	16 44.4	1 2.8	2 5.6	0 0.0	2 5.5	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	224 52.3	167 39.0	17 4.0	8 1.9	10 2.3	2 0.5	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	18 56.3	10 31.3	2 6.2	2 6.2	0 0.0	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	52 47.7	43 39.4	7 6.4	2 1.8	4 3.7	1 1.0	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	47 56.0	33 39.3	1 1.2	0 0.0	1 1.2	2 2.3	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	71 51.1	60 43.1	4 2.9	4 2.9	0 0.0	0 0.0	139 100.0
	20年以上	176 53.5	130 39.5	10 3.0	6 1.8	5 1.5	2 0.7	329 100.0

### ③ 情報公開・提供の満足度

ごみの情報公開・提供の満足度は、「どちらかといえば満足している」が 35.0%で最も高く、次いで「よくわからない」が 26.8%、「満足している」が 20.9%、「どちらかといえば満足していない」が 9.9%、「満足していない」が 6.4%である。他の設問と比較して「よくわからない」と回答した割合が高い。「満足している」「ほぼ満足している」の割合は5割を超える程度であるため、情報提供の手法等の検討が必要である。

年齢別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は70歳以上が64.5%で最も高い。

性別では、「満足している」「どちらかといえば満足している」は男性が56.8%で女性が55.5%であるため大きな差はみられない。

家族人数別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は5人以上世帯が62.6%で最も高いが、大きな差はない。

図2-8 情報公開・提供の満足度

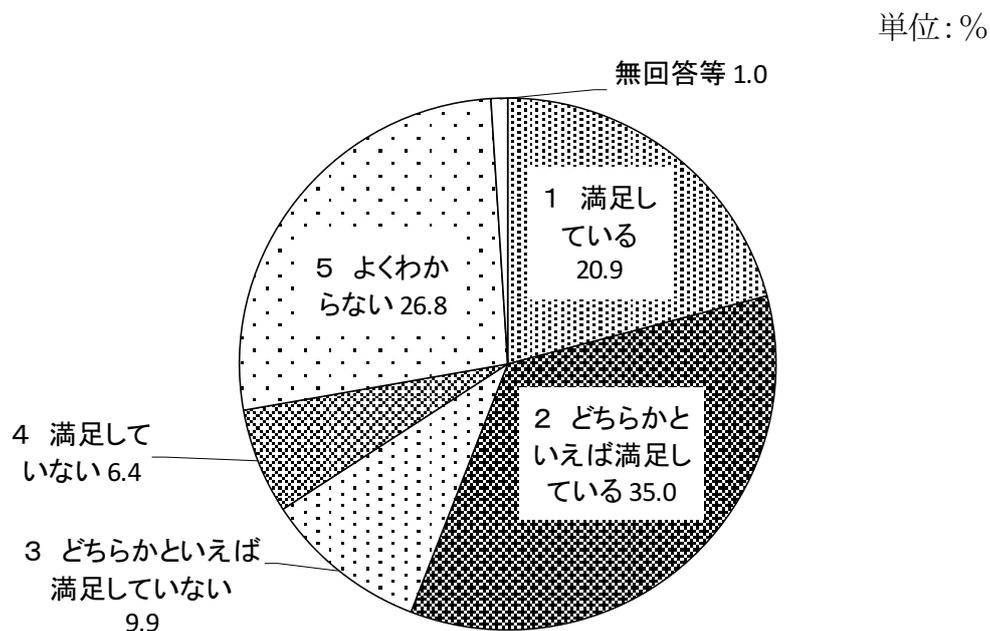


表2-3 情報公開・提供の満足度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回 答					無回答 無効等	合計
		1 満足している	2 どちらかとい えば満足し ている	3 どちらかとい えば満足し ていない	4 満足してい ない	5 よくわからな い		
全 体		145 20.9	243 35.0	69 9.9	45 6.4	186 26.8	7 1.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	7 14.9	22 46.8	3 6.4	3 6.4	12 25.5	0 0.0	47 100.0
	30歳代	21 19.8	29 27.4	9 8.5	7 6.6	39 36.8	1 0.9	106 100.0
	40歳代	32 25.8	34 27.4	12 9.7	4 3.2	42 33.9	0 0.0	124 100.0
	50歳代	31 20.9	46 31.1	16 10.8	9 6.1	45 30.4	1 0.7	148 100.0
	60歳代	20 15.7	54 42.5	15 11.8	12 9.5	24 18.9	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	34 24.1	57 40.4	14 10.0	10 7.1	23 16.3	3 2.1	141 100.0
性 別	男 性	48 21.8	77 35.0	21 9.5	17 7.7	56 25.5	1 0.5	220 100.0
	女 性	96 20.4	165 35.1	47 10.0	28 6.0	128 27.2	6 1.3	470 100.0
家 族 人 数	1人	21 15.3	44 32.1	18 13.1	12 8.8	41 29.9	1 0.8	137 100.0
	2人	46 21.0	80 36.5	19 8.7	14 6.4	56 25.6	4 1.8	219 100.0
	3人	36 20.9	65 37.8	19 11.0	7 4.1	44 25.6	1 0.6	172 100.0
	4人	32 23.9	44 32.8	7 5.2	11 8.2	39 29.1	1 0.8	134 100.0
	5人以上	10 31.3	10 31.3	6 18.7	1 3.1	5 15.6	0 0.0	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	61 26.8	88 38.6	23 10.1	15 6.6	39 17.1	2 0.8	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	7 19.4	15 41.7	4 11.1	3 8.3	7 19.5	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	77 18.0	139 32.5	41 9.6	27 6.3	139 32.5	5 1.1	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	6 18.8	14 43.7	0 0.0	0 0.0	12 37.5	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	19 17.4	34 31.2	9 8.3	7 6.4	39 35.8	1 0.9	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	18 21.4	29 34.5	11 13.1	3 3.6	22 26.2	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	28 20.1	44 31.7	14 10.1	11 7.9	41 29.5	1 0.7	139 100.0
	20年以上	74 22.5	122 37.1	34 10.3	24 7.3	71 21.6	4 1.2	329 100.0

#### ④ 3Rの取り組みの満足度

ごみの3Rの取り組みの満足度は、「どちらかといえば満足している」が35.3%で最も高く、次いで「よくわからない」が29.8%、「満足している」が21.0%、「どちらかといえば満足していない」が7.9%、「満足していない」が4.9%である。他の設問と比較して「よくわからない」と回答した割合が高く、3割近い。“3R”という言葉自体があまり浸透していない可能性もある。

年齢別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は70歳以上が66.6%で最も高い。

性別では、「満足している」「どちらかといえば満足している」は男性が57.2%で、女性が56.0%であり、ほぼ変わらない。

家族人数別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は3人世帯が61.6%で最も高い。

図2-9 3Rの取り組みの満足度

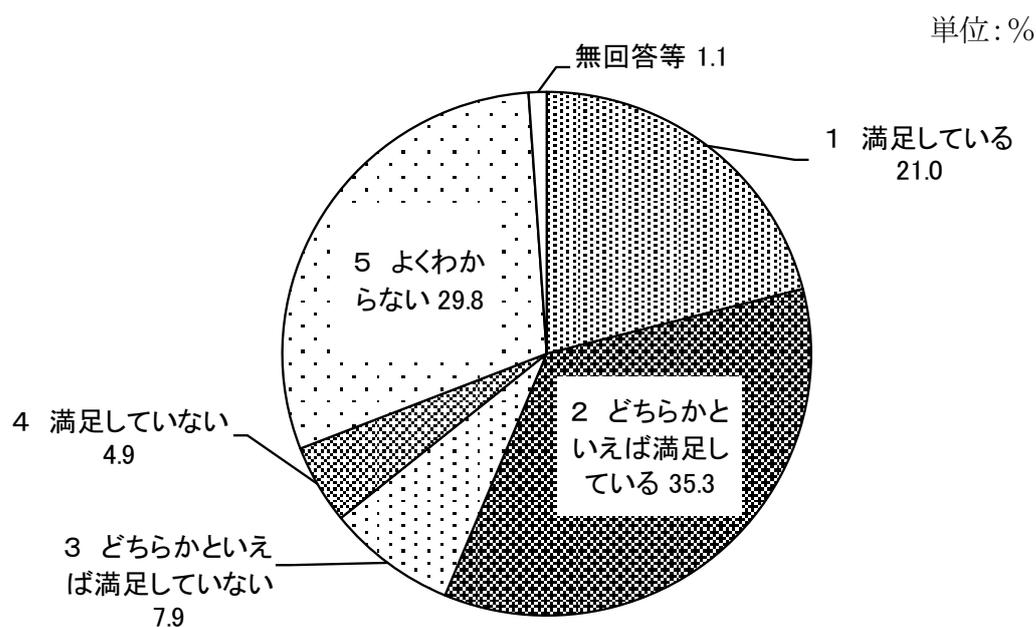


表2-4 3Rの取り組みの満足度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回 答					無回答 無効等	合計
		1 満足している	2 どちらかとい えば満足し ている	3 どちらかとい えば満足し ていない	4 満足してい ない	5 よくわからな い		
全 体		146 21.0	245 35.3	55 7.9	34 4.9	207 29.8	8 1.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	9 19.1	17 36.2	2 4.3	4 8.5	15 31.9	0 0.0	47 100.0
	30歳代	23 21.7	29 27.4	7 6.6	4 3.8	42 39.6	1 0.9	106 100.0
	40歳代	28 22.6	36 29.0	9 7.3	4 3.2	47 37.9	0 0.0	124 100.0
	50歳代	33 22.3	47 31.8	14 9.5	7 4.7	46 31.1	1 0.6	148 100.0
	60歳代	18 14.2	56 44.1	13 10.2	9 7.1	29 22.8	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	35 24.8	59 41.8	10 7.1	6 4.3	27 19.1	4 2.9	141 100.0
性 別	男性	54 24.5	72 32.7	16 7.3	12 5.5	65 29.5	1 0.5	220 100.0
	女性	91 19.4	172 36.6	39 8.3	22 4.7	139 29.6	7 1.4	470 100.0
家 族 人 数	1人	22 16.1	45 32.8	12 8.8	8 5.8	49 35.8	1 0.7	137 100.0
	2人	47 21.5	77 35.2	14 6.4	12 5.5	65 29.6	4 1.8	219 100.0
	3人	37 21.5	69 40.1	15 8.7	5 2.9	45 26.2	1 0.6	172 100.0
	4人	33 24.6	43 32.1	9 6.7	8 6.0	39 29.1	2 1.5	134 100.0
	5人以上	7 21.9	11 34.4	5 15.6	1 3.1	8 25.0	0 0.0	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	59 25.9	92 40.4	18 7.9	11 4.8	45 19.7	3 1.3	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	7 19.5	16 44.4	3 8.3	3 8.3	7 19.5	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	80 18.7	137 32.0	33 7.7	20 4.7	153 35.7	5 1.2	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	7 21.9	12 37.5	0 0.0	0 0.0	13 40.6	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	22 20.2	28 25.7	9 8.3	4 3.7	45 41.2	1 0.9	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	18 21.4	25 29.8	7 8.3	4 4.8	29 34.5	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	26 18.7	46 33.1	12 8.6	9 6.5	46 33.1	0 0.0	139 100.0
	20年以上	73 22.2	134 40.7	27 8.2	17 5.2	72 21.9	6 1.8	329 100.0

## ⑤ 街の清潔さの満足度

街の清潔さの満足度は、「どちらかといえば満足している」が46.8%で最も高く、次いで「満足している」が39.9%、「どちらかといえば満足していない」が7.6%、「満足していない」が3.4%、「よくわからない」が1.3%である。「どちらかといえば満足している」と「満足している」を足した9割近い人がよい評価をしていると言える。

年齢別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は40歳代が90.3%で最も高く、30歳代が81.2%で最も低い。「どちらかといえば満足していない」は30歳代が10.4%で最も高く、70歳以上が5.0%で最も低い。「満足していない」は30歳代が6.6%で最も高く、40歳代が0.8%で最も低い。「よくわからない」は70歳以上が2.1%で最も高く、30歳未満は0.0%である。

性別では、「満足している」「どちらかといえば満足している」は男性が87.3%で、女性が86.4%であり、ほぼ変わらない。

家族人数別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」は1人世帯が90.5%で最も高い。

図2-10 街の清潔さの満足度

単位：%

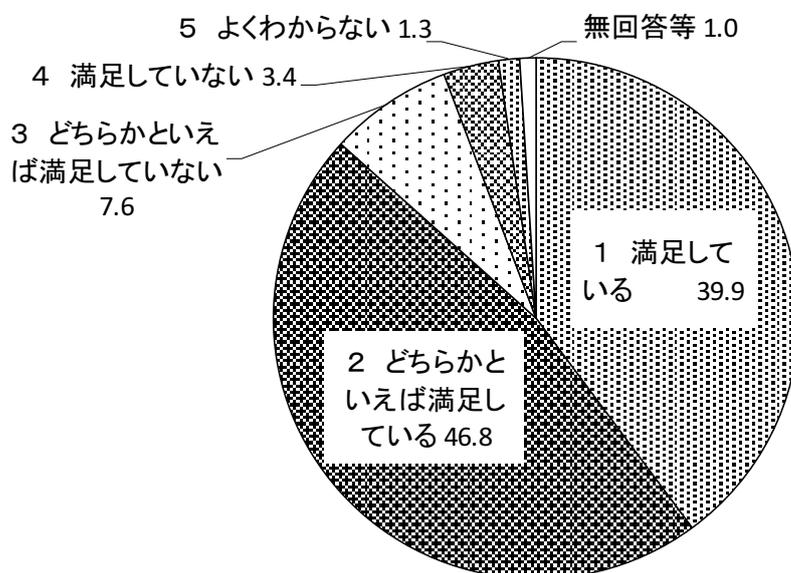


表2-5 街の清潔さの満足度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回答						合計
		1 満足している	2 どちらかとい えば満足し ている	3 どちらかとい えば満足し ていない	4 満足してい ない	5 よくわからな い	無回答 無効等	
全体		277 39.9	325 46.8	53 7.6	24 3.4	9 1.3	7 1.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	23 48.9	19 40.4	3 6.4	2 4.3	0 0.0	0 0.0	47 100.0
	30歳代	43 40.6	43 40.6	11 10.4	7 6.6	1 0.9	1 0.9	106 100.0
	40歳代	52 41.9	60 48.4	10 8.1	1 0.8	1 0.8	0 0.0	124 100.0
	50歳代	63 42.6	70 47.3	8 5.4	4 2.7	2 1.4	1 0.6	148 100.0
	60歳代	47 37.0	60 47.2	13 10.2	2 1.6	2 1.6	3 2.4	127 100.0
	70歳以上	48 34.0	73 51.8	7 5.0	8 5.7	3 2.1	2 1.4	141 100.0
性 別	男性	99 45.0	93 42.3	18 8.2	6 2.7	3 1.4	1 0.4	220 100.0
	女性	177 37.7	229 48.7	34 7.2	18 3.8	6 1.3	6 1.3	470 100.0
家 族 人 数	1人	57 41.6	67 48.9	7 5.1	4 2.9	1 0.7	1 0.8	137 100.0
	2人	83 37.9	100 45.7	17 7.8	9 4.1	6 2.7	4 1.8	219 100.0
	3人	69 40.1	82 47.7	14 8.1	4 2.3	2 1.2	1 0.6	172 100.0
	4人	59 44.0	58 43.3	11 8.2	5 3.7	0 0.0	1 0.8	134 100.0
	5人以上	9 28.1	18 56.3	3 9.4	2 6.2	0 0.0	0 0.0	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	88 38.6	110 48.2	17 7.5	7 3.1	3 1.3	3 1.3	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	14 38.9	16 44.4	4 11.1	1 2.8	1 2.8	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	174 40.7	198 46.3	31 7.2	16 3.7	5 1.2	4 0.9	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	14 43.8	12 37.5	3 9.4	2 6.2	1 3.1	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	45 41.3	47 43.1	9 8.3	7 6.4	0 0.0	1 0.9	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	33 39.3	40 47.6	6 7.1	2 2.4	1 1.2	2 2.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	57 41.0	68 48.9	9 6.5	3 2.2	1 0.7	1 0.7	139 100.0
	20年以上	127 38.6	158 48.0	25 7.6	10 3.0	6 1.8	3 1.0	329 100.0

## ⑥ 清掃・リサイクル事業で必要なこと

清掃・リサイクル事業で必要なことは、「PRの充実」が65.0%で最も高く、次いで「よりいっそうのリサイクル」が57.8%、「ごみの分別ルールの指導強化」が45.8%、「家庭ごみ収集の有料化」が9.9%、「ごみの収集回数を減らす」が1.7%である。

年齢別にみると、「PRの充実」は50歳代が15.1%で最も高く、30歳未満が4.0%で最も低い。「よりいっそうのリサイクル」は50歳代が12.9%で最も多く、30歳未満が3.6%で最も低い。「ごみの分別ルールの指導強化」は70歳以上が11.9%で最も高く、30歳未満が2.2%で最も低い。「家庭ごみ収集の有料化」は40歳代が16.1%で最も高く、30歳未満が4.3%で最も低い。「ごみの収集回数を減らす」は大きな差はみられない。

性別では、「家庭ごみ収集の有料化」以外はすべて女性の方が高い。

家族人数別にみると、「PRの充実」は2人世帯が21.0%で最も高い。

「その他」としては“製品を製造する企業や、商品を販売する会社への働きかけ”、“学校などの教育現場での働きかけ”、“シルバー人材のリサイクル事業での活躍”、“リサイクルショップの充実”などが必要との意見があった。

図2-11 清掃・リサイクル事業で必要なこと（回答数 695、複数回答）

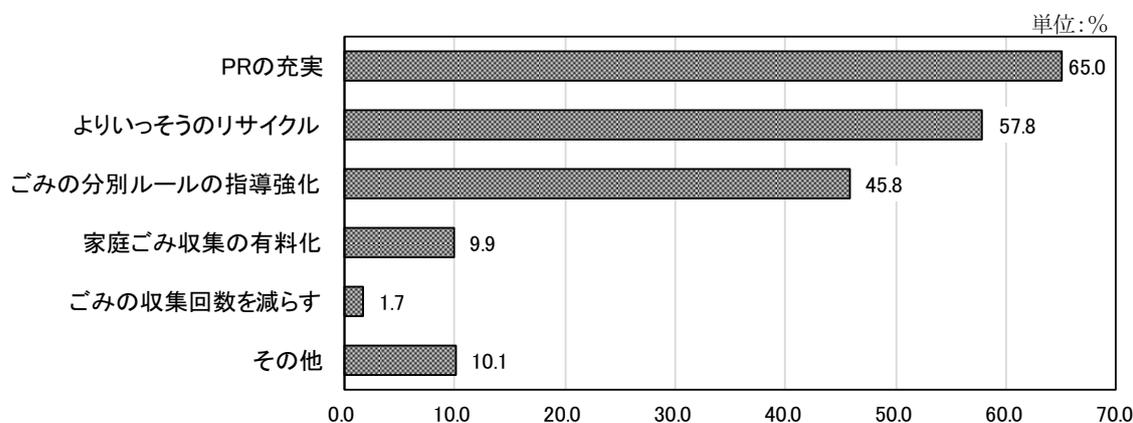


表2-6 清掃・リサイクル事業で必要なこと(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答 区分		1	2	3	4	5	6
		家庭ごみ収集の有料化	ごみの分別 ルールの指 導強化	よりいっそう のリサイクル	PRの充実	ごみの収集 回数を減ら す	その他
全体		69 9.9	318 45.8	402 57.8	452 65.0	12 1.7	70 10.1
年 齢	30歳未満	2 4.3	15 2.2	25 3.6	28 4.0	0 0.0	4 0.6
	30歳代	11 10.4	47 6.8	58 8.3	56 8.1	3 0.4	16 2.3
	40歳代	20 16.1	50 7.2	70 10.1	72 10.4	3 0.4	15 2.2
	50歳代	13 8.8	53 7.6	90 12.9	105 15.1	2 0.3	14 2.0
	60歳代	13 10.2	70 10.1	80 11.5	98 14.1	4 0.6	12 1.7
	70歳以上	10 7.1	83 11.9	78 11.2	91 13.1	0 0.0	9 1.3
性 別	男性	26 11.8	104 15.0	118 17.0	117 16.8	5 0.7	17 2.4
	女性	43 9.1	212 30.5	279 40.1	333 47.9	7 1.0	53 7.6
家 族 人 数	1人	15 10.9	56 8.1	80 11.5	86 12.4	4 0.6	14 2.0
	2人	21 9.6	107 15.4	126 18.1	146 21.0	0 0.0	21 3.0
	3人	16 9.3	85 12.2	99 14.2	115 16.5	6 0.9	17 2.4
	4人	15 11.2	52 7.5	76 10.9	87 12.5	1 0.1	17 2.4
	5人以上	2 6.3	18 2.6	20 2.9	17 2.4	1 0.1	1 0.1
住 居 形 態	一戸建て	18 7.9	112 16.1	136 19.6	147 21.2	3 0.4	21 3.0
	2階建てまでの集合住宅	3 8.3	17 2.4	17 2.4	22 3.2	1 0.1	4 0.6
	3階建て以上の集合住宅	48 11.2	188 27.1	246 35.4	281 40.4	8 1.2	44 6.3
居 住 年 数	1年未満	5 15.6	9 1.3	15 2.2	17 2.4	1 0.1	1 0.1
	1年以上 ～5年未満	15 13.8	43 6.2	59 8.5	62 8.9	3 0.4	15 2.2
	5年以上 ～10年未満	6 7.1	31 4.5	45 6.5	60 8.6	2 0.3	8 1.2
	10年以上 ～20年未満	14 10.1	61 8.8	73 10.5	92 13.2	1 0.1	17 2.4
	20年以上	29 8.8	174 25.0	208 29.9	220 31.7	5 0.7	29 4.2

## ⑦ ごみ収集で困っていること

ごみ収集で困っていることは、「特に不便や不都合がない」が45.5%で最も高く、次いで「ごみ出しのマナーが悪い人がいる」が32.5%、「カラスや猫の被害がある」が20.6%、「遅い時間に収集してほしい」が6.2%、「早い時間に収集してほしい」が2.3%である。5割近い人が「特に不便や不都合がない」と回答している一方、「ごみ出しのマナーが悪い人がいる」ことに困っているとした人も3割以上いる。また「カラスや猫の被害がある」とした人も約2割いる。

年齢別にみると、「特に不便や不都合がない」は70歳以上が10.2%、次いで50歳代が10.1%で高く、30歳未満が3.6%で最も低い。「ごみ出しのマナーが悪い人がいる」は70歳以上が9.2%で最も高く、30歳未満が1.2%で最も低い。「カラスや猫の被害がある」は50歳代が5.0%で最も高く、30歳未満が1.4%で最も低い。

性別では、「特に不便や不都合がない」は男性が14.7%、女性が30.4%で、女性のほうが高かった。また「ごみ出しマナーの悪い人がいる」22.6%、「カラスや猫の被害がある」14.1%との回答が女性からあった。

家族人数別にみると、「特に不便や不都合がない」は2人世帯が15.1%で最も多く5人以上世帯が1.4%で最も低い。

「その他」としては“一度に大量に出す人がいる”、“分別ルールがわかりづらい”、“資源ごみの持ち去り”、“収集時の騒音”、“不法投棄”、“回収忘れ”、“資源化できる汚れの基準がわからない”などが困っているとの意見があった。

図2-12 ごみ収集で困っていること（回答数695、複数回答）

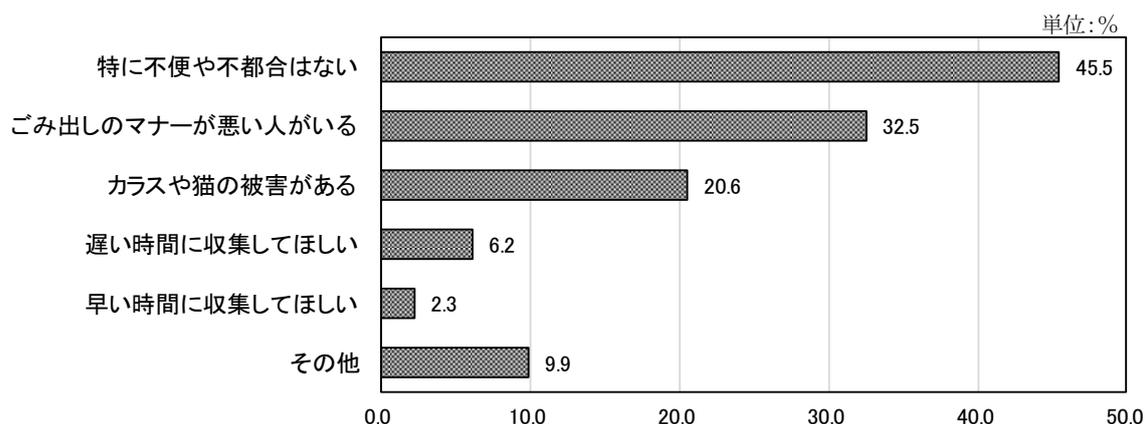


表2-7 ごみ収集で困っていること(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区 分 \ 回 答		1	2	3	4	5	6
		早い時間に 収集してほしい	もっと遅い時 間に収集し てほしい	ごみ出しのマ ナーが悪い 人がいる	カラスや猫の 被害がある	特に不便や 不都合はな い	その他
全 体		16 2.3	43 6.2	226 32.5	143 20.6	316 45.5	69 9.9
年 齢	30歳未満	0 0.0	6 0.9	8 1.2	10 1.4	25 3.6	5 0.7
	30歳代	2 1.9	13 1.9	33 4.7	21 3.0	38 5.5	12 1.7
	40歳代	1 0.8	14 2.0	39 5.6	22 3.2	59 8.5	16 2.3
	50歳代	3 2.0	4 0.6	38 5.5	35 5.0	70 10.1	14 2.0
	60歳代	7 5.5	2 0.3	44 6.3	26 3.7	51 7.3	14 2.0
	70歳以上	3 2.1	4 0.6	64 9.2	29 4.2	71 10.2	8 1.2
性 別	男 性	8 3.6	14 2.0	67 9.6	45 6.5	102 14.7	18 2.6
	女 性	8 1.7	28 4.0	157 22.6	98 14.1	211 30.4	51 7.3
家 族 人 数	1人	1 0.7	14 2.0	40 5.8	18 2.6	66 9.5	15 2.2
	2人	4 1.8	12 1.7	70 10.1	53 7.6	105 15.1	15 2.2
	3人	6 3.5	8 1.2	64 9.2	31 4.5	76 10.9	15 2.2
	4人	5 3.7	8 1.2	40 5.8	32 4.6	58 8.3	22 3.2
	5人以上	0 0.0	1 0.1	12 1.7	9 1.3	10 1.4	2 0.3
住 居 形 態	一戸建て	10 4.4	12 1.7	71 10.2	81 11.7	85 12.2	28 4.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	7 1.0	13 1.9	5 0.7	14 2.0	4 0.6
	3階建て以上の 集合住宅	5 1.2	23 3.3	142 20.4	56 8.1	216 31.1	37 5.3
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	3 0.4	6 0.9	5 0.7	16 2.3	3 0.4
	1年以上 ～5年未満	1 0.9	13 1.9	23 3.3	19 2.7	54 7.8	6 0.9
	5年以上 ～10年未満	3 3.6	4 0.6	32 4.6	19 2.7	31 4.5	12 1.7
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	6 0.9	46 6.6	29 4.2	65 9.4	17 2.4
	20年以上	10 3.0	16 2.3	119 17.1	71 10.2	149 21.4	31 4.5

### ⑧ 資源回収品目を増やすことによる費用増加の認知度

費用増加の認知度は、「知らなかった」が54.0%で最も高く、次いで「知っていた」が36.0%、「よくわからない」が8.9%である。「知らなかった」と「よくわからない」を合計すると6割以上となり、認知度が高いとは言えない。

年齢別にみると、「知らなかった」は年齢が低いほど割合が高い傾向にある。「知っていた」は60歳代が38.6%でやや高く、30歳未満が12.8%で低い。

性別では、大きな差はみられない。

家族人数別にみると、「知らなかった」は5人以上世帯が68.8%でやや高く、3人世帯が51.2%やや低い。

図2-13 費用が増えることの認知度

単位：%

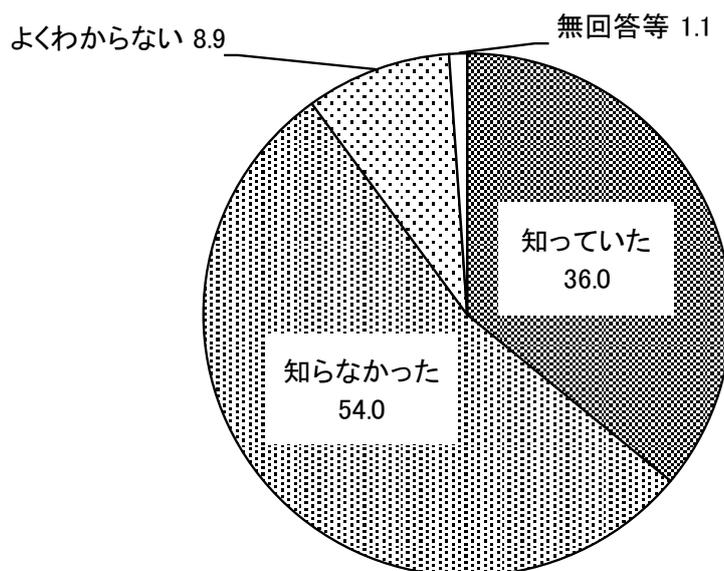


表2-8 費用が増えることの認知度(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

区分		回 答				合計
		1 知っていた	2 知らなかった	3 よくわからな い	無回答 無効等	
全 体		250 36.0	375 54.0	62 8.9	8 1.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	6 12.8	39 83.0	2 4.2	0 0.0	47 100.0
	30歳代	38 35.8	61 57.5	6 5.7	1 1.0	106 100.0
	40歳代	45 36.3	69 55.6	10 8.1	0 0.0	124 100.0
	50歳代	57 38.5	78 52.7	11 7.4	2 1.4	148 100.0
	60歳代	49 38.6	64 50.4	10 7.9	4 3.1	127 100.0
	70歳以上	53 37.6	64 45.4	23 16.3	1 0.7	141 100.0
性 別	男 性	85 38.6	115 52.3	18 8.2	2 0.9	220 100.0
	女 性	162 34.5	258 54.9	44 9.4	6 1.2	470 100.0
家 族 人 数	1人	46 33.6	78 56.9	13 9.5	0 0.0	137 100.0
	2人	78 35.6	116 53.0	21 9.6	4 1.8	219 100.0
	3人	67 39.0	88 51.2	15 8.7	2 1.1	172 100.0
	4人	51 38.1	71 53.0	10 7.5	2 1.4	134 100.0
	5人以上	7 21.9	22 68.8	3 9.3	0 0.0	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	88 38.6	114 50.0	23 10.1	3 1.3	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	9 25.0	24 66.7	2 5.6	1 2.7	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	152 35.5	235 54.9	37 8.6	4 1.0	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	8 25.0	24 75.0	0 0.0	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	40 36.7	61 56.0	7 6.4	1 0.9	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	32 38.1	45 53.6	6 7.1	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	50 36.0	76 54.7	11 7.9	2 1.4	139 100.0
	20年以上	119 36.2	168 51.1	38 11.5	4 1.2	329 100.0

### ⑨ 費用が増えることへの考え方

資源回収品目を増やすことによる費用が増加することについて、「費用が増えても、積極的に回収品目を増やすべき」が40.1%でやや高く、次いで「費用が増えるのであれば現状の回収品目でよい」が31.4%、「よくわからない・どちらともいえない」が22.0%である。

年齢別にみると、「費用が増えても、積極的に回収品目を増やすべき」は60歳代が44.1%でやや高く、30歳未満が27.7%でやや低い。「費用が増えるのであれば現状の回収品目でよい」は30歳未満が46.8%でやや高く、50歳代が26.4%でやや低い。

性別では、「費用が増えても、積極的に回収品目を増やすべき」は、大きな差はみられないが、「費用が増えるのであれば現状の回収品目でよい」は男性がやや高い。

家族人数別の「費用が増えても、積極的に回収品目を増やすべき」、「費用が増えるのであれば現状の回収品目」とともに大きな差はみられない。

「その他」としては“無駄を省く努力が必要”、“どのくらい費用が掛かるかによる”、“費用が掛かるのは仕方ないが、分別品目が増えるのは避けてほしい”などの意見があった。

図2-14 費用が増えることへの考え方

単位：%

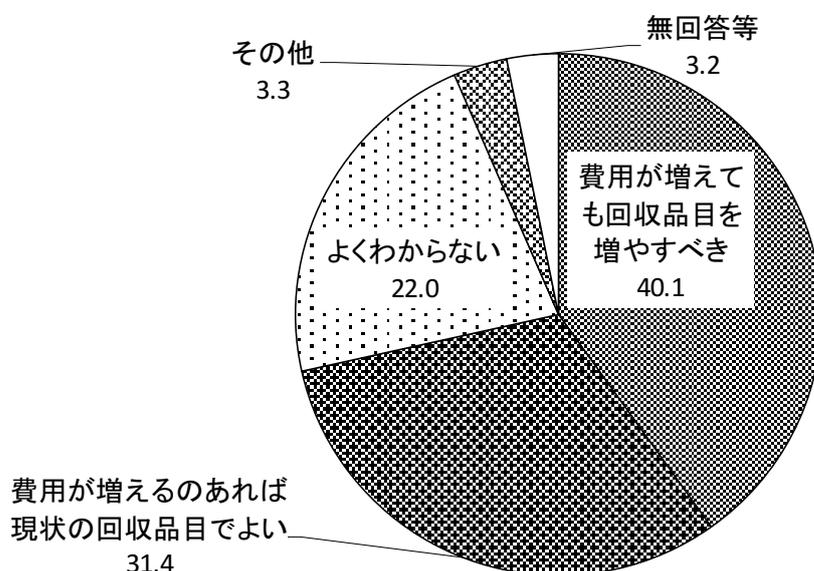


表2-9 費用が増えることへの考え方(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答 区分		1	2	3	4	無回答 無効等	合計
		資源回収の 品目を増や すべき	現状の回収 品目でよい	よくわからな い・どちらとも いえない	その他		
全体		279 40.1	218 31.4	153 22.0	23 3.3	22 3.2	695 100.0
年 齢	30歳未満	13 27.7	22 46.8	11 23.4	0 0.0	1 2.1	47 100.0
	30歳代	36 34.0	42 39.6	22 20.8	4 3.8	2 1.8	106 100.0
	40歳代	53 42.7	35 28.2	28 22.6	7 5.6	1 0.9	124 100.0
	50歳代	64 43.2	39 26.4	35 23.6	6 4.1	4 2.7	148 100.0
	60歳代	56 44.1	35 27.6	26 20.5	5 3.9	5 3.9	127 100.0
	70歳以上	57 40.4	43 30.5	31 22.0	1 0.7	9 6.4	141 100.0
性 別	男性	89 40.5	78 35.5	37 16.8	9 4.1	7 3.1	220 100.0
	女性	190 40.4	136 28.9	115 24.5	14 3.0	15 3.2	470 100.0
家 族 人 数	1人	58 42.3	41 29.9	25 18.2	8 5.9	5 3.7	137 100.0
	2人	92 42.0	67 30.6	45 20.5	7 3.2	8 3.7	219 100.0
	3人	66 38.4	57 33.1	39 22.7	5 2.9	5 2.9	172 100.0
	4人	51 38.1	42 31.3	35 26.1	3 2.2	3 2.3	134 100.0
	5人以上	12 37.5	10 31.3	9 28.1	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	86 37.7	74 32.5	52 22.8	8 3.5	8 3.5	228 100.0
	2階建てまで の集合住宅	12 33.3	12 33.3	9 25.0	2 5.6	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上 の集合住宅	180 42.1	131 30.6	91 21.3	13 3.0	13 3.0	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	10 31.3	14 43.8	7 21.8	1 3.1	0 0.0	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	38 34.9	42 38.5	22 20.2	5 4.6	2 1.8	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	36 42.9	25 29.8	19 22.6	1 1.2	3 3.5	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	62 44.6	38 27.3	27 19.4	7 5.1	5 3.6	139 100.0
	20年以上	133 40.4	98 29.8	77 23.4	9 2.7	12 3.7	329 100.0

### (3) 資源・ごみの処分方法

#### ① 新聞

新聞の処分方法については、「区の資源回収に出す」が48.8%とおよそ半分近くを占める。「不用物として出していない」が18.7%であるが新聞を購読していない可能性もある。「集団回収に出す」が11.4%、「新聞販売店の回収に出す」が4.2%、「区の燃やすごみ」が3.6%、「区の拠点回収に持っていく」が0.6%である。6割以上の人が何らかの方法で資源回収に出していることがわかる。

図2-15 新聞の処分方法

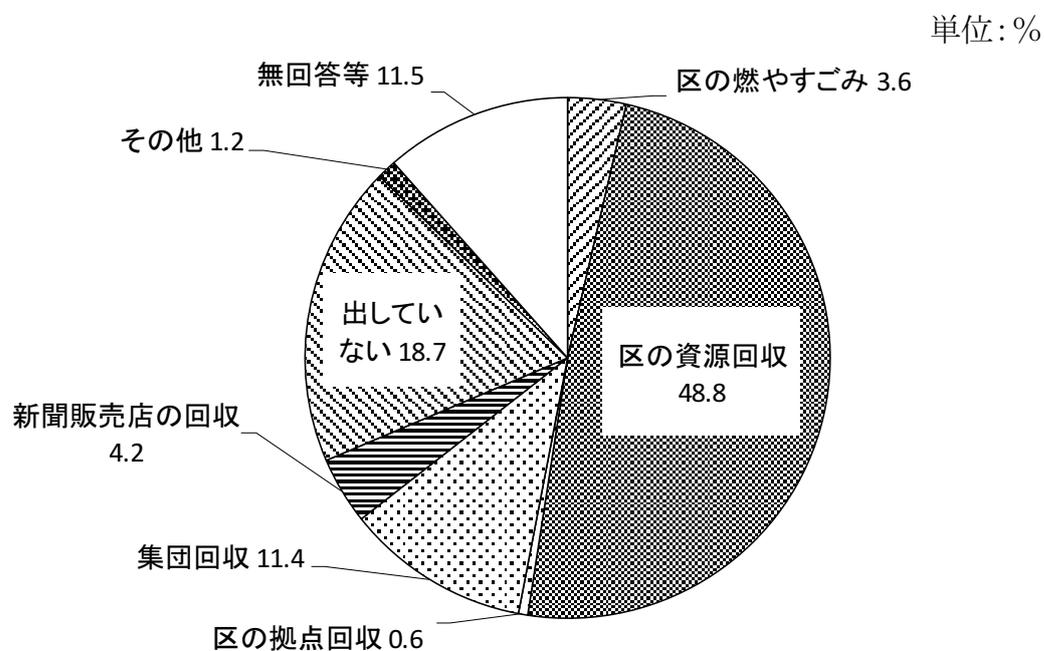


表2-10 新聞の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		25 3.6	0 0.0	339 48.8	4 0.6	0 0.0	79 11.4	29 4.2	0 0.0	130 18.7	9 1.2	80 11.5	695 100.0
年 齢	30歳未満	3 6.4	0 0.0	20 42.6	0 0.0	0 0.0	1 2.1	2 4.3	0 0.0	18 38.3	1 2.1	2 4.2	47 100.0
	30歳代	9 8.5	0 0.0	38 35.8	0 0.0	0 0.0	1 0.9	2 1.9	0 0.0	42 39.6	3 2.9	11 10.4	106 100.0
	40歳代	6 4.8	0 0.0	50 40.3	1 0.8	0 0.0	15 12.1	4 3.2	0 0.0	34 27.5	0 0.0	14 11.3	124 100.0
	50歳代	2 1.4	0 0.0	79 53.4	2 1.4	0 0.0	12 8.1	4 2.7	0 0.0	25 16.8	0 0.0	24 16.2	148 100.0
	60歳代	3 2.4	0 0.0	74 58.3	0 0.0	0 0.0	24 18.9	6 4.7	0 0.0	7 5.5	0 0.0	13 10.2	127 100.0
	70歳以上	2 1.4	0 0.0	77 54.6	1 0.7	0 0.0	26 18.4	11 7.8	0 0.0	3 2.1	5 3.6	16 11.4	141 100.0
性 別	男性	15 6.8	0 0.0	104 47.3	0 0.0	0 0.0	19 8.6	11 5.0	0 0.0	52 23.6	1 0.5	18 8.2	220 100.0
	女性	10 2.1	0 0.0	234 49.8	4 0.9	0 0.0	59 12.6	18 3.8	0 0.0	75 16.0	8 1.7	62 13.1	470 100.0
家 族 人 数	1人	15 10.9	0 0.0	52 38.0	1 0.7	0 0.0	8 5.8	3 2.2	0 0.0	40 29.2	2 1.5	16 11.7	137 100.0
	2人	4 1.8	0 0.0	112 51.1	0 0.0	0 0.0	32 14.6	7 3.2	0 0.0	35 16.0	3 1.4	26 11.9	219 100.0
	3人	4 2.3	0 0.0	95 55.2	1 0.6	0 0.0	22 12.8	10 5.8	0 0.0	24 14.0	2 1.2	14 8.1	172 100.0
	4人	1 0.7	0 0.0	69 51.5	1 0.7	0 0.0	14 10.5	6 4.5	0 0.0	24 17.9	0 0.0	19 14.2	134 100.0
	5人以上	1 3.1	0 0.0	11 34.4	1 3.1	0 0.0	3 9.4	3 9.4	0 0.0	6 18.8	2 6.2	5 15.6	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	3 1.3	0 0.0	120 52.6	3 1.3	0 0.0	29 12.7	22 9.7	0 0.0	26 11.4	2 0.9	23 10.1	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	3 8.3	0 0.0	21 58.4	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	3 8.3	1 2.8	5 13.9	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	19 4.4	0 0.0	198 46.3	1 0.2	0 0.0	47 11.0	6 1.4	0 0.0	99 23.1	6 1.4	52 12.2	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	5 15.6	0 0.0	9 28.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 43.8	0 0.0	3 9.4	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	9 8.3	0 0.0	42 38.5	0 0.0	0 0.0	2 1.8	3 2.8	0 0.0	39 35.8	3 2.8	11 10.0	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	3 3.6	0 0.0	37 44.0	1 1.2	0 0.0	7 8.3	2 2.4	0 0.0	23 27.4	2 2.4	9 10.7	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	3 2.2	0 0.0	70 50.4	1 0.7	0 0.0	16 11.5	5 3.6	0 0.0	27 19.4	1 0.7	16 11.5	139 100.0
	20年以上	5 1.5	0 0.0	181 55.0	1 0.3	0 0.0	54 16.4	19 5.8	0 0.0	25 7.6	3 0.9	41 12.5	329 100.0

## ② 新聞折込広告

新聞折込広告の処分方法については、「区の資源回収に出す」が47.1%で新聞同様におおよそ半数近くを占めている。「不用物として出していない」が14.1%であるが新聞を購読していない可能性もある。「区の燃やすごみ」が12.1%、「集団回収に出す」が10.8%、「新聞販売店の回収に出す」が3.3%、「区の拠点回収に持っていく」が0.6%である。6割以上の人は何らかの方法で資源回収に出している一方、1割以上の人「区の燃やすごみ」として出している。

図2-16 新聞折込広告の処分方法

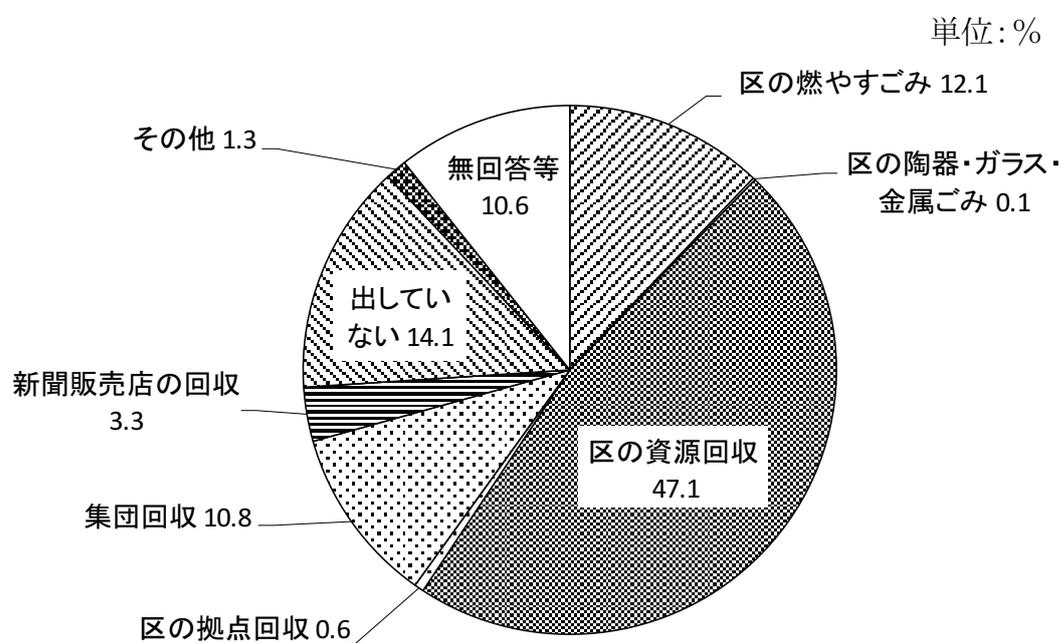


表2-11 新聞折込広告の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		84 12.1	1 0.1	327 47.1	4 0.6	0 0.0	75 10.8	23 3.3	0 0.0	98 14.1	9 1.3	74 10.6	695 100.0
年 齢	30歳未満	11 23.4	0 0.0	16 34.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3	2 4.3	0 0.0	13 27.7	1 2.1	2 4.2	47 100.0
	30歳代	23 21.7	0 0.0	37 34.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.9	0 0.0	29 27.4	3 2.8	11 10.4	106 100.0
	40歳代	15 12.1	0 0.0	49 39.5	1 0.8	0 0.0	14 11.3	3 2.4	0 0.0	28 22.6	0 0.0	14 11.3	124 100.0
	50歳代	12 8.1	1 0.7	78 52.7	2 1.4	0 0.0	11 7.4	4 2.7	0 0.0	19 12.8	0 0.0	21 14.2	148 100.0
	60歳代	10 7.9	0 0.0	73 57.5	0 0.0	0 0.0	21 16.5	6 4.7	0 0.0	5 3.9	0 0.0	12 9.5	127 100.0
	70歳以上	13 9.2	0 0.0	73 51.8	1 0.7	0 0.0	25 17.7	7 5.0	0 0.0	3 2.1	5 3.5	14 10.0	141 100.0
性 別	男性	31 14.1	1 0.5	103 46.8	0 0.0	0 0.0	21 9.5	8 3.6	0 0.0	37 16.8	1 0.5	18 8.2	220 100.0
	女性	52 11.1	0 0.0	224 47.6	4 0.9	0 0.0	53 11.3	15 3.2	0 0.0	58 12.3	8 1.7	56 11.9	470 100.0
家 族 人 数	1人	28 20.4	1 0.7	48 35.0	1 0.7	0 0.0	8 5.8	2 1.5	0 0.0	32 23.4	2 1.5	15 11.0	137 100.0
	2人	21 9.6	0 0.0	105 47.9	0 0.0	0 0.0	32 14.6	6 2.7	0 0.0	27 12.3	3 1.4	25 11.5	219 100.0
	3人	18 10.5	0 0.0	89 51.7	1 0.6	0 0.0	20 11.6	9 5.2	0 0.0	19 11.0	2 1.2	14 8.2	172 100.0
	4人	15 11.2	0 0.0	71 53.0	1 0.7	0 0.0	12 9.0	4 3.0	0 0.0	15 11.2	0 0.0	16 11.9	134 100.0
	5人以上	2 6.3	0 0.0	14 43.7	1 3.1	0 0.0	3 9.3	2 6.3	0 0.0	4 12.5	2 6.3	4 12.5	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	14 6.1	0 0.0	127 55.7	3 1.3	0 0.0	25 11.0	17 7.5	0 0.0	19 8.3	2 0.9	21 9.2	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	8 22.2	0 0.0	18 50.0	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	2 5.6	1 2.8	4 11.1	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	61 14.3	1 0.2	182 42.5	1 0.2	0 0.0	47 11.0	6 1.4	0 0.0	75 17.5	6 1.4	49 11.5	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	9 28.1	0 0.0	7 21.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 37.5	0 0.0	3 9.4	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	20 18.3	0 0.0	43 39.4	0 0.0	0 0.0	4 3.7	3 2.8	0 0.0	25 22.9	3 2.8	11 10.1	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	16 19.0	0 0.0	34 40.5	1 1.2	0 0.0	6 7.1	1 1.2	0 0.0	17 20.2	2 2.4	7 8.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	10 7.2	0 0.0	66 47.5	1 0.7	0 0.0	16 11.5	5 3.6	0 0.0	23 16.5	1 0.7	17 12.3	139 100.0
	20年以上	29 8.8	1 0.3	177 53.8	1 0.3	0 0.0	49 14.9	14 4.3	0 0.0	19 5.8	3 0.9	36 10.9	329 100.0

### ③ 雑誌・本

雑誌・本の処分方法については、「区の資源回収に出す」が68.2%、「集団回収に出す」が12.2%、「不用物として出していない」が5.6%、「区の燃やすごみに出す」が4.0%、「区の拠点回収に持っていく」が1.3%である。「区の資源回収に出す」が7割近くを占めており、処分方法として浸透していることがわかる。また、8割以上の人が何らかの方法で資源回収に出していることがわかる。「その他」の中には“古書買取店などでの買取”、“フリーマーケットで売る”などの回答があった。

図2-17 雑誌・本の処分方法

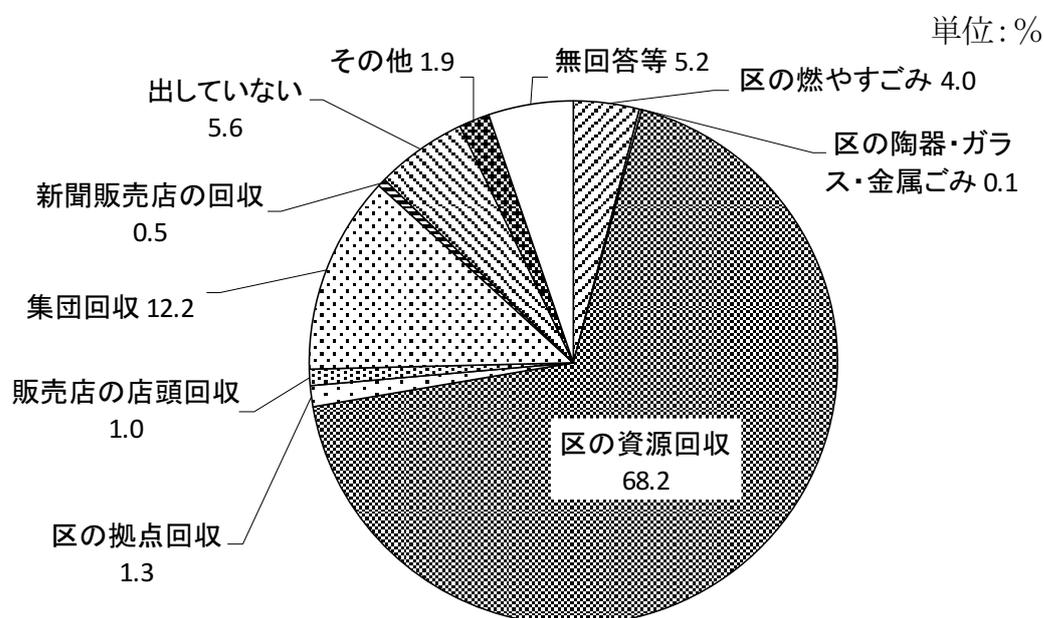


表2-12 雑誌・本の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		28 4.0	1 0.1	474 68.2	9 1.3	7 1.0	85 12.2	3 0.5	0 0.0	39 5.6	13 1.9	36 5.2	695 100.0
年 齢	30歳未満	4 8.5	0 0.0	25 53.2	0 0.0	1 2.1	4 8.5	0 0.0	0 0.0	8 17.0	3 6.4	2 4.3	47 100.0
	30歳代	9 8.5	1 0.9	69 65.1	2 1.9	3 2.8	5 4.7	0 0.0	0 0.0	8 7.6	5 4.7	4 3.8	106 100.0
	40歳代	3 2.4	0 0.0	83 66.9	1 0.8	1 0.8	14 11.3	0 0.0	0 0.0	13 10.5	1 0.8	8 6.5	124 100.0
	50歳代	4 2.7	0 0.0	113 76.4	2 1.4	1 0.7	14 9.4	0 0.0	0 0.0	5 3.3	1 0.7	8 5.4	148 100.0
	60歳代	4 3.1	0 0.0	89 70.1	1 0.8	0 0.0	22 17.3	1 0.8	0 0.0	4 3.1	0 0.0	6 4.8	127 100.0
	70歳以上	4 2.8	0 0.0	94 66.7	3 2.1	1 0.7	26 18.4	2 1.5	0 0.0	0 0.0	3 2.1	8 5.7	141 100.0
性 別	男性	15 6.8	0 0.0	151 68.6	2 0.9	3 1.4	22 10.0	0 0.0	0 0.0	17 7.7	2 0.9	8 3.7	220 100.0
	女性	12 2.6	1 0.2	322 68.5	7 1.5	3 0.6	63 13.4	3 0.6	0 0.0	21 4.5	11 2.3	27 5.8	470 100.0
家 族 人 数	1人	15 10.9	0 0.0	75 54.7	1 0.7	5 3.6	9 6.6	0 0.0	0 0.0	18 13.2	3 2.2	11 8.1	137 100.0
	2人	5 2.3	0 0.0	154 70.3	3 1.4	1 0.5	35 16.0	0 0.0	0 0.0	8 3.6	4 1.8	9 4.1	219 100.0
	3人	5 2.9	1 0.6	118 68.6	3 1.7	1 0.6	23 13.4	3 1.7	0 0.0	6 3.5	5 2.9	7 4.1	172 100.0
	4人	2 1.5	0 0.0	106 79.1	1 0.7	0 0.0	14 10.5	0 0.0	0 0.0	4 3.0	1 0.7	6 4.5	134 100.0
	5人以上	1 3.1	0 0.0	21 65.6	1 3.1	0 0.0	4 12.5	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	3 1.3	0 0.0	174 76.3	5 2.2	1 0.4	31 13.6	2 0.9	0 0.0	3 1.3	0 0.0	9 4.0	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	3 8.3	0 0.0	23 63.9	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	3 8.3	1 2.8	3 8.4	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	21 4.9	1 0.2	277 64.7	4 0.9	5 1.2	51 11.9	1 0.2	0 0.0	32 7.5	12 2.8	24 5.7	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	4 12.5	0 0.0	14 43.8	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 25.0	2 6.3	3 9.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	8 7.3	0 0.0	72 66.1	2 1.8	2 1.8	7 6.4	0 0.0	0 0.0	10 9.2	3 2.8	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	6 7.1	0 0.0	60 71.4	1 1.2	1 1.2	5 6.0	0 0.0	0 0.0	4 4.8	4 4.8	3 3.5	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	0 0.0	98 70.5	1 0.7	2 1.4	17 12.3	1 0.7	0 0.0	8 5.8	1 0.7	9 6.5	139 100.0
	20年以上	8 2.4	1 0.3	230 69.9	4 1.2	1 0.3	56 17.0	2 0.6	0 0.0	8 2.4	3 1.0	16 4.9	329 100.0

#### ④ 段ボール

段ボールの処分方法については、「区の資源回収に出す」が80.9%、「集団回収に出す」が12.1%、「区の燃やすごみに出す」が2.2%、「区の拠点回収に持って行く」が1.3%である。9割以上の人は何らかの方法で資源回収に出していることがわかる。中でも、「区の資源回収に出す」という人が8割以上を占める。

図2-18 段ボールの処分方法

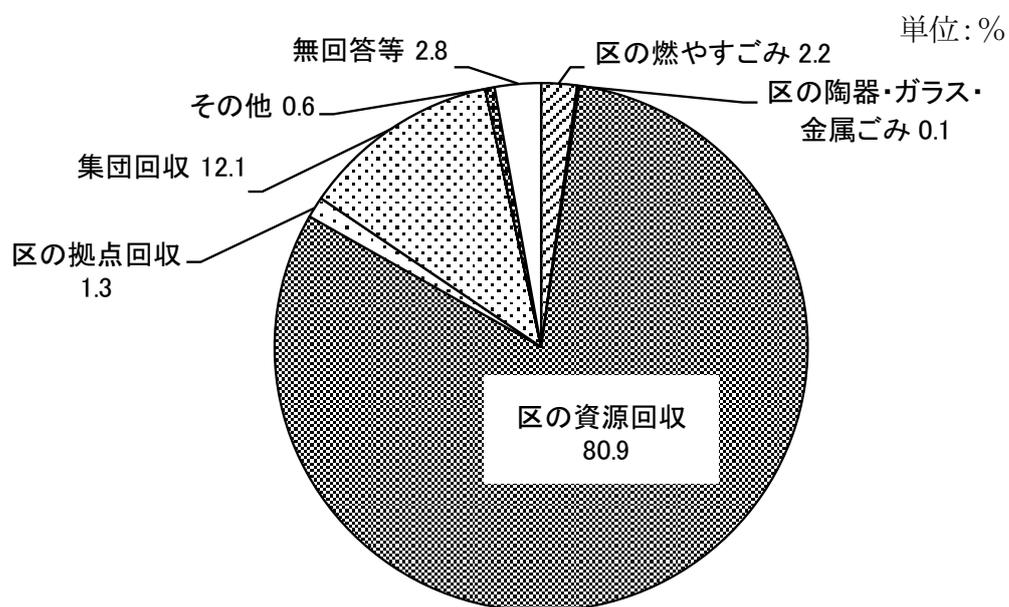


表2-13 段ボールの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		15 2.2	1 0.1	562 80.9	9 1.3	0 0.0	84 12.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.6	20 2.8	695 100.0
年 齢	30歳未満	2 4.3	0 0.0	35 74.5	1 2.1	0 0.0	7 14.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	5 4.7	1 0.9	90 84.9	1 0.9	0 0.0	6 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.9	106 100.0
	40歳代	1 0.8	0 0.0	107 86.3	1 0.8	0 0.0	12 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.4	124 100.0
	50歳代	1 0.7	0 0.0	122 82.4	2 1.4	0 0.0	16 10.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 4.7	148 100.0
	60歳代	2 1.6	0 0.0	100 78.7	1 0.8	0 0.0	21 16.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.4	127 100.0
	70歳以上	4 2.9	0 0.0	106 75.2	3 2.1	0 0.0	22 15.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.1	3 2.1	141 100.0
性 別	男性	9 4.1	0 0.0	183 83.2	2 0.9	0 0.0	21 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	4 1.8	220 100.0
	女性	6 1.3	1 0.2	374 79.6	7 1.5	0 0.0	63 13.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 0.6	16 3.4	470 100.0
家 族 人 数	1人	5 3.6	0 0.0	117 85.4	1 0.7	0 0.0	9 6.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	4 3.0	137 100.0
	2人	3 1.4	0 0.0	170 77.6	4 1.8	0 0.0	35 16.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	6 2.7	219 100.0
	3人	3 1.7	1 0.6	137 79.7	2 1.2	0 0.0	24 13.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	172 100.0
	4人	3 2.2	0 0.0	114 85.1	1 0.7	0 0.0	12 9.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.0	134 100.0
	5人以上	1 3.1	0 0.0	23 71.9	1 3.1	0 0.0	4 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	3 1.3	0 0.0	186 81.6	6 2.6	0 0.0	26 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 3.1	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	2 5.6	0 0.0	31 86.1	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	10 2.3	1 0.2	342 79.9	3 0.7	0 0.0	55 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.9	13 3.1	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	0 0.0	28 87.5	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	4 3.7	0 0.0	92 84.4	2 1.8	0 0.0	7 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.7	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	4 4.8	0 0.0	72 85.7	1 1.2	0 0.0	5 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.3	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	0 0.0	111 79.9	1 0.7	0 0.0	19 13.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	5 3.6	139 100.0
	20年以上	5 1.5	1 0.3	257 78.1	4 1.2	0 0.0	51 15.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	10 3.1	329 100.0

### ⑤ 紙 パ ッ ク (牛乳パックなど)

紙パック(牛乳パックなど)の処分方法については、「区の資源回収に出す」が41.2%、「区の燃やすごみに出す」が35.1%、「販売店の店頭回収に持っていく」が8.3%、「集団回収に出す」が7.2%、「不用物として出していない」が2.3%、「区の拠点回収に持っていく」が0.9%である。6割近い人が何らかの方法で資源回収に出している。紙パック(牛乳パックなど)はすすいで、開いて乾かして資源として出せることになっているが、35.1%の人は資源回収に出さず、燃やすごみとしていることがわかる。

図2-19 紙パック(牛乳パックなど)の処分方法

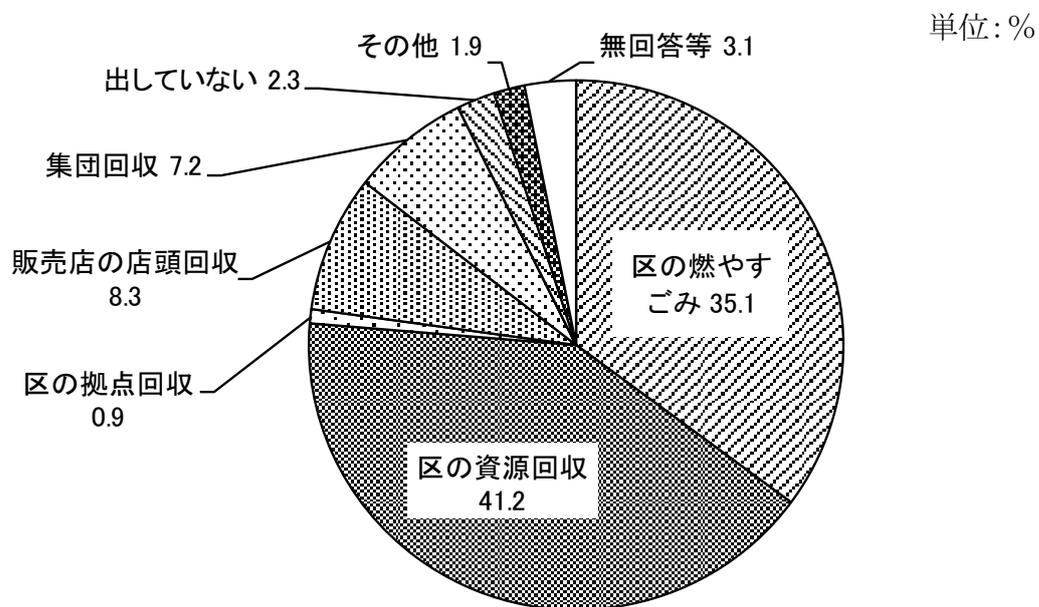


表2-14 紙パック(牛乳パックなど)の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		244 35.1	0 0.0	286 41.2	6 0.9	58 8.3	50 7.2	0 0.0	0 0.0	16 2.3	13 1.9	22 3.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	20 42.6	0 0.0	16 34.0	0 0.0	4 8.5	3 6.4	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	46 43.4	0 0.0	39 36.8	0 0.0	9 8.5	4 3.8	0 0.0	0 0.0	4 3.8	1 0.9	3 2.8	106 100.0
	40歳代	43 34.7	0 0.0	49 39.5	2 1.6	13 10.5	6 4.8	0 0.0	0 0.0	5 4.0	2 1.6	4 3.3	124 100.0
	50歳代	51 34.5	0 0.0	65 43.9	1 0.7	12 8.1	11 7.4	0 0.0	0 0.0	2 1.4	1 0.7	5 3.3	148 100.0
	60歳代	43 33.9	0 0.0	48 37.8	0 0.0	14 11.0	11 8.7	0 0.0	0 0.0	2 1.6	4 3.1	5 3.9	127 100.0
	70歳以上	41 29.1	0 0.0	67 47.5	3 2.1	6 4.3	15 10.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	4 2.8	4 2.8	141 100.0
性 別	男性	91 41.4	0 0.0	87 39.5	0 0.0	19 8.6	12 5.5	0 0.0	0 0.0	4 1.8	2 0.9	5 2.3	220 100.0
	女性	151 32.1	0 0.0	198 42.1	5 1.1	38 8.1	38 8.1	0 0.0	0 0.0	12 2.6	11 2.3	17 3.6	470 100.0
家 族 人 数	1人	66 48.2	0 0.0	45 32.8	1 0.7	9 6.6	6 4.4	0 0.0	0 0.0	2 1.5	1 0.7	7 5.1	137 100.0
	2人	81 37.0	0 0.0	87 39.7	1 0.5	16 7.3	20 9.1	0 0.0	0 0.0	4 1.8	4 1.8	6 2.8	219 100.0
	3人	48 27.9	0 0.0	76 44.2	2 1.2	16 9.3	15 8.7	0 0.0	0 0.0	6 3.5	4 2.3	5 2.9	172 100.0
	4人	40 29.9	0 0.0	65 48.5	1 0.7	12 9.0	7 5.2	0 0.0	0 0.0	4 3.0	2 1.5	3 2.2	134 100.0
	5人以上	9 28.1	0 0.0	12 37.5	1 3.1	5 15.6	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	54 23.7	0 0.0	119 52.2	3 1.3	24 10.5	15 6.5	0 0.0	0 0.0	5 2.2	4 1.8	4 1.8	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	17 47.2	0 0.0	11 30.6	0 0.0	2 5.6	1 2.7	0 0.0	0 0.0	2 5.6	1 2.7	2 5.6	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	171 40.0	0 0.0	155 36.2	3 0.7	32 7.5	34 7.9	0 0.0	0 0.0	9 2.1	8 1.9	16 3.7	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	11 34.4	0 0.0	15 46.9	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	51 46.8	0 0.0	36 33.0	1 0.9	7 6.4	4 3.7	0 0.0	0 0.0	3 2.8	1 0.9	6 5.5	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	36 42.9	0 0.0	32 38.1	0 0.0	6 7.1	6 7.1	0 0.0	0 0.0	1 1.2	3 3.6	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	56 40.3	0 0.0	47 33.8	3 2.2	15 10.8	8 5.7	0 0.0	0 0.0	4 2.8	3 2.2	3 2.2	139 100.0
	20年以上	89 27.1	0 0.0	155 47.1	1 0.3	29 8.8	31 9.4	0 0.0	0 0.0	6 1.8	6 1.8	12 3.7	329 100.0

## ⑥ 雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)

雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)の処分方法については、「区の資源回収に出す」が53.5%、「区の燃やすごみに出す」が30.8%、「集団回収に出す」が8.5%、「不用物として出していない」が1.2%、「区の拠点回収に持っていく」が0.9%、「新聞販売店の回収に出す」が0.3%である。6割以上の人は何らかの方法で資源回収に出している。雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)はビニール部分を取り除くなどして資源として出せることになっているが、30.8%の人は資源回収に出さずに燃やすごみとしていることがわかる。

図2-20 雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)の処分方法

単位:%

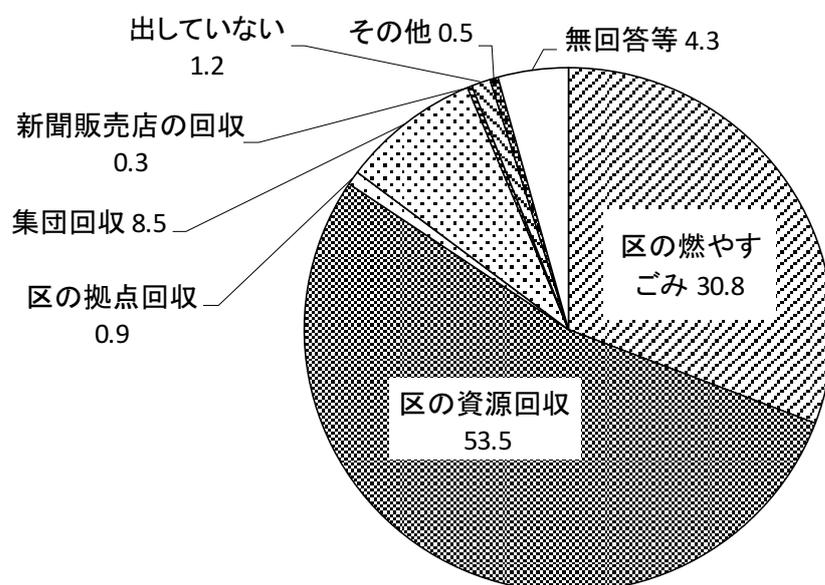


表2-15 雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		214 30.8	0 0.0	372 53.5	6 0.9	0 0.0	59 8.5	2 0.3	0 0.0	8 1.2	4 0.5	30 4.3	695 100.0
年 齢	30歳未満	22 46.8	0 0.0	15 31.9	1 2.1	0 0.0	4 8.6	1 2.1	0 0.0	2 4.3	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	50 47.2	0 0.0	48 45.3	0 0.0	0 0.0	3 2.8	0 0.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	3 2.8	106 100.0
	40歳代	45 36.3	0 0.0	63 50.8	0 0.0	0 0.0	8 6.5	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	6 4.8	124 100.0
	50歳代	45 30.4	0 0.0	82 55.4	2 1.4	0 0.0	9 6.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	0 0.0	8 5.4	148 100.0
	60歳代	25 19.7	0 0.0	82 64.6	0 0.0	0 0.0	14 11.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 4.7	127 100.0
	70歳以上	26 18.4	0 0.0	81 57.5	3 2.1	0 0.0	21 14.9	1 0.7	0 0.0	0 0.0	3 2.1	6 4.3	141 100.0
性 別	男性	78 35.5	0 0.0	112 50.9	0 0.0	0 0.0	14 6.4	1 0.5	0 0.0	5 2.2	1 0.5	9 4.0	220 100.0
	女性	133 28.3	0 0.0	260 55.3	6 1.3	0 0.0	44 9.4	1 0.2	0 0.0	2 0.4	3 0.6	21 4.5	470 100.0
家 族 人 数	1人	60 43.8	0 0.0	61 44.5	0 0.0	0 0.0	6 4.4	0 0.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	6 4.4	137 100.0
	2人	60 27.4	0 0.0	115 52.5	3 1.4	0 0.0	28 12.8	0 0.0	0 0.0	2 0.9	1 0.5	10 4.5	219 100.0
	3人	49 28.5	0 0.0	93 54.0	1 0.6	0 0.0	16 9.3	1 0.6	0 0.0	2 1.2	2 1.2	8 4.6	172 100.0
	4人	34 25.4	0 0.0	86 64.2	1 0.7	0 0.0	7 5.3	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0	4 3.0	134 100.0
	5人以上	10 31.3	0 0.0	17 53.1	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.2	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	39 17.1	0 0.0	153 67.1	4 1.8	0 0.0	17 7.4	2 0.9	0 0.0	4 1.8	0 0.0	9 3.9	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	13 36.1	0 0.0	19 52.8	0 0.0	0 0.0	2 5.5	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	160 37.4	0 0.0	200 46.7	2 0.5	0 0.0	40 9.3	0 0.0	0 0.0	2 0.5	4 0.9	20 4.7	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	15 46.9	0 0.0	12 37.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	1 3.1	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	54 49.5	0 0.0	45 41.3	1 0.9	0 0.0	4 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	24 28.6	0 0.0	50 59.5	0 0.0	0 0.0	6 7.1	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.4	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	43 30.9	0 0.0	73 52.5	2 1.4	0 0.0	12 8.7	1 0.7	0 0.0	3 2.2	1 0.7	4 2.9	139 100.0
	20年以上	77 23.4	0 0.0	192 58.4	2 0.6	0 0.0	36 10.9	1 0.3	0 0.0	1 0.3	1 0.3	19 5.8	329 100.0

## ⑦ 古着・古布

古着・古布の処分方法については、「区の燃やすごみに出す」が56.3%、「区の拠点回収に持っていく」が11.2%、「区の資源回収に出す」が7.8%、「不用物として出していない」が6.0%、「集団回収に出す」が5.3%、「販売店の店頭回収に持っていく」が2.2%である。

3割近い人は何らかの方法で資源回収に出しているが、半数以上の56.3%は資源回収に出さずに燃やすごみとして出していることがわかる。燃やすごみとして出されたもののすべてが資源化できるわけではないが、資源化可能なものも含まれていると考えられる。「その他」については“バザーや、ネットでの販売、譲渡する”、“寄付する”、“リサイクルショップなどでの買取”などの回答があった。

図2-21 古着・古布の処分方法

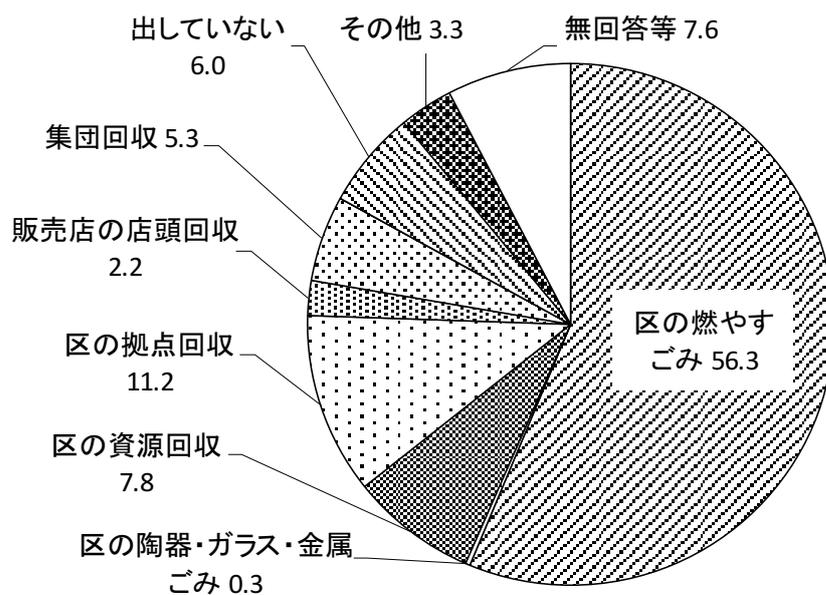


表2-16 古着・古布の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		391 56.3	2 0.3	54 7.8	78 11.2	15 2.2	37 5.3	0 0.0	0 0.0	42 6.0	23 3.3	53 7.6	695 100.0
年 齢	30歳未満	25 53.2	0 0.0	5 10.6	1 2.1	2 4.3	2 4.3	0 0.0	0 0.0	10 21.3	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	71 67.0	0 0.0	8 7.5	10 9.4	4 3.8	3 2.8	0 0.0	0 0.0	3 2.8	2 1.9	5 4.8	106 100.0
	40歳代	64 51.6	0 0.0	5 4.0	19 15.3	6 4.8	6 4.8	0 0.0	0 0.0	10 8.1	7 5.7	7 5.7	124 100.0
	50歳代	88 59.5	0 0.0	14 9.5	12 8.1	3 2.0	8 5.4	0 0.0	0 0.0	4 2.7	7 4.7	12 8.1	148 100.0
	60歳代	65 51.2	0 0.0	9 7.1	21 16.5	0 0.0	9 7.1	0 0.0	0 0.0	8 6.3	3 2.4	12 9.4	127 100.0
	70歳以上	78 55.3	2 1.4	12 8.5	15 10.6	0 0.0	9 6.4	0 0.0	0 0.0	6 4.3	3 2.1	16 11.4	141 100.0
性 別	男性	133 60.5	1 0.5	25 11.4	22 10.0	1 0.5	9 4.1	0 0.0	0 0.0	10 4.5	5 2.2	14 6.3	220 100.0
	女性	256 54.5	1 0.2	29 6.2	56 11.9	14 3.0	28 6.0	0 0.0	0 0.0	30 6.4	18 3.8	38 8.0	470 100.0
家 族 人 数	1人	85 62.0	2 1.5	5 3.6	8 5.8	3 2.2	3 2.2	0 0.0	0 0.0	14 10.2	3 2.2	14 10.3	137 100.0
	2人	131 59.8	0 0.0	15 6.8	22 10.0	2 0.9	17 7.8	0 0.0	0 0.0	8 3.7	6 2.7	18 8.3	219 100.0
	3人	94 54.7	0 0.0	18 10.5	19 11.0	6 3.5	8 4.7	0 0.0	0 0.0	11 6.4	6 3.4	10 5.8	172 100.0
	4人	65 48.5	0 0.0	14 10.4	22 16.4	3 2.2	8 6.0	0 0.0	0 0.0	7 5.2	8 6.0	7 5.3	134 100.0
	5人以上	16 50.0	0 0.0	2 6.3	7 21.9	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	4 12.5	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	113 49.6	0 0.0	19 8.3	46 20.2	1 0.4	10 4.4	0 0.0	0 0.0	15 6.6	5 2.2	19 8.3	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	24 66.7	0 0.0	3 8.3	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 13.8	0 0.0	2 5.6	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	253 59.1	2 0.5	32 7.5	30 7.0	14 3.3	27 6.3	0 0.0	0 0.0	20 4.7	18 4.2	32 7.4	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	18 56.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 18.7	3 9.4	3 9.4	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	74 67.9	0 0.0	10 9.1	3 2.8	4 3.7	5 4.6	0 0.0	0 0.0	5 4.6	2 1.8	6 5.5	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	53 63.1	0 0.0	10 11.9	8 9.5	1 1.2	3 3.6	0 0.0	0 0.0	2 2.4	3 3.6	4 4.7	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	75 54.0	1 0.7	7 5.0	19 13.7	5 3.6	8 5.8	0 0.0	0 0.0	7 5.0	9 6.5	8 5.7	139 100.0
	20年以上	171 52.0	1 0.3	26 7.9	47 14.3	5 1.5	21 6.4	0 0.0	0 0.0	20 6.1	6 1.8	32 9.7	329 100.0

### ⑧ 生きびん

生きびんの処分方法については、「区の資源回収に出す」が61.0%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が12.7%、「不用物として出していない」が7.9%、「販売店の店頭回収に持っていく」が4.5%、「集団回収に出す」が4.3%、「区の拠点回収に持っていく」が0.7%である。7割以上の人は何らかの方法で資源回収に出しているが、12.7%の人は資源回収に出さずに「区の陶器・ガラス・金属ごみ」として出していることがわかる。一升びん、ビールびんなどは販売店に持ち込むようになっているが、「販売店の店頭回収に持っていく」は4.5%であった。

図2-22 生きびんの処分方法

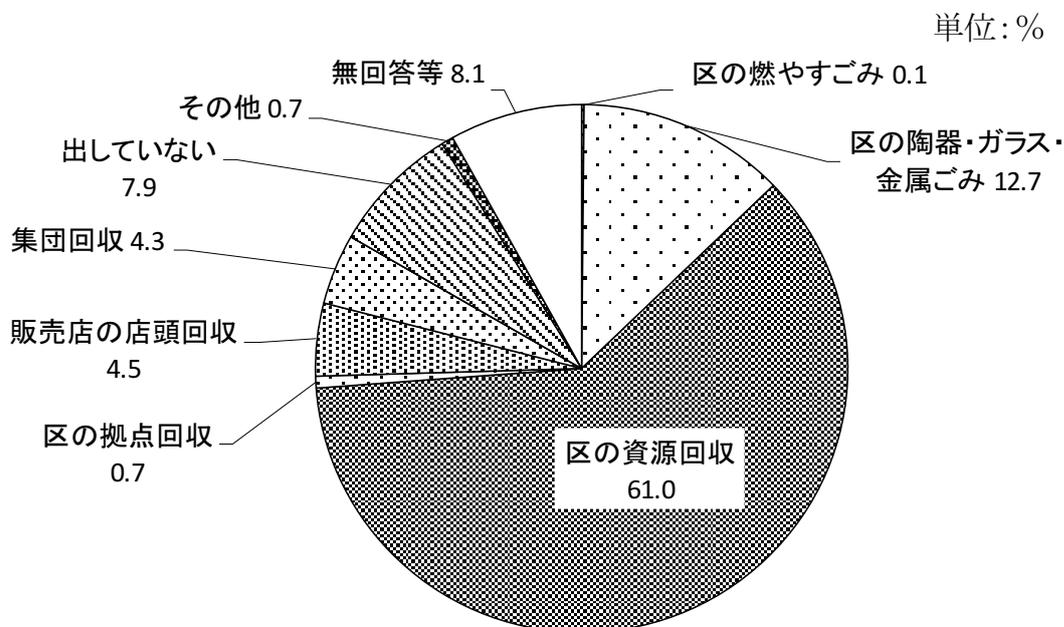


表2-17 生きびんの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		1 0.1	88 12.7	424 61.0	5 0.7	31 4.5	30 4.3	0 0.0	0 0.0	55 7.9	5 0.7	56 8.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	12 25.5	23 48.9	2 4.3	3 6.4	2 4.3	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	2 4.2	47 100.0
	30歳代	1 0.9	9 8.5	68 64.2	1 0.9	6 5.7	3 2.8	0 0.0	0 0.0	14 13.2	0 0.0	4 3.8	106 100.0
	40歳代	0 0.0	10 8.1	73 58.9	0 0.0	6 4.8	7 5.6	0 0.0	0 0.0	15 12.1	0 0.0	13 10.5	124 100.0
	50歳代	0 0.0	22 14.9	85 57.4	1 0.7	5 3.4	5 3.4	0 0.0	0 0.0	15 10.1	1 0.7	14 9.4	148 100.0
	60歳代	0 0.0	12 9.4	88 69.3	0 0.0	9 7.1	4 3.1	0 0.0	0 0.0	7 5.5	0 0.0	7 5.6	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	22 15.6	86 61.0	1 0.7	2 1.4	9 6.4	0 0.0	0 0.0	2 1.4	3 2.1	16 11.4	141 100.0
性 別	男性	1 0.5	34 15.5	138 62.7	1 0.5	8 3.6	7 3.2	0 0.0	0 0.0	18 8.1	1 0.5	12 5.4	220 100.0
	女性	0 0.0	54 11.5	284 60.4	4 0.9	22 4.6	23 4.9	0 0.0	0 0.0	36 7.7	4 0.9	43 9.1	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	25 18.2	72 52.6	0 0.0	3 2.2	6 4.4	0 0.0	0 0.0	17 12.4	1 0.7	13 9.5	137 100.0
	2人	0 0.0	25 11.4	140 63.9	2 0.9	10 4.6	12 5.5	0 0.0	0 0.0	13 5.9	1 0.5	16 7.3	219 100.0
	3人	1 0.6	19 11.0	107 62.2	2 1.2	7 4.1	5 2.9	0 0.0	0 0.0	13 7.5	2 1.2	16 9.3	172 100.0
	4人	0 0.0	15 11.2	85 63.4	0 0.0	8 6.0	6 4.5	0 0.0	0 0.0	10 7.5	0 0.0	10 7.4	134 100.0
	5人以上	0 0.0	4 12.5	19 59.4	1 3.1	3 9.4	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	1 3.1	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	0 0.0	20 8.8	156 68.4	2 0.9	14 6.1	3 1.3	0 0.0	0 0.0	12 5.3	2 0.9	19 8.3	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	0 0.0	5 13.8	25 69.4	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	2 5.6	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	1 0.2	63 14.7	241 56.3	3 0.7	15 3.5	27 6.3	0 0.0	0 0.0	40 9.4	3 0.7	35 8.2	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	3 9.3	23 71.9	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	1 0.9	14 12.8	53 48.6	3 2.8	5 4.6	5 4.6	0 0.0	0 0.0	19 17.4	0 0.0	9 8.3	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	9 10.7	54 64.3	0 0.0	3 3.6	3 3.6	0 0.0	0 0.0	8 9.5	2 2.4	5 5.9	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	0 0.0	25 18.0	76 54.7	1 0.7	7 5.0	6 4.3	0 0.0	0 0.0	12 8.6	1 0.7	11 8.0	139 100.0
	20年以上	0 0.0	37 11.2	217 66.0	0 0.0	16 4.9	15 4.6	0 0.0	0 0.0	13 3.9	2 0.6	29 8.8	329 100.0

### ⑨ 雑びん(生きびん以外のびん)

雑びん(生きびん以外のびん)の処分方法については、「区の資源回収に出す」が58.4%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が27.9%、「集団回収に出す」が5.0%、「不用物として出していない」が1.6%、「区の拠点回収に持っていく」が0.7%、「区の燃やすごみに出す」が0.6%、「販売店の店頭回収」が0.3%である。6割近くの人が「区の資源回収に出す」としている一方、3割近くの人「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」と回答している。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数人いた。

図2-23 雑びん(生きびん以外のびん)の処分方法

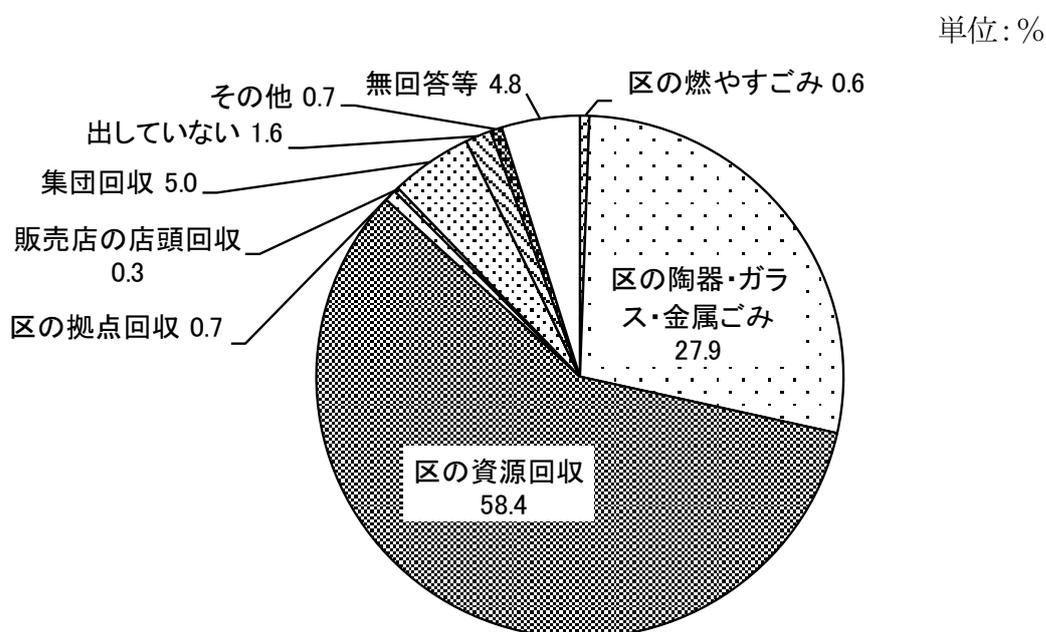


表2-18 雑びん(生きびん以外のびん)の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		4 0.6	194 27.9	406 58.4	5 0.7	2 0.3	35 5.0	0 0.0	0 0.0	11 1.6	5 0.7	33 4.8	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	17 36.2	21 44.7	2 4.3	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	3 6.3	1 2.1	2 4.3	47 100.0
	30歳代	1 0.9	19 17.9	75 70.8	1 0.9	1 0.9	3 2.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.9	3 2.9	106 100.0
	40歳代	1 0.8	30 24.2	76 61.3	0 0.0	0 0.0	8 6.5	0 0.0	0 0.0	3 2.4	0 0.0	6 4.8	124 100.0
	50歳代	0 0.0	45 30.4	89 60.1	1 0.7	0 0.0	6 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 4.7	148 100.0
	60歳代	2 1.6	35 27.6	79 62.2	0 0.0	1 0.8	6 4.7	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	3 2.3	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	47 33.3	65 46.1	1 0.7	0 0.0	11 7.8	0 0.0	0 0.0	2 1.4	3 2.1	12 8.6	141 100.0
性 別	男性	2 0.9	63 28.6	127 57.7	1 0.5	1 0.5	7 3.2	0 0.0	0 0.0	7 3.2	2 0.9	10 4.5	220 100.0
	女性	2 0.4	131 27.9	277 58.9	4 0.9	1 0.2	27 5.8	0 0.0	0 0.0	3 0.6	3 0.6	22 4.7	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	44 32.1	69 50.4	0 0.0	1 0.7	6 4.4	0 0.0	0 0.0	8 5.8	2 1.5	7 5.1	137 100.0
	2人	1 0.5	58 26.5	125 57.0	2 0.9	1 0.5	15 6.8	0 0.0	0 0.0	1 0.5	1 0.5	15 6.8	219 100.0
	3人	2 1.2	43 25.0	108 62.8	2 1.2	0 0.0	6 3.4	0 0.0	0 0.0	2 1.2	2 1.2	7 4.0	172 100.0
	4人	1 0.7	40 29.9	83 61.9	0 0.0	0 0.0	7 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.3	134 100.0
	5人以上	0 0.0	9 28.2	20 62.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	1 0.4	71 31.1	139 61.0	2 0.9	0 0.0	4 1.8	0 0.0	0 0.0	3 1.3	1 0.4	7 3.1	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	0 0.0	12 33.3	19 52.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	1 2.8	2 5.5	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	3 0.7	111 25.9	246 57.5	3 0.7	1 0.2	31 7.3	0 0.0	0 0.0	6 1.4	3 0.7	24 5.6	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	5 15.6	20 62.5	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	25 22.9	67 61.5	3 2.8	1 0.9	5 4.6	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	22 26.2	54 64.3	0 0.0	1 1.2	3 3.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	2 2.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	0 0.0	42 30.2	77 55.4	1 0.7	0 0.0	8 5.8	0 0.0	0 0.0	2 1.4	1 0.7	8 5.8	139 100.0
	20年以上	2 0.6	100 30.4	187 56.8	0 0.0	0 0.0	19 5.8	0 0.0	0 0.0	4 1.2	1 0.3	16 4.9	329 100.0

## ⑩ アルミ缶

アルミ缶の処分方法については、「区の資源回収に出す」が81.2%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が7.1%、「集団回収に出す」が6.3%、「区の拠点回収に持っていく」が1.2%、「不用物として出していない」が0.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が0.4%である。「区の資源回収に出す」と回答した人だけで8割以上を占めており、他の資源回収を含めると9割近い。一方で7.1%の人が「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。

図2-24 アルミ缶の処分方法

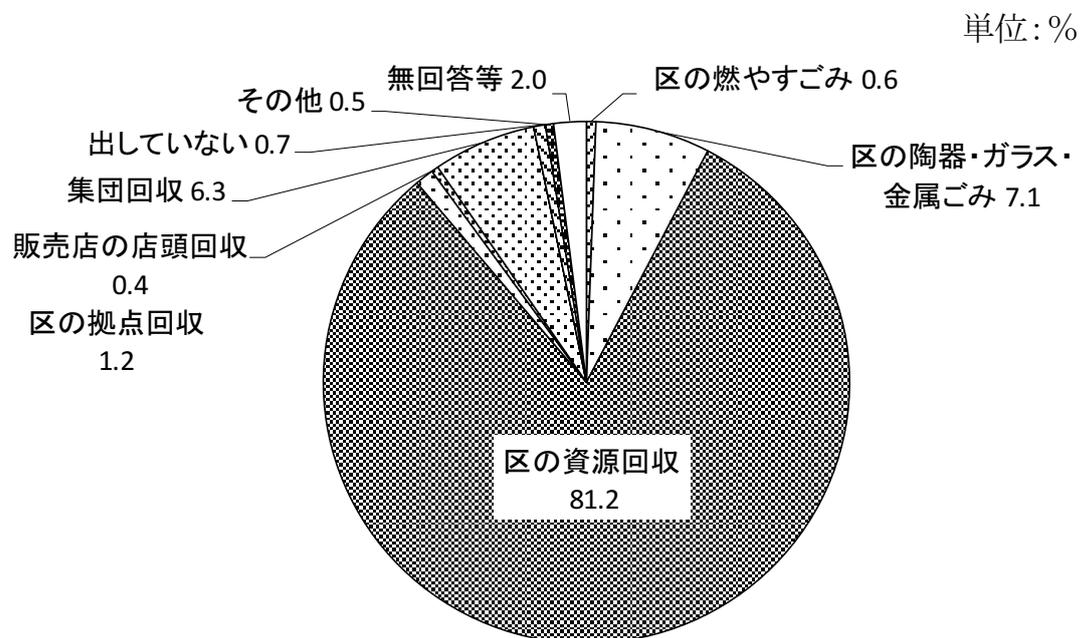


表2-19 アルミ缶の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		4 0.6	49 7.1	564 81.2	8 1.2	3 0.4	44 6.3	0 0.0	0 0.0	5 0.7	4 0.5	14 2.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	9 19.1	30 63.9	2 4.3	0 0.0	3 6.4	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	1 0.9	6 5.7	87 82.1	2 1.9	1 0.9	3 2.8	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.9	3 2.9	106 100.0
	40歳代	0 0.0	8 6.5	103 83.1	0 0.0	0 0.0	9 7.2	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	2 1.6	124 100.0
	50歳代	1 0.7	12 8.1	124 83.8	1 0.7	0 0.0	7 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.0	148 100.0
	60歳代	1 0.8	4 3.1	111 87.4	1 0.8	2 1.6	6 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	1 0.7	9 6.4	108 76.6	2 1.4	0 0.0	16 11.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	3 2.2	141 100.0
性 別	男性	2 0.9	18 8.2	178 80.9	2 0.9	2 0.9	11 5.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	2 0.9	3 1.4	220 100.0
	女性	2 0.4	31 6.6	383 81.5	6 1.3	1 0.2	31 6.6	0 0.0	0 0.0	3 0.6	2 0.4	11 2.4	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	20 14.6	96 70.1	0 0.0	2 1.5	9 6.6	0 0.0	0 0.0	3 2.1	2 1.5	5 3.6	137 100.0
	2人	0 0.0	12 5.5	181 82.6	2 0.9	1 0.5	18 8.2	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	4 1.8	219 100.0
	3人	2 1.2	7 4.1	146 84.9	4 2.3	0 0.0	8 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	172 100.0
	4人	2 1.5	8 6.0	114 85.1	1 0.7	0 0.0	8 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	134 100.0
	5人以上	0 0.0	2 6.3	26 81.3	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	0 0.0	10 4.4	199 87.3	4 1.8	1 0.4	8 3.5	0 0.0	0 0.0	3 1.3	0 0.0	3 1.3	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	0 0.0	3 8.3	31 86.1	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	4 0.9	36 8.4	331 77.4	4 0.9	1 0.2	36 8.4	0 0.0	0 0.0	2 0.5	3 0.7	11 2.6	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	2 6.3	24 75.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	1 3.1	1 3.1	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	1 0.9	11 10.1	83 76.1	3 2.8	0 0.0	6 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	3 3.6	72 85.7	0 0.0	2 2.4	5 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.3	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	18 12.9	101 72.7	1 0.7	1 0.7	9 6.5	0 0.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	3 2.2	139 100.0
	20年以上	1 0.3	15 4.6	282 85.7	3 0.9	0 0.0	23 7.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.5	329 100.0

## ⑩ スチール缶

スチール缶の処分方法については、「区の資源回収に出す」が77.7%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が9.6%、「集団回収に出す」が5.5%、「不用物として出していない」が1.3%、「区の拠点回収に持っていく」が1.2%、「販売店の店頭回収に持っていく」が0.4%である。「区の資源回収に出す」と回答した人だけで8割近くを占めているが、一方で9.6%の人が「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。

図2-25 スチール缶の処分方法

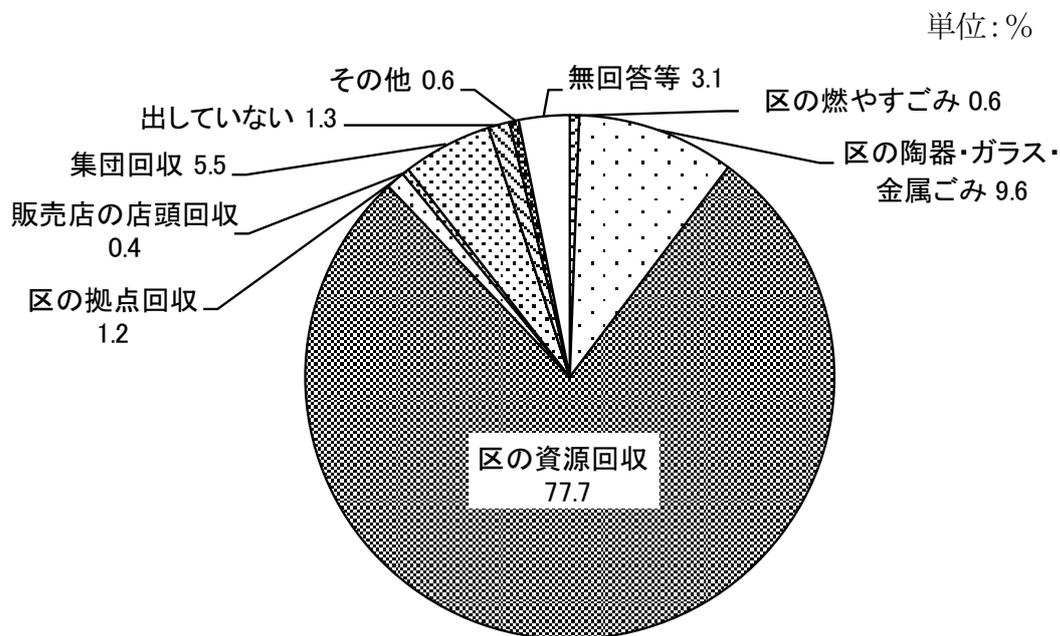


表2-20 スチール缶の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		4 0.6	67 9.6	540 77.7	8 1.2	3 0.4	38 5.5	0 0.0	0 0.0	9 1.3	4 0.6	22 3.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	9 19.1	30 63.8	2 4.3	0 0.0	2 4.3	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	1 0.9	7 6.6	86 81.1	2 1.9	1 0.9	3 2.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	1 0.9	3 2.9	106 100.0
	40歳代	0 0.0	11 8.9	98 79.0	0 0.0	0 0.0	9 7.3	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	4 3.2	124 100.0
	50歳代	1 0.7	13 8.8	120 81.1	1 0.7	0 0.0	7 4.7	0 0.0	0 0.0	2 1.3	0 0.0	4 2.7	148 100.0
	60歳代	1 0.8	10 7.9	106 83.4	1 0.8	2 1.6	5 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	1 0.7	16 11.4	99 70.2	2 1.4	0 0.0	12 8.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	2 1.4	8 5.7	141 100.0
性 別	男性	2 0.9	21 9.5	176 80.0	2 0.9	2 0.9	7 3.2	0 0.0	0 0.0	5 2.3	2 0.9	3 1.4	220 100.0
	女性	2 0.4	45 9.6	361 76.8	6 1.3	1 0.2	30 6.4	0 0.0	0 0.0	4 0.9	2 0.4	19 4.0	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	20 14.6	92 67.2	0 0.0	2 1.5	7 5.1	0 0.0	0 0.0	5 3.6	2 1.5	9 6.5	137 100.0
	2人	0 0.0	21 9.6	170 77.6	2 0.9	1 0.5	16 7.3	0 0.0	0 0.0	3 1.4	0 0.0	6 2.7	219 100.0
	3人	2 1.2	14 8.1	140 81.4	4 2.3	0 0.0	7 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	172 100.0
	4人	2 1.5	9 6.7	112 83.6	1 0.7	0 0.0	7 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.3	134 100.0
	5人以上	0 0.0	3 9.4	25 78.2	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	0 0.0	18 7.9	190 83.3	4 1.8	1 0.4	4 1.8	0 0.0	0 0.0	5 2.2	0 0.0	6 2.6	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	0 0.0	4 11.1	28 77.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	2 5.5	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	4 0.9	45 10.5	319 74.6	4 0.9	1 0.2	34 8.0	0 0.0	0 0.0	4 0.9	3 0.7	14 3.3	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	2 6.3	23 71.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.3	1 3.1	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	1 0.9	12 11.0	81 74.3	3 2.8	0 0.0	6 5.5	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	7 8.3	68 81.0	0 0.0	2 2.4	4 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	1 1.1	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	21 15.1	97 69.8	1 0.7	1 0.7	8 5.8	0 0.0	0 0.0	4 2.9	1 0.7	4 2.9	139 100.0
	20年以上	1 0.3	25 7.6	269 81.8	3 0.9	0 0.0	20 6.1	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	10 3.0	329 100.0

## ⑫ ペットボトル

ペットボトルの処分方法については、「区の資源回収に出す」が80.3%、「集団回収に出す」が6.0%、「販売店の店頭回収に持っていく」が4.4%、「区の燃やすごみに出す」が1.9%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が1.6%、「区の拠点回収に持っていく」が1.2%である。「区の資源回収に出す」など9割以上の人は何らかの方法で資源回収に出しているが、「区の燃やすごみに出す」と「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」など一部の人は資源回収に出していない。

図2-26 ペットボトルの処分方法

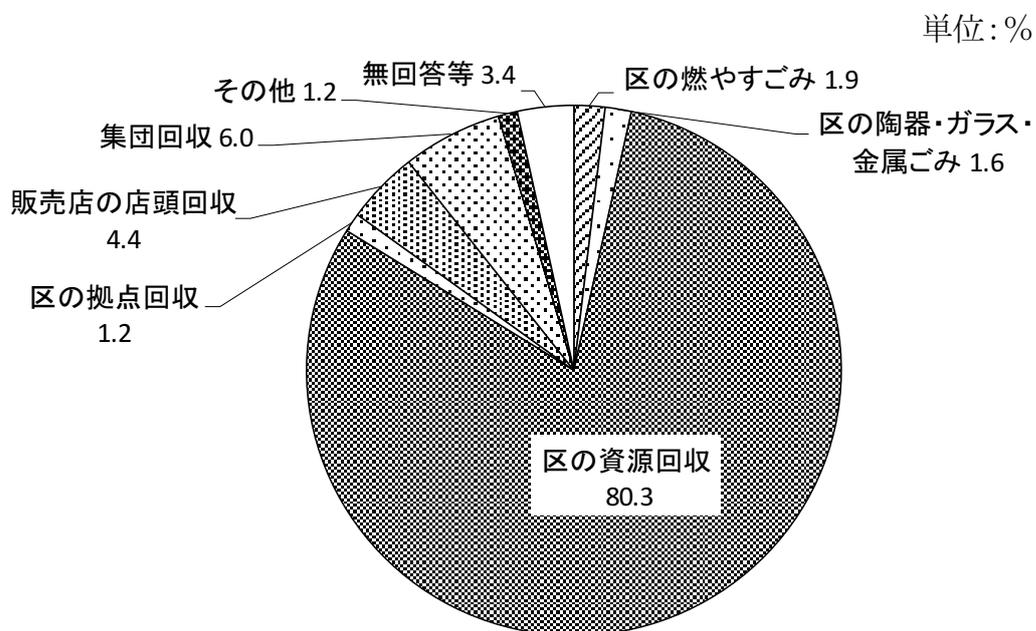


表2-21 ペットボトルの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		13 1.9	11 1.6	558 80.3	8 1.2	31 4.4	42 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 1.2	24 3.4	695 100.0
年 齢	30歳未満	1 2.1	0 0.0	38 80.9	2 4.3	1 2.1	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	2 1.9	0 0.0	89 84.0	1 0.9	5 4.7	4 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4 3.8	106 100.0
	40歳代	2 1.6	3 2.4	97 78.2	1 0.8	7 5.6	8 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	5 4.1	124 100.0
	50歳代	2 1.4	3 2.0	123 83.1	1 0.7	3 2.0	9 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	6 4.0	148 100.0
	60歳代	4 3.1	2 1.6	98 77.2	1 0.8	12 9.4	6 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	2 1.4	3 2.1	111 78.8	2 1.4	3 2.1	12 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	6 4.3	141 100.0
性 別	男性	9 4.1	5 2.3	179 81.3	2 0.9	9 4.1	9 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	4 1.8	220 100.0
	女性	4 0.9	6 1.3	374 79.5	6 1.3	22 4.7	33 7.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.1	20 4.2	470 100.0
家 族 人 数	1人	5 3.6	2 1.5	105 76.6	0 0.0	8 5.8	9 6.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.5	6 4.4	137 100.0
	2人	4 1.8	5 2.3	174 79.5	2 0.9	8 3.7	16 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	7 3.1	219 100.0
	3人	3 1.7	2 1.2	143 83.1	3 1.7	7 4.1	7 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.7	4 2.4	172 100.0
	4人	1 0.7	2 1.5	109 81.4	2 1.5	7 5.2	9 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.0	134 100.0
	5人以上	0 0.0	0 0.0	26 81.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	3 1.3	4 1.8	184 80.7	4 1.8	18 7.9	7 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 3.5	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	3 8.3	0 0.0	31 86.1	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	7 1.6	7 1.6	340 79.5	4 0.9	12 2.8	35 8.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 1.6	16 3.8	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	1 3.1	0 0.0	26 81.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.2	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	1 0.9	1 0.9	91 83.5	4 3.7	1 0.9	6 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	1 1.2	1 1.2	70 83.3	0 0.0	5 6.0	4 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.3	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	6 4.3	5 3.6	99 71.2	1 0.7	11 7.9	8 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.9	5 3.6	139 100.0
	20年以上	4 1.2	4 1.2	270 82.1	2 0.6	13 4.0	23 7.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	12 3.6	329 100.0

### ⑬ 食品用トレイ

食品用トレイの処分方法については、「区の資源回収に出す」が46.9%、「区の燃やすごみに出す」が32.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が7.3%、「集団回収に出す」が4.3%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が1.0%、「不用物として出していない」が0.9%、「区の拠点回収に持っていく」が0.6%である。3割以上の人が「区の燃やすごみに出す」と回答しており、資源として回収されていない。

図2-27 食品用トレイの処分方法

単位：%

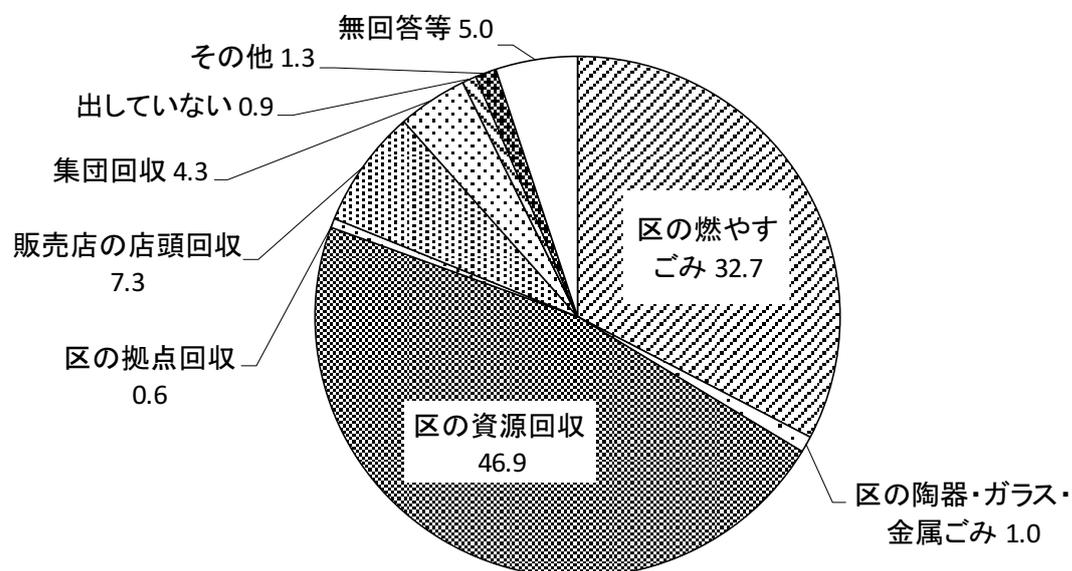


表2-22 食品用トレイの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		227 32.7	7 1.0	326 46.9	4 0.6	51 7.3	30 4.3	0 0.0	0 0.0	6 0.9	9 1.3	35 5.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	20 42.5	0 0.0	19 40.4	0 0.0	2 4.3	2 4.3	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	1 2.1	47 100.0
	30歳代	56 52.8	0 0.0	34 32.1	0 0.0	8 7.6	2 1.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9	4 3.8	106 100.0
	40歳代	40 32.3	0 0.0	58 46.8	1 0.8	12 9.7	6 4.8	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	6 4.8	124 100.0
	50歳代	46 31.1	0 0.0	77 52.0	1 0.6	10 6.8	5 3.4	0 0.0	0 0.0	1 0.6	2 1.4	6 4.1	148 100.0
	60歳代	35 27.6	0 0.0	60 47.2	0 0.0	17 13.4	5 3.9	0 0.0	0 0.0	1 0.8	2 1.6	7 5.5	127 100.0
	70歳以上	30 21.3	6 4.3	77 54.6	2 1.4	2 1.4	10 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.1	11 7.8	141 100.0
性 別	男性	89 40.5	4 1.8	96 43.6	0 0.0	12 5.5	6 2.7	0 0.0	0 0.0	4 1.8	2 0.9	7 3.2	220 100.0
	女性	137 29.1	3 0.6	228 48.5	4 0.9	39 8.3	24 5.1	0 0.0	0 0.0	2 0.4	7 1.5	26 5.6	470 100.0
家 族 人 数	1人	55 40.1	1 0.7	49 35.8	0 0.0	14 10.2	6 4.4	0 0.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	8 5.9	137 100.0
	2人	75 34.2	5 2.3	106 48.4	0 0.0	10 4.6	11 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	9 4.1	219 100.0
	3人	50 29.1	0 0.0	87 50.6	2 1.2	13 7.6	5 2.9	0 0.0	0 0.0	3 1.7	4 2.3	8 4.6	172 100.0
	4人	44 32.9	1 0.7	64 47.8	1 0.7	11 8.2	7 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 4.5	134 100.0
	5人以上	3 9.4	0 0.0	19 59.4	1 3.1	3 9.4	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	4 12.5	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	45 19.7	3 1.3	133 58.4	2 0.9	21 9.2	6 2.6	0 0.0	0 0.0	2 0.9	3 1.3	13 5.7	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	16 44.4	0 0.0	14 38.9	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	166 38.8	4 0.9	177 41.4	1 0.2	27 6.3	24 5.6	0 0.0	0 0.0	2 0.5	6 1.4	21 4.9	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	14 43.7	0 0.0	11 34.4	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	48 44.0	1 0.9	45 41.3	1 0.9	4 3.7	3 2.8	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	38 45.2	1 1.2	31 36.9	0 0.0	8 9.5	4 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	43 30.9	2 1.4	56 40.3	1 0.8	18 12.9	7 5.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	2 1.4	9 6.5	139 100.0
	20年以上	84 25.5	3 0.9	181 55.0	1 0.3	20 6.1	15 4.6	0 0.0	0 0.0	2 0.6	4 1.2	19 5.8	329 100.0

#### ⑭ 発泡スチロール

発泡スチロールの処分方法については、「区の資源回収に出す」が56.8%、「区の燃やすごみに出す」が29.2%、「集団回収に出す」が3.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が2.0%、「不用物として出していない」も2.0%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が0.9%、「区の拠点回収に持っていく」が0.4%である。発泡スチロールは資源であるが、3割近くの人が「区の燃やすごみに出す」と回答しており、資源として回収されていない。

図2-28 発泡スチロールの処分方法

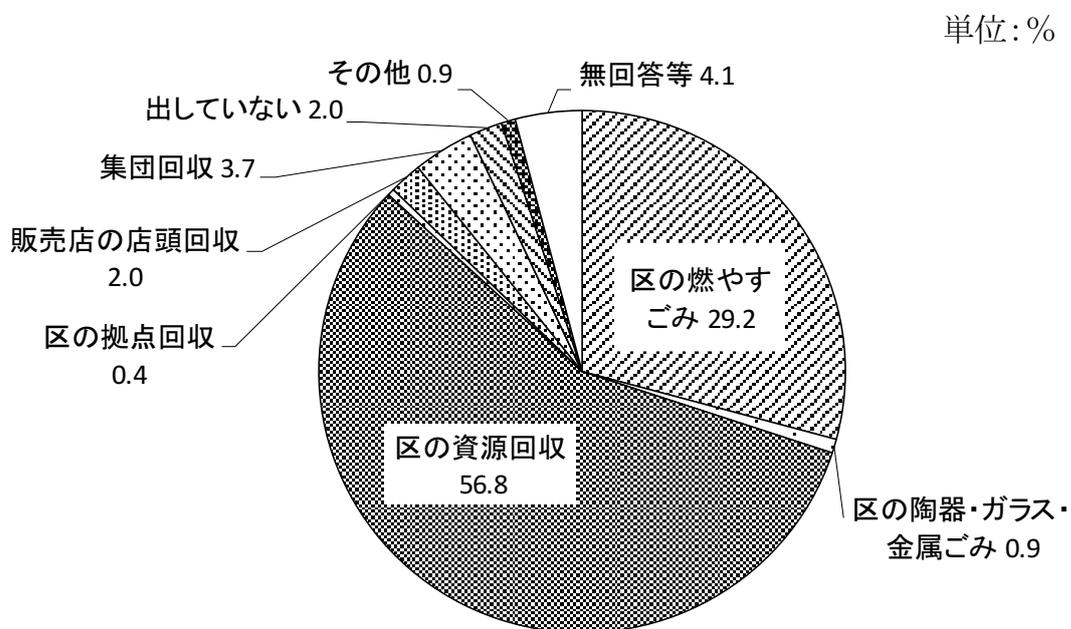


表2-23 発泡スチロールの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		203 29.2	6 0.9	395 56.8	3 0.4	14 2.0	26 3.7	0 0.0	0 0.0	14 2.0	6 0.9	28 4.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	17 36.1	0 0.0	22 46.8	1 2.1	0 0.0	2 4.3	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	2 4.3	47 100.0
	30歳代	45 42.5	0 0.0	48 45.3	0 0.0	2 1.9	2 1.9	0 0.0	0 0.0	4 3.7	2 1.9	3 2.8	106 100.0
	40歳代	35 28.2	2 1.6	73 58.9	0 0.0	0 0.0	6 4.9	0 0.0	0 0.0	4 3.2	0 0.0	4 3.2	124 100.0
	50歳代	39 26.4	0 0.0	95 64.2	1 0.7	2 1.3	3 2.0	0 0.0	0 0.0	2 1.3	0 0.0	6 4.1	148 100.0
	60歳代	36 28.3	1 0.8	76 59.8	0 0.0	6 4.7	3 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	4 3.2	127 100.0
	70歳以上	31 22.0	3 2.1	79 56.0	1 0.7	4 2.9	10 7.1	0 0.0	0 0.0	1 0.7	3 2.1	9 6.4	141 100.0
性 別	男性	81 36.8	2 0.9	119 54.1	0 0.0	2 0.9	5 2.3	0 0.0	0 0.0	6 2.7	1 0.5	4 1.8	220 100.0
	女性	120 25.5	4 0.9	275 58.5	3 0.6	12 2.6	20 4.2	0 0.0	0 0.0	7 1.5	5 1.1	24 5.1	470 100.0
家 族 人 数	1人	51 37.2	0 0.0	61 44.5	0 0.0	3 2.2	5 3.7	0 0.0	0 0.0	7 5.1	1 0.7	9 6.6	137 100.0
	2人	61 27.9	3 1.4	130 59.3	0 0.0	3 1.4	11 5.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	1 0.5	8 3.6	219 100.0
	3人	50 29.1	1 0.6	96 55.8	2 1.2	5 2.9	4 2.3	0 0.0	0 0.0	5 2.9	3 1.7	6 3.5	172 100.0
	4人	36 26.9	2 1.5	83 61.9	0 0.0	3 2.2	5 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	4 3.0	134 100.0
	5人以上	5 15.7	0 0.0	24 75.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	48 21.1	1 0.4	157 68.8	2 0.9	4 1.8	2 0.9	0 0.0	0 0.0	4 1.8	1 0.4	9 3.9	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	13 36.1	0 0.0	19 52.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	1 2.7	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	141 32.9	5 1.2	218 50.9	1 0.2	9 2.1	24 5.6	0 0.0	0 0.0	7 1.6	5 1.2	18 4.3	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	10 31.2	0 0.0	16 50.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	40 36.7	0 0.0	54 49.5	1 0.9	1 0.9	4 3.7	0 0.0	0 0.0	3 2.8	1 0.9	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	36 42.9	1 1.2	40 47.6	0 0.0	0 0.0	3 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.3	1 1.2	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	42 30.2	2 1.4	75 54.0	1 0.7	3 2.2	6 4.3	0 0.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	6 4.3	139 100.0
	20年以上	75 22.8	3 0.9	209 63.5	0 0.0	10 3.0	12 3.7	0 0.0	0 0.0	4 1.2	2 0.6	14 4.3	329 100.0

## ⑮ プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装の処分方法については、「区の資源回収に出す」が51.7%、「区の燃やすごみに出す」が35.2%、「集団回収に出す」が3.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が1.6%、「不用物として出していない」が0.6%、「区の拠点回収に持っていく」も0.6%である。半分以上の人は「区の資源回収に出す」と回答しているが、3割以上の人が「区の燃やすごみに出す」と回答している。

図2-29 プラスチック製容器包装の処分方法

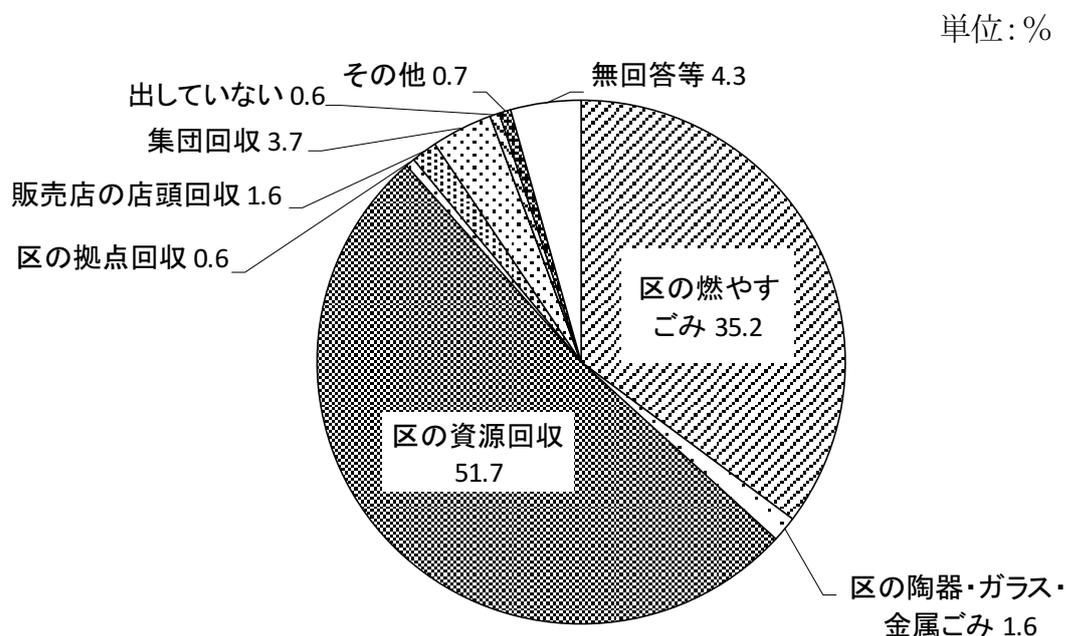


表2-24 プラスチック製容器包装の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		245 35.2	11 1.6	359 51.7	4 0.6	11 1.6	26 3.7	0 0.0	0 0.0	4 0.6	5 0.7	30 4.3	695 100.0
年 齢	30歳未満	22 46.8	0 0.0	17 36.1	2 4.3	0 0.0	2 4.3	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	2 4.3	47 100.0
	30歳代	54 51.0	1 0.9	43 40.6	0 0.0	1 0.9	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4 3.8	106 100.0
	40歳代	43 34.7	1 0.8	67 54.0	0 0.0	1 0.8	7 5.6	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	4 3.3	124 100.0
	50歳代	49 33.1	2 1.4	84 56.7	1 0.7	2 1.4	3 2.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	6 4.0	148 100.0
	60歳代	43 33.9	1 0.8	69 54.3	0 0.0	7 5.5	3 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	3 2.3	127 100.0
	70歳以上	34 24.1	6 4.3	77 54.6	1 0.7	0 0.0	9 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.1	11 7.8	141 100.0
性 別	男性	98 44.5	5 2.3	101 45.9	0 0.0	1 0.5	5 2.3	0 0.0	0 0.0	4 1.8	1 0.5	5 2.2	220 100.0
	女性	145 30.9	5 1.1	257 54.7	4 0.8	10 2.1	21 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.8	24 5.1	470 100.0
家 族 人 数	1人	58 42.3	2 1.5	56 40.9	0 0.0	4 2.9	5 3.6	0 0.0	0 0.0	2 1.5	1 0.7	9 6.6	137 100.0
	2人	80 36.5	4 1.8	112 51.1	1 0.5	2 0.9	11 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	8 3.7	219 100.0
	3人	57 33.1	2 1.2	92 53.5	2 1.2	4 2.3	3 1.7	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	7 4.1	172 100.0
	4人	46 34.3	3 2.2	74 55.2	0 0.0	1 0.7	5 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 3.8	134 100.0
	5人以上	4 12.5	0 0.0	24 75.0	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	59 25.9	3 1.3	149 65.4	2 0.9	2 0.9	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	10 4.4	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	17 47.2	0 0.0	14 38.9	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	167 39.0	8 1.9	195 45.6	2 0.5	6 1.4	25 5.8	0 0.0	0 0.0	2 0.5	4 0.9	19 4.4	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	13 40.6	0 0.0	14 43.8	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	47 43.1	1 0.9	48 44.0	2 1.8	1 0.9	4 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	5 4.7	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	39 46.4	1 1.2	38 45.2	0 0.0	1 1.2	3 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	48 34.5	4 2.9	66 47.5	1 0.7	4 2.9	6 4.3	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	8 5.8	139 100.0
	20年以上	97 29.5	5 1.5	192 58.4	0 0.0	5 1.5	12 3.6	0 0.0	0 0.0	2 0.6	1 0.3	15 4.6	329 100.0

## ⑩ 製品プラスチック

製品プラスチックの処分方法については、現時点では、区の燃やすごみに出すことになっているが、「区の燃やすごみに出す」が40.3%、「区の資源回収に出す」が45.9%、「集団回収に出す」が3.3%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が2.6%、「不用物として出していない」が1.3%、「販売店の店頭回収に持っていく」が0.7%、「区の拠点回収に持っていく」も0.7%である。4割の人が「区の燃やすごみに出す」と回答している一方で、4割以上の人が「区の資源回収に出す」と回答している。

図2-30 製品プラスチックの処分方法

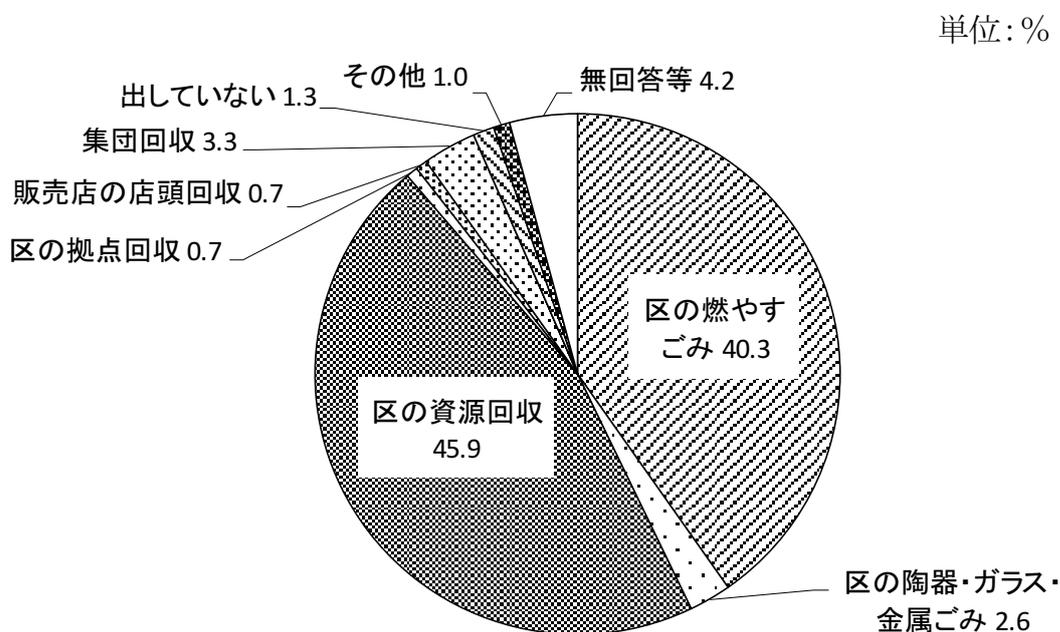


表2-25 製品プラスチックの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		280 40.3	18 2.6	319 45.9	5 0.7	5 0.7	23 3.3	0 0.0	0 0.0	9 1.3	7 1.0	29 4.2	695 100.0
年 齢	30歳未満	23 48.9	0 0.0	17 36.2	1 2.1	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	2 4.3	1 2.1	2 4.3	47 100.0
	30歳代	48 45.3	1 0.9	45 42.5	1 0.9	0 0.0	2 1.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	1 0.9	5 4.8	106 100.0
	40歳代	53 42.7	2 1.6	57 46.0	1 0.8	0 0.0	5 4.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	1 0.8	3 2.5	124 100.0
	50歳代	68 45.9	4 2.7	64 43.2	1 0.7	1 0.7	3 2.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	6 4.1	148 100.0
	60歳代	51 40.2	2 1.5	62 48.8	0 0.0	4 3.1	3 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8	3 2.4	127 100.0
	70歳以上	37 26.2	9 6.4	72 51.1	1 0.7	0 0.0	9 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.1	10 7.1	141 100.0
性 別	男性	107 48.6	7 3.1	90 40.9	1 0.5	0 0.0	4 1.8	0 0.0	0 0.0	5 2.3	1 0.5	5 2.3	220 100.0
	女性	171 36.4	10 2.1	228 48.5	4 0.9	5 1.1	19 4.0	0 0.0	0 0.0	3 0.6	6 1.3	24 5.1	470 100.0
家 族 人 数	1人	62 45.3	4 2.9	50 36.5	0 0.0	0 0.0	4 2.9	0 0.0	0 0.0	6 4.4	1 0.7	10 7.3	137 100.0
	2人	94 42.9	5 2.3	100 45.6	1 0.5	1 0.5	9 4.1	0 0.0	0 0.0	1 0.5	2 0.9	6 2.7	219 100.0
	3人	65 37.8	4 2.3	84 48.9	2 1.2	4 2.3	3 1.7	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	5 2.9	172 100.0
	4人	53 39.6	5 3.7	63 47.1	1 0.7	0 0.0	5 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	6 4.5	134 100.0
	5人以上	6 18.7	0 0.0	21 65.6	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	78 34.2	5 2.2	128 56.1	3 1.3	1 0.4	1 0.4	0 0.0	0 0.0	2 0.9	2 0.9	8 3.6	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	17 47.2	2 5.6	14 38.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	184 43.0	11 2.6	176 41.1	2 0.5	3 0.7	22 5.1	0 0.0	0 0.0	5 1.2	5 1.2	20 4.6	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	15 46.8	0 0.0	12 37.5	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	50 45.9	2 1.8	42 38.5	1 0.9	0 0.0	4 3.7	0 0.0	0 0.0	2 1.8	2 1.8	6 5.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	41 48.8	1 1.2	35 41.7	1 1.2	0 0.0	3 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.3	0 0.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	60 43.2	4 2.9	59 42.4	1 0.7	1 0.7	5 3.6	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	7 5.1	139 100.0
	20年以上	114 34.7	11 3.3	170 51.7	1 0.3	4 1.2	11 3.3	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.6	14 4.3	329 100.0

## ⑰ 不用園芸土

不用園芸土の処分方法については、「不用物として出していない」が 39.1%、「庭に埋めたり、堆肥にする」が 15.0%、「区の燃やすごみに出す」が 12.1%、「区の拠点回収に持って行く」が 7.8%、「区の資源回収に出す」が 2.9%、「集団回収に出す」が 2.4%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が 1.0%である。4割近くの人が「不用物として出していない」と回答していることから、不用園芸土を処分する機会が少ないことが予想される。処分する場合は「庭に埋めたり、堆肥にする」ことも多いことがわかる。

図2-31 不用園芸土の処分方法

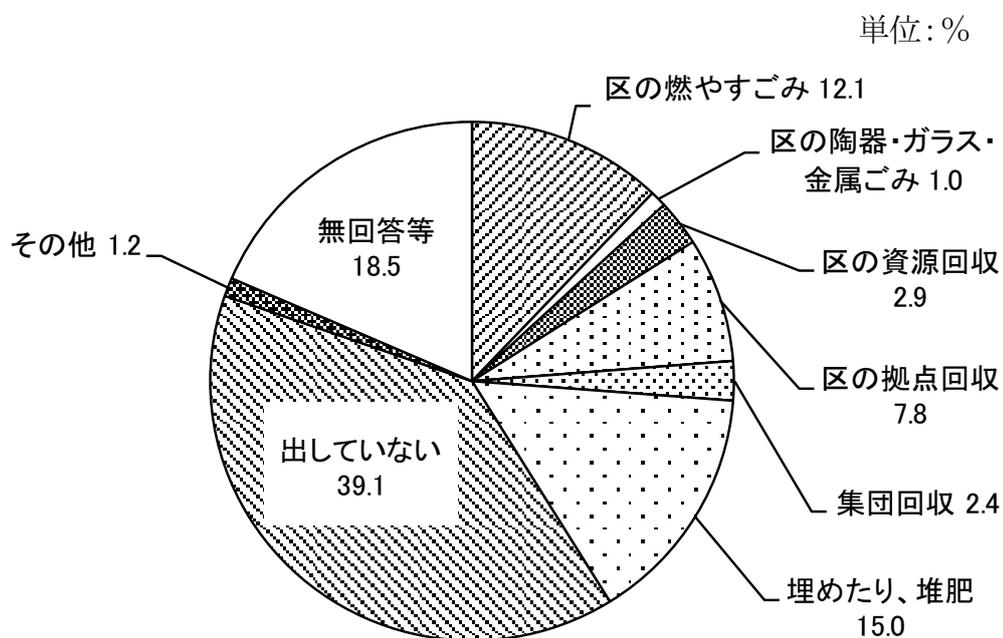


表2-26 不用園芸土の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		84 12.1	7 1.0	20 2.9	54 7.8	0 0.0	17 2.4	0 0.0	104 15.0	272 39.1	8 1.2	129 18.5	695 100.0
年 齢	30歳未満	9 19.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0	5 10.7	25 53.2	1 2.1	5 10.7	47 100.0
	30歳代	9 8.5	1 0.9	4 3.8	4 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 6.6	60 56.6	0 0.0	21 19.8	106 100.0
	40歳代	22 17.7	0 0.0	4 3.2	15 12.1	0 0.0	2 1.6	0 0.0	7 5.7	59 47.6	1 0.8	14 11.3	124 100.0
	50歳代	20 13.5	2 1.4	5 3.4	12 8.1	0 0.0	3 2.0	0 0.0	23 15.5	57 38.5	1 0.7	25 16.9	148 100.0
	60歳代	10 7.9	1 0.8	4 3.1	10 7.9	0 0.0	4 3.1	0 0.0	25 19.7	42 33.1	3 2.4	28 22.0	127 100.0
	70歳以上	14 9.9	2 1.4	2 1.4	13 9.2	0 0.0	7 5.0	0 0.0	36 25.5	29 20.6	2 1.4	36 25.6	141 100.0
性 別	男性	30 13.6	3 1.4	4 1.8	15 6.8	0 0.0	7 3.2	0 0.0	31 14.1	98 44.5	1 0.5	31 14.1	220 100.0
	女性	54 11.5	4 0.9	15 3.2	39 8.3	0 0.0	10 2.1	0 0.0	73 15.5	172 36.6	7 1.5	96 20.4	470 100.0
家 族 人 数	1人	13 9.5	2 1.5	3 2.2	4 2.8	0 0.0	1 0.7	0 0.0	11 8.0	69 50.4	2 1.5	32 23.4	137 100.0
	2人	23 10.5	1 0.5	10 4.6	14 6.4	0 0.0	7 3.2	0 0.0	34 15.5	79 36.1	2 0.9	49 22.3	219 100.0
	3人	23 13.4	1 0.6	3 1.7	15 8.7	0 0.0	3 1.7	0 0.0	27 15.7	69 40.2	3 1.7	28 16.3	172 100.0
	4人	20 14.9	2 1.5	3 2.2	17 12.7	0 0.0	6 4.5	0 0.0	26 19.4	43 32.1	1 0.7	16 12.0	134 100.0
	5人以上	5 15.6	1 3.1	0 0.0	4 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 18.8	12 37.5	0 0.0	4 12.5	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	22 9.6	2 0.9	2 0.9	33 14.5	0 0.0	5 2.2	0 0.0	64 28.1	73 32.0	1 0.4	26 11.4	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	3 8.3	1 2.8	2 5.6	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 13.9	10 27.8	0 0.0	14 38.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	59 13.8	4 0.9	15 3.5	20 4.7	0 0.0	12 2.8	0 0.0	35 8.2	188 43.9	7 1.6	88 20.6	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	4 12.5	0 0.0	3 9.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 59.4	0 0.0	6 18.7	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	14 12.8	3 2.8	3 2.8	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	4 3.7	65 59.6	0 0.0	18 16.5	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	10 11.9	0 0.0	2 2.4	7 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 8.3	36 42.9	2 2.4	20 23.8	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	24 17.3	1 0.7	3 2.2	17 12.2	0 0.0	4 2.9	0 0.0	18 12.9	53 38.1	3 2.2	16 11.5	139 100.0
	20年以上	32 9.7	3 0.9	8 2.4	29 8.8	0 0.0	12 3.7	0 0.0	75 22.8	98 29.8	3 0.9	69 21.0	329 100.0

## ⑩ 廃食用油

廃食用油の処分方法については、「区の燃やすごみに出す」が50.1%、「不用物として出していない」が23.6%、「区の拠点回収に持っていく」が5.9%、「区の資源回収に出す」が2.0%、「集団回収に出す」も2.0%、「庭に埋めたり、堆肥にする」が1.0%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が0.3%である。約半数は「区の燃やすごみに出す」と回答している。「不用物として出していない」と回答した人には、家庭で調理をしない人や、使い切ってしまう人などが想定される。廃食用油は拠点回収の対象であるが、「区の拠点回収に持っていく」は5.9%であった。なお、区では廃食用油は、紙や布に染み込ませるか、凝固剤で固めて燃やすごみに出す、または容器に入れて拠点回収に出すこととなっている。

図2-32 廃食用油の処分方法

単位：%

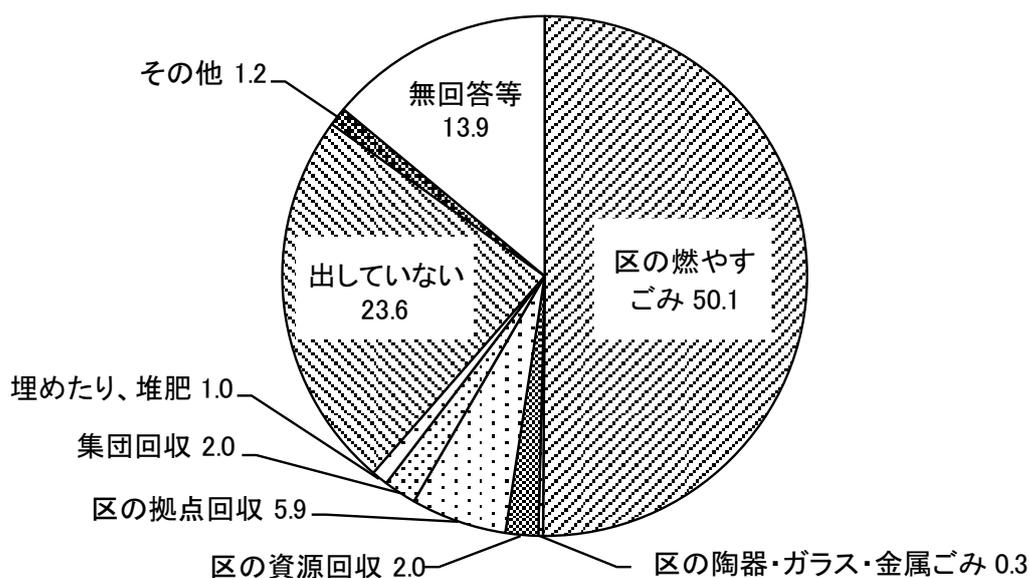


表2-27 廃食用油の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		348 50.1	2 0.3	14 2.0	41 5.9	0 0.0	14 2.0	0 0.0	7 1.0	164 23.6	8 1.2	97 13.9	695 100.0
年齢	30歳未満	22 46.8	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 36.2	2 4.3	5 10.6	47 100.0
	30歳代	49 46.2	0 0.0	2 1.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	42 39.7	0 0.0	11 10.4	106 100.0
	40歳代	61 49.2	0 0.0	1 0.8	9 7.3	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	40 32.3	1 0.8	11 8.8	124 100.0
	50歳代	88 59.4	1 0.7	3 2.0	7 4.7	0 0.0	2 1.4	0 0.0	2 1.4	25 16.9	0 0.0	20 13.5	148 100.0
	60歳代	62 48.8	0 0.0	4 3.1	8 6.3	0 0.0	3 2.4	0 0.0	2 1.6	25 19.7	2 1.6	21 16.5	127 100.0
	70歳以上	66 46.9	1 0.7	3 2.1	15 10.6	0 0.0	8 5.7	0 0.0	1 0.7	15 10.6	3 2.1	29 20.6	141 100.0
性別	男性	107 48.6	0 0.0	5 2.3	12 5.5	0 0.0	3 1.4	0 0.0	4 1.8	63 28.6	1 0.5	25 11.3	220 100.0
	女性	240 51.1	2 0.4	8 1.7	29 6.2	0 0.0	11 2.3	0 0.0	3 0.6	99 21.1	7 1.5	71 15.1	470 100.0
家族人数	1人	42 30.6	0 0.0	2 1.5	3 2.2	0 0.0	2 1.5	0 0.0	1 0.7	57 41.6	2 1.5	28 20.4	137 100.0
	2人	115 52.5	0 0.0	5 2.3	14 6.4	0 0.0	6 2.7	0 0.0	1 0.5	42 19.2	0 0.0	36 16.4	219 100.0
	3人	93 54.1	1 0.6	6 3.5	10 5.8	0 0.0	4 2.3	0 0.0	1 0.6	37 21.5	2 1.2	18 10.4	172 100.0
	4人	82 61.2	1 0.7	0 0.0	12 9.0	0 0.0	2 1.5	0 0.0	2 1.5	22 16.4	2 1.5	11 8.2	134 100.0
	5人以上	16 50.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	6 18.7	2 6.2	4 12.5	32 100.0
住居形態	一戸建て	123 53.9	1 0.4	5 2.2	25 11.0	0 0.0	2 0.9	0 0.0	5 2.2	41 18.0	4 1.8	22 9.6	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	16 44.4	0 0.0	1 2.8	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 22.2	0 0.0	10 27.8	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	208 48.6	1 0.2	7 1.6	15 3.5	0 0.0	12 2.8	0 0.0	2 0.5	114 26.7	4 0.9	65 15.2	428 100.0
居住年数	1年未満	12 37.5	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 40.6	0 0.0	5 15.6	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	57 52.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.8	0 0.0	1 0.9	34 31.2	2 1.8	13 12.0	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	40 47.6	0 0.0	1 1.2	3 3.6	0 0.0	1 1.2	0 0.0	1 1.2	23 27.4	2 2.4	13 15.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	70 50.4	0 0.0	2 1.4	8 5.8	0 0.0	3 2.2	0 0.0	1 0.7	36 25.9	1 0.7	18 12.9	139 100.0
	20年以上	169 51.4	2 0.6	8 2.4	30 9.1	0 0.0	8 2.4	0 0.0	4 1.2	57 17.4	3 0.9	48 14.6	329 100.0

## ⑱ 生ごみ

生ごみの処分方法については、「区の燃やすごみに出す」が89.6%であり、大多数を占める。「庭に埋めたり、肥料にする」と回答した人はいなかった。

図2-33 生ごみの処分方法

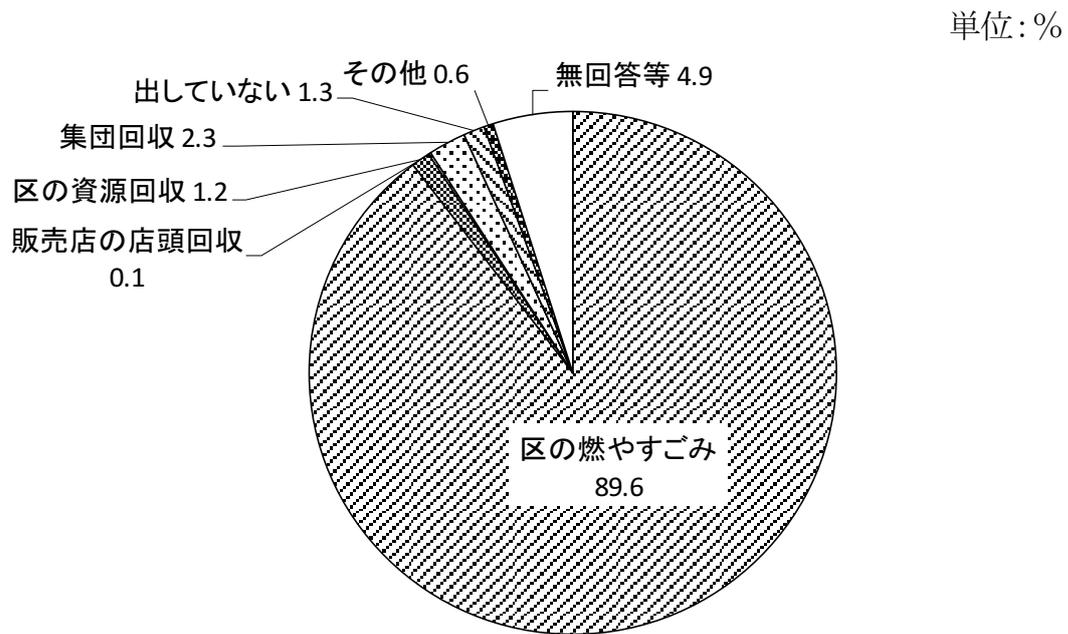


表2-28 生ごみの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		623 89.6	0 0.0	8 1.2	0 0.0	1 0.1	16 2.3	0 0.0	0 0.0	9 1.3	4 0.6	34 4.9	695 100.0
年 齢	30歳未満	42 89.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	3 6.4	47 100.0
	30歳代	98 92.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	5 4.7	106 100.0
	40歳代	110 88.7	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	4 3.2	0 0.0	0 0.0	2 1.6	1 0.8	6 4.9	124 100.0
	50歳代	134 90.5	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	2 1.4	0 0.0	9 6.0	148 100.0
	60歳代	119 93.7	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	2 1.5	127 100.0
	70歳以上	119 84.4	0 0.0	3 2.1	0 0.0	0 0.0	7 5.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	2 1.4	9 6.4	141 100.0
性 別	男性	199 90.4	0 0.0	2 0.9	0 0.0	1 0.5	4 1.8	0 0.0	0 0.0	5 2.3	1 0.5	8 3.6	220 100.0
	女性	420 89.4	0 0.0	5 1.1	0 0.0	0 0.0	12 2.6	0 0.0	0 0.0	4 0.8	3 0.6	26 5.5	470 100.0
家 族 人 数	1人	120 87.6	0 0.0	2 1.5	0 0.0	0 0.0	3 2.2	0 0.0	0 0.0	3 2.2	1 0.7	8 5.8	137 100.0
	2人	193 88.1	0 0.0	4 1.8	0 0.0	0 0.0	6 2.8	0 0.0	0 0.0	4 1.8	0 0.0	12 5.5	219 100.0
	3人	158 91.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	3 1.7	0 0.0	0 0.0	2 1.2	3 1.7	5 2.9	172 100.0
	4人	122 91.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	4 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 5.3	134 100.0
	5人以上	30 93.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.2	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	215 94.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	11 4.9	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	32 88.9	0 0.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	374 87.4	0 0.0	4 0.9	0 0.0	0 0.0	16 3.7	0 0.0	0 0.0	8 1.9	4 0.9	22 5.2	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	27 84.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	96 88.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.8	0 0.0	0 0.0	5 4.6	0 0.0	6 5.5	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	76 90.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0	0 0.0	2 2.4	2 2.4	2 2.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	124 89.2	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	3 2.2	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	8 5.8	139 100.0
	20年以上	299 90.9	0 0.0	5 1.5	0 0.0	1 0.3	8 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	14 4.3	329 100.0

## ㊫ 木・草類

木・草類の処分方法については、「区の燃やすごみに出す」が61.3%、「不用物として出していない」が21.2%である。集合住宅などでは「木・草類」を処分する機会は少ないことが予想される。処分する際には、一部は「庭に埋めたり、肥料にする」ものの、大部分は「区の燃やすごみに出す」と回答している。

図2-34 木・草類の処分方法

単位：%

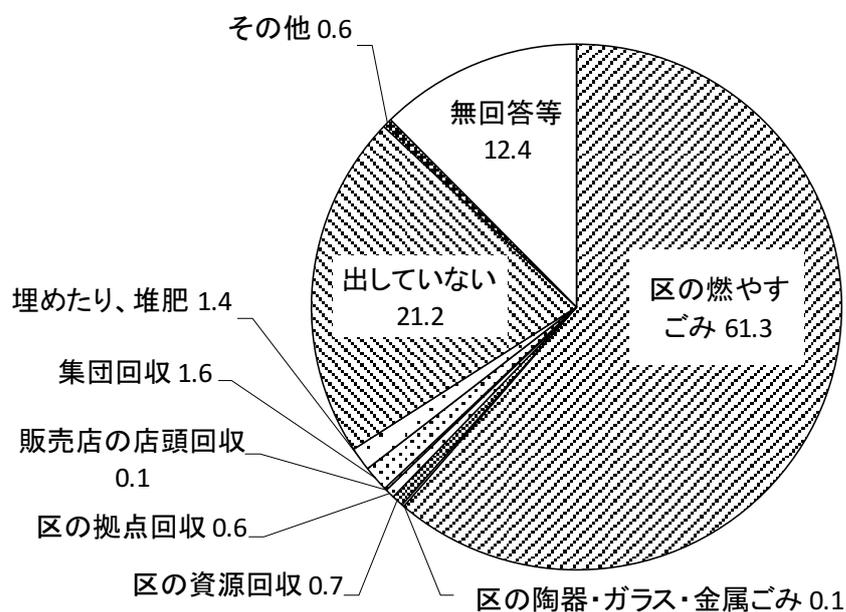


表2-29 木・草類の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		426 61.3	1 0.1	5 0.7	4 0.6	1 0.1	11 1.6	0 0.0	10 1.4	147 21.2	4 0.6	86 12.4	695 100.0
年 齢	30歳未満	27 57.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 36.2	1 2.1	2 4.3	47 100.0
	30歳代	51 48.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	41 38.7	0 0.0	12 11.3	106 100.0
	40歳代	70 56.5	0 0.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	36 29.0	1 0.8	13 10.5	124 100.0
	50歳代	93 62.8	0 0.0	1 0.7	1 0.7	1 0.7	3 2.0	0 0.0	1 0.7	31 20.9	0 0.0	17 11.5	148 100.0
	60歳代	89 70.1	1 0.8	0 0.0	2 1.6	0 0.0	2 1.6	0 0.0	3 2.4	16 12.5	0 0.0	14 11.0	127 100.0
	70歳以上	96 68.1	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	5 3.5	0 0.0	2 1.4	6 4.3	2 1.4	28 19.9	141 100.0
性 別	男性	125 56.8	0 0.0	1 0.5	3 1.4	1 0.5	4 1.8	0 0.0	4 1.8	62 28.1	1 0.5	19 8.6	220 100.0
	女性	299 63.6	1 0.2	3 0.6	1 0.2	0 0.0	7 1.5	0 0.0	6 1.3	83 17.7	3 0.6	67 14.3	470 100.0
家 族 人 数	1人	58 42.4	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0	2 1.5	50 36.5	1 0.7	23 16.8	137 100.0
	2人	131 59.8	0 0.0	3 1.4	1 0.5	0 0.0	5 2.3	0 0.0	2 0.9	43 19.6	0 0.0	34 15.5	219 100.0
	3人	111 64.5	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	3 1.7	0 0.0	1 0.6	37 21.5	3 1.7	15 8.8	172 100.0
	4人	102 76.1	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	2 1.5	0 0.0	5 3.7	12 9.0	0 0.0	11 8.3	134 100.0
	5人以上	24 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 15.6	0 0.0	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	196 86.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	0 0.0	5 2.2	11 4.8	0 0.0	14 6.2	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	19 52.8	1 2.8	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 22.2	0 0.0	7 19.4	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	210 49.1	0 0.0	3 0.7	3 0.7	0 0.0	11 2.6	0 0.0	5 1.2	127 29.7	4 0.9	65 15.1	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	15 46.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 43.8	0 0.0	3 9.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	42 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	2 1.9	48 44.0	1 0.9	14 12.8	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	45 53.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	1 1.2	21 25.0	2 2.4	14 16.6	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	89 64.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	2 1.5	0 0.0	1 0.7	32 23.0	1 0.7	13 9.4	139 100.0
	20年以上	235 71.4	1 0.3	3 0.9	4 1.2	1 0.3	6 1.8	0 0.0	6 1.8	31 9.5	0 0.0	42 12.8	329 100.0

## ㊸ 乾電池(単1から単5、角形9V)

乾電池(単1から単5、角形9V)の処分方法については、「区の資源回収に出す」が62.4%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が15.5%、「集団回収に出す」が6.0%、「販売店の店頭回収に持っていく」が4.0%、「区の拠点回収に持っていく」が3.2%、「不用物として出していない」も3.2%、「区の燃やすごみに出す」が0.9%である。6割以上が「区の資源回収に出す」と回答している。乾電池(単1から単5、角形9V)は資源として回収しているが15.5%の人は「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数いた。

図2-35 乾電池(単1から単5、角形9V)の処分方法

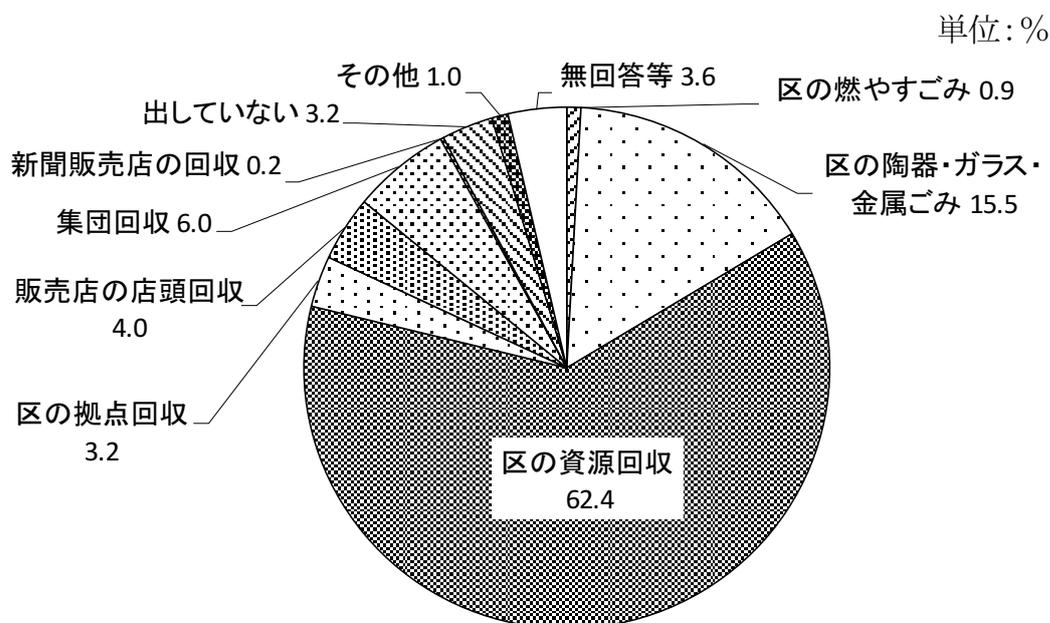


表2-30 乾電池(単1から単5、角形9V)の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		6 0.9	108 15.5	434 62.4	22 3.2	28 4.0	42 6.0	1 0.2	0 0.0	22 3.2	7 1.0	25 3.6	695 100.0
年 齢	30歳未満	1 2.1	6 12.8	20 42.6	4 8.5	2 4.3	4 8.5	0 0.0	0 0.0	6 12.8	1 2.1	3 6.3	47 100.0
	30歳代	3 2.8	17 16.0	58 54.7	3 2.8	5 4.8	3 2.8	1 0.9	0 0.0	8 7.6	2 1.9	6 5.7	106 100.0
	40歳代	1 0.8	22 17.7	78 62.9	3 2.4	5 4.0	10 8.1	0 0.0	0 0.0	2 1.6	1 0.8	2 1.7	124 100.0
	50歳代	0 0.0	20 13.5	100 67.6	3 2.0	6 4.1	11 7.4	0 0.0	0 0.0	2 1.4	1 0.7	5 3.3	148 100.0
	60歳代	1 0.8	23 18.1	85 67.0	4 3.1	6 4.7	4 3.1	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	2 1.6	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	20 14.2	91 64.5	5 3.6	4 2.8	10 7.1	0 0.0	0 0.0	2 1.4	2 1.4	7 5.0	141 100.0
性 別	男性	3 1.4	39 17.7	124 56.4	6 2.8	10 4.5	10 4.5	1 0.5	0 0.0	13 5.9	4 1.8	10 4.5	220 100.0
	女性	3 0.6	68 14.5	308 65.6	15 3.2	18 3.8	32 6.8	0 0.0	0 0.0	8 1.7	3 0.6	15 3.2	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	28 20.4	66 48.2	4 2.9	6 4.4	8 5.8	0 0.0	0 0.0	12 8.8	3 2.2	10 7.3	137 100.0
	2人	2 0.9	31 14.2	143 65.3	4 1.8	11 5.0	16 7.3	1 0.5	0 0.0	4 1.8	0 0.0	7 3.2	219 100.0
	3人	4 2.3	26 15.1	109 63.4	7 4.1	6 3.5	7 4.1	0 0.0	0 0.0	5 2.9	3 1.7	5 2.9	172 100.0
	4人	0 0.0	17 12.7	93 69.4	6 4.5	4 3.0	10 7.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	2 1.5	134 100.0
	5人以上	0 0.0	6 18.8	22 68.8	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	0 0.0	32 14.0	163 71.5	10 4.4	12 5.3	3 1.3	0 0.0	0 0.0	2 0.9	1 0.4	5 2.2	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	10 27.7	17 47.2	1 2.8	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	2 5.6	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	5 1.2	65 15.2	252 58.9	11 2.6	13 3.0	39 9.1	1 0.2	0 0.0	18 4.2	6 1.4	18 4.2	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	1 3.1	14 43.8	2 6.3	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	8 25.0	1 3.1	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	17 15.6	57 52.3	5 4.6	7 6.4	8 7.4	0 0.0	0 0.0	6 5.5	2 1.8	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	1 1.2	16 19.0	53 63.0	2 2.4	4 4.8	3 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.4	2 2.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	26 18.7	84 60.5	2 1.4	4 2.9	12 8.7	0 0.0	0 0.0	2 1.4	2 1.4	5 3.6	139 100.0
	20年以上	1 0.3	47 14.3	225 68.4	11 3.3	12 3.6	19 5.8	0 0.0	0 0.0	5 1.5	0 0.0	9 2.8	329 100.0

## ② コイン型電池(CR・BRのみ)

コイン型電池(CR・BRのみ)の処分方法については、「区の資源回収に出す」が45.8%、「区の陶器・ガラス・金属ごみ」に出すが14.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が12.9%、「集団回収に出す」が6.2%、「不用物として出していない」が6.2%、「区の拠点回収に持っていく」が4.5%、「区の燃やすごみ」に出すが0.9%である。4割以上の方が「区の資源回収に出す」と回答しているが、乾電池(単1から単5、角形9V)の割合62.4%と比べると低い。また、14.7%の人は「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数いた。

図2-36 コイン型電池(CR・BRのみ)の処分方法

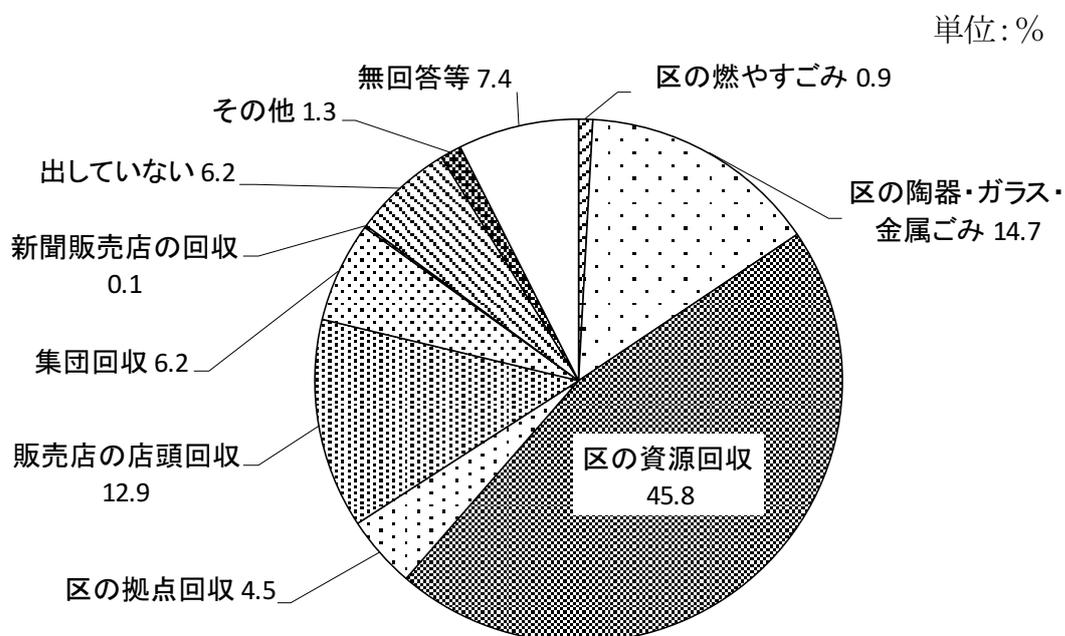


表2-31 コイン型電池(CR・BRのみ)の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		6 0.9	102 14.7	318 45.8	31 4.5	90 12.9	43 6.2	1 0.1	0 0.0	43 6.2	9 1.3	52 7.4	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	6 12.8	18 38.3	4 8.5	5 10.6	4 8.5	0 0.0	0 0.0	6 12.8	1 2.1	3 6.4	47 100.0
	30歳代	2 1.9	17 16.0	49 46.2	3 2.9	10 9.4	3 2.9	1 0.9	0 0.0	12 11.3	2 1.9	7 6.6	106 100.0
	40歳代	1 0.8	21 16.9	49 39.5	6 4.8	21 16.9	9 7.3	0 0.0	0 0.0	9 7.3	1 0.8	7 5.7	124 100.0
	50歳代	2 1.4	19 12.8	78 52.7	4 2.7	20 13.5	11 7.4	0 0.0	0 0.0	5 3.4	1 0.7	8 5.4	148 100.0
	60歳代	1 0.8	20 15.7	58 45.7	7 5.5	24 18.9	6 4.7	0 0.0	0 0.0	4 3.2	1 0.8	6 4.7	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	19 13.5	64 45.4	7 5.0	10 7.1	10 7.1	0 0.0	0 0.0	7 5.0	3 2.1	21 14.8	141 100.0
性 別	男性	4 1.8	40 18.2	95 43.2	10 4.5	20 9.1	12 5.5	1 0.5	0 0.0	19 8.6	4 1.8	15 6.8	220 100.0
	女性	2 0.4	62 13.2	221 47.0	20 4.3	70 14.9	31 6.6	0 0.0	0 0.0	22 4.7	5 1.1	37 7.8	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	22 16.1	49 35.8	5 3.6	13 9.5	9 6.6	0 0.0	0 0.0	21 15.3	3 2.2	15 10.9	137 100.0
	2人	2 0.9	29 13.2	107 48.9	5 2.3	29 13.2	16 7.3	1 0.5	0 0.0	10 4.6	1 0.5	19 8.6	219 100.0
	3人	2 1.2	28 16.3	83 48.3	9 5.2	22 12.8	7 4.1	0 0.0	0 0.0	9 5.2	3 1.7	9 5.2	172 100.0
	4人	2 1.5	16 11.9	68 50.7	9 6.7	19 14.2	10 7.5	0 0.0	0 0.0	2 1.5	1 0.7	7 5.3	134 100.0
	5人以上	0 0.0	7 21.9	10 31.3	3 9.4	7 21.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	2 6.2	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	1 0.4	30 13.2	106 46.5	16 7.0	42 18.4	3 1.3	0 0.0	0 0.0	10 4.4	2 0.9	18 7.9	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	7 19.4	10 27.8	2 5.6	8 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 8.3	0 0.0	5 13.9	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	4 0.9	65 15.2	200 46.7	13 3.0	40 9.4	40 9.4	1 0.2	0 0.0	29 6.8	7 1.6	29 6.8	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	1 3.1	14 43.8	2 6.3	2 6.3	0 0.0	1 3.1	0 0.0	8 25.0	1 3.1	3 9.3	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	16 14.7	42 38.6	8 7.3	16 14.7	8 7.3	0 0.0	0 0.0	10 9.2	2 1.8	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	18 21.4	42 50.0	3 3.5	8 9.5	3 3.6	0 0.0	0 0.0	4 4.8	2 2.4	4 4.8	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	3 2.2	25 18.0	59 42.4	3 2.2	17 12.2	11 7.9	0 0.0	0 0.0	7 5.0	2 1.4	12 8.7	139 100.0
	20年以上	1 0.3	42 12.8	160 48.6	15 4.6	47 14.3	21 6.4	0 0.0	0 0.0	13 3.9	2 0.6	28 8.5	329 100.0

## ㊸ 充電式電池・ボタン型電池

充電式電池・ボタン型電池の処分方法については、「区の資源回収に出す」が41.7%、「販売店の店頭回収に持っていく」が15.7%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が15.1%、「集団回収に出す」が6.3%、「不用物として出していない」が7.1%、「区の拠点回収に持っていく」が3.9%、「区の燃やすごみに出す」が0.7%である。4割以上が「区の資源回収に出す」と回答しているが、一方15.1%の人は「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。区ではボタン電池は、セロハンテープで絶縁後、ボタン電池回収協力店に設置されている「ボタン電池回収缶」に出すこととなっている。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数いた。

図2-37 充電式電池・ボタン型電池の処分方法

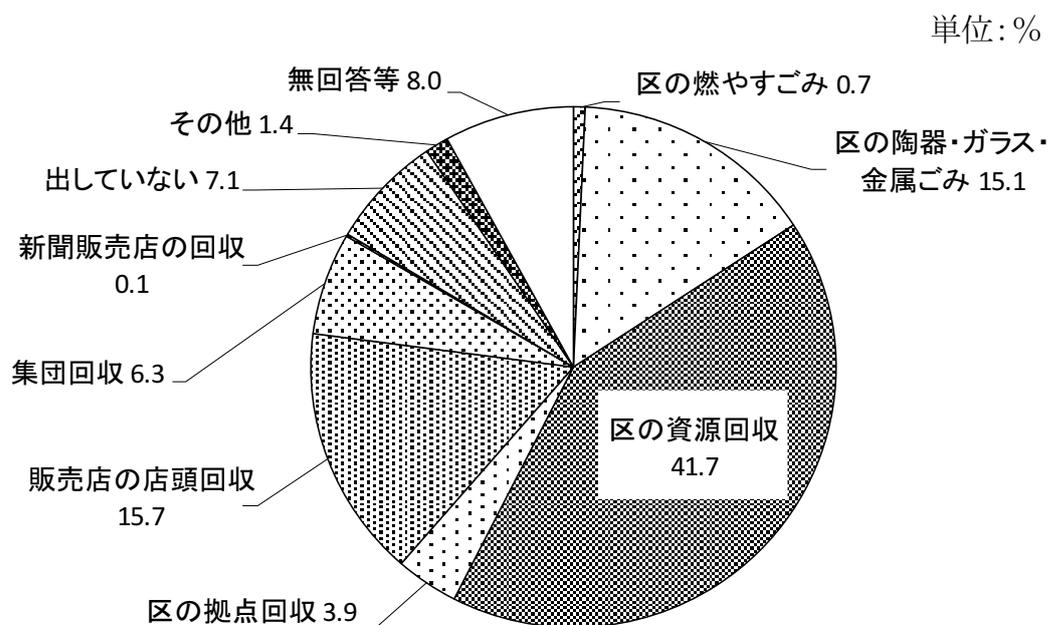


表2-32 充電式電池・ボタン型電池の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 棄回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		5 0.7	105 15.1	290 41.7	27 3.9	109 15.7	44 6.3	1 0.1	0 0.0	49 7.1	10 1.4	55 8.0	695 100.0
年齢	30歳未満	0 0.0	6 12.8	17 36.2	4 8.5	5 10.6	4 8.5	0 0.0	0 0.0	7 14.9	1 2.1	3 6.4	47 100.0
	30歳代	2 1.9	17 16.0	45 42.5	3 2.8	13 12.3	3 2.8	1 0.9	0 0.0	12 11.3	2 1.9	8 7.6	106 100.0
	40歳代	1 0.8	22 17.7	45 36.3	5 4.0	25 20.2	10 8.1	0 0.0	0 0.0	10 8.1	1 0.8	5 4.0	124 100.0
	50歳代	1 0.7	19 12.8	70 47.3	3 2.0	26 17.6	11 7.4	0 0.0	0 0.0	7 4.7	1 0.7	10 6.8	148 100.0
	60歳代	1 0.8	21 16.5	50 39.4	6 4.7	28 22.1	7 5.5	0 0.0	0 0.0	6 4.7	2 1.6	6 4.7	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	20 14.2	61 43.3	6 4.3	12 8.5	9 6.4	0 0.0	0 0.0	7 4.9	3 2.1	23 16.3	141 100.0
性別	男性	4 1.8	42 19.1	90 40.9	7 3.2	24 10.9	13 5.9	1 0.5	0 0.0	21 9.5	4 1.8	14 6.4	220 100.0
	女性	1 0.2	63 13.4	198 42.1	19 4.0	85 18.1	31 6.6	0 0.0	0 0.0	26 5.5	6 1.3	41 8.8	470 100.0
家族人数	1人	0 0.0	22 16.1	44 32.1	5 3.6	17 12.4	9 6.6	0 0.0	0 0.0	20 14.6	4 2.9	16 11.7	137 100.0
	2人	2 0.9	29 13.2	97 44.3	4 1.8	34 15.5	16 7.3	1 0.5	0 0.0	15 6.8	1 0.5	20 9.2	219 100.0
	3人	2 1.2	29 16.9	76 44.2	9 5.2	26 15.1	8 4.7	0 0.0	0 0.0	9 5.2	3 1.7	10 5.8	172 100.0
	4人	1 0.7	18 13.4	64 47.8	6 4.5	23 17.2	10 7.5	0 0.0	0 0.0	4 3.0	1 0.7	7 5.2	134 100.0
	5人以上	0 0.0	7 21.9	8 25.0	3 9.4	9 28.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	2 6.3	32 100.0
住居形態	一戸建て	0 0.0	31 13.6	90 39.5	15 6.5	54 23.7	4 1.8	0 0.0	0 0.0	16 7.0	2 0.9	16 7.0	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	1 2.8	7 19.4	10 27.8	2 5.6	8 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	1 2.8	5 13.8	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	4 0.9	67 15.7	189 44.2	10 2.3	47 11.0	40 9.3	1 0.2	0 0.0	30 7.0	7 1.6	33 7.8	428 100.0
居住年数	1年未満	0 0.0	1 3.1	12 37.5	2 6.3	2 6.3	0 0.0	1 3.1	0 0.0	8 25.0	1 3.1	5 15.6	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	16 14.7	40 36.7	5 4.6	20 18.3	8 7.4	0 0.0	0 0.0	11 10.1	2 1.8	5 4.6	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	18 21.4	38 45.2	3 3.6	12 14.2	3 3.6	0 0.0	0 0.0	4 4.8	2 2.4	4 4.8	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	26 18.7	53 38.1	4 2.9	21 15.1	12 8.6	0 0.0	0 0.0	8 5.8	3 2.2	10 7.2	139 100.0
	20年以上	1 0.3	44 13.4	146 44.4	13 4.0	54 16.4	21 6.4	0 0.0	0 0.0	17 5.1	2 0.6	31 9.4	329 100.0

## ④ 蛍光灯・蛍光管

蛍光灯・蛍光管の処分方法については、「区の資源回収に出す」が41.4%、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が32.8%、「不用物として出していない」が7.8%、「集団回収に出す」が5.6%、「販売店の店頭回収に持っていく」が2.6%、「区の拠点回収に持っていく」が1.7%、「区の燃やすごみに出す」が0.7%である。4割以上が「区の資源回収に出す」と回答しているが、一方32.8%の人は「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」としている。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数いた。蛍光灯・蛍光管には水銀を含むものもあり、適切に回収、処分する必要がある。また、水銀拡散防止だけでなく節電効果の観点からも期待されるLED照明に推移していくことが予想されるため、今後の動向に注目する必要がある。

図2-38 蛍光灯・蛍光管の処分方法

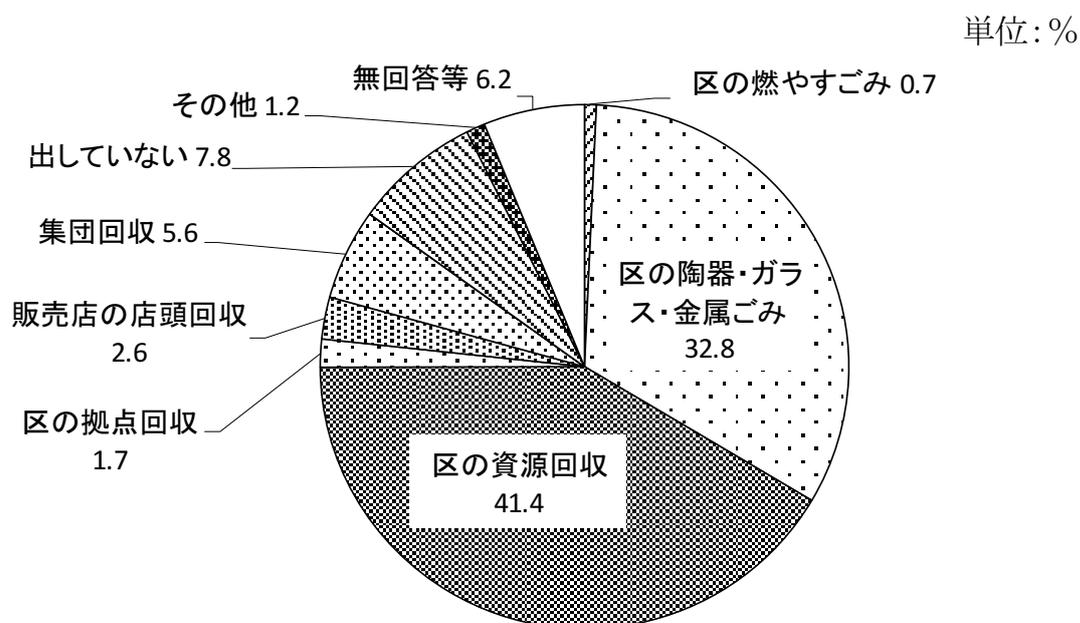


表2-33 蛍光灯・蛍光管の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		5 0.7	228 32.8	288 41.4	12 1.7	18 2.6	39 5.6	0 0.0	0 0.0	54 7.8	8 1.2	43 6.2	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	10 21.3	14 29.8	1 2.1	3 6.4	2 4.3	0 0.0	0 0.0	13 27.6	1 2.1	3 6.4	47 100.0
	30歳代	2 1.9	26 24.5	38 35.8	2 1.9	2 1.9	4 3.8	0 0.0	0 0.0	22 20.8	0 0.0	10 9.4	106 100.0
	40歳代	0 0.0	46 37.1	45 36.3	2 1.6	4 3.2	8 6.5	0 0.0	0 0.0	11 8.9	3 2.4	5 4.0	124 100.0
	50歳代	1 0.7	55 37.1	66 44.6	1 0.7	2 1.4	8 5.4	0 0.0	0 0.0	5 3.3	1 0.7	9 6.1	148 100.0
	60歳代	2 1.6	49 38.6	59 46.5	1 0.8	4 3.1	5 3.9	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	5 3.9	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	42 29.8	64 45.4	5 3.5	3 2.1	12 8.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	3 2.1	11 7.9	141 100.0
性 別	男性	3 1.4	69 31.3	85 38.6	3 1.4	4 1.8	9 4.1	0 0.0	0 0.0	31 14.1	3 1.4	13 5.9	220 100.0
	女性	2 0.4	157 33.4	202 43.0	8 1.7	14 3.0	30 6.4	0 0.0	0 0.0	22 4.7	5 1.1	30 6.3	470 100.0
家 族 人 数	1人	1 0.7	49 35.8	38 27.7	1 0.7	5 3.6	6 4.4	0 0.0	0 0.0	24 17.5	2 1.5	11 8.1	137 100.0
	2人	1 0.5	59 26.9	103 47.0	3 1.4	9 4.1	15 6.8	0 0.0	0 0.0	14 6.4	1 0.5	14 6.4	219 100.0
	3人	1 0.6	62 36.0	77 44.7	5 2.9	2 1.2	7 4.1	0 0.0	0 0.0	7 4.1	2 1.2	9 5.2	172 100.0
	4人	1 0.7	50 37.3	56 41.8	2 1.5	1 0.7	10 7.5	0 0.0	0 0.0	6 4.5	2 1.5	6 4.5	134 100.0
	5人以上	1 3.1	8 25.0	13 40.7	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	2 0.9	70 30.7	120 52.6	3 1.3	8 3.5	4 1.8	0 0.0	0 0.0	6 2.6	2 0.9	13 5.7	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	12 33.3	14 38.9	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	5 13.8	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	2 0.5	146 34.1	152 35.5	9 2.1	8 1.9	35 8.2	0 0.0	0 0.0	45 10.5	6 1.4	25 5.8	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	0 0.0	3 9.4	13 40.6	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 34.4	0 0.0	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	27 24.8	35 32.1	3 2.8	6 5.5	4 3.6	0 0.0	0 0.0	21 19.3	3 2.8	8 7.3	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	1 1.2	34 40.5	27 32.1	0 0.0	2 2.4	3 3.6	0 0.0	0 0.0	9 10.7	3 3.6	5 5.9	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	1 0.7	62 44.6	43 30.9	2 1.4	3 2.2	11 7.9	0 0.0	0 0.0	8 5.8	1 0.7	8 5.8	139 100.0
	20年以上	1 0.3	102 31.0	169 51.4	6 1.8	7 2.1	21 6.4	0 0.0	0 0.0	4 1.2	1 0.3	18 5.5	329 100.0

## ㊦ 電球・LED

電球・LEDの処分方法については、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が41.3%、「区の資源回収に出す」が34.0%、「不用物として出していない」が6.6%、「集団回収に出す」が5.8%、「販売店の店頭回収に持っていく」が2.4%、「区の拠点回収に持っていく」が1.9%、「区の燃やすごみに出す」が0.7%である。34.0%の人が「区の資源回収に出す」と回答しているのに対して41.3%の人は「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」と回答している。「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数いた。「不用物として出していない」と回答した人の中にはLED照明を設置してからまだ交換の時期が来ていないため処分する必要が無かったという人も想定される。LED照明の中にはレアメタルを含むものもあり、今後、小型家電と合わせて適切に回収がされることが期待される。

図2-39 電球・LEDの処分方法

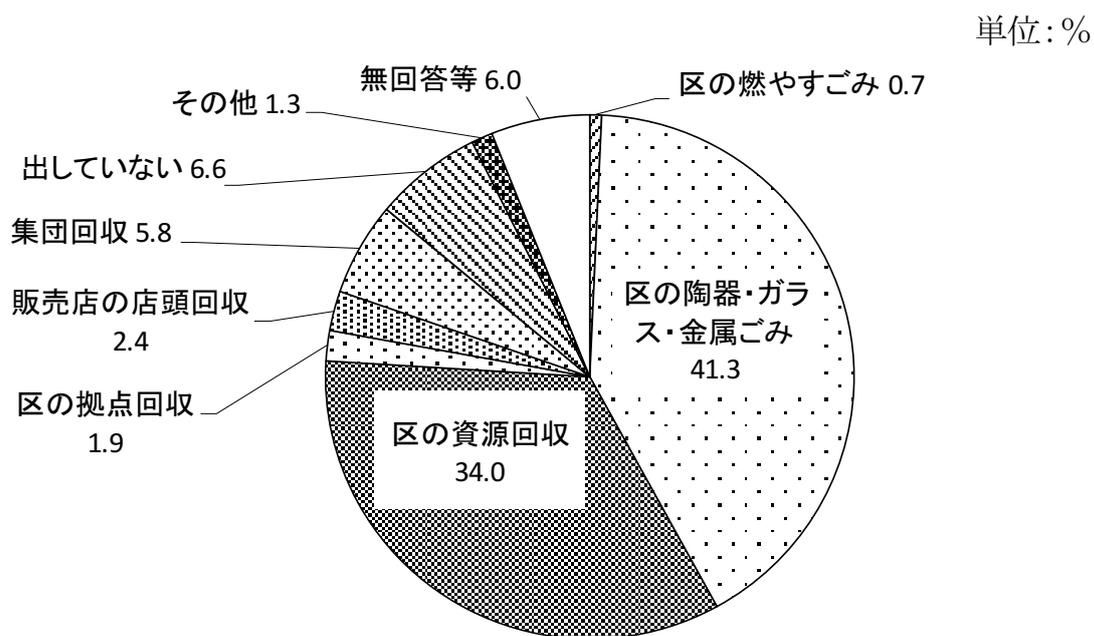


表2-34 電球・LEDの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		5 0.7	287 41.3	236 34.0	13 1.9	17 2.4	40 5.8	0 0.0	0 0.0	46 6.6	9 1.3	42 6.0	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	13 27.7	12 25.5	1 2.1	2 4.3	2 4.3	0 0.0	0 0.0	13 27.7	1 2.1	3 6.3	47 100.0
	30歳代	1 0.9	31 29.2	35 33.0	3 2.8	2 1.9	4 3.8	0 0.0	0 0.0	20 18.9	0 0.0	10 9.5	106 100.0
	40歳代	1 0.8	56 45.2	35 28.2	2 1.6	4 3.2	9 7.3	0 0.0	0 0.0	9 7.3	3 2.4	5 4.0	124 100.0
	50歳代	1 0.7	68 45.9	55 37.2	1 0.7	2 1.3	8 5.4	0 0.0	0 0.0	2 1.3	1 0.7	10 6.8	148 100.0
	60歳代	2 1.6	61 48.0	47 37.0	1 0.8	4 3.1	5 3.9	0 0.0	0 0.0	1 0.8	1 0.8	5 4.0	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	58 41.1	50 35.5	5 3.6	3 2.1	12 8.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	3 2.1	9 6.4	141 100.0
性 別	男性	3 1.4	86 39.1	73 33.2	4 1.8	4 1.8	9 4.1	0 0.0	0 0.0	26 11.8	3 1.4	12 5.4	220 100.0
	女性	2 0.4	198 42.1	162 34.5	8 1.7	13 2.8	31 6.6	0 0.0	0 0.0	20 4.3	6 1.3	30 6.3	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	56 40.9	31 22.6	1 0.7	5 3.6	7 5.1	0 0.0	0 0.0	22 16.1	2 1.5	13 9.5	137 100.0
	2人	1 0.5	77 35.2	87 39.7	4 1.8	8 3.7	15 6.8	0 0.0	0 0.0	12 5.5	2 0.9	13 5.9	219 100.0
	3人	1 0.6	77 44.8	63 36.6	5 2.9	2 1.1	7 4.1	0 0.0	0 0.0	7 4.1	2 1.1	8 4.7	172 100.0
	4人	2 1.5	65 48.5	44 32.8	2 1.5	1 0.7	10 7.5	0 0.0	0 0.0	3 2.2	2 1.5	5 3.8	134 100.0
	5人以上	1 3.1	12 37.5	10 31.3	1 3.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	1 3.1	3 9.4	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	1 0.4	109 47.8	85 37.3	3 1.3	8 3.5	4 1.8	0 0.0	0 0.0	5 2.2	3 1.3	10 4.4	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	13 36.1	11 30.5	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	0 0.0	7 19.4	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	3 0.7	163 38.1	139 32.5	10 2.3	7 1.6	36 8.4	0 0.0	0 0.0	39 9.1	6 1.4	25 5.9	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	1 3.1	4 12.5	11 34.4	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 34.4	0 0.0	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	34 31.2	29 26.6	4 3.7	5 4.6	4 3.7	0 0.0	0 0.0	20 18.3	3 2.8	8 7.3	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	38 45.2	26 31.0	0 0.0	2 2.4	4 4.8	0 0.0	0 0.0	7 8.3	3 3.5	4 4.8	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	71 51.1	35 25.2	2 1.4	3 2.2	11 7.9	0 0.0	0 0.0	6 4.3	1 0.7	8 5.8	139 100.0
	20年以上	0 0.0	139 42.3	134 40.7	6 1.8	7 2.1	21 6.4	0 0.0	0 0.0	2 0.6	2 0.6	18 5.5	329 100.0

## ㊸ 水銀体温計・水銀血圧計

水銀体温計・水銀血圧計の処分方法については、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が30.9%、「不用物として出していない」が26.2%、「区の資源回収に出す」が17.6%、「集団回収に出す」が4.5%などである。しかし、昨今では体温計、血圧計ともに電子化が進んでおり、一般の家庭に水銀を使用した機器はあまり多くはないと考えられる。そのため、「出していない」と回答した26.2%以外には“もし処分するとしたら”どうするかという回答も含まれていると想定される。これらについては有害な水銀を拡散させないため、適切に回収、処分するよう徹底した周知が必要である。

図2-40 水銀体温計・水銀血圧計の処分方法

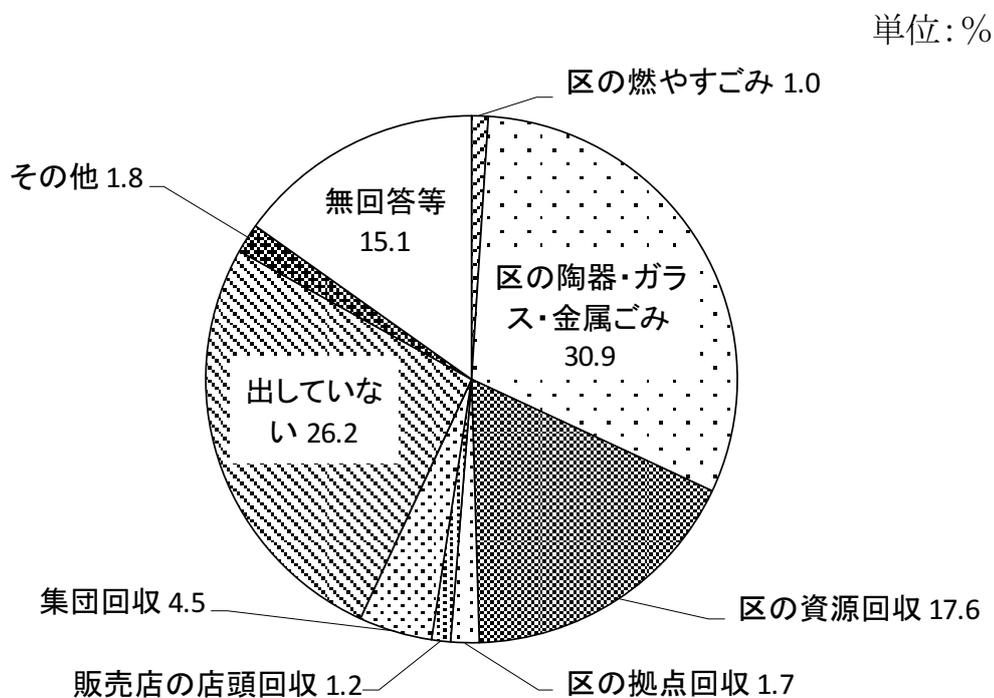


表2-35 水銀体温計・水銀血圧計の処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		7 1.0	215 30.9	122 17.6	12 1.7	8 1.2	31 4.5	0 0.0	0 0.0	182 26.2	13 1.8	105 15.1	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	9 19.1	11 23.4	1 2.1	1 2.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0	18 38.3	1 2.1	4 8.6	47 100.0
	30歳代	1 1.0	23 21.7	18 17.0	1 0.9	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	43 40.6	2 1.9	16 15.1	106 100.0
	40歳代	1 0.8	37 29.8	16 12.9	2 1.6	0 0.0	7 5.7	0 0.0	0 0.0	45 36.3	3 2.4	13 10.5	124 100.0
	50歳代	2 1.4	48 32.4	26 17.6	1 0.7	0 0.0	8 5.4	0 0.0	0 0.0	34 22.9	1 0.7	28 18.9	148 100.0
	60歳代	3 2.4	47 37.0	27 21.3	2 1.6	4 3.1	4 3.1	0 0.0	0 0.0	23 18.1	1 0.8	16 12.6	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	51 36.2	22 15.6	5 3.5	2 1.4	9 6.4	0 0.0	0 0.0	19 13.5	5 3.5	28 19.9	141 100.0
性 別	男性	4 1.8	59 26.8	42 19.1	3 1.4	2 0.9	8 3.6	0 0.0	0 0.0	69 31.4	3 1.4	30 13.6	220 100.0
	女性	3 0.6	155 33.0	79 16.8	9 1.9	6 1.3	23 4.9	0 0.0	0 0.0	111 23.6	10 2.1	74 15.8	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	40 29.2	15 10.9	1 0.7	3 2.2	5 3.7	0 0.0	0 0.0	50 36.5	1 0.7	22 16.1	137 100.0
	2人	1 0.5	64 29.2	46 21.0	3 1.4	3 1.4	12 5.4	0 0.0	0 0.0	49 22.3	3 1.4	38 17.4	219 100.0
	3人	2 1.2	58 33.7	33 19.2	6 3.5	1 0.6	6 3.5	0 0.0	0 0.0	41 23.8	4 2.3	21 12.2	172 100.0
	4人	3 2.2	38 28.4	23 17.2	1 0.7	1 0.7	7 5.2	0 0.0	0 0.0	36 26.9	3 2.2	22 16.5	134 100.0
	5人以上	1 3.1	15 46.9	4 12.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	6 18.7	2 6.3	2 6.3	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	2 0.9	83 36.4	42 18.4	6 2.6	5 2.2	4 1.8	0 0.0	0 0.0	51 22.4	6 2.6	29 12.7	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	1 2.8	15 41.7	4 11.1	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 16.6	1 2.8	8 22.2	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	4 0.9	116 27.1	75 17.5	6 1.4	2 0.5	27 6.3	0 0.0	0 0.0	124 29.0	6 1.4	68 15.9	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	1 3.1	2 6.3	9 28.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 40.6	0 0.0	6 18.8	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	3 2.8	24 22.0	15 13.8	2 1.8	2 1.8	2 1.8	0 0.0	0 0.0	48 44.1	2 1.8	11 10.1	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	25 29.8	7 8.3	0 0.0	0 0.0	3 3.6	0 0.0	0 0.0	27 32.1	4 4.8	18 21.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	45 32.4	23 16.5	2 1.4	1 0.7	10 7.2	0 0.0	0 0.0	38 27.4	1 0.7	17 12.3	139 100.0
	20年以上	1 0.3	119 36.2	67 20.4	7 2.1	5 1.5	16 4.9	0 0.0	0 0.0	55 16.7	6 1.8	53 16.1	329 100.0

## ㊹ スプレー缶、カセット用ボンベ

スプレー缶、カセット用ボンベの処分方法については、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が53.7%、「区の資源回収に出す」が25.8%、「集団回収に出す」が5.9%、「不用物として出していない」が4.6%、「区の拠点回収に持っていく」が1.9%、「販売店の店頭回収に持っていく」が0.6%、「区の燃やすごみに出す」が0.6%である。5割以上の人々が「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」と回答している。排出する際には火災や爆発などの事故防止のため適切な処置をしたのちに正しく出すよう周知徹底する必要がある。また、「区の燃やすごみに出す」と回答した人も複数あり、今回の組成調査においても複数のスプレー缶などの混入が見つかっている。

図2-41 スプレー缶、カセット用ボンベの処分方法

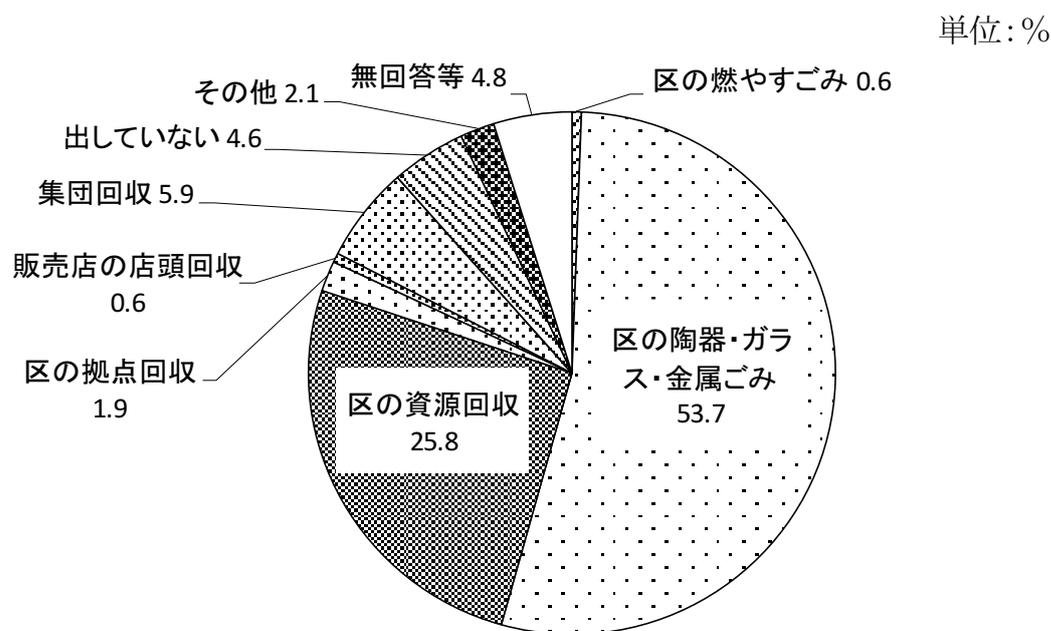


表2-36 スプレー缶、カセット用ボンベの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		4 0.6	373 53.7	179 25.8	13 1.9	4 0.6	41 5.9	0 0.0	0 0.0	32 4.6	15 2.1	34 4.8	695 100.0
年齢	30歳未満	0 0.0	18 38.3	12 25.5	2 4.3	1 2.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0	8 17.0	1 2.1	3 6.4	47 100.0
	30歳代	1 0.9	44 41.5	36 34.0	2 1.9	0 0.0	4 3.8	0 0.0	0 0.0	11 10.4	2 1.9	6 5.6	106 100.0
	40歳代	0 0.0	72 58.1	30 24.2	1 0.8	0 0.0	9 7.3	0 0.0	0 0.0	5 4.0	4 3.2	3 2.4	124 100.0
	50歳代	1 0.7	86 58.1	38 25.7	1 0.7	0 0.0	9 6.1	0 0.0	0 0.0	1 0.7	2 1.3	10 6.7	148 100.0
	60歳代	2 1.6	75 59.1	32 25.2	2 1.6	3 2.4	5 3.9	0 0.0	0 0.0	4 3.1	1 0.8	3 2.3	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	78 55.3	29 20.6	5 3.5	0 0.0	12 8.5	0 0.0	0 0.0	3 2.1	5 3.6	9 6.4	141 100.0
性別	男性	3 1.4	108 49.1	62 28.2	5 2.2	1 0.5	9 4.1	0 0.0	0 0.0	16 7.3	5 2.2	11 5.0	220 100.0
	女性	1 0.2	262 55.7	116 24.7	8 1.7	3 0.6	32 6.8	0 0.0	0 0.0	15 3.2	10 2.2	23 4.9	470 100.0
家族人数	1人	0 0.0	64 46.7	27 19.7	1 0.7	2 1.5	7 5.1	0 0.0	0 0.0	18 13.1	5 3.7	13 9.5	137 100.0
	2人	1 0.5	120 54.8	61 27.9	4 1.8	1 0.5	16 7.3	0 0.0	0 0.0	4 1.8	2 0.9	10 4.5	219 100.0
	3人	1 0.6	97 56.4	47 27.3	4 2.3	1 0.6	7 4.1	0 0.0	0 0.0	6 3.5	5 2.9	4 2.3	172 100.0
	4人	1 0.7	73 54.5	36 26.9	3 2.2	0 0.0	10 7.5	0 0.0	0 0.0	4 3.0	2 1.5	5 3.7	134 100.0
	5人以上	1 3.1	19 59.4	7 21.9	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	2 6.3	32 100.0
住居形態	一戸建て	1 0.4	161 70.6	39 17.1	4 1.8	2 0.9	4 1.8	0 0.0	0 0.0	7 3.0	5 2.2	5 2.2	228 100.0
	2階建てまでの集合住宅	1 2.8	22 61.1	5 13.9	0 0.0	2 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	1 2.8	4 11.1	36 100.0
	3階建て以上の集合住宅	2 0.5	189 44.2	134 31.3	9 2.1	0 0.0	37 8.6	0 0.0	0 0.0	23 5.4	9 2.1	25 5.8	428 100.0
居住年数	1年未満	0 0.0	5 15.6	12 37.5	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 25.0	2 6.3	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	2 1.8	45 41.3	35 32.1	3 2.8	1 0.9	5 4.6	0 0.0	0 0.0	9 8.2	3 2.8	6 5.5	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	0 0.0	45 53.6	25 29.8	0 0.0	1 1.2	4 4.7	0 0.0	0 0.0	3 3.6	4 4.7	2 2.4	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	2 1.4	73 52.6	33 23.8	2 1.4	2 1.4	11 7.9	0 0.0	0 0.0	5 3.6	2 1.4	9 6.5	139 100.0
	20年以上	0 0.0	205 62.3	73 22.2	7 2.1	0 0.0	21 6.4	0 0.0	0 0.0	6 1.8	4 1.2	13 4.0	329 100.0

## ㊸ ライター

ライターの処分方法については、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」が41.6%、「不用物として出していない」が20.7%、「区の資源回収に出す」が15.0%などである。ライターは喫煙習慣のない人にとっては処分する機会が少ないと考えられることから「出していない」、「無回答」などとした可能性がある。ライターについても火災や爆発などの事故防止のため適切な処置をしたのちに正しく出すよう周知徹底する必要がある。

図2-42 ライターの処分方法

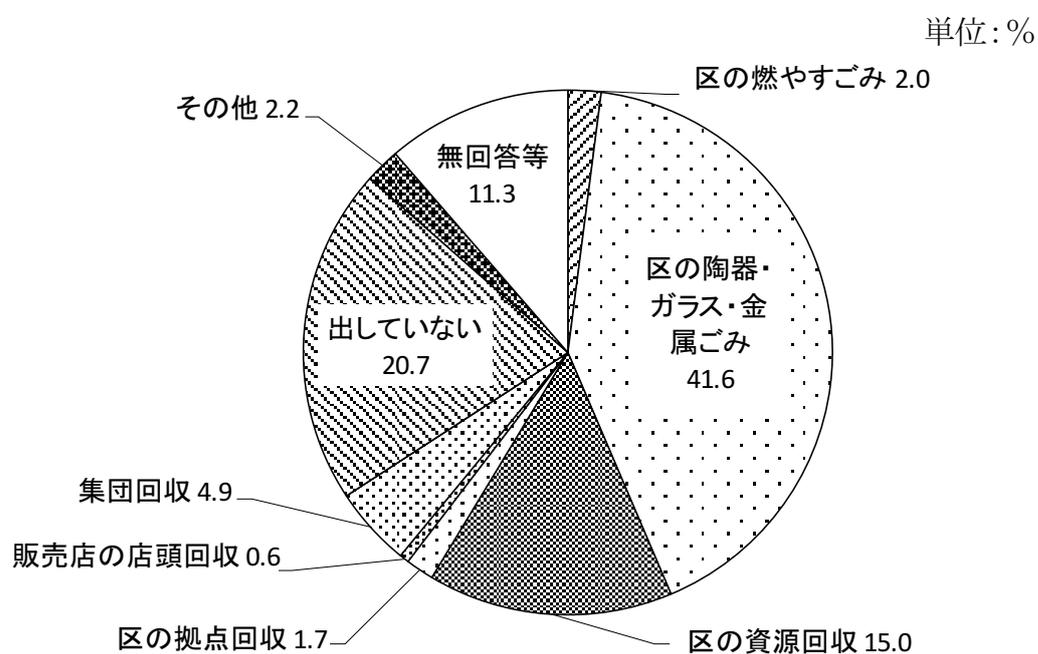


表2-37 ライターの処分方法(属性別)

(上段:回答数、下段:構成比)

回答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答 無効等	合計
区分		区の燃 やすごみ に出す	区の陶 器・ガラ ス・金属 ごみに出 す	区の資 源回収 に出す	区の抛 点回収 に持って いく	販売店 の店頭 回収に 持ってい く	集団回 収に出 す	新聞販 売店の 回収に 出す	庭に埋 めたり、 堆肥に する	不用品と して出し ていない	その他		
全体		14 2.0	289 41.6	104 15.0	12 1.7	4 0.6	34 4.9	0 0.0	0 0.0	144 20.7	15 2.2	79 11.3	695 100.0
年 齢	30歳未満	0 0.0	12 25.5	6 12.8	2 4.3	1 2.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0	19 40.4	1 2.1	4 8.5	47 100.0
	30歳代	2 1.9	30 28.3	17 16.0	2 1.9	1 0.9	2 1.9	0 0.0	0 0.0	37 34.9	1 0.9	14 13.3	106 100.0
	40歳代	6 4.8	46 37.1	14 11.3	1 0.8	0 0.0	8 6.5	0 0.0	0 0.0	33 26.6	4 3.2	12 9.7	124 100.0
	50歳代	2 1.4	65 43.9	25 16.9	0 0.0	0 0.0	8 5.4	0 0.0	0 0.0	30 20.2	2 1.4	16 10.8	148 100.0
	60歳代	4 3.1	66 52.0	20 15.7	2 1.6	2 1.6	4 3.1	0 0.0	0 0.0	13 10.2	2 1.6	14 11.1	127 100.0
	70歳以上	0 0.0	70 49.6	20 14.2	5 3.5	0 0.0	10 7.1	0 0.0	0 0.0	12 8.6	5 3.5	19 13.5	141 100.0
性 別	男性	8 3.6	80 36.4	36 16.4	4 1.8	1 0.5	9 4.1	0 0.0	0 0.0	59 26.8	4 1.8	19 8.6	220 100.0
	女性	6 1.3	208 44.3	67 14.3	8 1.7	3 0.6	25 5.3	0 0.0	0 0.0	83 17.7	11 2.3	59 12.5	470 100.0
家 族 人 数	1人	0 0.0	52 38.0	15 10.9	1 0.7	2 1.5	5 3.6	0 0.0	0 0.0	39 28.5	3 2.2	20 14.6	137 100.0
	2人	3 1.4	88 40.2	45 20.5	4 1.8	2 0.9	13 5.9	0 0.0	0 0.0	34 15.5	3 1.4	27 12.4	219 100.0
	3人	7 4.1	77 44.8	22 12.8	3 1.7	0 0.0	6 3.5	0 0.0	0 0.0	36 20.9	5 2.9	16 9.3	172 100.0
	4人	3 2.2	56 41.8	16 12.0	3 2.2	0 0.0	9 6.7	0 0.0	0 0.0	30 22.4	3 2.2	14 10.5	134 100.0
	5人以上	1 3.1	16 50.0	5 15.6	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	5 15.6	1 3.2	2 6.3	32 100.0
住 居 形 態	一戸建て	1 0.4	132 57.9	27 11.8	4 1.8	1 0.4	4 1.8	0 0.0	0 0.0	38 16.7	5 2.2	16 7.0	228 100.0
	2階建てまでの 集合住宅	2 5.6	17 47.2	1 2.8	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 13.8	1 2.8	8 22.2	36 100.0
	3階建て以上の 集合住宅	11 2.6	140 32.7	75 17.5	8 1.9	1 0.2	30 7.0	0 0.0	0 0.0	100 23.4	9 2.1	54 12.6	428 100.0
居 住 年 数	1年未満	1 3.1	4 12.5	9 28.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 40.7	0 0.0	4 12.5	32 100.0
	1年以上 ～5年未満	5 4.6	28 25.7	15 13.8	3 2.8	2 1.8	2 1.8	0 0.0	0 0.0	41 37.6	2 1.8	11 10.1	109 100.0
	5年以上 ～10年未満	1 1.2	30 35.7	12 14.3	0 0.0	1 1.2	3 3.6	0 0.0	0 0.0	21 25.0	5 6.0	11 13.0	84 100.0
	10年以上 ～20年未満	4 2.9	55 39.6	16 11.5	2 1.4	1 0.7	11 7.9	0 0.0	0 0.0	31 22.3	3 2.2	16 11.5	139 100.0
	20年以上	3 0.9	172 52.3	51 15.5	6 1.8	0 0.0	18 5.5	0 0.0	0 0.0	37 11.2	5 1.5	37 11.3	329 100.0

㊸ 資源・ごみの処分方法のまとめ

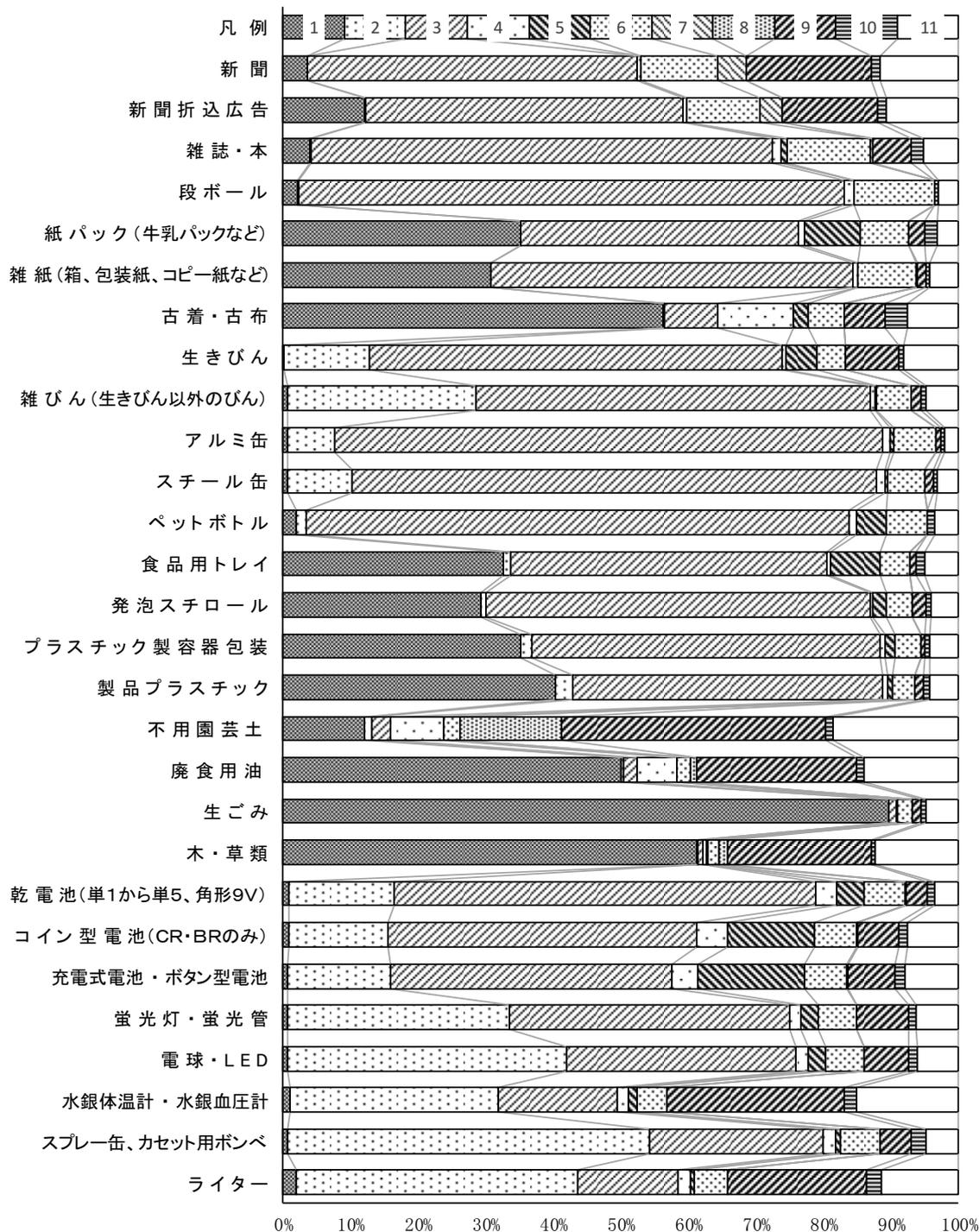
28 品目の資源・ごみの処分方法をまとめたものが次の表である。

表2-38 資源・ごみの処分方法をまとめ

品 目	処 分 方 法										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	区 の燃 やす ごみ に出 す	区 の陶 器・ ガラ ス・ 金属 ごみ に出 す	区 の資 源回 収に 出す	区 の拠 点回 収に 持つ てい く	販 売店 の店 頭回 収に 持つ てい く	集 団回 収に 出す	新 聞販 売店 の回 収に 出す	庭 に埋 めた り、 堆肥 にす る	不 用物 とし て出 して いな い	そ の 他	無 回 答、 不 明、 無 効
新聞	3.6	0.0	48.8	0.6	0.0	11.4	4.2	0.0	18.7	1.2	11.5
新聞折込広告	12.1	0.1	47.1	0.6	0.0	10.8	3.3	0.0	14.1	1.3	10.6
雑誌・本	4.0	0.1	68.2	1.3	1.0	12.2	0.5	0.0	5.6	1.9	5.2
段ボール	2.2	0.1	80.9	1.3	0.0	12.1	0.0	0.0	0.0	0.6	2.8
紙パック(牛乳パックなど)	35.1	0.0	41.2	0.9	8.3	7.2	0.0	0.0	2.3	1.9	3.1
雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)	30.8	0.0	53.5	0.9	0.0	8.5	0.3	0.0	1.2	0.5	4.3
古着・古布	56.3	0.3	7.8	11.2	2.2	5.3	0.0	0.0	6.0	3.3	7.6
生きびん	0.1	12.7	61.0	0.7	4.5	4.3	0.0	0.0	7.9	0.7	8.1
雑びん(生きびん以外のびん)	0.6	27.9	58.4	0.7	0.3	5.0	0.0	0.0	1.6	0.7	4.8
アルミ缶	0.6	7.1	81.2	1.2	0.4	6.3	0.0	0.0	0.7	0.5	2.0
スチール缶	0.6	9.6	77.7	1.2	0.4	5.5	0.0	0.0	1.3	0.6	3.1
ペットボトル	1.9	1.6	80.3	1.2	4.4	6.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.4
食品用トレイ	32.7	1.0	46.9	0.6	7.3	4.3	0.0	0.0	0.9	1.3	5.0
発泡スチロール	29.2	0.9	56.8	0.4	2.0	3.7	0.0	0.0	2.0	0.9	4.1
プラスチック製容器包装	35.2	1.6	51.7	0.6	1.6	3.7	0.0	0.0	0.6	0.7	4.3
製品プラスチック	40.3	2.6	45.9	0.7	0.7	3.3	0.0	0.0	1.3	1.0	4.2
不用園芸土	12.1	1.0	2.9	7.8	0.0	2.4	0.0	15.0	39.1	1.2	18.5
廃食用油	50.1	0.3	2.0	5.9	0.0	2.0	0.0	1.0	23.6	1.2	13.9
生ごみ	89.6	0.0	1.2	0.0	0.1	2.3	0.0	0.0	1.3	0.6	4.9
木・草類	61.3	0.1	0.7	0.6	0.1	1.6	0.0	1.4	21.2	0.6	12.4
乾電池(単1から単5、角形9V)	0.9	15.5	62.4	3.2	4.0	6.0	0.2	0.0	3.2	1.0	3.6
コイン型電池(CR・BRのみ)	0.9	14.7	45.8	4.5	12.9	6.2	0.1	0.0	6.2	1.3	7.4
充電式電池・ボタン型電池	0.7	15.1	41.7	3.9	15.7	6.3	0.1	0.0	7.1	1.4	8.0
蛍光灯・蛍光管	0.7	32.8	41.4	1.7	2.6	5.6	0.0	0.0	7.8	1.2	6.2
電球・LED	0.7	41.3	34.0	1.9	2.4	5.8	0.0	0.0	6.6	1.3	6.0
水銀体温計・水銀血圧計	1.0	30.9	17.6	1.7	1.2	4.5	0.0	0.0	26.2	1.8	15.1
スプレー缶、カセット用ボンベ	0.6	53.7	25.8	1.9	0.6	5.9	0.0	0.0	4.6	2.1	4.8
ライター	2.0	41.6	15.0	1.7	0.6	4.9	0.0	0.0	20.7	2.2	11.3

28 品目の資源・ごみの処分方法をまとめたものが次の図である。  
 なお、1～11 の区分は前表の処分方法に対応する。

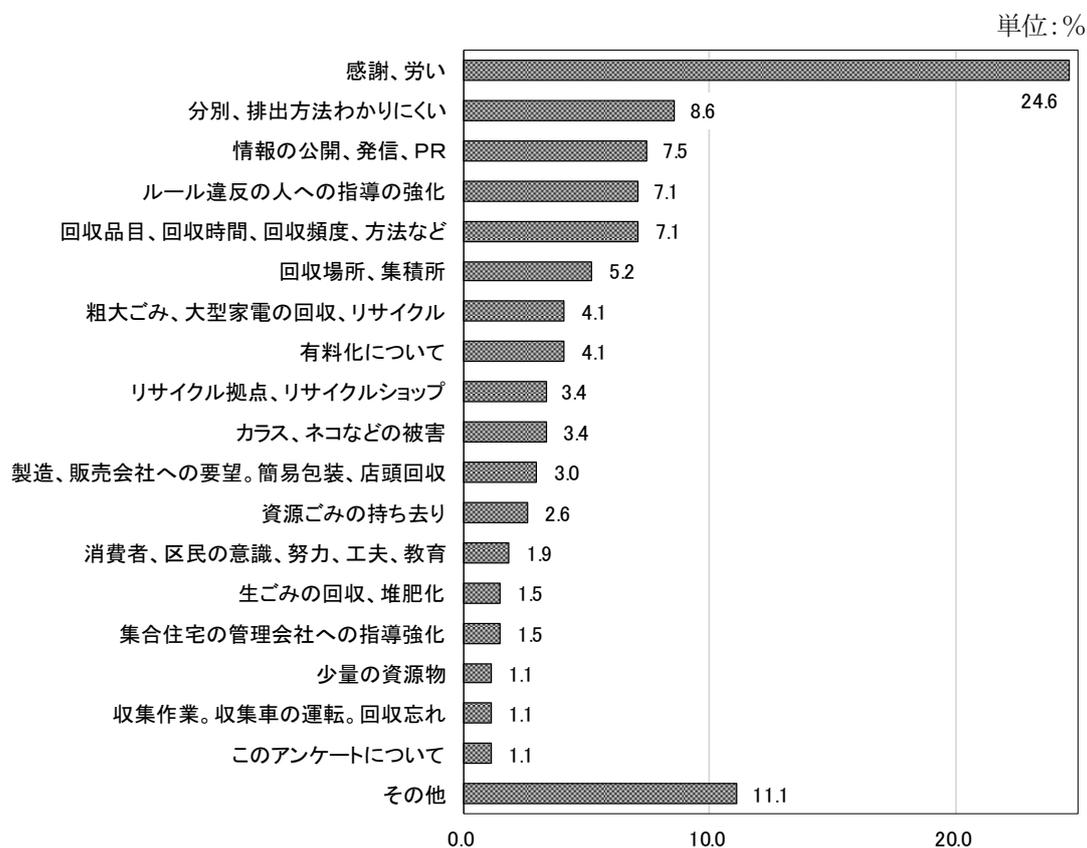
図2-43 資源・ごみの処分方法をまとめ



#### (4) 自由記入欄

自由記入欄に記入していただいた内容をまとめると次の表となる。清掃作業者などに対する「感謝や労い」の言葉が最も多く24.6%、次いで「分別、排出方法がわかりにくい」が8.6%であった。「リサイクルできる汚れの判断の基準がわからない」、「ホームページを見てもわからない」、「どこに出したらいいかわからない」などの記入があった。「情報公開、発信、PR」は7.5%であり、「分別した効果が知りたい」、「最終処分場の寿命が近いことをPRすべき」、「ごみの出し方等を繰り返し広報する」などの記入があった。「その他」には「川をきれいにしてほしい」、「ごみに被せるネットが欲しい」、「収集車の臭い対策を強化してほしい」など、幅広い意見、要望があった。

図2-44 自由記入集計



## 第3章 事業所ごみアンケート調査

### 3-1 調査概要

#### (1) 調査目的

ごみ処理・リサイクルに対する事業所の行動や意向、事業系不用物がどのような方法で資源化されているかを把握すること。

#### (2) 実施内容

- ① 前回の調査を参考に区と協議を行い、調査票を作成した。
- ② 調査対象事業所(2,014 事業所)に対して、アンケート票を送付した。
- ③ 返信のあった回答を分析した。

#### (3) 把握事項

- ① 各事業所の事業の概要。
- ② 各事業所のごみや資源の保管場所と委託状況。
- ③ 各事業所の不用物の種類と量ならびに処分方法。

#### (4) 調査の詳細

- ① 品川区内の 2,014 事業所を選定し、依頼文(別紙3)及びアンケート回答用紙(別紙4)、返信用封筒を送付した。アンケートの発信者は発注者からとし、返信先は受注者とした。その際に発注者からの委託関係を明記した。
- ② 返信されたアンケートを集計した。締め切り日以降に到着したものについても、できる限りデータに反映させることとした。

#### (5) 調査期間

令和4年7月 11 日に調査票を発送した。返送の期限は7月 25 日とした。  
実際には8月 10 日までに到着した分までを集計対象とした。

### 3-2 調査結果

発送した 2014 票のうち、553 票の回答があった。宛先不明や転出等で返送された 103 票を除く 1911 票に対し、回収率は 28.9%であった。

(1) 回答事業所の概要

● 業種・従業者数

図3-1 回答事業所の業種内訳

単位:%

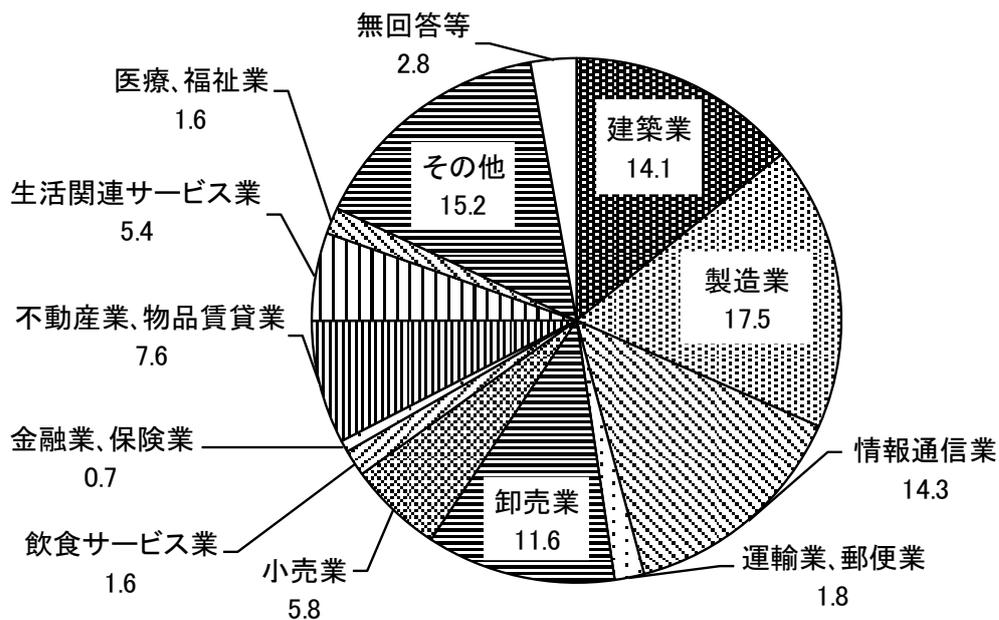


図3-2 回答事業所の従業者規模内訳

単位:%

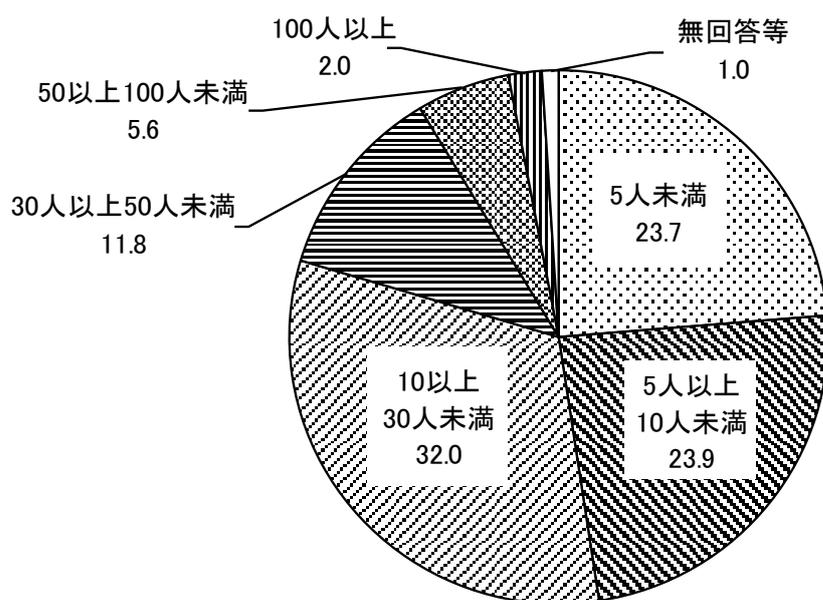


表3-1 業種別従業者規模

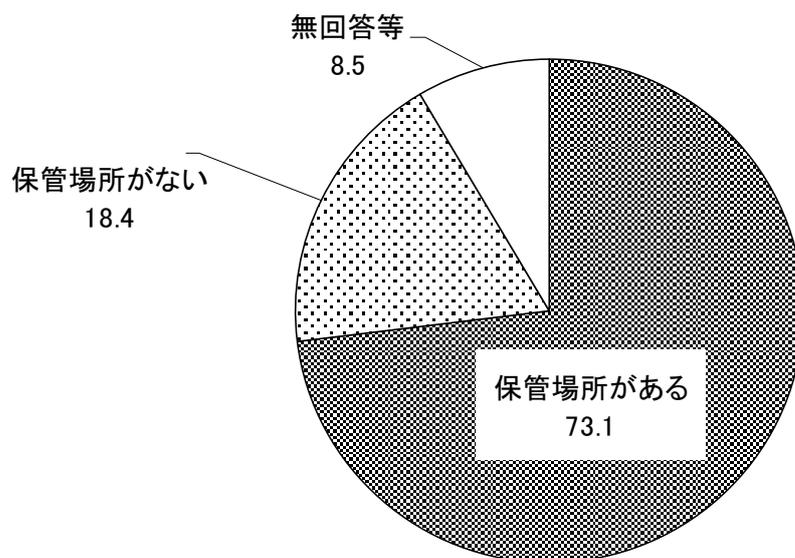
(上段:回答数、下段:構成比)

回答 区分	1	2	3	4	5	6	無回答 無効等	合計
	5人未満	5人以上10 人未満	10人以上 30人未満	30人以上 50人未満	50人以上 100人未満	100人以上		
全体	131 23.7	132 23.9	177 32.0	65 11.8	31 5.6	11 2.0	6 1.0	553 100.0
建築業	11 14.1	20 25.6	21 26.9	16 20.5	6 7.7	3 3.9	1 1.3	78 100.0
製造業	21 21.6	22 22.7	38 39.2	9 9.3	6 6.2	1 1.0	0 0.0	97 100.0
情報通信業	15 19.0	14 17.7	24 30.4	16 20.3	8 10.1	2 2.5	0 0.0	79 100.0
運輸業、郵便業	1 10.0	0 0.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	10 100.0
卸売業	17 26.6	15 23.4	24 37.5	4 6.3	3 4.7	0 0.0	1 1.5	64 100.0
小売業	7 21.9	11 34.4	13 40.6	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 100.0
飲食サービス業	3 33.3	3 33.3	2 22.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0
金融業、保険業	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
不動産業、物品賃貸業	22 52.3	11 26.2	5 11.9	2 4.8	1 2.4	0 0.0	1 2.4	42 100.0
生活関連サービス業	10 33.3	7 23.3	7 23.3	2 6.7	3 10.0	0 0.0	1 3.4	30 100.0
医療、福祉業	3 33.3	1 11.1	2 22.3	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0
その他	18 21.4	24 28.6	29 34.5	8 9.5	3 3.6	2 2.4	0 0.0	84 100.0
無回答、不明、無効	2 13.3	2 13.3	5 33.4	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	15 100.0

### ● 保管場所の有無

資源やごみの保管場所について、73.1%が「保管場所がある」と回答しているが、18.4%は「保管場所がない」と回答している。

図3-3 保管場所の有無



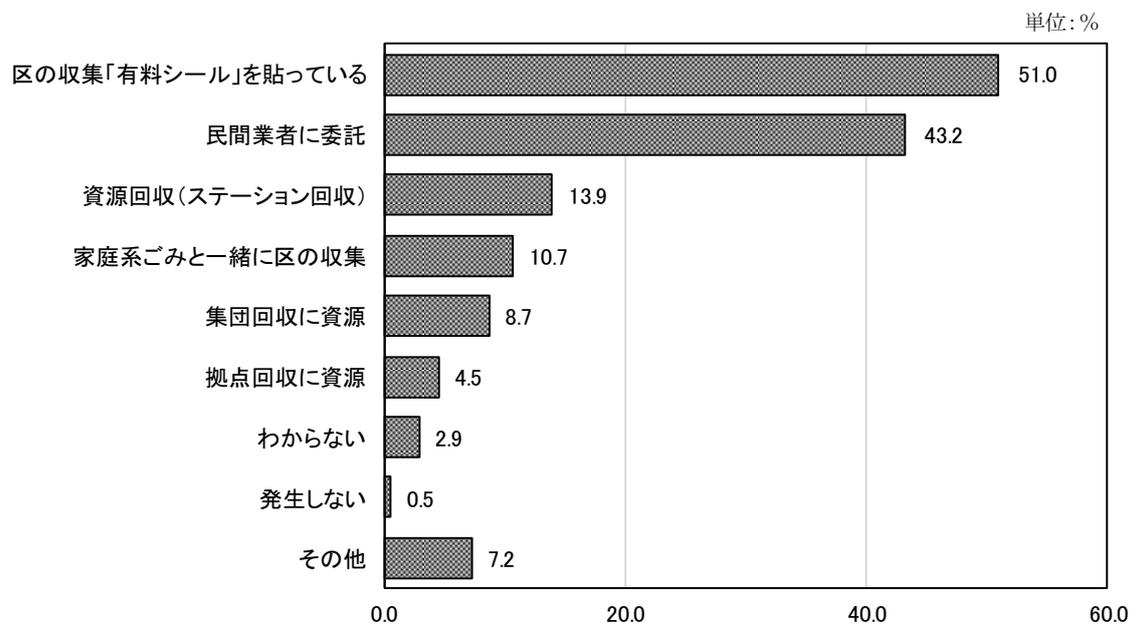
## (2) 資源・ごみの排出実態について

### ● 資源回収、ごみ処理の方法

5割近くの事業所が区収集に「有料シール」を貼って出している。4割以上の事業所は「民間業者の回収、ごみの処理を委託している」と回答している。

「その他」を選択した40件の内、22件の事業所が“ビルの管理会社が行っている”と回答している。

図3-4 資源回収、ごみ処理の方法

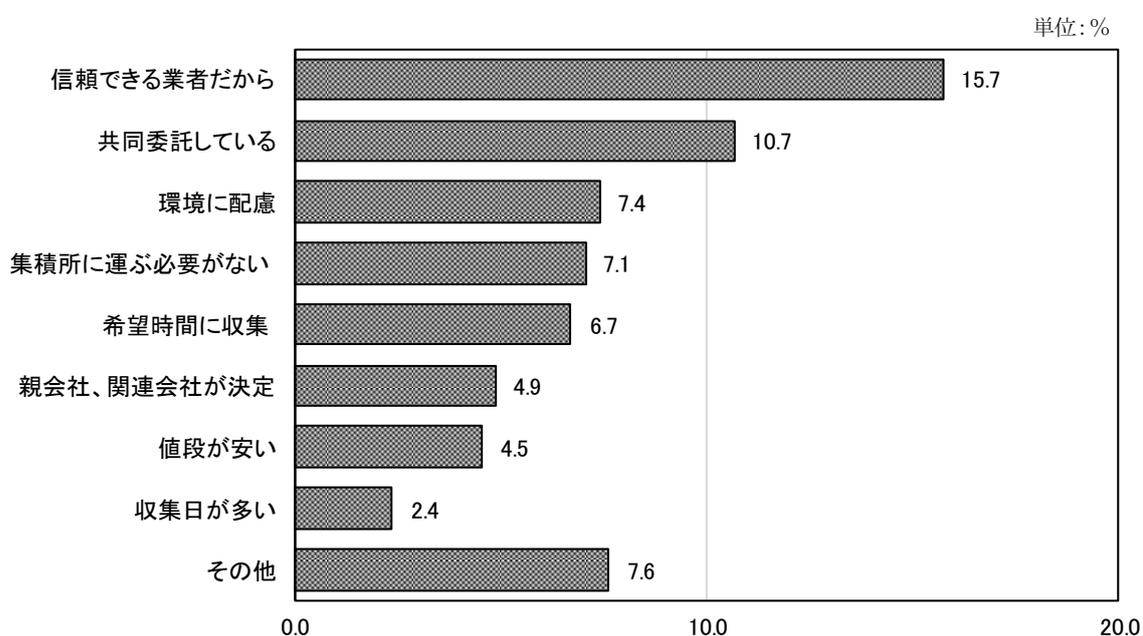


### ● 現在委託している民間処理業者を選んだ理由

現在委託している民間処理業者を選んだ理由として「信頼できる業者だから」が 15.7%と最も高い、次いで「共同委託している」が 10.7%、「環境に配慮してくれるから」が 7.4%と続く。

「その他」を選択した 41 件のうち 25 件は“ビル管理会社が処理業者を決定している”と回答している。

図3-5 現在委託している民間処理業者を選んだ理由



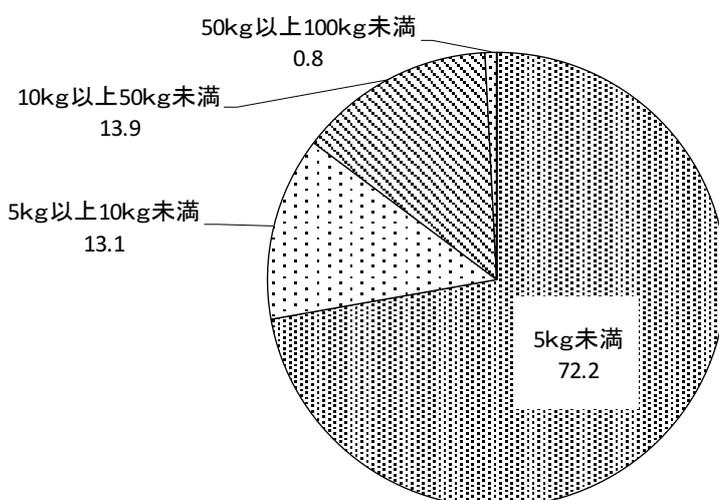
● 区収集への排出量

設問で「民間業者に委託している」を選択しなかった事業所について、品川区の収集に排出している一週間あたりの資源量・ごみの量について質問した。

品川区の収集に排出している一週間あたりの資源量をみると、「5kg未満」が72.2%と最も多く、「10kg以上 50kg未満」が13.9%、「5kg以上 10kg未満」が13.1%である。

図3-6 品川区の収集に排出している一週間あたりの資源量

単位：%



品川区の収集に排出している一週間あたりのごみの量をみると、「5kg未満」が39.5%と最も多く、「5kg以上 10kg未満」が25.9%、「10kg以上 50kg未満」が28.3%である。

図3-7 品川区の収集に排出している一週間あたりのごみの量

単位：%

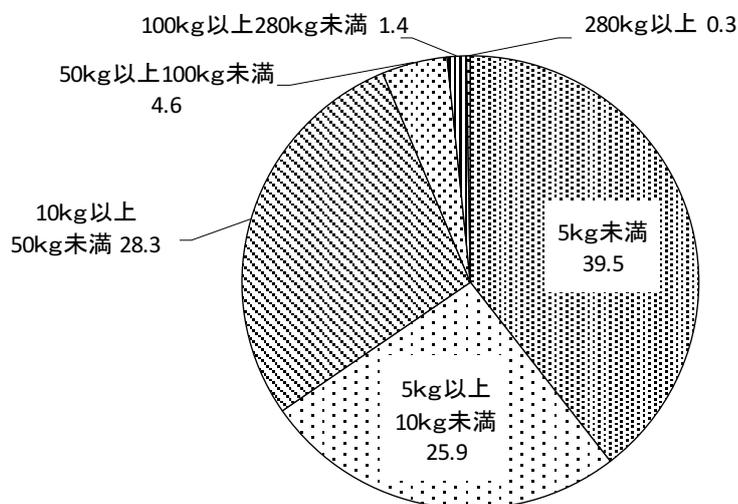
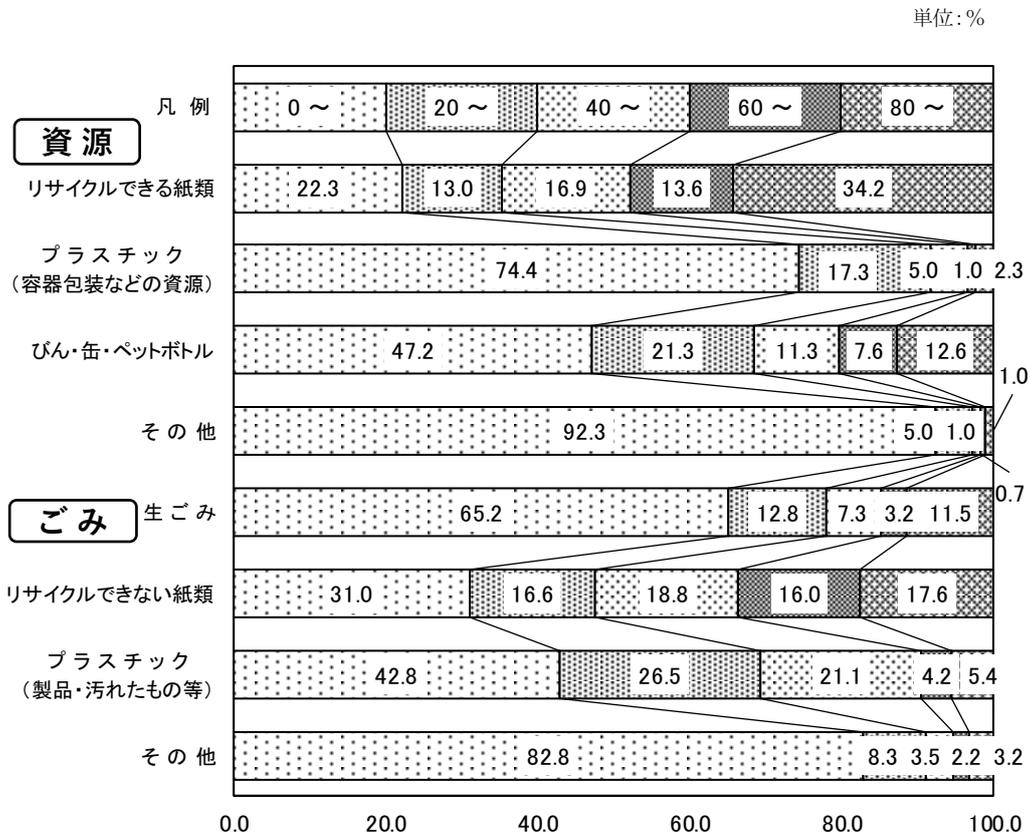


図3-8 品川区の収集に排出している資源・ごみの割合(重量換算)



品川区の収集に排出している一週間あたりの資源量・ごみの量の割合を平均すると次のようになった。

表3-2 品川区の収集に排出している一週間あたりの資源・ごみの割合(重量換算)

資源	リサイクルできる紙類	53.3	%
	プラスチック(容器包装などの資源)	12.1	%
	びん・缶・ペットボトル	30.0	%
	その他	4.6	%
ごみ	生ごみ	22.4	%
	リサイクルできない紙類	40.5	%
	プラスチック(製品・汚れたもの等)	26.5	%
	その他	10.6	%

図3-9 品川区の収集に排出している資源の割合(重量換算)

単位:%

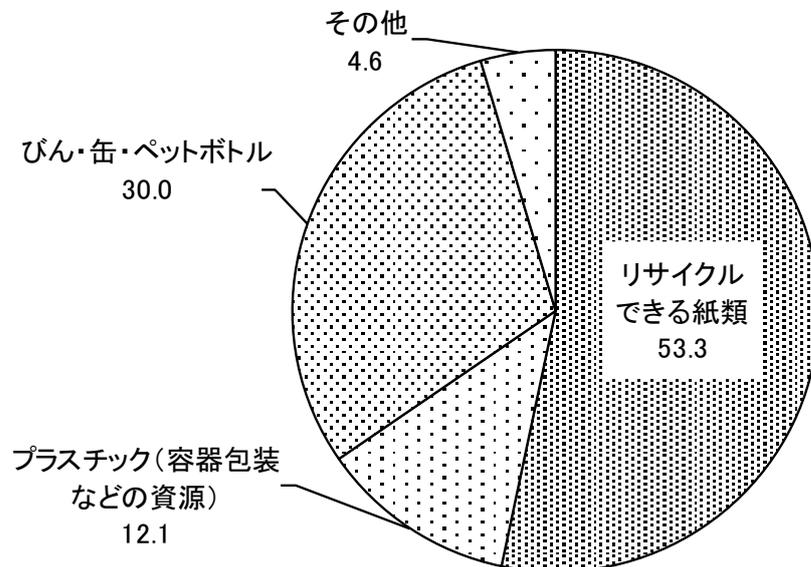
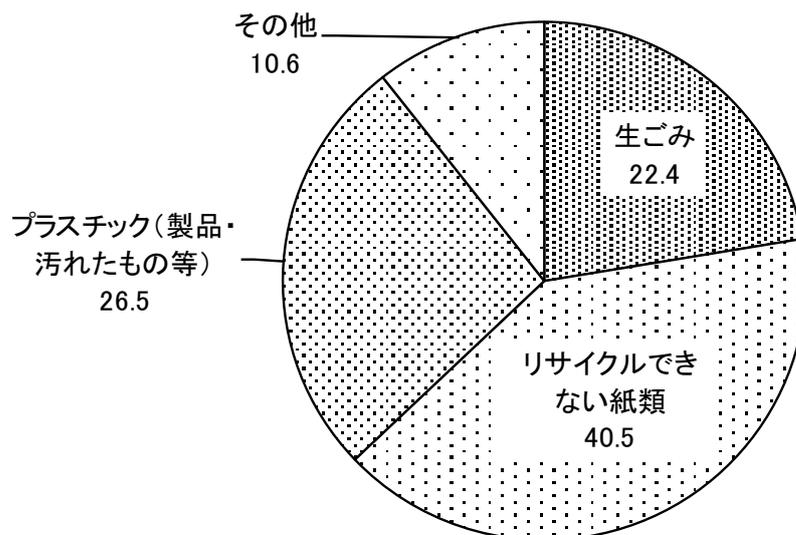


図3-10 品川区の収集に排出しているごみの割合(重量換算)

単位:%



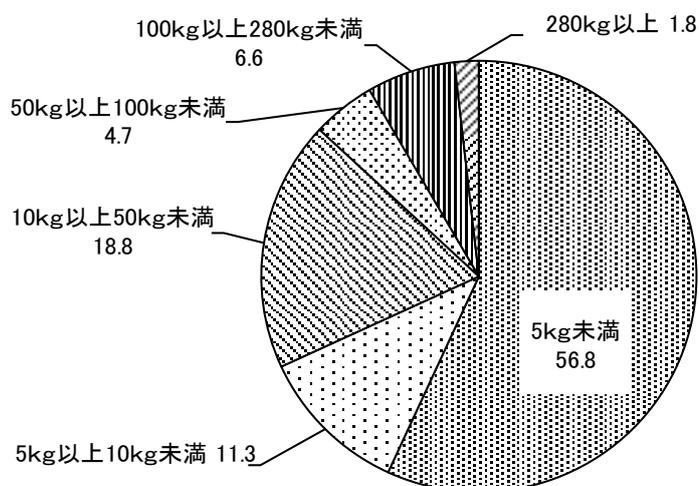
● 委託処理などへの排出量

「委託処理などを利用している事業所」について、一般廃棄物収集業者やリサイクル業者に排出している一週間あたりの資源量・ごみの量について質問した。

委託処理などに排出している一週間あたりの資源量をみると、「5kg未満」が 56.8%、「10kg以上 50kg未満」が 18.8%、「5kg以上 10kg未満」が 11.3%である。

図3-11 委託処理などに排出している一週間あたりの資源量

単位：%



委託処理などに排出している一週間あたりのごみの量をみると、「5kg未満」が 60.6%、「10kg以上 50kg未満」が 20.7%、「5kg以上 10kg未満」が 8.9%である。

図3-12 委託処理などに排出している一週間あたりのごみの量

単位：%

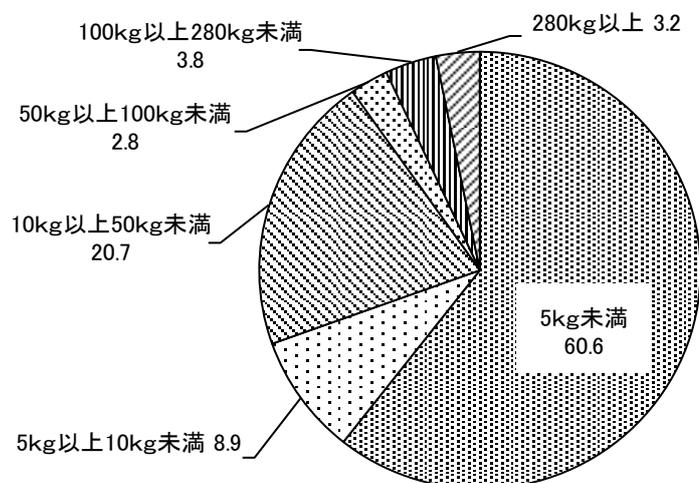
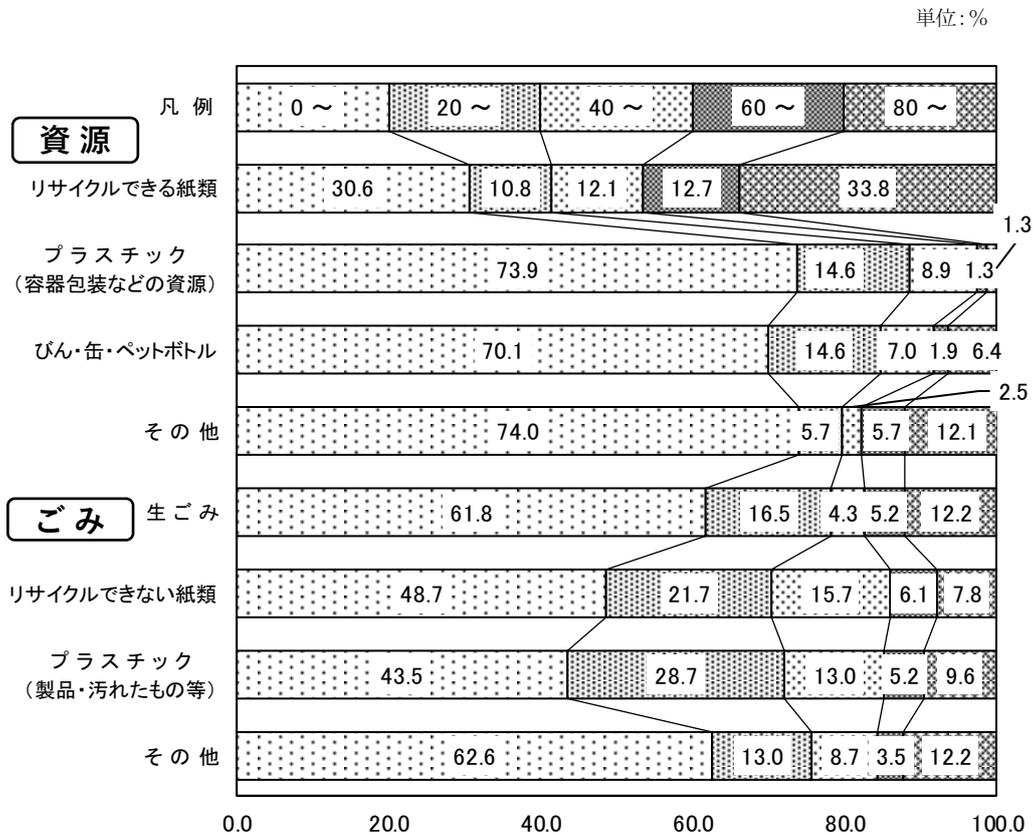


図3-13 委託処理などに排出している資源・ごみの割合(重量換算)



民間業者に委託している一週間あたりの資源量・ごみの量の割合を平均すると次のようになった。

表3-3 委託処理などに排出している一週間あたりの資源・ごみの割合(重量換算)

資源	リサイクルできる紙類	49.9 %
	プラスチック(容器包装などの資源)	12.7 %
	びん・缶・ペットボトル	17.5 %
	その他	19.9 %
ごみ	生ごみ	23.4 %
	リサイクルできない紙類	25.5 %
	プラスチック(製品・汚れたもの等)	28.3 %
	その他	22.8 %

図3-14 委託処理などに排出している資源の割合(重量換算)

単位:%

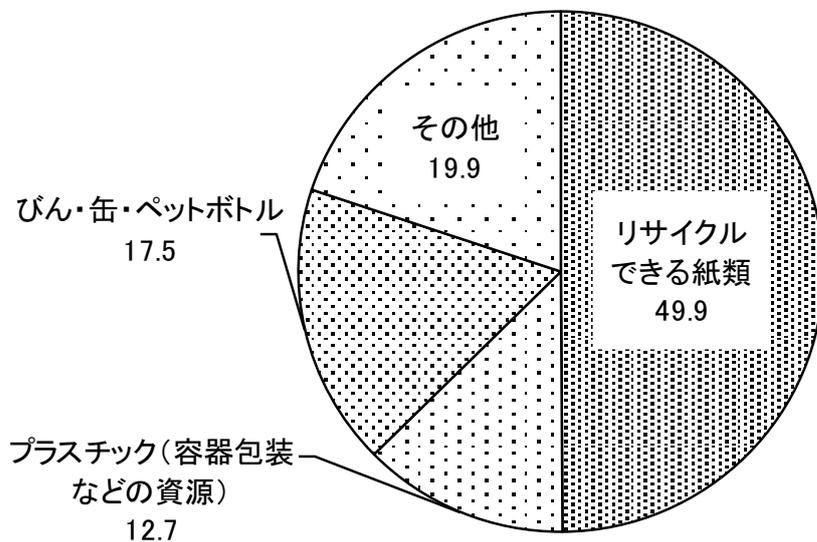
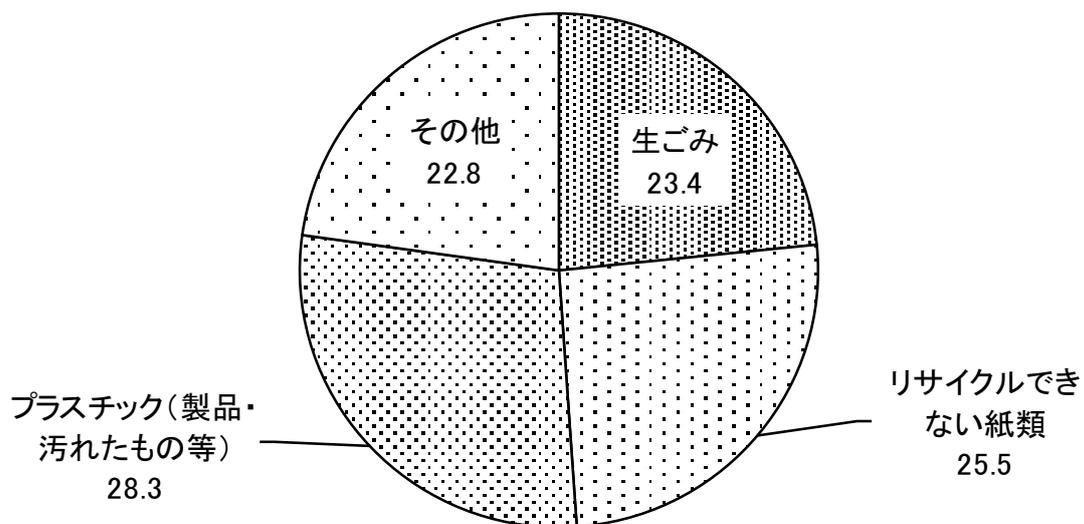


図3-15 委託処理などに排出しているごみの割合(重量換算)

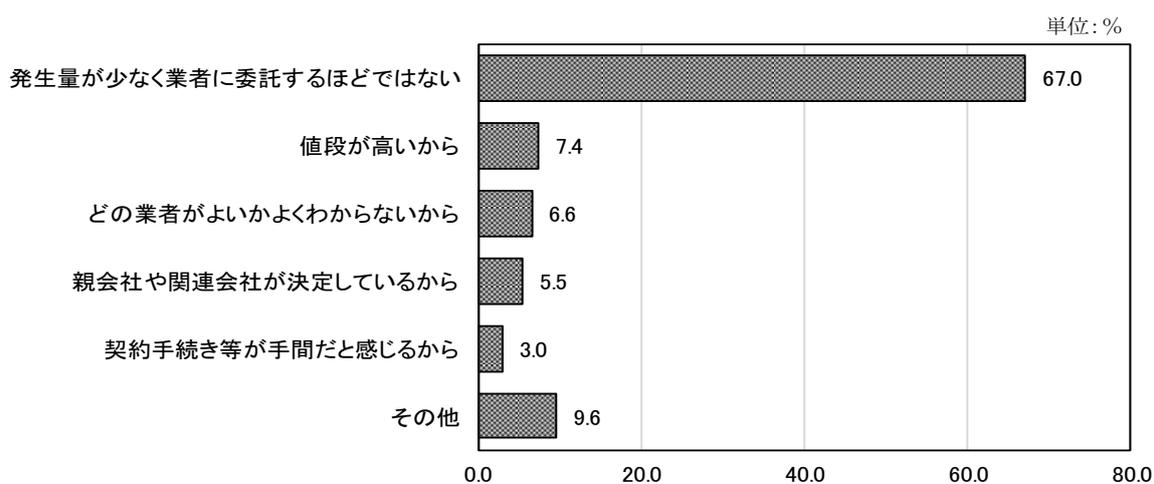
単位:%



● 民間処理業者に委託していない理由

民間処理業者に委託していない理由としては「発生量が少なく業者に委託するほどではないから」が67.0%と最も多い。「その他」を選択した34件のうち24件は“ビル管理会社に任せている”と回答している。

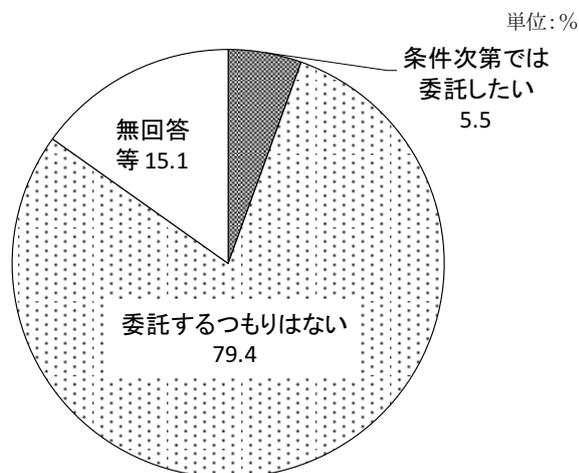
図3-16 民間処理業者に委託していない理由



● 許可業者委託への移行の考え

現在、民間処理業者に委託していない事業所へ民間の許可業者への委託に移行する考えの有無について質問すると「委託するつもりはない」が約8割となった。なお、「条件次第では委託したい」とした事業所にその条件を質問したところ、15件の回答が寄せられ、そのうち8件は“価格・金額”を挙げている。

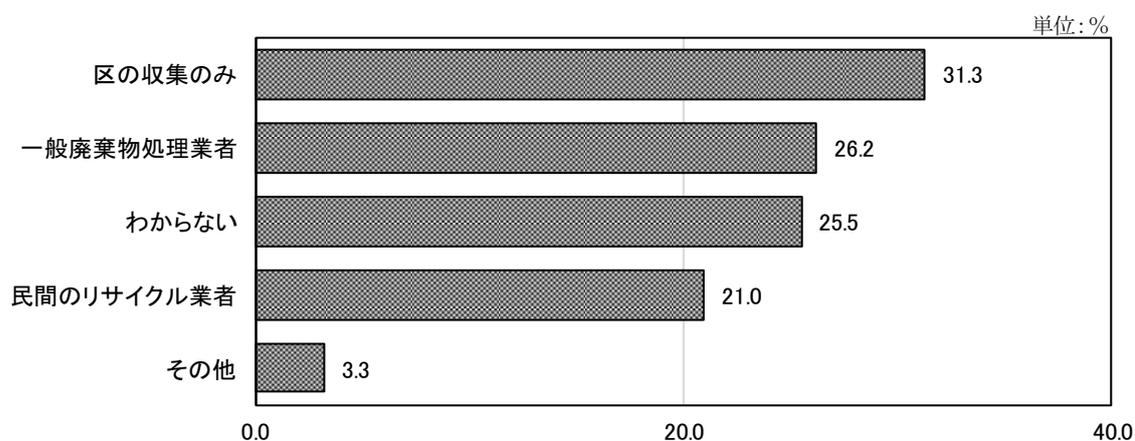
図3-17 許可業者委託への移行の考え



### ● 区収集以外で利用している処理方法

区収集以外で利用している処理方法を質問したところ、「区の収集のみ」が31.3%、「一般廃棄物処理業者」が26.2%、「民間のリサイクル業者」が21.0%であった。「その他」の回答は、“町会資源”、“自社対応”、“産業廃棄物業者”などを挙げている。

図3-18 区収集以外で利用している処理方法



### (3) リサイクルやごみ減量の取り組みについて

#### ● 実施している取り組み

事業所で現在実施しているリサイクルの取り組みや、ごみの減量の施策について複数回答で回答してもらったところ、8割弱の事業所が職場に「資源の分別ボックスを設置している」と回答した。特に建設業では85.9%と最も高い。従業員規模別では、従業員数が少ない事業所の実施率が低い傾向にある。

「社内ルール作り」は49.0%の事業所が実施している。

「生ごみの水切り」は47.9%の事業所が実施している。

「その他」の回答は、“量が少ないので分別して出している”、“ペーパーレス化”などを挙げている。

図3-19 実施している取り組み

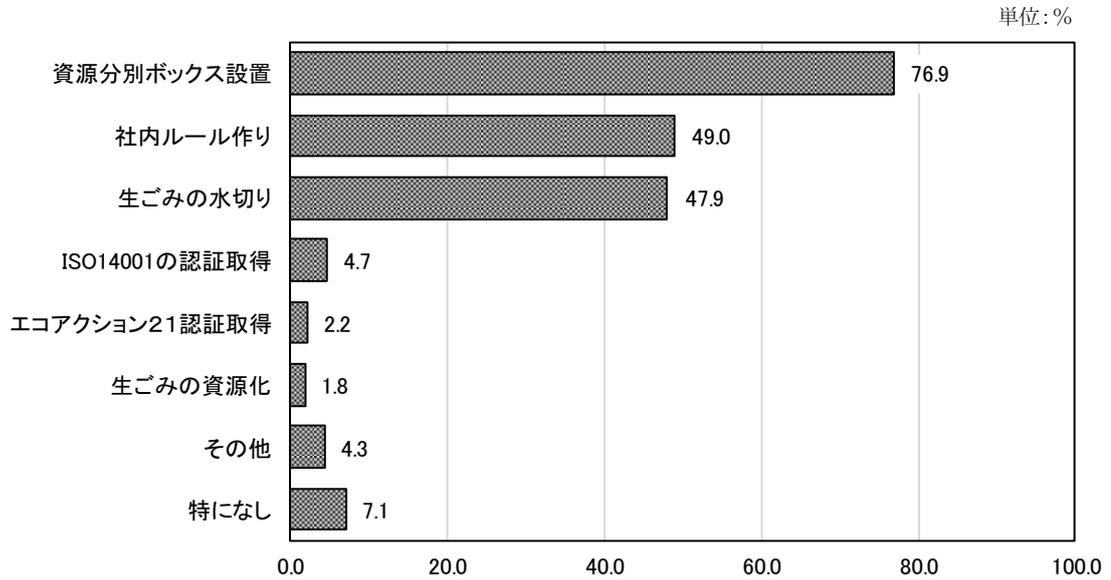


図3-20 実施している取り組み(従業員規模別クロス)

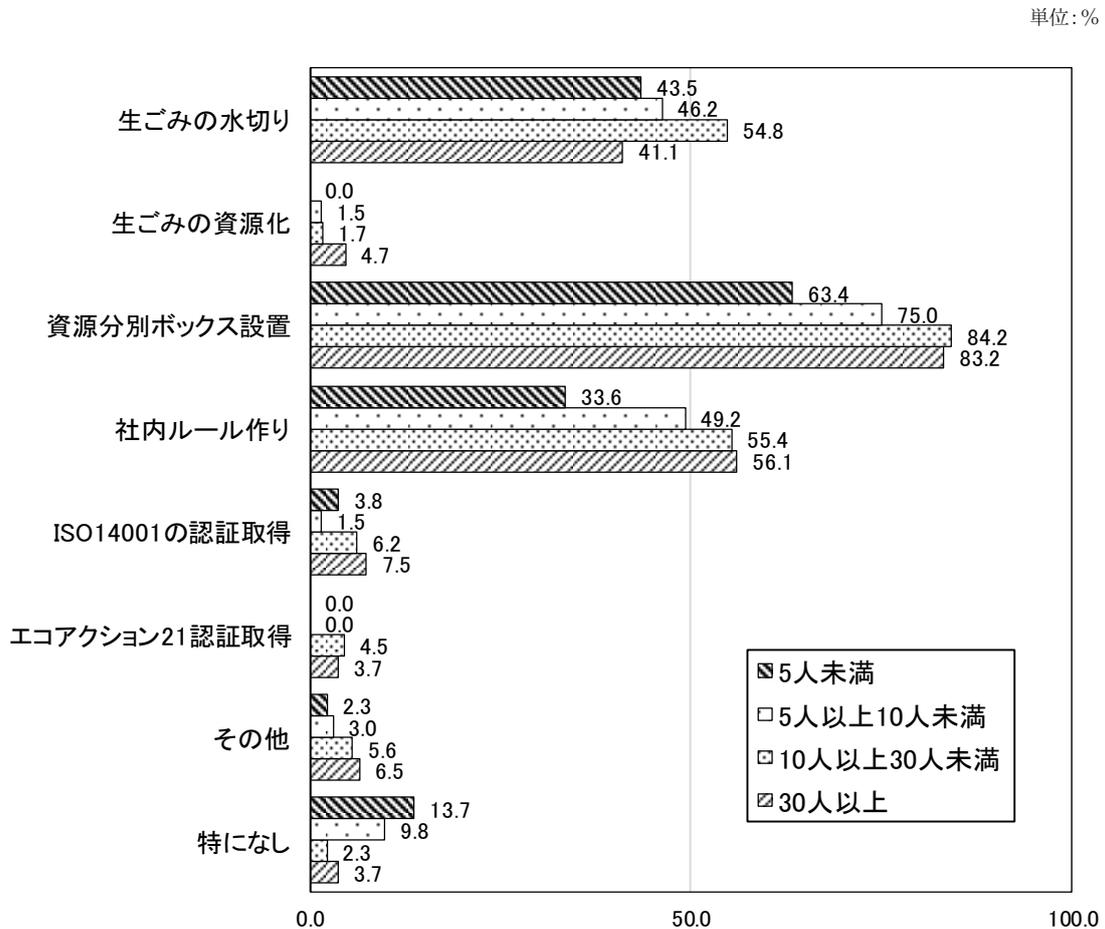
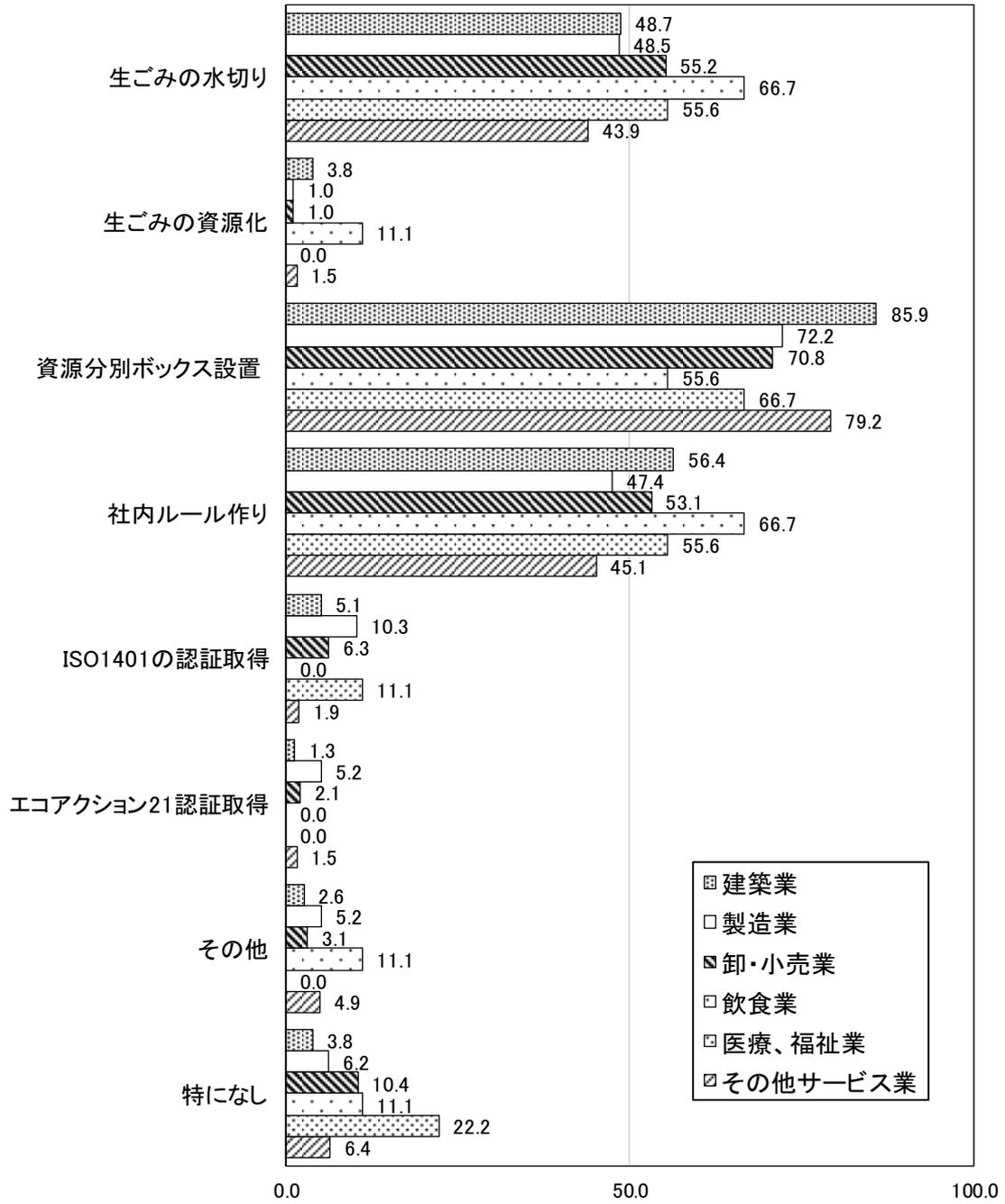


図3-21 実施している取り組み(業種別クロス)

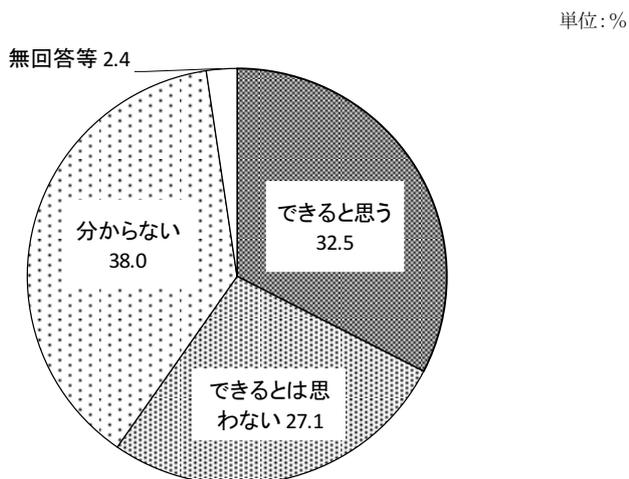
単位: %



● さらなるリサイクルやごみ減量の可能性

さらなるリサイクルやごみ減量の可能性についての質問に対して 32.5%の事業所が今よりもっとリサイクルやごみ減量が「できると思う」と回答しており、「できるとは思わない」より、若干多い。「わからない」は 38.0%である。

図3-22 さらなるリサイクルやごみ減量の可能性



業種別に見ると、製造業および飲食業における「できると思う」の回答がやや多く、従業者規模別で見ると、「10人以上 30人未満」を除いて「できると思う」の回答に大きな差はみられない。

図3-23 さらなるリサイクルやごみ減量の可能性(業種別クロス)

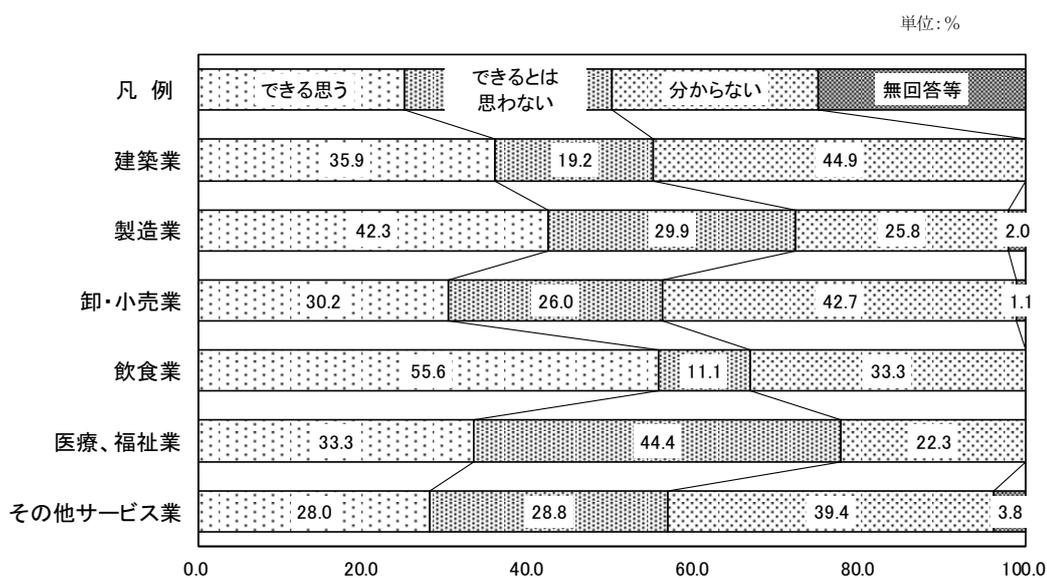
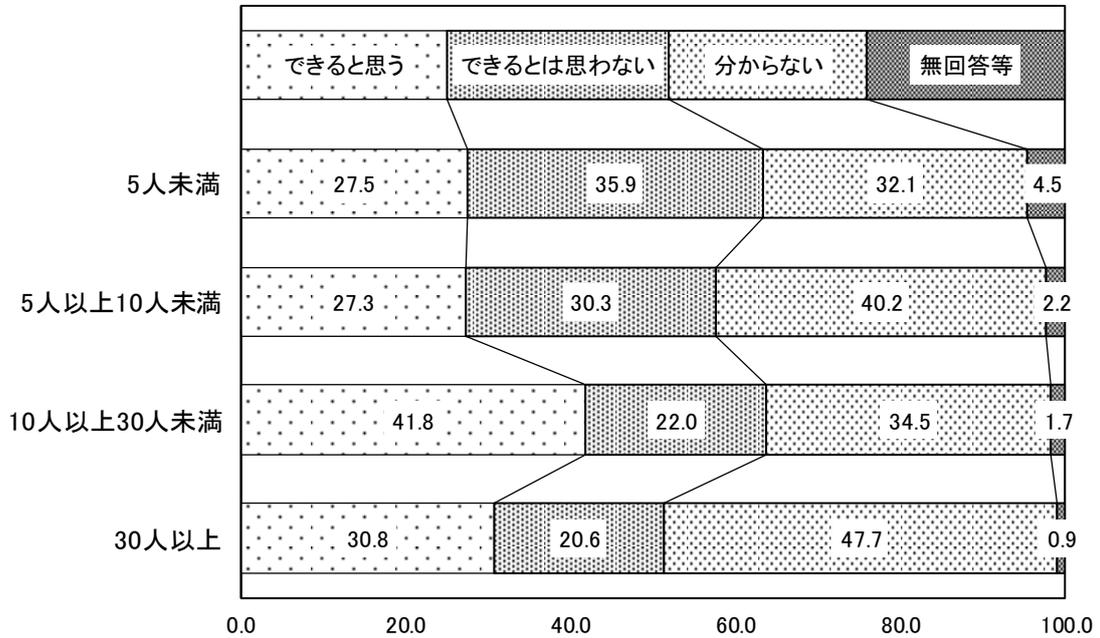


図3-24 さらなるリサイクルやごみ減量の可能性(従業員規模別クロス)

単位:%



● さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること

「さらなるごみ減量ができる」と回答した事業所に対し、取り組むことができるとした内容を質問した結果が図3-25である。「電子化などの紙類の削減」が73.3%と最も多く、次いで「梱包材などの無駄の削減」が39.4%、「古紙類の分別」が37.8%と続く。「その他」の回答は、“プラスチックの細かい分別”、“選別機の導入”などを挙げている。

従業員規模別で見ると、「古紙類の分別」は従業員数が少ないほど高くなる傾向にある。小規模事業者において、分別しても量がまとまらず、引取先の確保が困難という課題があることがうかがえる。

図3-25 さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること

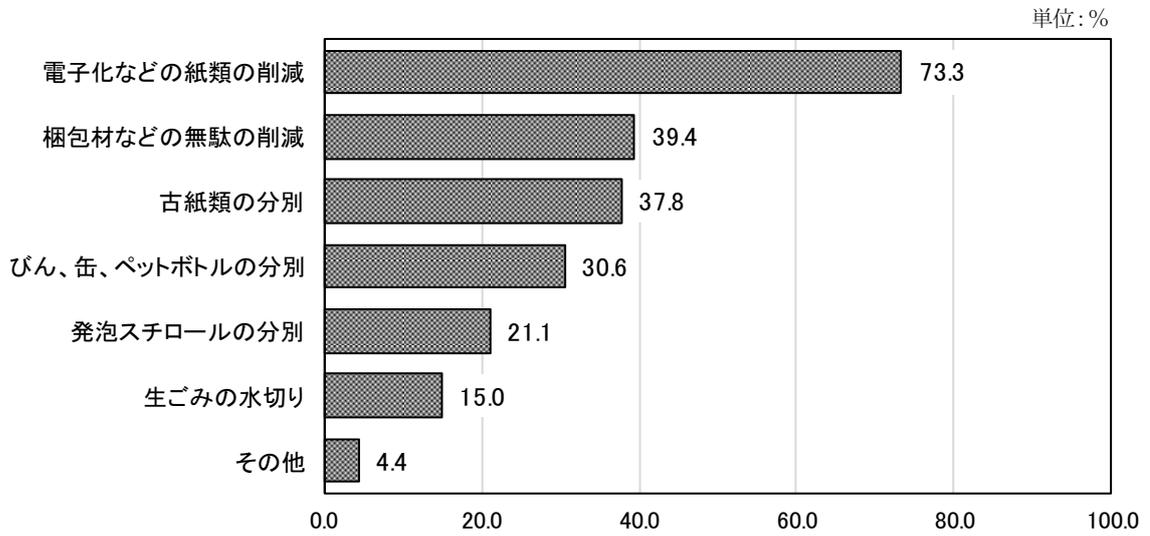


図3-26 さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること(従業員規模別クロス)

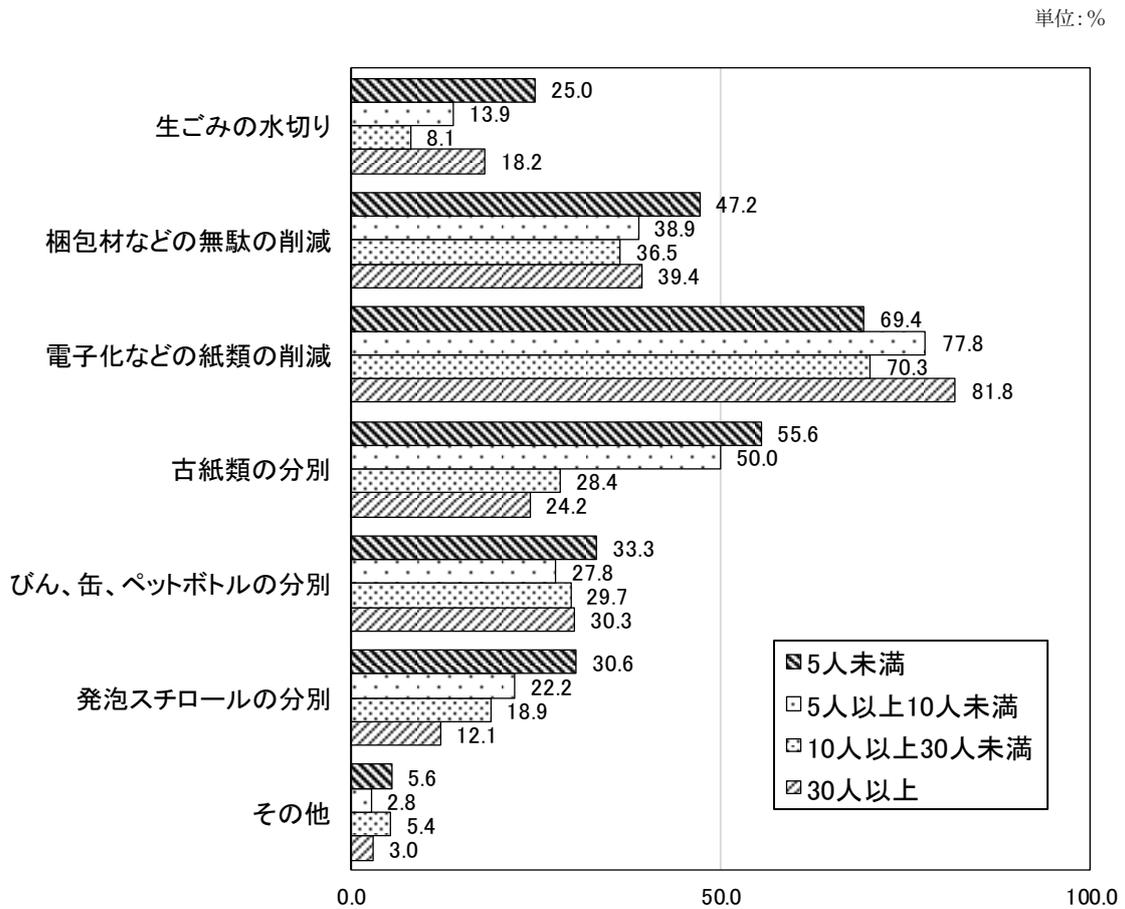
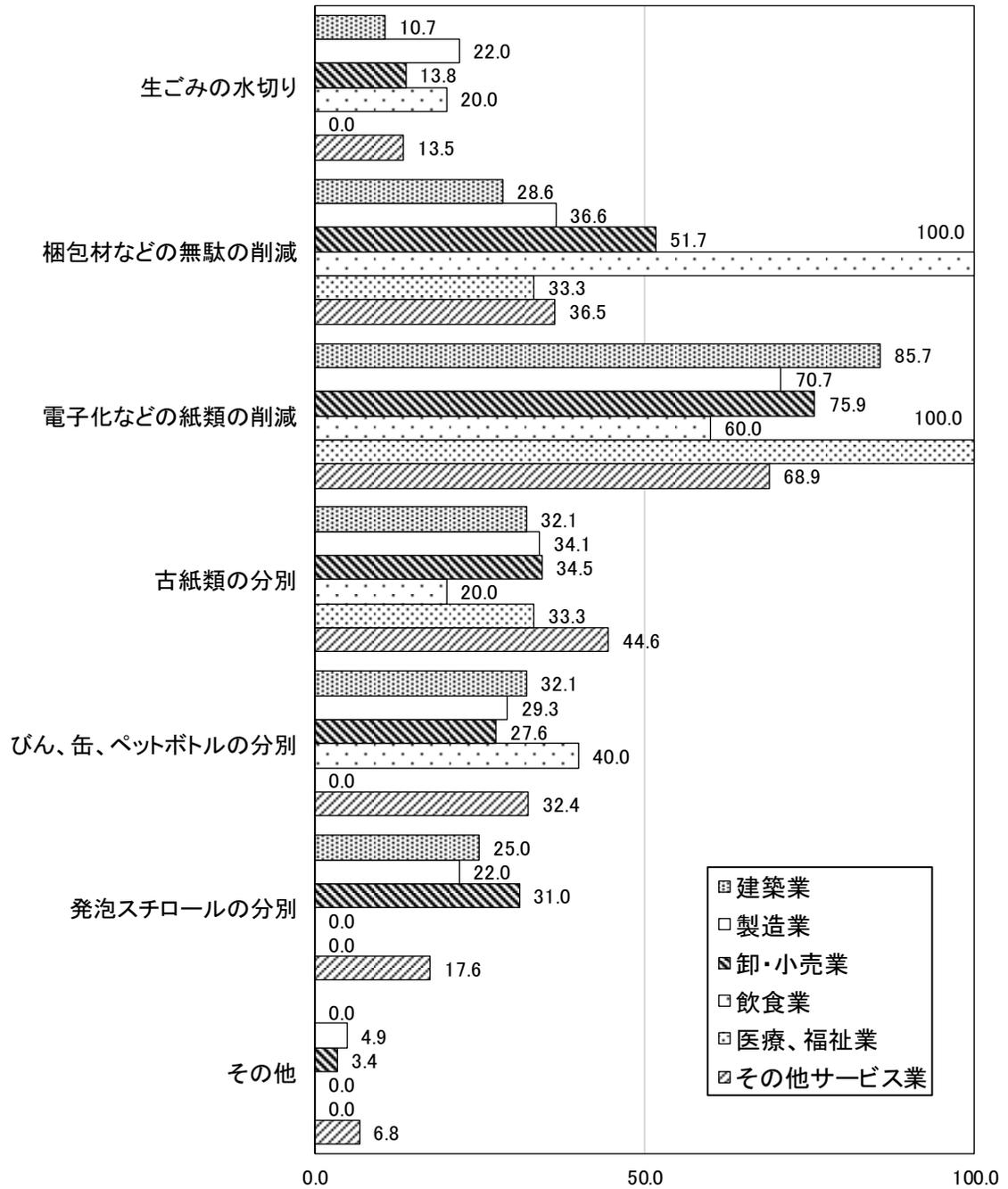


図3-27 さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること(業種別クロス)

単位: %



● リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題

リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題については、約2割の事業所が「特になし」と回答している。業種別に見ると、飲食業の3割以上が「コストが掛かる」を挙げている。従業員規模別に見ると、「特になし」を除いた回答については2割以下となっている。

「その他」の内容は、“集荷時間が早く当日朝出せないことがある”などを挙げている。

図3-28 リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題

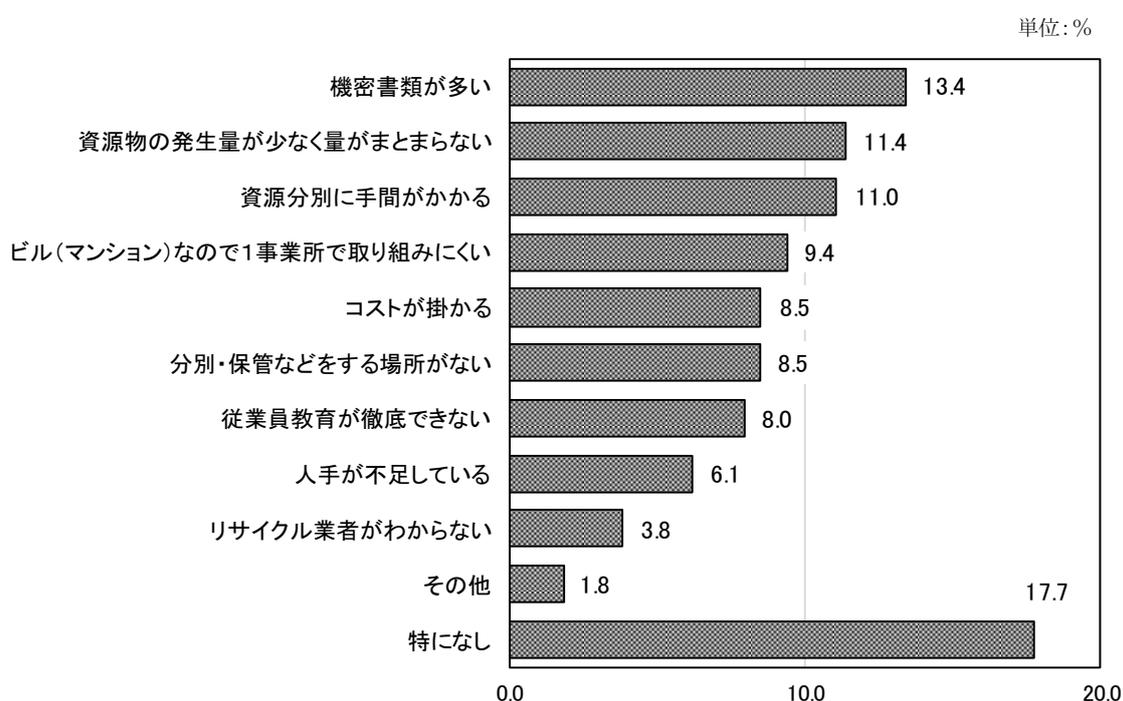


図3-29 リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題(業種別クロス)

単位:%

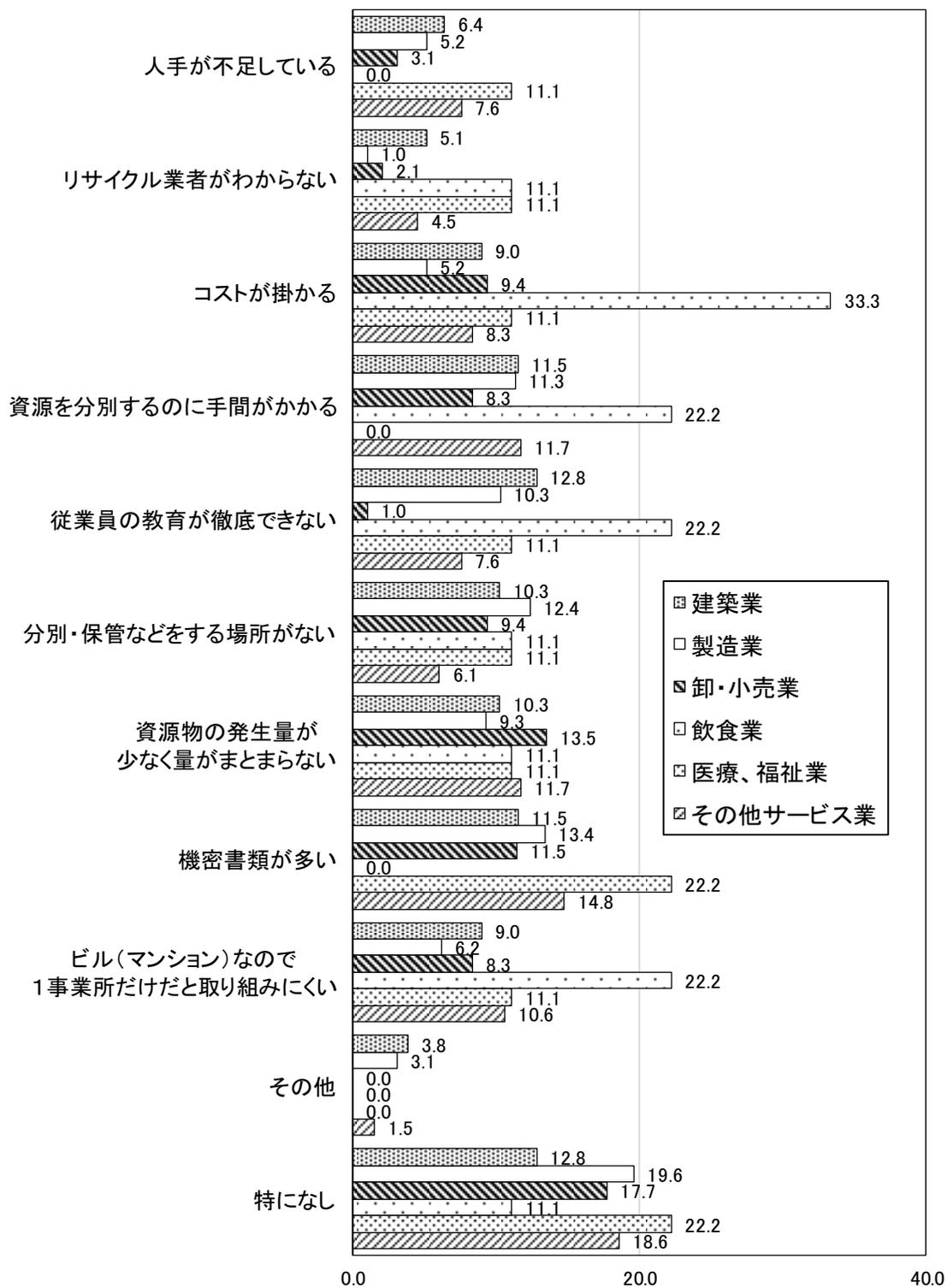
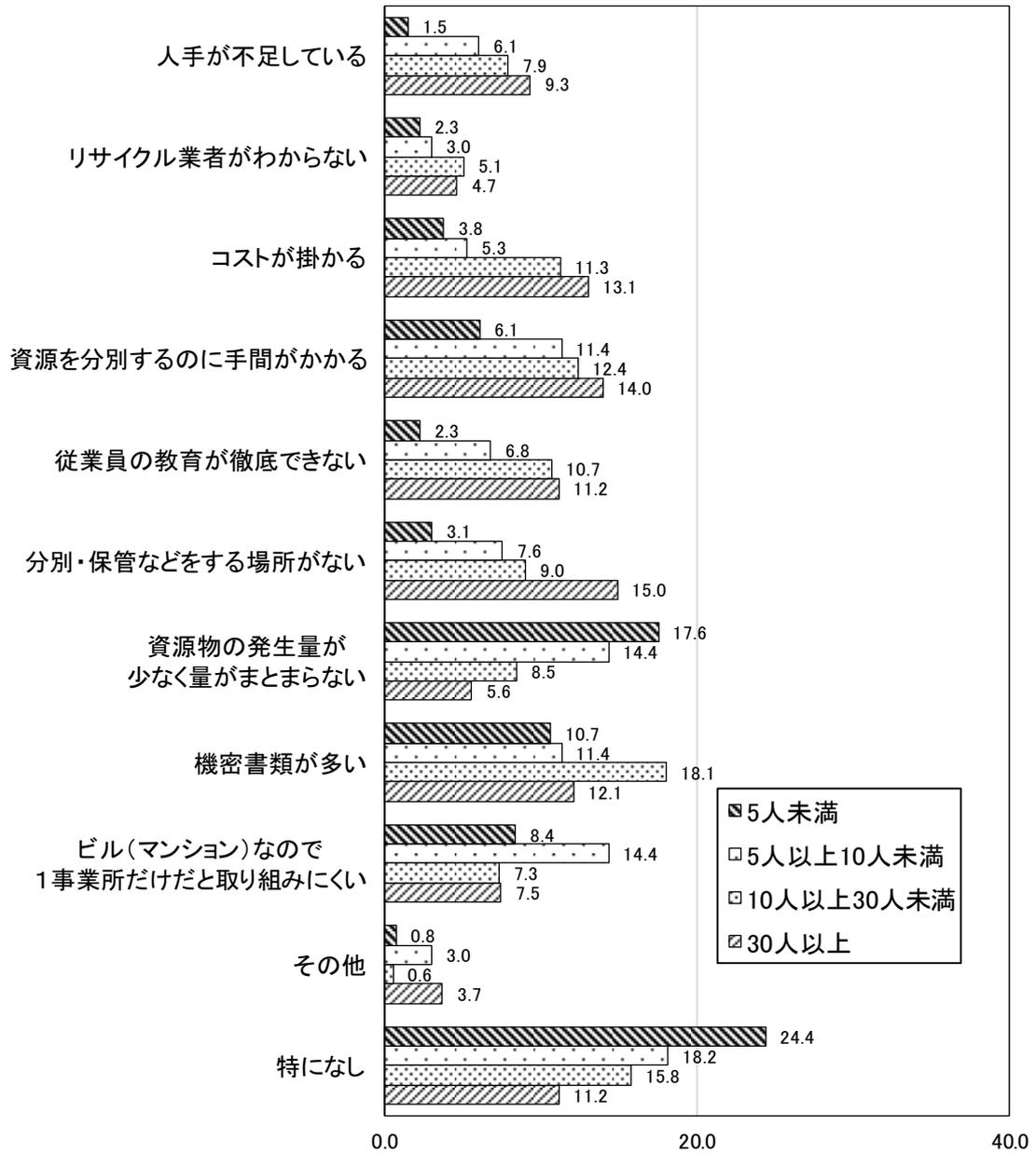


図3-30 リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題(従業員規模別クロス)

単位:%



● 品川区リサイクル事業協同組合カムズについて

品川区リサイクル事業協同組合カムズについて質問した結果、「何とも言えない」が54.6%と半分以上を占めている。「利用したいと思わない」が22.1%、「利用したい」が5.8%、「すでに利用している」が3.8%となっている。「利用したいと思わない」とする割合は、5人未満の規模の事業所でやや高くなっている。

図3-31 品川区リサイクル事業協同組合カムズの利用意向

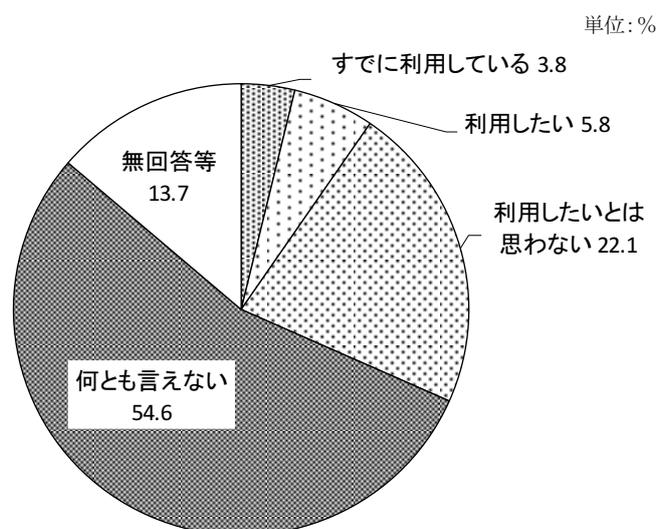
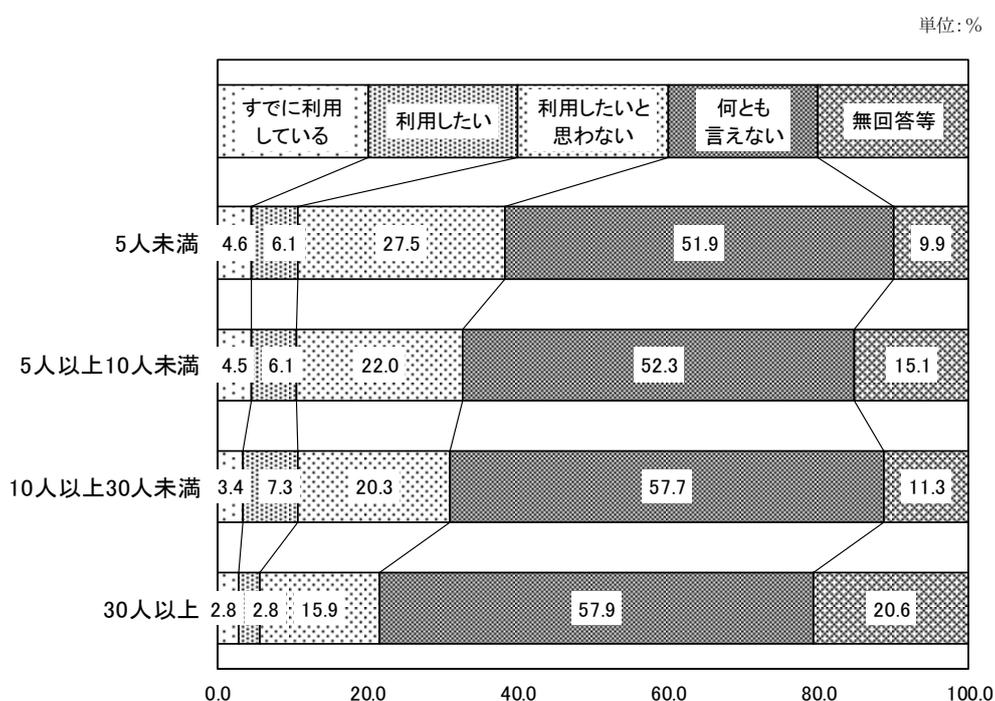


図3-32 品川区リサイクル事業協同組合カムズの利用意向(従業者規模別クロス)



● プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)について

令和4年4月1日に施行されたプラスチック資源循環法について「全く知らない」が約4割を占めている。「施行されたことは知っている」は20.4%、「法律自体は聞いたことがある」は16.3%、「内容も含めて知っている」は8.5%である。

図3-33 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の認知

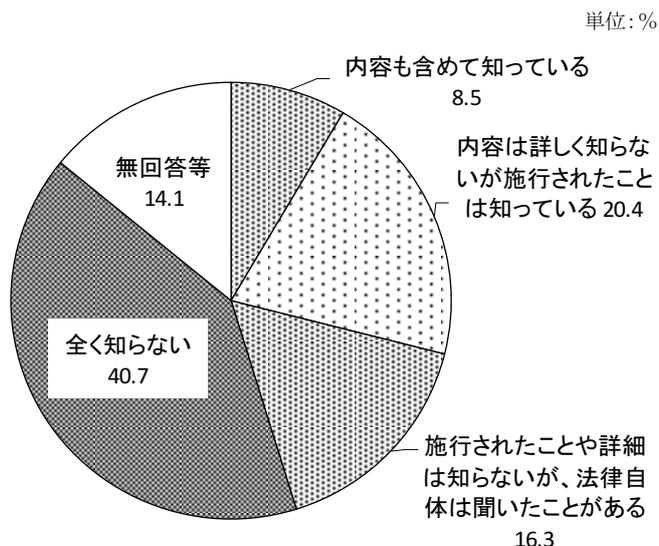
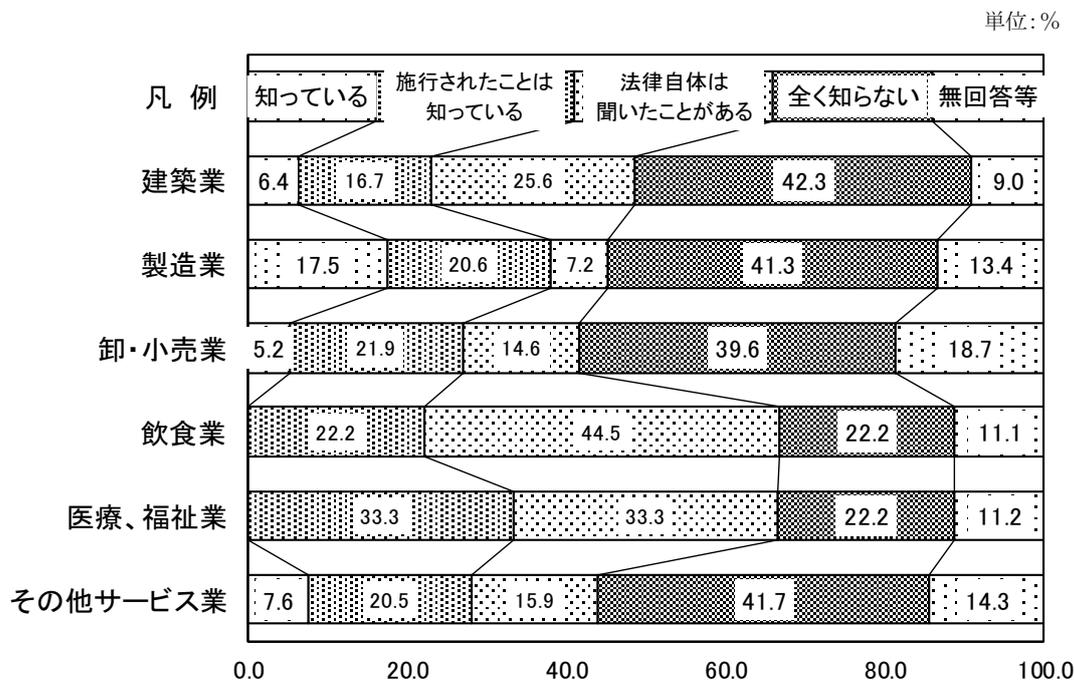


図3-34 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の認知(業種別クロス)



● プラスチック製容器包装以外のプラスチックの処理方法

プラスチック製容器包装以外のプラスチックの処理方法について質問したところ「区の収集に『有料シール』を貼って出している」が29.1%と最も多い。次いで「民間業者に委託」が19.9%と約2割を占めている。

図3-35 プラスチック製容器包装以外のプラスチックの処理方法

単位：%

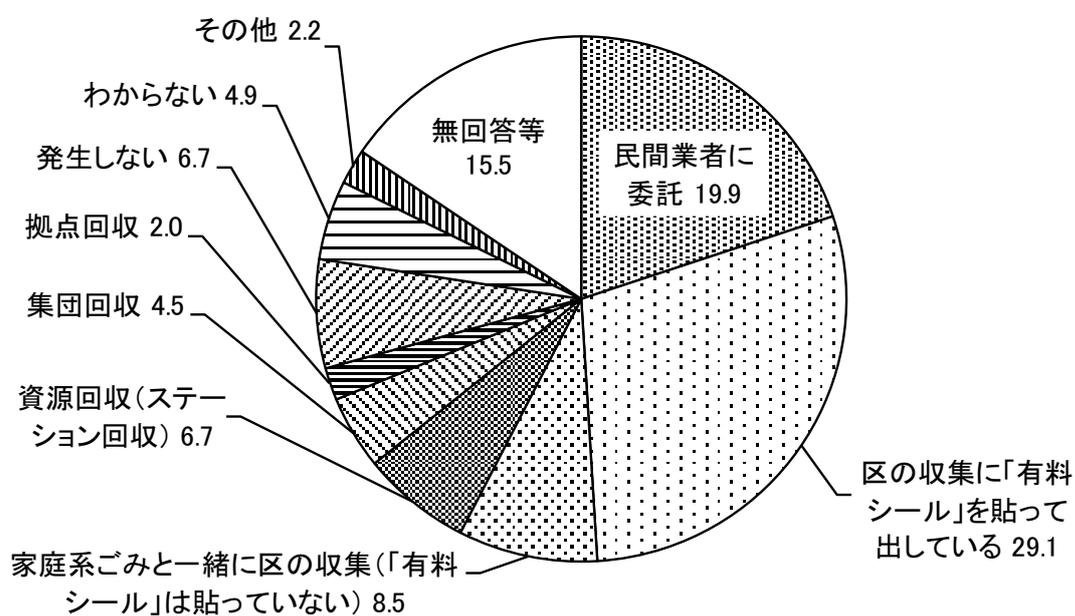
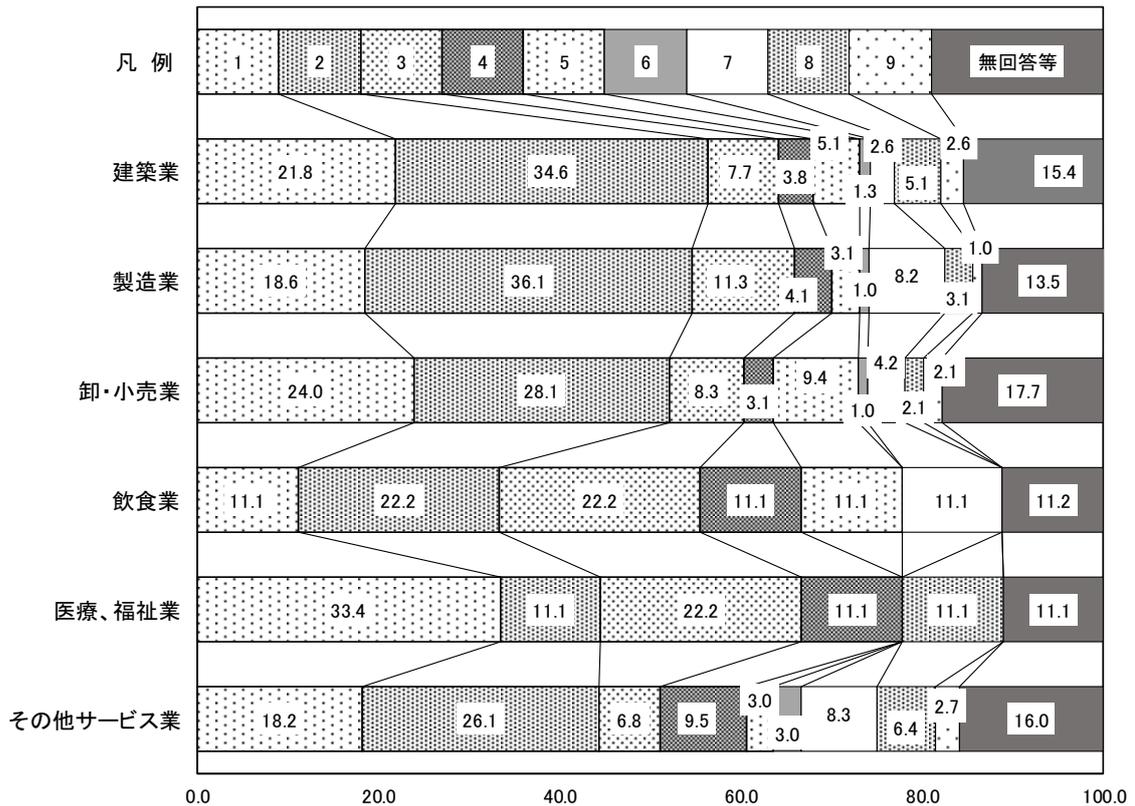


図3-36 プラスチック製容器包装以外のプラスチックの処理方法(業種別クロス)

1	民間業者に処理を委託している
2	区の収集に「有料シール」を貼って出している
3	量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している
4	資源回収(ステーション回収)に出している
5	集団回収に資源を出している
6	拠点回収に資源を出している
7	発生しない
8	わからない
9	その他

単位: %



● リサイクル・ごみ減量を推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策

リサイクルを推進、ごみ減量するにあたり、区に取り組んで欲しい施策としては「事業系ごみ分別の手引きの配布」が34.4%、次いで「特になし」が33.8%となっている。「その他」の内容は、“無料化”、“他の区との連携”、“リサイクル、分別したら得をするようなシステム構築”、“集荷時間の変更”などを挙げている。

図3-37 リサイクル・ごみ減量を推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策

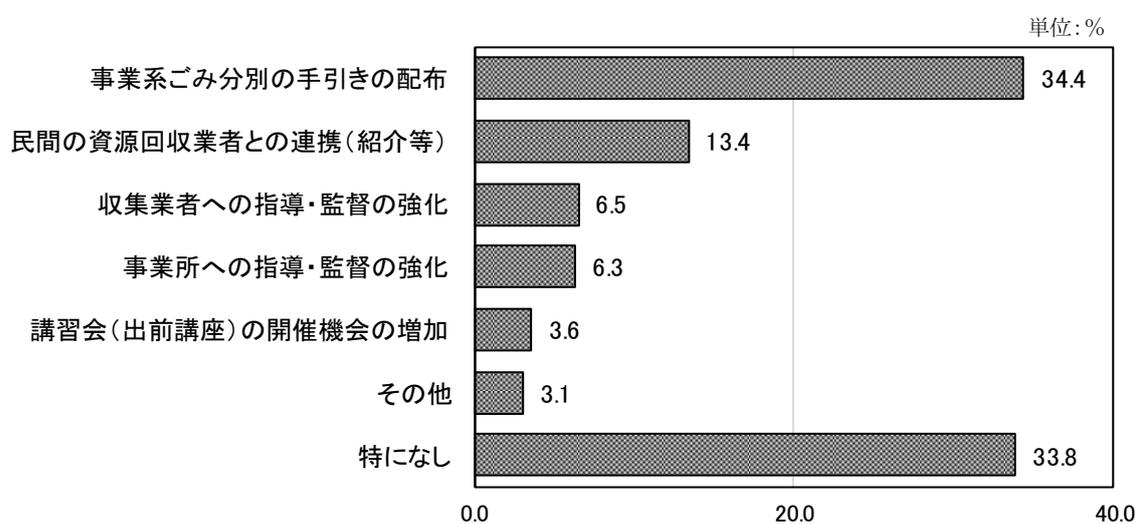
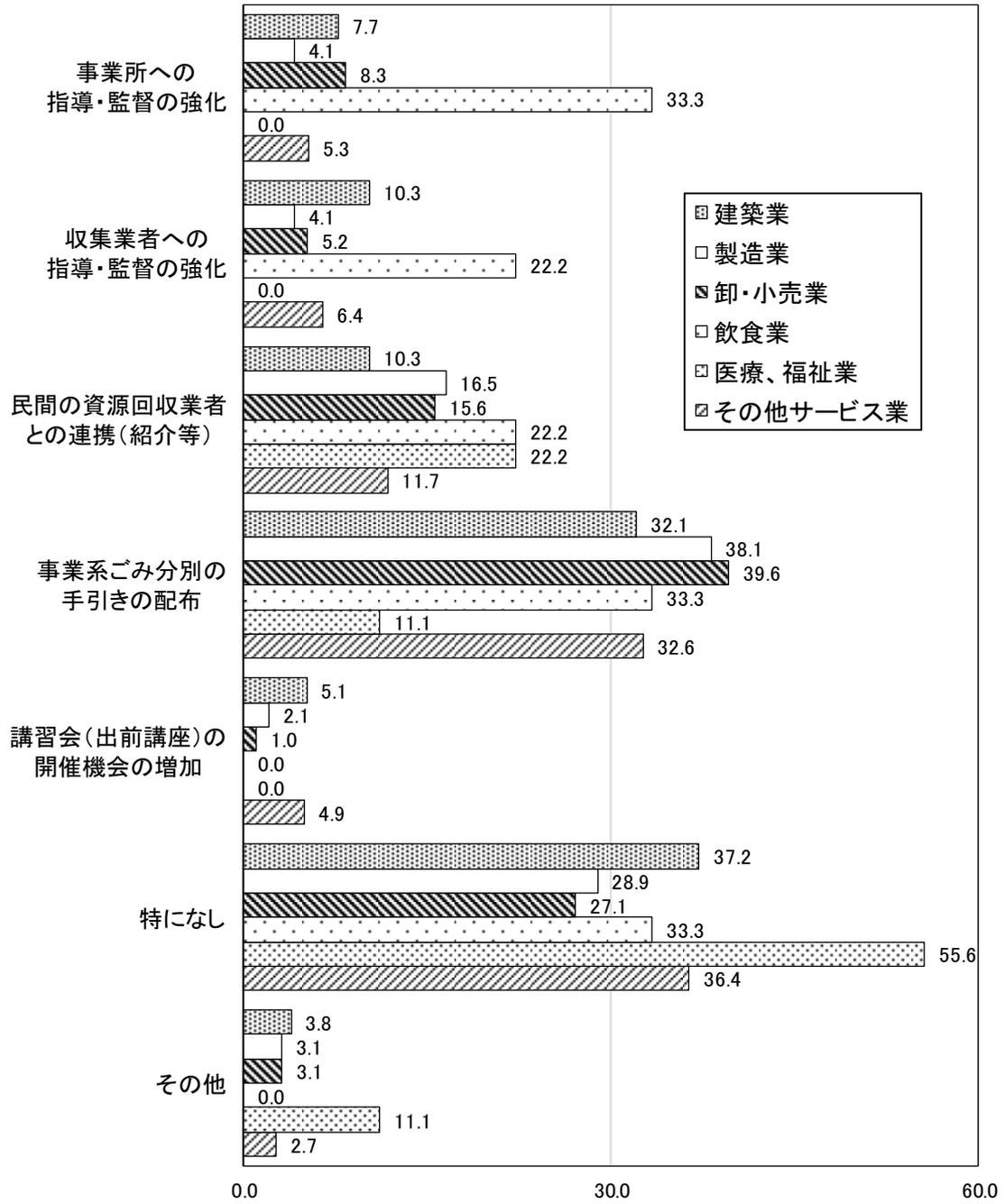


図3-38 リサイクル・ごみ減量を推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策(業種別クロス)

単位: %



### ● リサイクル・ごみ減量を推進するために必要な情報

リサイクル推進やごみ減量に必要な情報としては、「区の事業や収集に関する情報」が43.4%と最も多い。次いで「処理業者・資源回収業者に関する情報」が25.1%、「特に必要ない」が19.3%、「法律や条例等規制に関する情報」が18.3%と続く。「その他」の回答は、“リサイクルする未来としなかった未来を比較する資料が見たい”、“リサイクル後どうなるか知りたい（どのように活用されるか）”などを挙げている。

図3-39 リサイクル推進・ごみ減量のために必要な情報

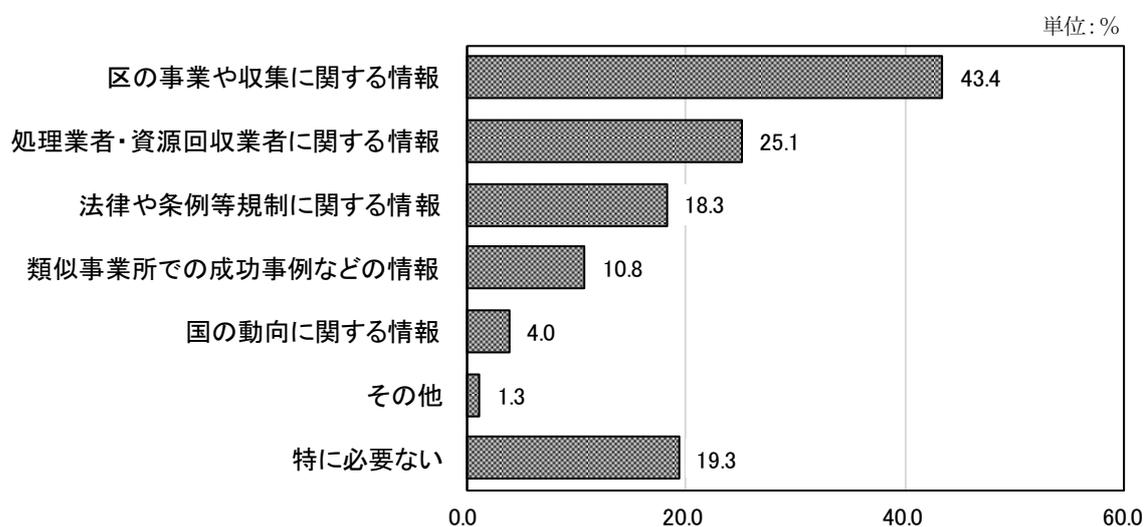
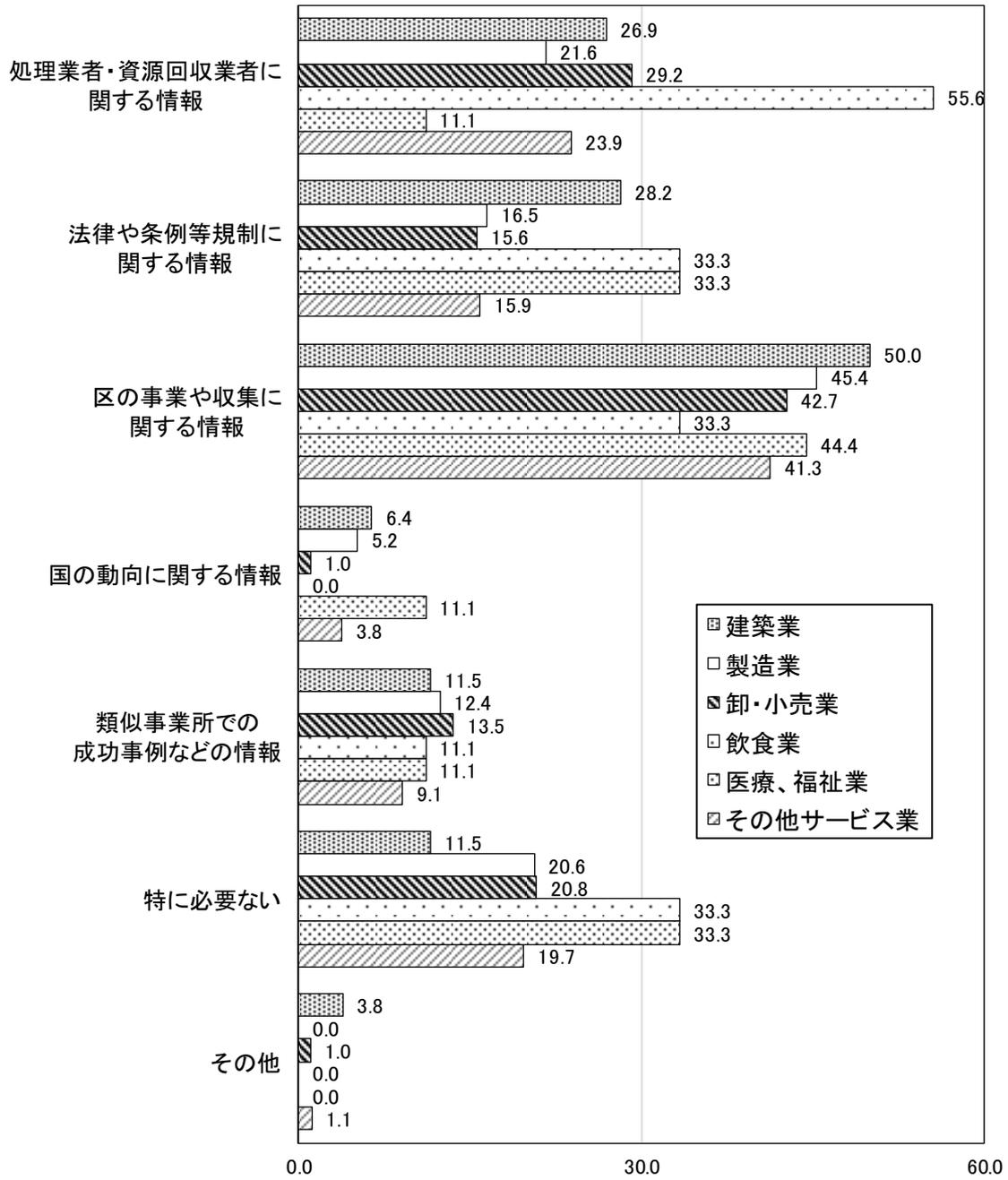


図3-40 リサイクル推進・ごみ減量のために必要な情報(業種別クロス)

単位: %



● 区からの情報はどのような方法が入手しやすいか

区からの情報はどのような方法が入手しやすいかを質問したところ、「区の広報・チラシ・パンフレット」が63.5%と最も多く、次いで「インターネット(SNS、メールマガジン等)」が35.6%と続く。

業種別に見ると、「インターネット(SNS、メールマガジン等)」において、医療・福祉業が77.8%と最も多い。「その他」の回答は、“建物の管理者からの連絡”などが挙げられている。

図3-41 区からの情報はどのような方法が入手しやすいか

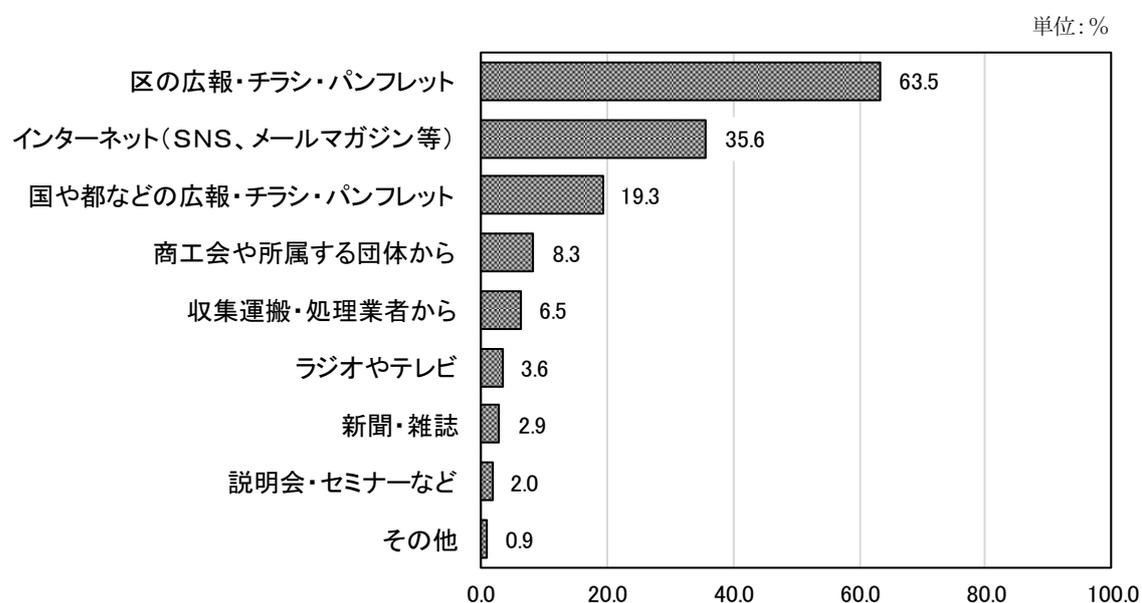
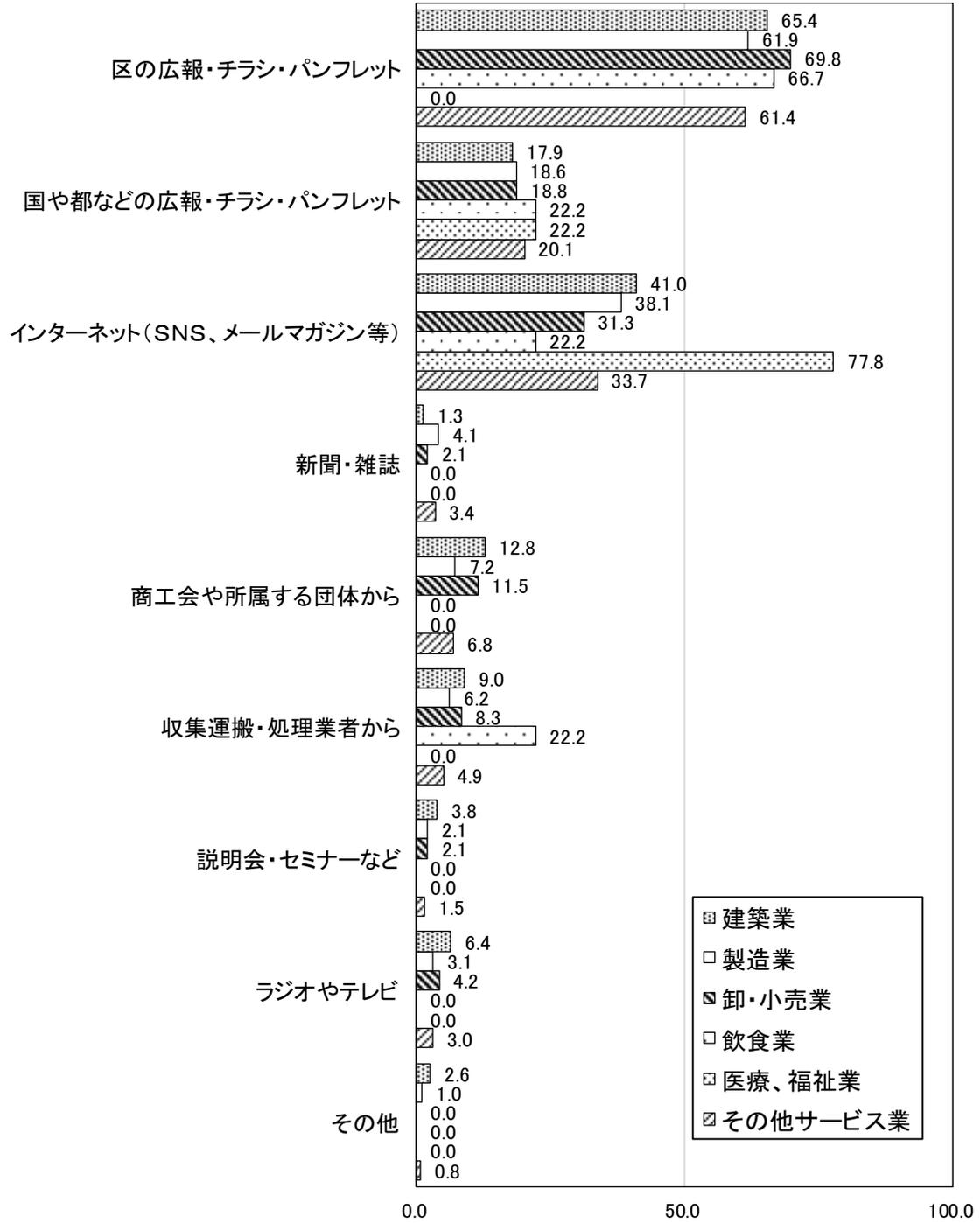


図3-42 区からの情報はどのような方法が入手しやすいか(業種別クロス)

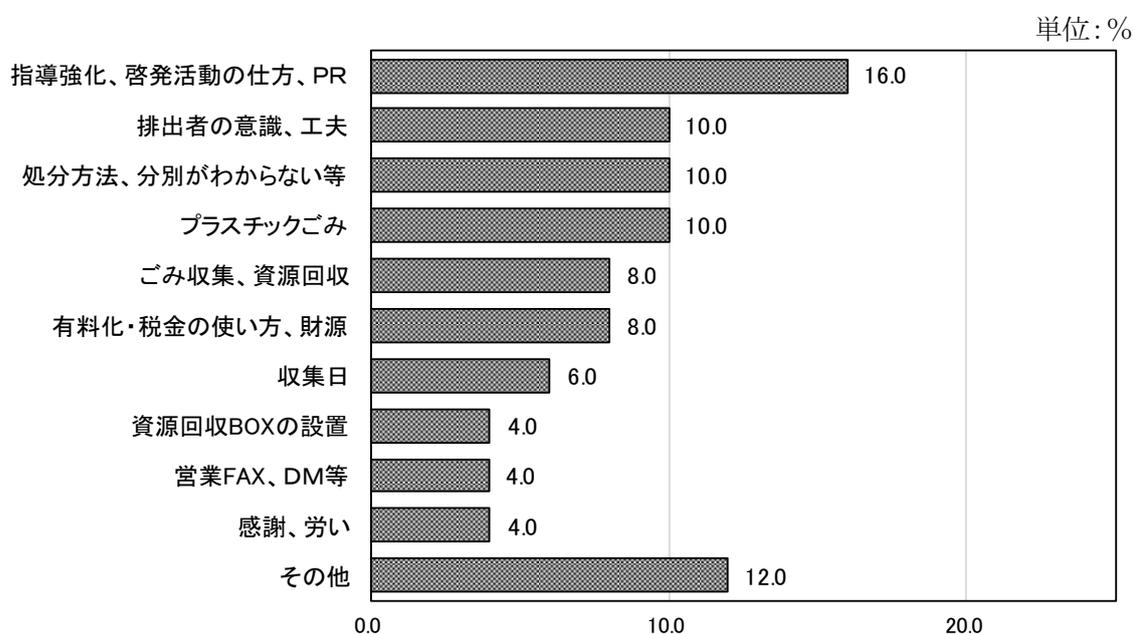
単位:%



#### (4) 自由記入欄

自由記入欄に記入していただいた内容を次にまとめた。「指導強化、啓発活動の仕方、PR」が最も多く16.0%、次いで「排出者の意識、工夫」、「処分方法、分別がわからない」、「プラスチックごみ」が10.0%であった。一方的に送られてくるFAXやDMの無駄を指摘する意見も4.0%ある。「その他」には“自宅のある自治体と事務所のある品川区のごみの分別自体のやり方に大きな差を感じる”、“ごみを再利用(バイオ等により)した包材等、土にかえる材料を使う”など、意見、要望があった。

図3-43 自由記入欄集計



## 第4章 家庭ごみ排出原単位調査

### 4-1 調査概要

#### (1) 調査目的

家庭から排出される家庭ごみの1人1日当たりの排出量(以下、「排出原単位」という)を把握する。そこから区の平均排出原単位の推計すること。

#### (2) 調査の方法

- ① サンプルの数は燃やすごみ 800 サンプル以上、陶器・ガラス・金属ごみ 20 サンプル以上とした。
- ② 調査期間は1週間とし、家庭ごみを調査対象とした。
- ③ 燃やすごみにおいては家族人数別(1人世帯、2人世帯、3人世帯、4人以上世帯)に、さらに1人世帯については居住形態により若年層と若年層以外に区分して集計した。陶器・ガラス・金属ごみにおいては、1人世帯(若年層)と1人世帯(若年層)以外に区分して集計した。品川区の家族人数別の人口等を加味して加重平均することで、平均的な排出原単位を推計した。
- ④ 単身者のみが居住するワンルームマンションから排出されたサンプルは1人世帯(若年層)に区分した。
- ⑤ ディスポーザーが設置されている集合住宅についても調査し、他の集合住宅との比較をすることとした。
- ⑥ 一戸建て住宅調査の方法
  - ・1週間前に調査の概要と協力をお願いする依頼文とともに、世帯人数と何日分のごみかを記入するラベルを配布した。
  - ・調査予定日に対象世帯を回り、排出されたごみの重量を計り、ラベルの内容を書き取った。ごみの重量を世帯人数と日数で除し排出原単位を算定した。
- ⑦ 単身世帯調査方法
  - ・単身者のみが居住するワンルームマンションから排出されたサンプルは1人世帯(若年層)と想定して区分した。
  - ・1週間前に調査の概要と協力をお願いする依頼文を配布した。世帯人数は1人、日数は前回回収があった日からの日数とした。
  - ・調査予定日に対象地区を回り、排出されたごみの重量を計った。ごみの重量を世帯人数と日数で除し排出原単位を算定した。
- ⑧ 集合住宅調査方法
  - ・1週間前に調査の概要と協力をお願いする依頼文を配布した。
  - ・調査予定日に集合住宅の集積所に調査員を配置し、ごみを出しに来た住民に世帯人数

と何日分のごみかを聞き取りした。ごみの重量を計り、ごみの重量を世帯人数と日数で除し排出原単位を算定した。

⑨ 陶器・ガラス・金属ごみ

陶器・ガラス・金属ごみの収集日に、品川区清掃事務所で設定した地域の一戸建て住宅及びワンルームマンションから排出されたサンプルを調査対象とした。

(3) 調査期間

① 燃やすごみ

一戸建て住宅調査	8月22日～8月26日
単身世帯調査	8月24日～8月26日
集合住宅調査	8月24日、8月27日

② 陶器・ガラス・金属ごみ

一戸建て住宅調査、単身世帯調査	9月1日、9月2日
-----------------	-----------

(4) 調査地域

図4-1 調査地域

居住形態区分	調査地域
一戸建て	大崎4丁目(一部の地域を除く) 大井7丁目(一部の地域を除く) 東品川3丁目(一部の地域を除く)、東品川4丁目 東五反田5丁目(一部の地域を除く) 中延2丁目(一部の地域を除く)
単身世帯	戸越5丁目、二葉4丁目、荏原4丁目・5丁目 中延3丁目・6丁目 ワンルームマンション7棟
集合住宅	東品川3・4丁目(ディスポーター付きマンション)2棟 八潮5丁目マンション

陶器・ガラス・金属ごみについては品川区清掃事務所で設定した地域

(5) 分析方法

調査結果を家族人数別に集計し、品川区の家族人数別の人口等を加味して加重平均することで平均的な排出原単位を推計した。

## 4-2 調査結果

### (1) サンプル数

#### ① 燃やすごみ

燃やすごみのサンプル数は817世帯である。家族人数別では、1人世帯(若年層)が76世帯、1人世帯(若年層以外)が77世帯、2人世帯が253世帯、3人世帯が183世帯、4人以上世帯が228世帯である。

表4-1 燃やすごみのサンプル数

世帯人数	集合住宅	一戸建て	単身世帯	合計	単位:世帯
1人世帯(若年層)			76	76	
1人世帯(若年層以外)	6	71		77	
2人世帯	19	234		253	
3人世帯	7	176		183	
4人以上世帯	14	214		228	
合計	46	695	76	817	

#### ② 陶器・ガラス・金属ごみ

陶器・ガラス・金属ごみのサンプル数は、323世帯である。1人世帯(若年層)が162世帯、それ以外が161世帯である。

表4-2 陶器・ガラス・金属ごみのサンプル数

	一戸建て	単身世帯	合計	単位:世帯
1人世帯(若年層)		162	162	
1人世帯(若年層)以外	161		161	
合計	161	162	323	

### (2) 集計結果

#### ① 燃やすごみ

燃やすごみの排出原単位は、1人世帯(若年層)が237.8g/人・日、1人世帯(若年層以外)が513.0g/人・日、2人世帯が439.4g/人・日、3人世帯が408.9g/人・日、4人以上世帯が357.4g/人・日である。

表4-3 燃やすごみの排出原単位

単位:g/人・日

世帯人数	集合住宅	一戸建て	単身世帯	全体
1人世帯(若年層)			237.8	237.8
1人世帯(若年層以外)	275.0	533.1		513.0
2人世帯	439.2	439.4		439.4
3人世帯	365.5	410.6		408.9
4人以上世帯	269.6	363.1		357.4
居住形態別全体	337.5	399.7	237.8	390.6

② 陶器・ガラス・金属ごみ

陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位調査は1人世帯(若年層)が11.0g/人・日である。  
 一戸建て調査では、排出していた排出原単位は、52.7g/人・日である。対象地域の一戸建て501世帯のうち、陶器・ガラス・金属ごみを排出していた世帯は161戸であり、排出率は、32.1%である。すべての世帯の排出原単位は、52.7g/人・日に32.1%を乗じた16.9g/人・日である。

表4-4 陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位

単位:g/人・日

	一戸建て	単身世帯	合計
1人世帯(若年層)		11.0	11.0
1人世帯(若年層)以外	16.9		16.9

### (3) 排出原単位推計

#### ① 燃やすごみ

令和2年の国勢調査の結果から、品川区における属性別の人口割合は次の通りである。

表4-5 令和2年国勢調査における属性別の人口

属性	人口
1人世帯	136,020
2人世帯	98,730
3人世帯	85,986
4人以上世帯	98,909

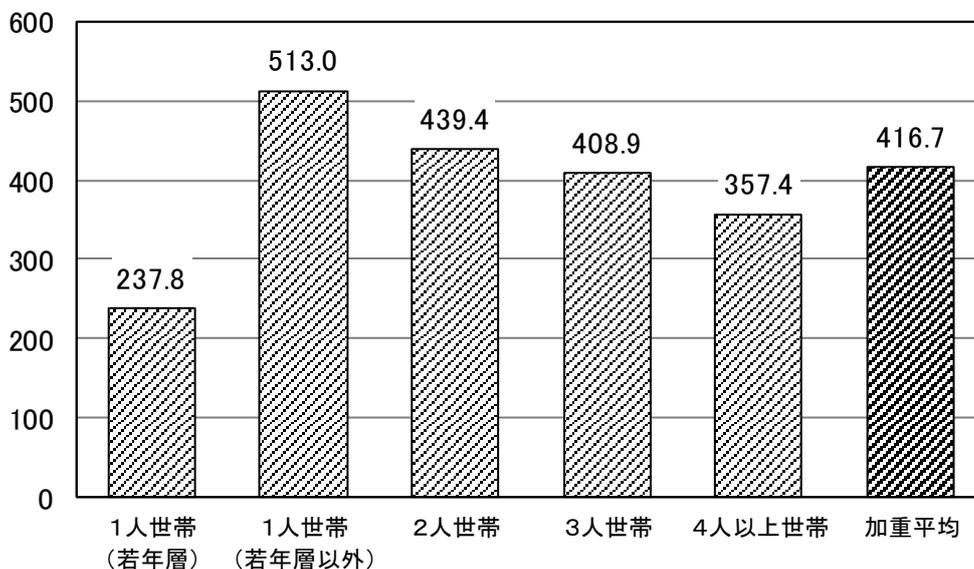
「特別区における単独世帯等の状況」(平成26年3月)によると、品川区の1人世帯に占める30歳未満の割合は23.5%であり、1人世帯を若年層と若年層以外に按分した結果は次の通りである。この割合で、属性別の排出原単位を加重平均した燃やすごみの排出原単位は416.7g/人・日である。

表4-6 燃やすごみの排出原単位算出

世帯人数	人口 (人)	割合 (%)	排出原単位 (g/人・日)
1人世帯(若年層)	31,965	7.6	237.8
1人世帯(若年層以外)	104,055	24.8	513.0
2人世帯	98,730	23.5	439.4
3人世帯	85,986	20.5	408.9
4人以上世帯	98,909	23.6	357.4
全体	419,645	100.0	416.7

図4-2 燃やすごみの排出原単位

単位:g/人・日



※ディスポージャー付きマンションの排出原単位調査について

ディスポージャーとは、シンクの排水口に生ごみを入れてスイッチを押すと、生ごみを細かく粉砕して、生ごみを含む排水を下水道に流すシステムである。

ディスポージャー付きマンションでは、燃やすごみの排出量にどれくらい影響があるか、区内のディスポージャー付きマンション2棟で排出原単位調査を行った。

A マンションは、調査指定日に燃やすごみの排出調査に協力いただいた 20 世帯、B マンションは、全居住者を対象としている。

なお、2棟合わせた排出原単位は、228g/人・日であり、区全体の属性別の排出原単位を加重平均した 416.7/人・日に比べ、大幅に低い数値となった。

表4-7 ディスポージャー付きマンションの排出原単位

	調査排出量 (g)	人数	日数	排出原単位 (g/人・日)
A	15,728	48	1	328
B	1,530,000	1,700	4	225
平均				228

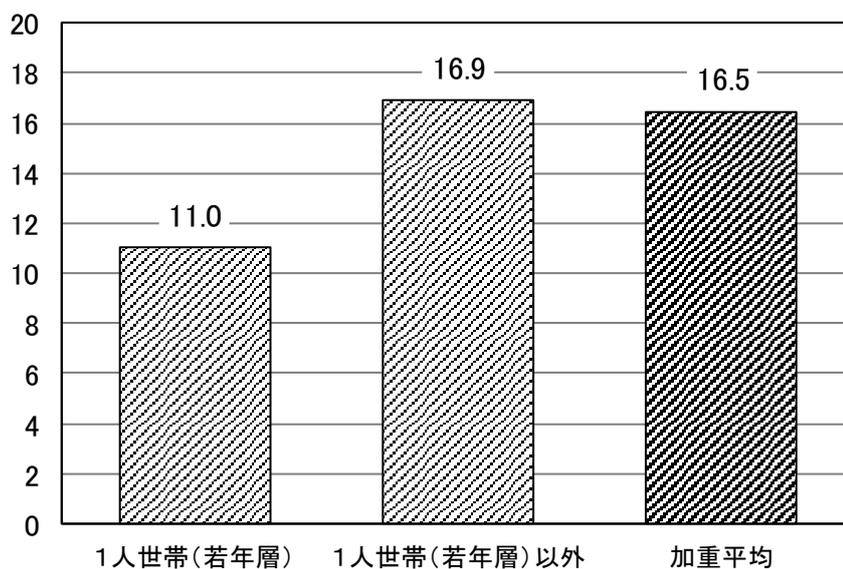
② 陶器・ガラス・金属ごみ

燃やすごみと同様に推計した陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位は 16.5g/人・日である。

表4-8 陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位

世帯人数	人口 (人)	割合 (%)	排出原単位 (g/人・日)
1人世帯(若年層)	31,965	7.6	11.0
1人世帯(若年層)以外	387,680	92.4	16.9
全体	419,645	100.0	16.5

図4-3 陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位 単位:g/人・日



## 第5章 組成分析調査

### 5-1 調査概要

#### (1) 調査目的

家庭ごみ及び収集事業系ごみが適正に分別されているか、あるいは、燃やすごみや陶器・ガラス・金属ごみの中にどのくらい資源物が含まれているか把握することとした。

小型家電については将来的に回収・リサイクルを検討するための基礎データを得ることを目的に、陶器・ガラス・金属ごみに含まれる量について調査した。

#### (2) 実施内容

- ① 家庭ごみについては、事業系ごみと混ざらないようサンプルを収集した。サンプル量は、燃やすごみ1,800kg、陶器・ガラス・金属ごみ 540kg 程度を確保した。
- ② 事業系ごみについては、有料ごみ処理券を貼付してあるサンプルを対象とした。サンプル量は、燃やすごみ1,000kg、陶器・ガラス・金属ごみ250kgを確保した。
- ③ 品川区の平均的なデータが収集できるように、18地域を抽出した。
- ④ 家庭ごみについては、各地域から各1回、燃やすごみ100kg、陶器・ガラス・金属ごみ30kgを目安に、ごみを排出袋のまま分析サンプルとして収集した。事業系ごみについては、飲食店中心、販売店中心、事務所中心の地域から合計で燃やすごみ1,000kg、陶器・ガラス・金属ごみ250kg程度をサンプルとして収集した。(収集は区が実施した。)
- ⑤ 収集したサンプルを品川区清掃事務所北品川分室で、分類表に従い分類し、重量を測定し、組成割合を算定した。
- ⑥ 食品ロス、小型家電、水銀含有物製品、プラスチック類およびプラスチック製容器包装類などについては、詳細な組成分析を行った。
- ⑦ エアゾール缶及びコンロ用カセットボンベについては陶器・ガラス・金属ごみに排出されたもの、および、燃やすごみに混入していたものを対象に、次の項目について調査した。
  - ・製品種類
  - ・穴あけの有無
  - ・残存ガスの有無
  - ・ガス抜きキャップの有無および使用状況
- ⑧ 排出容器については種類、数量などについて調査した。

#### (3) 把握事項

- ① 家庭ごみ・事業系ごみに含まれる資源物や分別不適正物の割合。
- ② 資源物等の年間排出量の推計。

(4) 調査詳細

① 調査日程

サンプルの収集地区および、収集、調査日は以下の表のとおりとした。

表5-1 家庭系ごみ調査日程

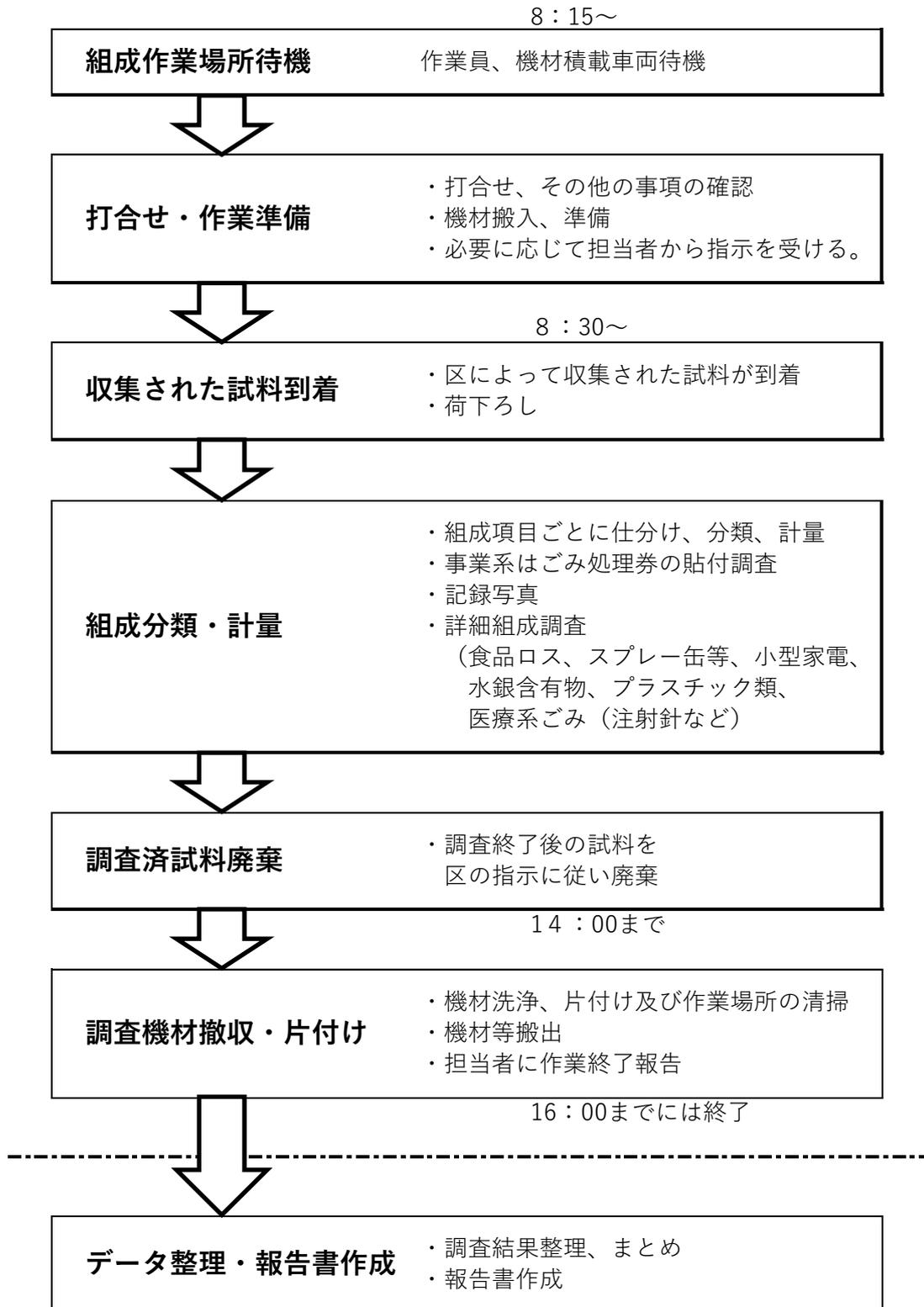
家庭ごみ 組成調査	実施日 曜日	7/23	7/25	7/26	7/27	7/28	8/5	
		土	月	火	水	木	金	
燃やすごみ (資源、プラ製容器 包装含む)	地区	品川1	品川6	品川11	品川16	品川21	品川26	18地区
		品川2	品川7	品川12	品川17	品川22	品川27	計1800kg
		荏原3	荏原8	荏原13	荏原18	荏原23	荏原28	
陶器・ガラス・金属	地区	品川4	品川9	品川14	品川19	品川24	品川29	12地区
		荏原5	荏原10	荏原15	荏原20	荏原25	荏原30	計540kg

表5-2 事業系ごみ調査日程

事業ごみ 組成調査	実施日 曜日	7/15	7/18	7/19	7/20	8/4	8/6	
		金	月祝	火	水	木	土	
燃やすごみ (資源プラ製容器包装)	地区	荏原 31	品川 33	荏原 35	品川 37	品川 39	品川 41	計1000kg
陶器・ガラス・金属	地区	品川 32	品川 34	品川 36	品川 38	品川 40	品川 42	計250kg

② 調査の流れ

図5-1 調査の流れ



③ 組成分類項目

以下に示す分類表により分類し、重量を調査する。小型家電、エアゾール缶の調査では個数(本数)も調査した。

表5-3 分類表 大分類

分類	番号	品目	注意点・含むもの	含まないもの	
資源物	紙類	1 新聞(きれいな状態)	他用途に使ってない新聞紙	新聞に入る広告・チラシ→折込広告	
		2 折込広告	新聞に入る広告・チラシ	ポスト投込のチラシ→その他紙類(リサイクル可)	
		3 雑誌・本	パンフレット、カタログ(4P以上のもの)		
		4 段ボール	断面が段々になっている	ボール紙→その他紙類(リサイクル可)	
		5 紙パック	山型の牛乳・ジュースの紙パック	口がプラの酒パック→容器包装紙類(リサイクル不可)	
		6 容器包装紙類(リサイクル可)	(紙だけの)包装紙、紙箱、紙容器	汚れているもの、プラ・アルミのコーティングあり→容器包装紙類(リサイクル不可)	
		7 その他紙類(リサイクル可)	(きれいな)名刺大以上の紙類、投げ込みチラシ、OA用紙、ノート、ボール紙封筒、はがき	汚れたもの、名刺より小さいもの→その他紙類(リサイクル不可)	
	プラスチック製容器包装	8 食品トレイ	スーパーなどで肉や野菜がのっているトレイ	納豆パック→その他容器包装プラスチック	
		9 レジ袋(中身あり)	内装などとして利用されたもの		
		10 レジ袋(中身なし)	レジ袋で利用されずに出されているもの		
	ペットボトル缶	11 その他プラスチック製容器包装	ボトル、カップ、パック、フィルム、キャップ、チューブ、保護材など		
		12 生きびん	一升びん、ビールびん(大中小、スタイナーボトル)		
		13 飲食用びん	一升びん以外の酒、ワイン、ジュース、ジャムのびん	食用・飲用以外のびん(化粧品等)、油のびん→その他不燃物	
		14 飲用・食用スチール缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属	
		15 飲用・食用アルミ缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属	
		16 ペットボトル	「PET」表示あり、飲食、醤油等のみ	「PET」表示なし、飲食・食用以外→ボトル容器	
	有害物	17		単1から単5	資源以外の電池は不燃物-有害・危険物
		18 乾電池		角型9V	
		19		コイン型電池(型番: CR、BRのみ)	
		20 蛍光灯・蛍光管		割れたものは新聞紙等で包みキケンと表示	
		21 水銀体温計・水銀血圧計		ケースに入れて出す	
	その他	22 小型家電【詳細あり】	アイロン、電気炊飯器、ポット、トースターなど30センチ未満の小型家電、電球		
可燃物	紙類	23 容器包装紙類(リサイクル不可)	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、200mlなどの四角い紙パック、口がプラの酒パック		
		24 その他紙類(リサイクル不可)	紙おむつ、カーボン紙、紙くず、ちり紙、感熱紙、汚れたもの、名刺より小さいもの		
	布類	25 布類			
	生ごみ	26 調理くず	野菜、果物の皮など		
		27 直接廃棄【詳細あり】	野菜、果物、肉、魚介類、卵、パン類など		
		28 食べ残し	調理・生もので、食卓に上ったもの		
	草木類	29 木・草類	割り箸、竹串、コルク、庭木、落ち葉・草、生花		
	ゴム・ゴム	30 製品プラスチック【詳細あり】	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、レースのカーテン		
		31 ゴム・皮革類			
		32 その他の製品プラスチック	上記に含まれない製品プラスチック		
可燃物他	33 その他可燃物	タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、衛生用品、猫砂、ぬいぐるみ、枕、カーテン、足拭きマット、インクリボン、カートリッジ、乾燥剤、クレヨン、湿布薬、保冷剤			
	34 スプレー缶等【詳細あり】	スプレー缶、コンロ用カセットボンベ			
不燃物	危険物	35 電池類	資源以外の電池		
		36 ライター			
		37 その他金属	飲用・食用以外の缶(スプレー缶、塗料、オイル)、一斗缶より大きい缶、アルミホイール、なべ		
	38 その他不燃物	飲用・食用以外のびん(化粧品等)、びん以外のガラス、使い捨てカイロ、土石、かさ、複合品、薬			
外袋	39 プラスチック製	旧推奨袋、透明・半透明・不透明袋			
	40 レジ袋				
	41 紙袋				

表5-4 分類表 プラスチック製容器包装詳細分類

	番号	調査項目
その他 プラスチック製容器包装	1	容器類
	2	カップ類
	3	緩衝材・発泡スチロール類
	4	ボトル類
	5	キャップ類
	6	フィルム・袋類
	7	その他

表5-5 分類表 食品ロス詳細分類

調査対象 試料総量	食品廃棄物以外			
	食品 総廃棄物 等の 量	調理くず		
		未利用食品 (直接廃棄)	②-1	100% 残存
			②-2	50% 以上 残存
②-3	50% 未満 残存			
		食べ残し		

表5-6 分類表 製品プラスチック詳細分類

	番号	調査項目
製品 プラ スチ ック	1	CD・DVD類(本体)
	2	食品保存袋(タッパーウェア、ジップロック)
	3	カトラリー類(フォーク、スプーン、ナイフ、ストロー)
	4	オーラルケア用品(歯ブラシ、歯間ブラシ、ピック)
	5	文房具(ボールペン、マーカーペン、定規、下敷き、ファイル)
	6	電池のないおもちゃ(プラモデルの枠も含む)
	7	清掃用具(ちりとり、ブラシ)
	8	収納用品(ケース類)
	9	台所用品(まな板、お玉、フライ返し)
	10	植木鉢

表5-7 分類表 スプレー缶等詳細分類

製品種類	調査項目	穴の有無		残量の有無		ガス抜きキャップの有無		ガス抜きキャップ使用の有無		
	状態	有	無	有	無	有	無	有	無	不明
エアゾール缶										
コンロ用カセットボンベ										
不燃性ガス使用噴射剤										

※不燃性ガス使用噴射剤は個数のみ調査

表5-8 分類表 小型家電詳細分類

	番号	調査項目
小型家電 (品川区で 拠点回収の 対象とする品目 10×25cm以内)	1	携帯電話(スマホ・PHS含む)
	2	携帯音楽プレーヤー(CD・MDプレーヤー、ICレコーダー、テープレコーダー)
	3	デジタルカメラ、ビデオカメラ
	4	携帯ゲーム機
	5	車載機器(カーナビ、ETCユニット)
	6	電子辞書
	7	電卓
	8	付属品(ACアダプター、延長コード)
	9	タブレット(最近需要が高く、認めたもの)
小型家電 それ以外の品目	10	電話機、ファクシミリ装置その他の有線通信機器器具
	11	ラジオ
	12	映像用機器器具(DVDレコーダー、プレイヤー)
	13	パソコン
	14	磁気ディスク装置、光ディスク装置その他の記憶装置(ハードディスク、USBメモリ、ゲームソフト)
	15	プリンターその他の印刷装置
	16	ディスプレイその他の表示装置(モニター、プロジェクター)
	17	電動ミシン
	18	電動工具(電動グラインダー、電動ドリル)
	19	事務用電気機器器具(ワープロ)
	20	計量用または測定用の電気機器器具(電子式ヘルスマーター、デジタル歩数計)
	21	医療用電気機械器具(電気治療器、家庭用吸入器)
	22	フィルムカメラ
	23	台所用電気機械器具(電子ジャー、トースター、フードプロセッサー)
	24	空調用電気機械器具(扇風機、除湿器、サーキュレーター)
	25	衣料用または衛生用の電気機械器具(電気アイロン、電気こて、掃除機、ハンドクリーナー)
	26	保温用電気機械器具(電気こたつ、電気ストーブ、電気毛布)
	27	理容用電気機械器具(ドライヤー、電気カミソリ、電動歯ブラシ)
	28	電気マッサージ器
	29	運動用機械器具(ランニングマシン)
	30	園芸用電気機械器具(電気芝刈り機)
	31	電気照明器具
	32	電子・電気時計
	33	電子・電気楽器
	34	その他(上記に記載のないもの)

表にない小型家電については個別に調査することとした。

## 5-2 ごみ組成分析結果(家庭ごみ)

### (1) 燃やすごみ

#### ・組成割合

燃やすごみの組成は、可燃物が71.6%、資源物が26.8%、不燃物が0.6%、外袋が1.0%である。可燃物の内訳は、生ごみが27.9%、紙類が25.0%、布類が6.2%、その他可燃物が6.0%などである。

#### ・分別不適物

資源物は、26.8%、不燃物は0.6%で、合わせて27.4%が分別不適物である。資源物の内訳は、プラスチック製容器包装が14.3%、紙類が11.6%、びん・缶・ペットボトルが0.7%、小型家電が0.2%である。不燃物の内訳は、その他不燃物が0.6%である。

図5-2 燃やすごみの調査結果(全体)

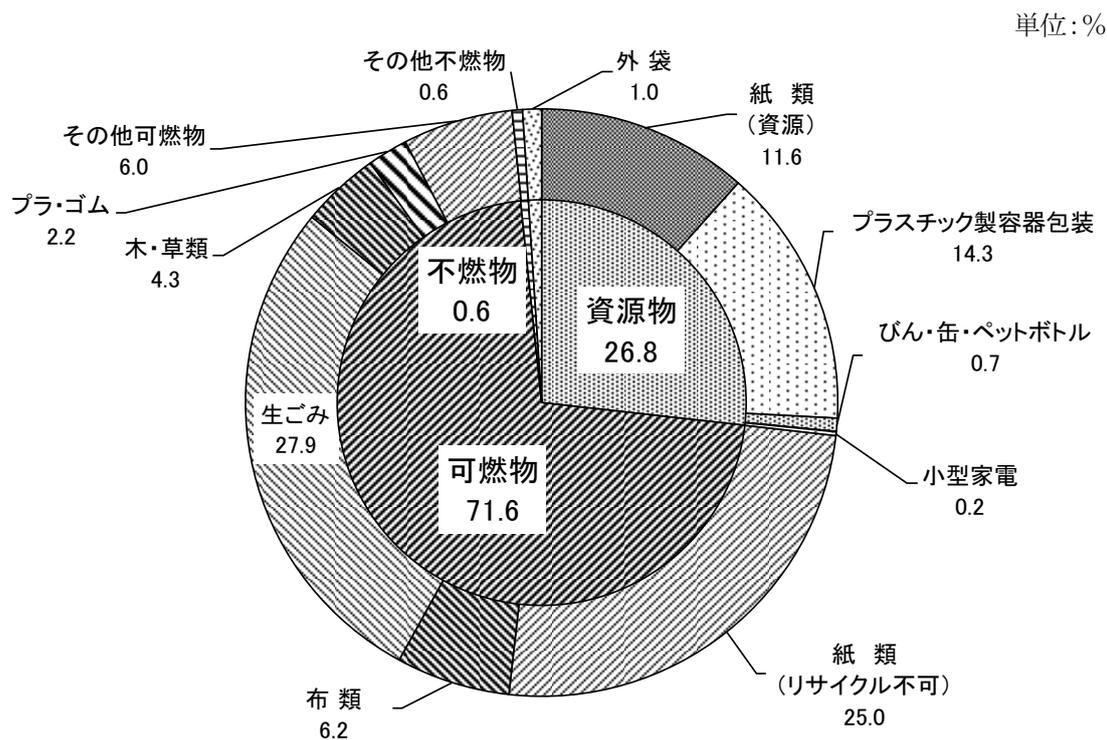


表5-9 燃やすごみの調査結果(地域別)

分類		地域		品川地域		荏原地域		合計	
		品目	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	5.99	0.5	6.47	1.0	12.46	0.7	
		折込広告	12.61	1.0	6.25	1.0	18.86	1.0	
		雑誌・本	17.07	1.4	4.04	0.7	21.11	1.1	
		段ボール	11.39	1.0	6.09	1.0	17.48	1.0	
		紙バック	6.76	0.5	4.02	0.6	10.78	0.6	
		容器包装紙類(リサイクル可)	47.05	3.8	25.27	4.0	72.32	3.9	
		その他紙類(リサイクル可)	43.22	3.5	17.85	2.9	61.07	3.3	
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	4.47	0.4	2.48	0.4	6.95	0.4	
		レジ袋(中身あり)	10.39	0.8	5.86	1.0	16.25	0.9	
		レジ袋(中身なし)	4.48	0.4	1.48	0.2	5.96	0.3	
		その他プラスチック製容器包装	152.16	12.3	84.81	13.6	236.97	12.7	
	ペットボトル缶	生きびん	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		飲食用びん	1.78	0.1	1.40	0.2	3.18	0.2	
		飲用・食用 スチール缶	0.16	0.0	0.12	0.0	0.28	0.0	
		飲用・食用 アルミ缶	0.56	0.0	0.20	0.0	0.76	0.0	
		ペットボトル	4.87	0.4	4.36	0.7	9.23	0.5	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.23	0.0	0.21	0.0	0.44	0.0
			角型9V	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0			
その他	小型家電	3.22	0.3	0.69	0.1	3.91	0.2		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	25.90	2.1	15.61	2.5	41.51	2.2	
		その他紙類(リサイクル不可)	295.89	24.0	127.49	20.4	423.38	22.8	
	布類	布類	68.48	5.5	47.52	7.6	116.00	6.2	
		調理くず	243.85	19.8	107.78	17.2	351.63	18.9	
	生ごみ	直接廃棄	62.26	5.0	38.02	6.1	100.28	5.4	
		食べ残し	41.23	3.3	26.04	4.2	67.27	3.6	
		木・草類	65.08	5.3	15.33	2.4	80.41	4.3	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	8.23	0.7	4.23	0.7	12.46	0.7	
		ゴム・皮革類	18.62	1.5	8.79	1.4	27.41	1.5	
	その他可燃物	その他の製品プラスチック	28.57	2.3	27.15	4.3	55.72	3.0	
その他可燃物		29.29	2.4	27.02	4.3	56.31	3.0		
不燃物	危有 険害物・	スプレー缶等	0.78	0.1	0.00	0.0	0.78	0.0	
		電池類	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		ライター	0.07	0.0	0.09	0.0	0.16	0.0	
	その他不燃物	その他金属	3.73	0.3	1.11	0.2	4.84	0.3	
その他不燃物		3.44	0.3	2.16	0.3	5.60	0.3		
外袋	プラスチック製	9.95	0.8	4.35	0.7	14.30	0.8		
	レジ袋	2.37	0.2	2.00	0.3	4.37	0.2		
	紙袋	0.45	0.0	0.12	0.0	0.57	0.0		
合計			1234.60	100.0	626.41	100.0	1861.01	100.0	

資源物	326.41	26.4	171.60	27.4	498.01	26.8
可燃物	887.40	71.9	444.98	71.1	1332.38	71.6
不燃物	8.02	0.7	3.36	0.5	11.38	0.6
外袋	12.77	1.0	6.47	1.0	19.24	1.0

適合物	900.17	72.9	451.45	72.1	1351.62	72.6
分別不適物	334.43	27.1	174.96	27.9	509.39	27.4

表5-10 燃やすごみの調査結果(住居形態別)

居住形態		一戸建て		集合住宅		合計			
分類	品目	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)		
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	6.26	0.7	6.20	0.7	12.46	0.7	
		折込広告	8.93	1.0	9.93	1.1	18.86	1.0	
		雑誌・本	10.67	1.1	10.44	1.2	21.11	1.1	
		段ボール	9.11	1.0	8.37	0.9	17.48	1.0	
		紙パック	5.61	0.6	5.17	0.6	10.78	0.6	
		容器包装紙類(リサイクル可)	27.89	3.0	44.43	4.8	72.32	3.9	
	その他紙類(リサイクル可)	26.74	2.9	34.33	3.7	61.07	3.3		
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	3.28	0.3	3.67	0.4	6.95	0.4	
		レジ袋(中身あり)	8.31	0.9	7.94	0.9	16.25	0.9	
		レジ袋(中身なし)	1.23	0.1	4.73	0.5	5.96	0.3	
		その他プラスチック製容器包装	110.39	11.8	126.58	13.6	236.97	12.7	
	ペットボトル	生きびん	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		飲食用びん	1.56	0.2	1.62	0.2	3.18	0.2	
		飲用・食用スチール缶	0.15	0.0	0.13	0.0	0.28	0.0	
		飲用・食用アルミ缶	0.57	0.1	0.19	0.0	0.76	0.0	
		ペットボトル	5.01	0.5	4.22	0.5	9.23	0.5	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.05	0.0	0.39	0.0	0.44	0.0
			角型9V	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0			
その他	小型家電	2.87	0.3	1.04	0.1	3.91	0.2		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	19.35	2.1	22.16	2.4	41.51	2.2	
		その他紙類(リサイクル不可)	215.03	23.0	208.35	22.5	423.38	22.8	
	布類	布類	59.04	6.3	56.96	6.1	116.00	6.2	
	生ごみ	調理くず	185.02	19.8	166.61	17.9	351.63	18.9	
		直接廃棄	49.00	5.3	51.28	5.5	100.28	5.4	
		食べ残し	42.72	4.6	24.55	2.6	67.27	3.6	
	木・草類	木・草類	51.11	5.5	29.30	3.2	80.41	4.3	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	4.64	0.5	7.82	0.8	12.46	0.7	
		ゴム・皮革類	12.01	1.3	15.40	1.7	27.41	1.5	
	その他可燃物	その他の製品プラスチック	25.98	2.8	29.74	3.2	55.72	3.0	
その他可燃物		24.64	2.6	31.67	3.4	56.31	3.0		
不燃物	危険有害物・ライター	スプレー缶等	0.17	0.0	0.61	0.1	0.78	0.0	
		電池類	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		ライター	0.09	0.0	0.07	0.0	0.16	0.0	
	その他不燃物	その他金属	2.57	0.3	2.27	0.2	4.84	0.3	
その他不燃物		2.60	0.3	3.00	0.3	5.60	0.3		
外袋	プラスチック製	7.35	0.8	6.95	0.7	14.30	0.8		
	レジ袋	2.39	0.3	1.98	0.2	4.37	0.2		
	紙袋	0.45	0.0	0.12	0.0	0.57	0.0		
合計		932.79	100.0	928.22	100.0	1861.01	100.0		

資源物	228.63	24.5	269.38	29.2	498.01	26.8
可燃物	688.54	73.8	643.84	69.3	1332.38	71.6
不燃物	5.43	0.6	5.95	0.6	11.38	0.6
外袋	10.19	1.1	9.05	0.9	19.24	1.0

適合物	698.73	74.9	652.89	70.2	1351.62	72.6
分別不適物	234.06	25.1	275.33	29.8	509.39	27.4

## (2) 陶器・ガラス・金属ごみ

### ・組成割合

陶器・ガラス・金属ごみの組成は、不燃物が68.8%、資源物が23.8%、可燃物が6.7%、外袋が0.7%である。不燃物の内訳は、その他不燃物が38.4%、その他金属24.4%、合わせて68.8%、有害・危険物が6.0%である。

### ・分別不適物

資源物は、23.8%、可燃物は6.7%で、合わせて30.5%が分別不適物である。資源物の内訳は、小型家電が12.9%、びん・缶・ペットボトルが8.6%、プラスチック製容器包装が0.9%などである。可燃物の内訳は、その他可燃物が3.3%、プラ・ゴムが1.9%、木・草類が0.6%などである。

図5-3 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(全体)

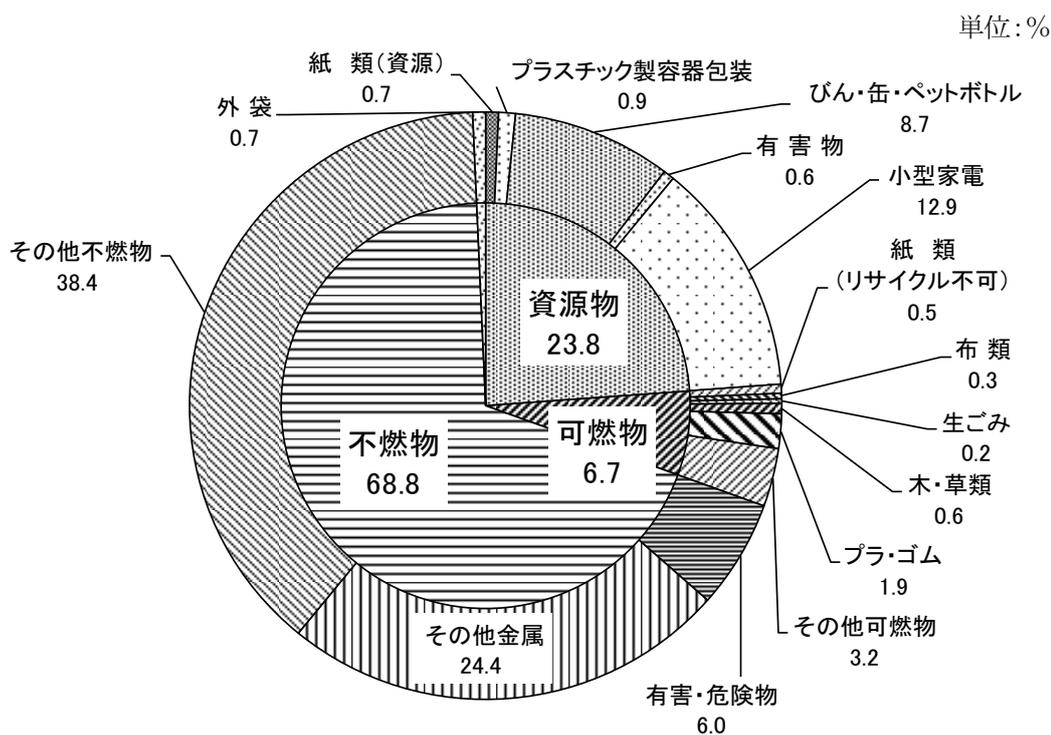


表5-11 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(地域別)

		地 域		品川地域		荏原地域		合 計		
分 類	品 目	重 量 (kg)	割 合 (%)	重 量 (kg)	割 合 (%)	重 量 (kg)	割 合 (%)	重 量 (kg)	割 合 (%)	
資 源 物	紙 類	新聞(きれいな状態)	0.08	0.0	0.07	0.0	0.15	0.0		
		折込広告	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0		
		雑誌・本	0.07	0.0	0.05	0.0	0.12	0.0		
		段ボール	4.23	1.1	0.12	0.0	4.35	0.6		
		紙パック	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0		
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.32	0.1	0.59	0.2	0.91	0.1		
	その他紙類(リサイクル可)	0.02	0.0	0.11	0.0	0.13	0.0			
	容 器 包 装 製 品	食品トレイ	0.02	0.0	0.02	0.0	0.04	0.0		
		レジ袋(中身あり)	0.31	0.1	0.53	0.2	0.84	0.1		
		レジ袋(中身なし)	0.00	0.0	0.03	0.0	0.03	0.0		
		その他プラスチック製容器包装	2.53	0.7	3.05	0.9	5.58	0.8		
	ペ ッ ト ボ ト ル	生きびん	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0		
		飲食用びん	12.48	3.3	29.22	8.7	41.70	5.9		
		飲用・食用 スチール缶	11.21	3.0	5.63	1.7	16.84	2.4		
		飲用・食用 アルミ缶	0.41	0.1	1.60	0.5	2.01	0.3		
		ペットボトル	0.19	0.1	0.25	0.1	0.44	0.1		
	有 害 物	乾 電 池	単1から単5	1.21	0.3	2.94	0.9	4.15	0.6	
			角型9V	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.02	0.0	0.01	0.0	0.03	0.0	
		蛍光灯・蛍光管	0.06	0.0	0.00	0.0	0.06	0.0		
水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0				
その他	小型家電	37.82	10.1	53.61	16.0	91.43	12.9			
可 燃 物	紙 類	容器包装紙類(リサイクル不可)	0.16	0.0	0.36	0.1	0.52	0.1		
		その他紙類(リサイクル不可)	0.99	0.3	1.52	0.5	2.51	0.4		
	布類	布類	0.70	0.2	1.45	0.4	2.15	0.3		
	生 ご み	調理くず	0.07	0.0	0.00	0.0	0.07	0.0		
		直接廃棄	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0		
		食べ残し	1.65	0.4	0.00	0.0	1.65	0.2		
	木・草類	木・草類	0.62	0.2	3.44	1.0	4.06	0.6		
	プラ ・ ゴ ム	製品プラスチック	2.24	0.6	4.52	1.3	6.76	1.0		
		ゴム・皮革類	1.68	0.5	4.56	1.4	6.24	0.9		
		その他の製品プラスチック	8.94	2.4	12.42	3.7	21.36	3.0		
その他 可燃物	その他可燃物	0.14	0.0	1.52	0.5	1.66	0.2			
不 燃 物	危 有 陰 害 物 ・	スプレー缶等	20.14	5.4	19.48	5.8	39.62	5.6		
		電池類	0.00	0.0	0.07	0.0	0.07	0.0		
		ライター	1.72	0.5	0.90	0.3	2.62	0.4		
	その他 不燃物	その他金属	101.71	27.2	70.91	21.2	172.62	24.4		
その他不燃物		159.32	42.7	112.59	33.6	271.91	38.4			
外 袋	プラスチック製	0.78	0.2	0.93	0.3	1.71	0.2			
	レジ袋	1.34	0.4	1.53	0.5	2.87	0.4			
	紙袋	0.28	0.1	0.56	0.2	0.84	0.1			
合 計		373.46	100.0	334.59	100.0	708.05	100.0			

資 源 物	70.98	18.9	97.83	29.2	168.81	23.8
可 燃 物	17.19	4.6	29.79	8.9	46.98	6.7
不 燃 物	282.89	75.8	203.95	60.9	486.84	68.8
外 袋	2.40	0.7	3.02	1.0	5.42	0.7

適 合 物	285.29	76.5	206.97	61.9	492.26	69.5
分 別 不 適 物	88.17	23.5	127.62	38.1	215.79	30.5

表5-12 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(住居形態別)

		居住形態		集合住宅		合計			
分類	品目	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)		
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.10	0.0	0.05	0.0	0.15	0.0	
		折込広告	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		雑誌・本	0.05	0.0	0.07	0.0	0.12	0.0	
		段ボール	0.43	0.1	3.92	1.7	4.35	0.6	
		紙パック	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.74	0.2	0.17	0.1	0.91	0.1	
	その他紙類(リサイクル可)	0.11	0.0	0.02	0.0	0.13	0.0		
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	0.03	0.0	0.01	0.0	0.04	0.0	
		レジ袋(中身あり)	0.76	0.2	0.08	0.0	0.84	0.1	
		レジ袋(中身なし)	0.03	0.0	0.00	0.0	0.03	0.0	
		その他プラスチック製容器包装	4.17	0.9	1.41	0.6	5.58	0.8	
	ペットボトル	生きびん	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		飲食用びん	37.26	7.7	4.44	2.0	41.70	5.9	
		飲用・食用 スチール缶	14.66	3.0	2.18	1.0	16.84	2.4	
		飲用・食用 アルミ缶	1.99	0.4	0.02	0.0	2.01	0.3	
		ペットボトル	0.40	0.1	0.04	0.0	0.44	0.1	
	有害物	乾電池	単1から単5	3.96	0.8	0.19	0.1	4.15	0.6
			角型9V	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.03	0.0	0.00	0.0	0.03	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.06	0.0	0.00	0.0	0.06	0.0	
水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0			
その他	小型家電	69.63	14.4	21.80	9.7	91.43	12.9		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	0.44	0.1	0.08	0.0	0.52	0.1	
		その他紙類(リサイクル不可)	1.92	0.4	0.59	0.3	2.51	0.4	
	布類	布類	1.50	0.3	0.65	0.3	2.15	0.3	
	生ごみ	調理くず	0.07	0.0	0.00	0.0	0.07	0.0	
		直接廃棄	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		食べ残し	0.00	0.0	1.65	0.7	1.65	0.2	
	木・草類	木・草類	3.45	0.7	0.61	0.3	4.06	0.6	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	5.33	1.1	1.43	0.6	6.76	1.0	
ゴム・皮革類		5.57	1.2	0.67	0.3	6.24	0.9		
その他の製品プラスチック		15.12	3.1	6.24	2.8	21.36	3.0		
その他可燃物	その他可燃物	1.66	0.3	0.00	0.0	1.66	0.2		
不燃物	危有害物・	スプレー缶等	29.11	6.0	10.51	4.7	39.62	5.6	
		電池類	0.07	0.0	0.00	0.0	0.07	0.0	
		ライター	2.02	0.4	0.60	0.3	2.62	0.4	
	その他不燃物	その他金属	112.07	23.3	60.55	26.8	172.62	24.4	
その他不燃物		164.99	34.3	106.92	47.3	271.91	38.4		
外袋	プラスチック製	1.36	0.3	0.35	0.2	1.71	0.2		
	レジ袋	2.52	0.5	0.35	0.2	2.87	0.4		
	紙袋	0.74	0.2	0.10	0.0	0.84	0.1		
合計		482.35	100.0	225.70	100.0	708.05	100.0		

資源物	134.41	27.8	34.40	15.2	168.81	23.8
可燃物	35.06	7.2	11.92	5.3	46.98	6.7
不燃物	308.26	64.0	178.58	79.1	486.84	68.8
外袋	4.62	1.0	0.80	0.4	5.42	0.7

適合物	312.88	65.0	179.38	79.5	492.26	69.5
分別不適物	169.47	35.0	46.32	20.5	215.79	30.5

### (3) プラスチック製容器包装詳細

燃やすごみのプラスチック製容器包装の内訳は、フィルム・袋類が 50.9%、容器類が 21.7%、カップ類が 7.1%などである。陶器・ガラス・金属ごみのプラスチック製容器包装の内訳は、ボトル類が 43.8%、フィルム・袋類が 14.9%、容器類が 14.5%などである。

図5-4 プラスチック製容器包装の調査結果(燃やすごみ)

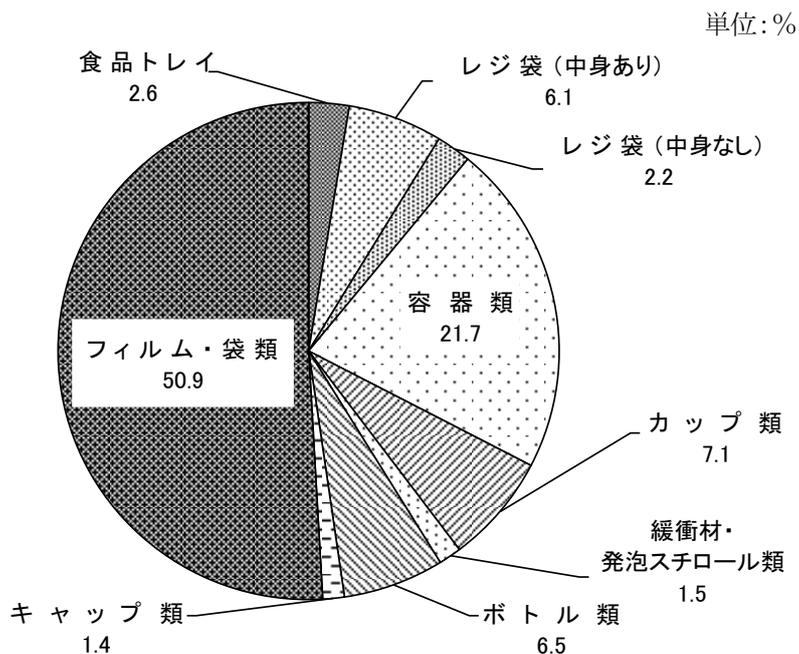


図5-5 プラスチック製容器包装の調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

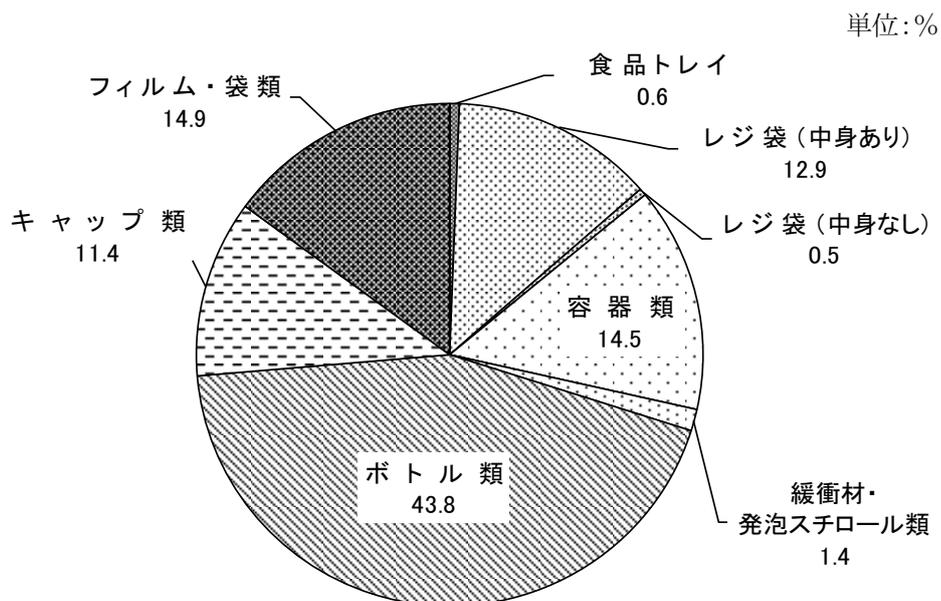


表5-13 プラスチック製容器包装の調査結果

品 目	燃 や す ご み		陶 ガ 金 ご み	
	重 量 (kg)	割 合 (%)	重 量 (kg)	割 合 (%)
食 品 ト レ イ	6.95	2.6	0.04	0.6
レ ジ 袋 (中身あり)	16.25	6.1	0.84	12.9
レ ジ 袋 (中身なし)	5.96	2.2	0.03	0.5
容 器 類	57.64	21.7	0.94	14.5
カ ッ プ 類	18.92	7.1	0.00	0.0
緩 衝 材 ・ 発 泡 ス チ ロ ー ル 類	3.90	1.5	0.09	1.4
ボ ト ル 類	17.35	6.5	2.84	43.8
キャ ッ プ 類	3.70	1.4	0.74	11.4
フ ィ ル ム ・ 袋 類	135.46	50.9	0.97	14.9
そ の 他	0.00	0.0	0.00	0.0
合 計	266.13	100.0	6.49	100.0

#### (4) 生ごみ詳細

燃やすごみの生ごみの内訳は、調理くずが 63.3%、直接廃棄が 19.3%、食べ残しが 13.0%、過剰除去(環境省 令和3年度食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査報告書による推計値)が 4.4%である。直接廃棄 19.3%の内訳は、100%残存 12.8%、50%以上 4.0%、50%未満残存 2.5%である。

過剰除去、直接廃棄、食べ残しを合計した食品ロスは生ごみ中の 36.7%であり、燃やすごみ全体の 10.2%である。

図5-6 生ごみの調査結果(燃やすごみ)

単位:%

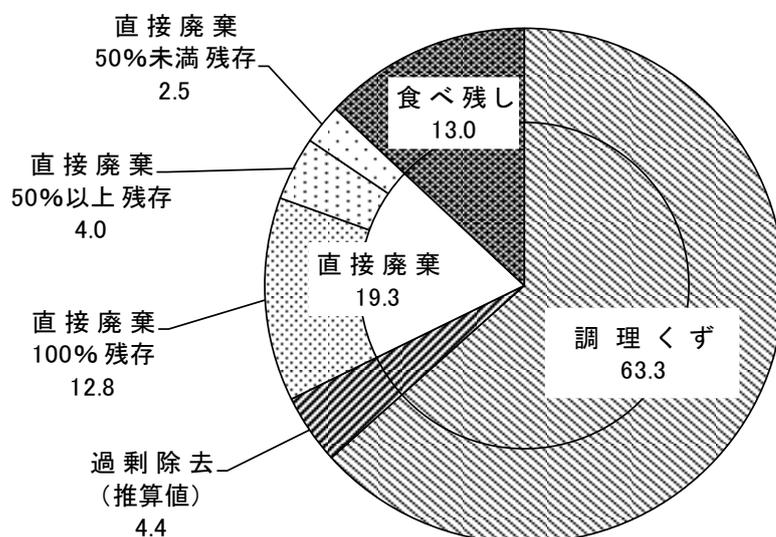


表5-14 生ごみの調査結果(燃やすごみ)

項目	重量 (kg)	割合 (%)		区分
		生ごみ中	ごみ全体中	
調理くず	328.79	63.3	17.7	不可食
過剰除去(推算値)	22.84	4.4	1.2	食品ロス 10.2
直接廃棄	100%残存	66.43	12.8	
	50%以上残存	20.82	4.0	
	50%未満残存	13.03	2.5	
食べ残し	67.27	13.0	3.6	
合計	519.18	100.0	27.9	

### (5) 製品プラスチック詳細

燃やすごみの製品プラスチックの内訳は、文房具が 21.9%、食品保存袋が 18.7%、オーラルケア用品が 10.1%などである。陶器・ガラス・金属ごみの製品プラスチックの内訳は、台所用品が 25.9%、収納用品が 22.0%、文房具が 19.1%などである。

図5-7 製品プラスチックの調査結果(燃やすごみ)

単位:%

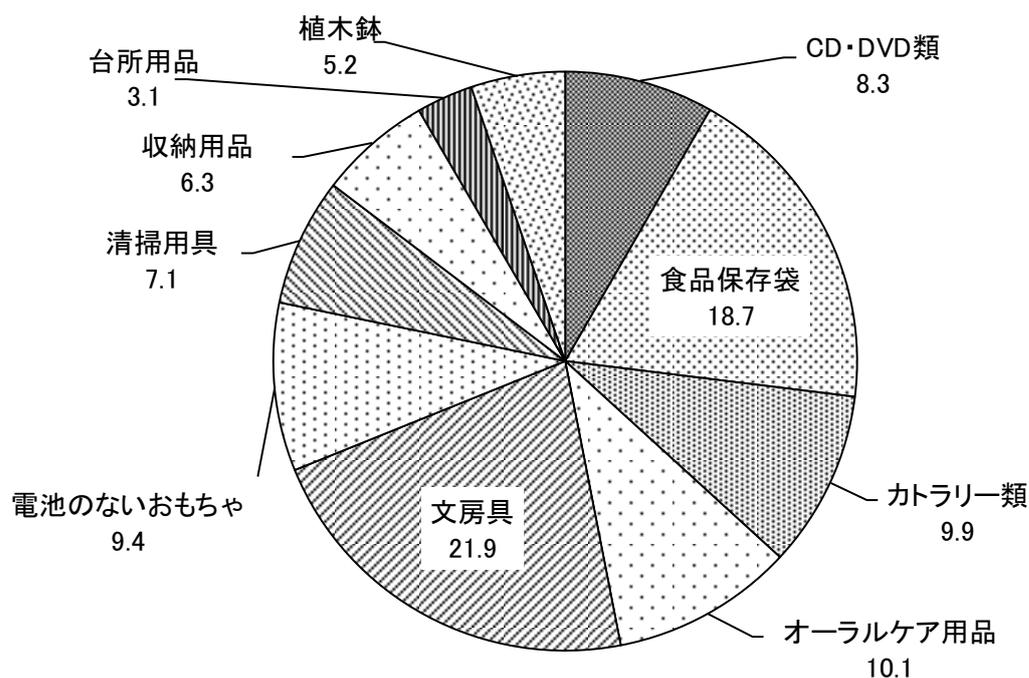


表5-15 製品プラスチックの調査結果(燃やすごみ)

品 目	重 量 (kg)	割 合 (%)
CD・DVD類(本体)	1.03	8.3
食品保存袋(タッパーウェア、ジップロック)	2.33	18.7
カトラリー類(フォーク、スプーン、ナイフ、ストロー)	1.23	9.9
オーラルケア用品(歯ブラシ、歯間ブラシ、ピック)	1.26	10.1
文房具(ボールペン、マーカーペン、定規、下敷き、ファイル)	2.73	21.9
電池のないおもちゃ(プラモデルの枠も含む)	1.17	9.4
清掃用具(ちりとり、ブラシ)	0.89	7.1
収納用品(ケース類)	0.78	6.3
台所用品(まな板、お玉、フライ返し)	0.39	3.1
植木鉢	0.65	5.2
合 計	12.46	100.0

図5-8 製品プラスチックの調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

単位:%

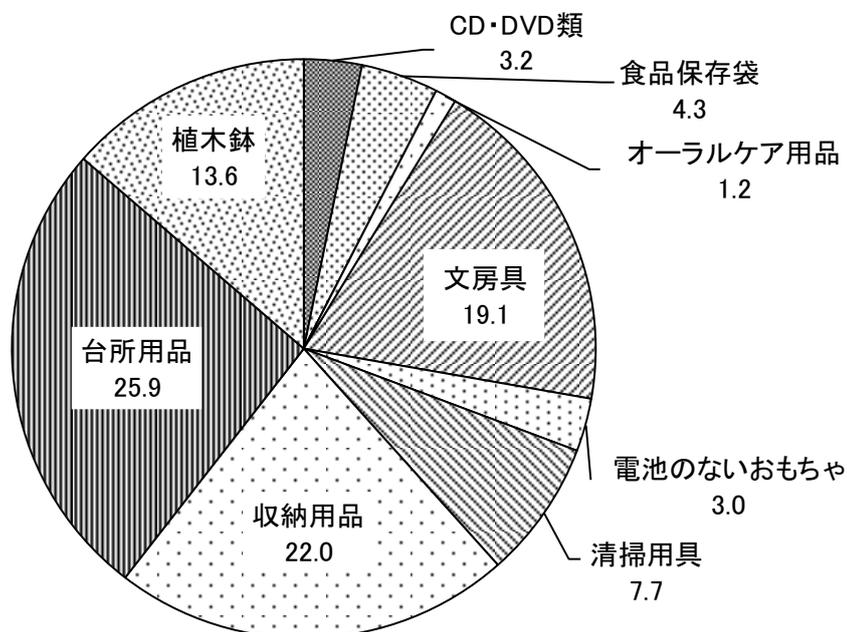


表5-16 製品プラスチックの調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

品 目	重 量 (kg)	割 合 (%)
CD・DVD類(本体)	0.22	3.2
食品保存袋(タッパーウェア、ジップロック)	0.29	4.3
カトラリー類(フォーク、スプーン、ナイフ、ストロー)	0.00	0.0
オーラルケア用品(歯ブラシ、歯間ブラシ、ピック)	0.08	1.2
文房具(ボールペン、マーカーペン、定規、下敷き、ファイル)	1.29	19.1
電池のないおもちゃ(プラモデルの枠も含む)	0.20	3.0
清掃用具(ちりとり、ブラシ)	0.52	7.7
収納用品(ケース類)	1.49	22.0
台所用品(まな板、お玉、フライ返し)	1.75	25.9
植木鉢	0.92	13.6
合 計	6.76	100.0

### 5-3 ごみ組成分析結果(事業系)

#### (1) 燃やすごみ

##### ・組成割合

燃やすごみの組成は、可燃物が69.4%、資源物が28.6%、不燃物が1.2%、外袋が0.8%である。可燃物の内訳は、生ごみが24.5%、紙類が20.6%、木・草類が14.1%、その他可燃物が6.1%などである。

##### ・分別不適物

資源物は、28.6%、不燃物は1.2%で、合わせて29.8%が分別不適物である。資源物の内訳は、紙類が15.6%、プラスチック製容器包装が12.1%、びん・缶・ペットボトルが0.8%、小型家電が0.1%である。不燃物の内訳は、その他不燃物が1.2%である。

図5-9 燃やすごみの調査結果(全体)

単位:%

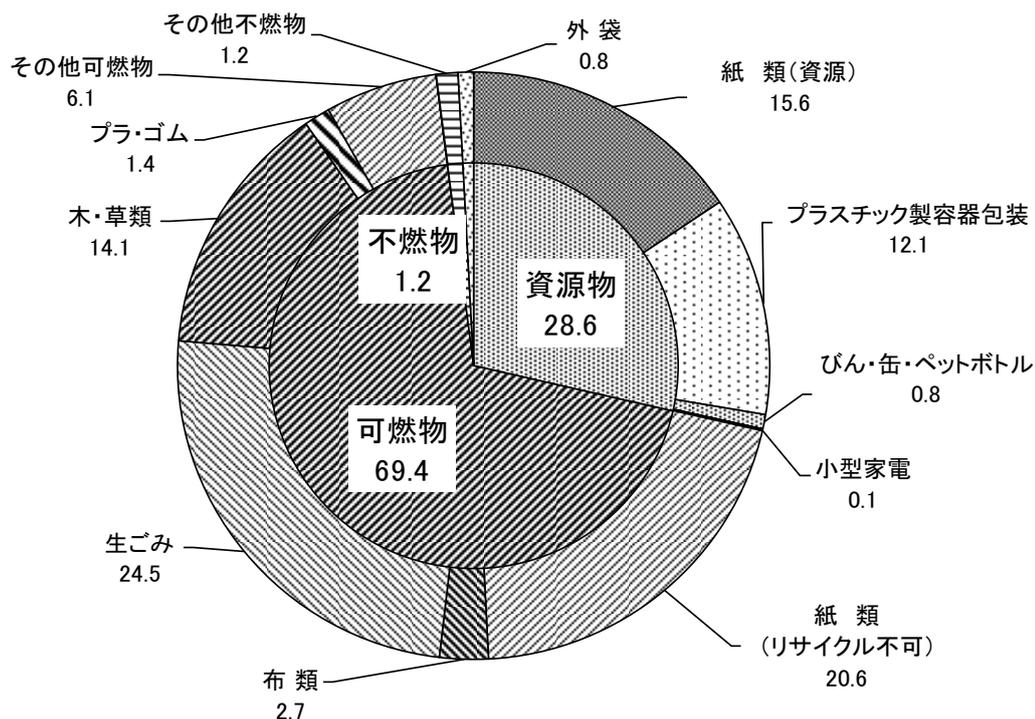


表5-17 燃やすごみの調査結果(地域別)

地域		品川地域		荏原地域		合計			
分類	品目	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)		
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	5.04	0.7	0.67	0.2	5.71	0.6	
		折込広告	4.05	0.5	0.30	0.1	4.35	0.4	
		雑誌・本	9.73	1.3	0.19	0.1	9.92	1.0	
		段ボール	7.41	1.0	4.42	1.6	11.83	1.2	
		紙パック	1.89	0.3	2.04	0.8	3.93	0.4	
		容器包装紙類(リサイクル可)	54.84	7.4	7.36	2.7	62.20	6.1	
		その他紙類(リサイクル可)	57.30	7.7	2.38	0.9	59.68	5.9	
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	1.96	0.3	0.80	0.3	2.76	0.2	
		レジ袋(中身あり)	7.28	1.0	1.07	0.4	8.35	0.8	
		レジ袋(中身なし)	2.46	0.3	0.45	0.2	2.91	0.3	
		その他プラスチック製容器包装	79.24	10.6	29.84	11.1	109.08	10.8	
	ペットボトル	生きびん	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		飲食用びん	0.73	0.1	0.34	0.1	1.07	0.1	
		飲用・食用 スチール缶	0.64	0.1	0.23	0.1	0.87	0.1	
		飲用・食用 アルミ缶	0.30	0.0	0.00	0.0	0.30	0.0	
		ペットボトル	4.71	0.6	1.02	0.4	5.73	0.6	
		有害物	乾電池	単1から単5	0.05	0.0	0.11	0.0	0.16
		角型9V	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		コイン型電池(CR、BRのみ)	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		蛍光灯・蛍光管	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
	その他	小型家電	0.64	0.1	0.24	0.1	0.88	0.1	
	可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	12.52	1.7	4.87	1.8	17.39	1.7
			その他紙類(リサイクル不可)	151.33	20.3	40.61	15.1	191.94	18.9
		布類	布類	20.90	2.8	6.04	2.2	26.94	2.7
		生ごみ	調理くず	84.58	11.4	62.50	23.1	147.08	14.5
			直接廃棄	32.90	4.4	11.96	4.4	44.86	4.4
食べ残し			49.86	6.7	6.64	2.5	56.50	5.6	
木・草類		木・草類	88.77	11.9	53.83	20.0	142.60	14.1	
その他可燃物		プラ・ゴム	製品プラスチック	5.86	0.8	3.59	1.3	9.45	0.9
			ゴム・皮革類	3.77	0.5	1.25	0.5	5.02	0.5
			その他の製品プラスチック	28.71	3.9	7.15	2.7	35.86	3.5
	その他可燃物	18.11	2.4	8.01	3.0	26.12	2.6		
不燃物	危険物・	スプレー缶等	0.00	0.0	0.10	0.0	0.10	0.0	
		電池類	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
		ライター	0.06	0.0	0.05	0.0	0.11	0.0	
	その他不燃物	その他金属	2.04	0.3	1.66	0.6	3.70	0.4	
		その他不燃物	0.85	0.1	7.43	2.8	8.28	0.8	
外袋	プラスチック製	5.77	0.8	2.28	0.8	8.05	0.8		
	レジ袋	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0		
	紙袋	0.23	0.0	0.25	0.1	0.48	0.0		
合計		744.53	100.0	269.68	100.0	1014.21	100.0		

資源物	238.27	32.0	51.46	19.1	289.73	28.6
可燃物	497.31	66.8	206.45	76.6	703.76	69.4
不燃物	2.95	0.4	9.24	3.4	12.19	1.2
外袋	6.00	0.8	2.53	0.9	8.53	0.8

適合物	503.31	67.6	208.98	77.5	712.29	70.2
分別不適物	241.22	32.4	60.70	22.5	301.92	29.8

表5-18 燃やすごみの調査結果(業種別)

		業種	飲食系	小売り	商店街	繁華街	オフィスビル	工場	
分類	品目	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.19	0.52	0.48	0.49	1.46	2.57	
		折込広告	0.03	1.38	0.27	0.20	1.72	0.75	
		雑誌・本	0.00	0.70	0.19	1.96	2.76	4.31	
		段ボール	0.00	1.53	4.42	2.26	2.40	1.22	
		紙パック	0.41	0.22	1.63	0.80	0.35	0.52	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.97	2.99	6.39	4.06	21.21	26.58	
	その他紙類(リサイクル可)	0.93	24.31	1.45	1.02	20.22	11.75		
	容器包装製プラスチック	食品トレイ	0.02	0.69	0.78	0.75	0.22	0.30	
		レジ袋(中身あり)	0.18	0.84	0.89	3.66	1.41	1.37	
		レジ袋(中身なし)	0.05	0.15	0.40	0.66	0.95	0.70	
		その他プラスチック製容器包装	7.27	21.09	22.57	13.77	31.52	12.86	
	ペットボトル	生きびん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		飲食用びん	0.23	0.19	0.11	0.28	0.00	0.26	
		飲用・食用 スチール缶	0.00	0.33	0.23	0.31	0.00	0.00	
		飲用・食用 アルミ缶	0.00	0.00	0.00	0.23	0.04	0.03	
		ペットボトル	0.05	1.91	0.97	1.35	1.13	0.32	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.00	0.04	0.11	0.00	0.00	0.01
			角型9V	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		蛍光灯・蛍光管	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
その他	小型家電	0.24	0.00	0.00	0.20	0.44	0.00		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	2.89	2.65	1.98	1.53	4.24	4.10	
		その他紙類(リサイクル不可)	9.02	40.17	31.59	30.03	54.97	26.16	
	布類	布類	0.83	2.37	5.21	4.61	11.44	2.48	
	生ごみ	調理くず	10.90	39.68	51.60	37.00	3.27	4.63	
		直接廃棄	0.23	4.92	11.73	2.19	1.90	23.89	
		食べ残し	1.22	15.07	5.42	29.47	1.43	3.89	
	木・草類	木・草類	32.05	5.14	21.78	3.32	1.85	78.46	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	3.08	1.58	0.51	1.60	1.34	1.34	
		ゴム・皮革類	0.16	0.48	1.09	1.05	0.74	1.50	
		その他の製品プラスチック	2.31	1.47	4.84	5.84	3.19	18.21	
その他可燃物	その他可燃物	1.72	2.49	6.29	3.96	9.51	2.15		
不燃物	危有害物・	スプレー缶等	0.02	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	
		電池類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		ライター	0.00	0.04	0.05	0.00	0.02	0.00	
	その他不燃物	その他金属	0.08	0.41	1.58	0.56	0.66	0.41	
その他不燃物		7.08	0.02	0.35	0.02	0.38	0.43		
外袋	プラスチック製	1.16	1.07	1.12	1.10	2.01	1.59		
	レジ袋	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	紙袋	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.23		
合計		83.32	174.45	186.36	154.28	182.78	233.02		

資源物	10.57	56.89	40.89	32.00	85.83	63.55
可燃物	64.41	116.02	142.04	120.60	93.88	166.81
不燃物	7.18	0.47	2.06	0.58	1.06	0.84
外袋	1.16	1.07	1.37	1.10	2.01	1.82

適合物	65.57	117.09	143.41	121.70	95.89	168.63
分別不適物	17.75	57.36	42.95	32.58	86.89	64.39

表5-19 燃やすごみの調査結果(業種別)

		業 種	飲食系	小売り	商店街	繁華街	オフィスビル	工場	
分類	品 目	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.2	0.3	0.3	0.3	0.8	1.1	
		折込広告	0.0	0.8	0.1	0.1	0.9	0.3	
		雑誌・本	0.0	0.4	0.1	1.3	1.5	1.8	
		段ボール	0.0	0.9	2.4	1.5	1.3	0.5	
		紙パック	0.5	0.1	0.9	0.5	0.2	0.2	
		容器包装紙類(リサイクル可)	1.2	1.7	3.4	2.6	11.6	11.4	
	その他紙類(リサイクル可)	1.1	13.9	0.8	0.7	11.1	5.0		
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	0.0	0.4	0.4	0.5	0.1	0.1	
		レジ袋(中身あり)	0.2	0.5	0.5	2.4	0.8	0.6	
		レジ袋(中身なし)	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.3	
		その他プラスチック製容器包装	8.7	12.1	12.1	8.9	17.2	5.5	
	ペットボトル	生きびん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		飲食用びん	0.3	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	
		飲用・食用 スチール缶	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	
		飲用・食用 アルミ缶	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
		ペットボトル	0.1	1.1	0.5	0.9	0.6	0.1	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
			角型9V	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	水銀体温計・水銀血圧計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	小型家電	0.3	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	3.5	1.5	1.1	1.0	2.3	1.8	
		その他紙類(リサイクル不可)	10.8	23.2	17.0	19.5	30.3	11.2	
	布類	布類	1.0	1.4	2.8	3.0	6.3	1.1	
	生ごみ	調理くず	13.1	22.8	27.6	23.9	1.8	2.0	
		直接廃棄	0.3	2.8	6.3	1.4	1.0	10.3	
		食べ残し	1.5	8.6	2.9	19.1	0.8	1.7	
	木・草類	木・草類	38.3	2.9	11.7	2.2	1.0	33.8	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	3.7	0.9	0.3	1.0	0.7	0.6	
		ゴム・皮革類	0.2	0.3	0.6	0.7	0.4	0.6	
		その他の製品プラスチック	2.8	0.8	2.6	3.8	1.7	7.8	
その他可燃物	その他可燃物	2.1	1.4	3.4	2.6	5.2	0.9		
不燃物	危有害物・	スプレー缶等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		電池類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		ライター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他不燃物	その他金属	0.1	0.2	0.8	0.4	0.4	0.2		
	その他不燃物	8.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2		
外袋	プラスチック製	1.4	0.6	0.6	0.7	1.1	0.7		
	レジ袋	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	紙袋	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1		
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

資源物	12.7	32.6	22.0	20.7	46.8	27.0
可燃物	77.3	66.6	76.3	78.2	51.5	71.8
不燃物	8.6	0.2	1.0	0.4	0.6	0.4
外袋	1.4	0.6	0.7	0.7	1.1	0.8

適合物	78.7	67.2	77.0	78.9	52.6	72.6
分別不適物	21.3	32.8	23.0	21.1	47.4	27.4

## (2) 陶器・ガラス・金属ごみ

### ・組成割合

陶器・ガラス・金属ごみの組成は、不燃物が65.4%、資源物が27.5%、可燃物が6.3%、外袋が0.8%である。不燃物の内訳は、その他不燃物が46.7%、その他金属が16.8%、合わせて63.5%、有害・危険物が1.9%である。

### ・分別不適物

資源物は、27.5%、可燃物は6.3%で、合わせて33.8%が分別不適物である。資源物の内訳は、びん・缶・ペットボトルが17.8%、小型家電が8.2%、プラスチック製容器包装が0.8%などである。可燃物の内訳は、その他可燃物が3.8%、プラ・ゴムが2.1%、木・草類、紙類が0.2%である。

図5-10 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(全体)

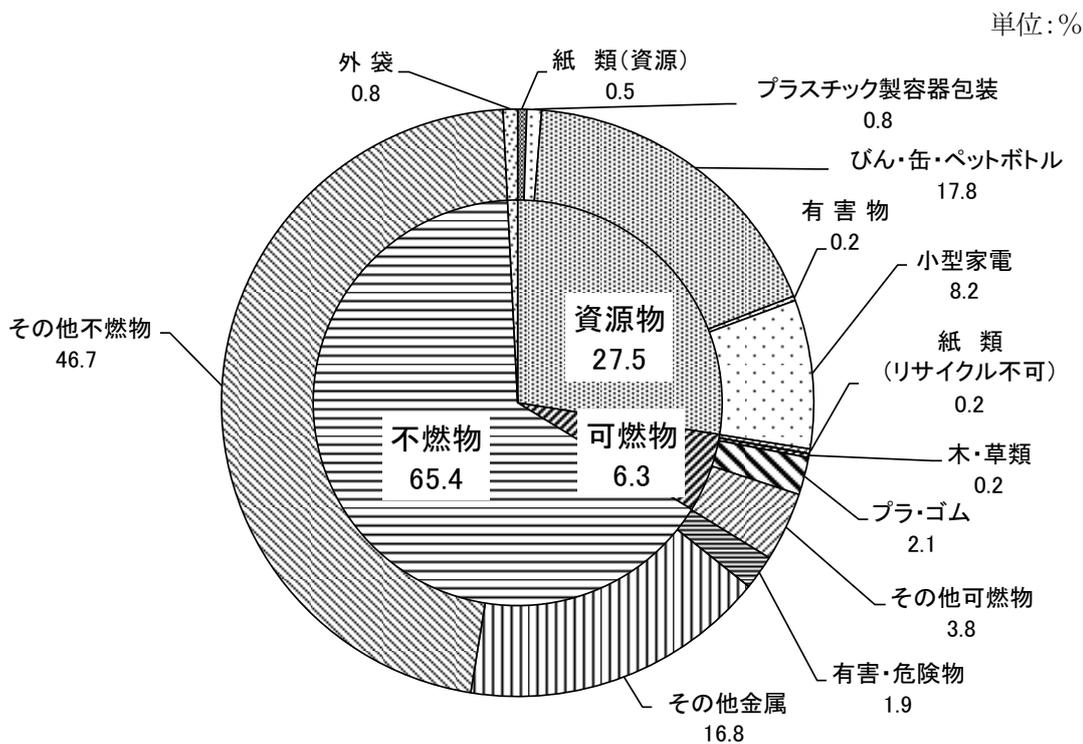


表5-20 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(全体)

分類	品目	合計			
		重量 (kg)	割合 (%)		
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.00	0.0	
		折込広告	0.00	0.0	
		雑誌・本	0.00	0.0	
		段ボール	0.00	0.0	
		紙パック	0.00	0.0	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.12	0.0	
		その他紙類(リサイクル可)	1.93	0.5	
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.00	0.0	
		レジ袋(中身あり)	0.58	0.1	
		レジ袋(中身なし)	0.01	0.0	
		その他プラスチック製容器包装	2.72	0.7	
	ペットボトル	生きびん	0.00	0.0	
		飲食用びん	29.02	7.0	
		飲用・食用 スチール缶	42.56	10.3	
		飲用・食用 アルミ缶	0.90	0.2	
		ペットボトル	0.98	0.3	
		その他	小型家電	33.75	8.2
	有害物	乾電池	単1から単5	0.83	0.2
			角型9V	0.00	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.01	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.17	0.0	
水銀体温計・水銀血圧計		0.00	0.0		
その他		小型家電	33.75	8.2	
可燃物		紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	0.50	0.1
	その他紙類(リサイクル不可)		0.52	0.1	
	布類	布類	0.08	0.0	
	生ごみ	調理くず	0.00	0.0	
		直接廃棄	0.00	0.0	
		食べ残し	0.00	0.0	
	木・草類	木・草類	0.88	0.2	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	8.10	2.0	
		ゴム・皮革類	0.41	0.1	
		その他可燃物	その他の製品プラスチック	14.98	3.7
その他可燃物	その他可燃物	0.39	0.1		
不燃物	危険物・ライター	スプレー缶等	7.78	1.9	
		電池類	0.00	0.0	
		ライター	0.09	0.0	
	その他不燃物	その他金属	69.24	16.8	
その他不燃物		192.56	46.7		
外袋	プラスチック製	2.58	0.6		
	レジ袋	0.37	0.1		
	紙袋	0.31	0.1		
合計		412.37	100.0		

資源物	113.58	27.5
可燃物	25.86	6.3
不燃物	269.67	65.4
外袋	3.26	0.8

適合物	272.93	66.2
分別不適物	139.44	33.8

表5-21 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(業種別)

		業種	小売り	商店街	繁華街	オフィスビル	工場	
分類	品目	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)	
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		折込広告	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		雑誌・本	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		段ボール	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		紙パック	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.07	0.00	0.01	0.04	0.00	
		その他紙類(リサイクル可)	1.87	0.00	0.00	0.06	0.00	
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		レジ袋(中身あり)	0.09	0.00	0.44	0.05	0.00	
		レジ袋(中身なし)	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	
		その他プラスチック製容器包装	0.35	0.05	0.08	2.24	0.00	
	ペットボトル・缶	生きびん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		飲食用びん	1.73	13.15	6.15	7.88	0.11	
		飲用・食用 スチール缶	7.07	3.79	17.21	13.38	1.11	
		飲用・食用 アルミ缶	0.00	0.82	0.00	0.08	0.00	
		ペットボトル	0.00	0.92	0.06	0.00	0.00	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.16	0.16	0.50	0.01	0.00
			角型9V	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
		蛍光灯・蛍光管	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	
		水銀体温計・水銀血圧計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	その他	小型家電	11.00	2.29	5.36	14.77	0.33	
	可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
			その他紙類(リサイクル不可)	0.00	0.33	0.16	0.03	0.00
		布類	布類	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
		生ごみ	調理くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			直接廃棄	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
食べ残し			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
木・草類		木・草類	0.74	0.06	0.08	0.00	0.00	
プラ・ゴム		製品プラスチック	3.37	3.22	0.43	1.08	0.00	
		ゴム・皮革類	0.03	0.00	0.00	0.38	0.00	
その他可燃物		その他の製品プラスチック	0.40	2.22	2.82	8.47	1.07	
	その他可燃物	0.00	0.00	0.00	0.39	0.00		
不燃物	有害物・陰害物	スプレー缶等	2.49	1.39	0.19	2.35	1.36	
		電池類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		ライター	0.06	0.01	0.02	0.00	0.00	
	その他不燃物	その他金属	22.21	9.76	2.89	23.13	11.25	
その他不燃物		24.43	7.09	21.03	27.54	112.47		
外袋	プラスチック製	0.41	0.88	0.49	0.34	0.46		
	レジ袋	0.01	0.26	0.01	0.09	0.00		
	紙袋	0.00	0.00	0.07	0.24	0.00		
合計		77.00	46.40	58.25	102.56	128.16		

資源物	22.35	21.18	29.98	38.52	1.55
可燃物	5.04	5.83	3.57	10.35	1.07
不燃物	49.19	18.25	24.13	53.02	125.08
外袋	0.42	1.14	0.57	0.67	0.46

適合物	49.61	19.39	24.70	53.69	125.54
分別不適物	27.39	27.01	33.55	48.87	2.62

・飲食系は対象無し

表5-22 陶器・ガラス・金属ごみの調査結果(業種別)

		業 種	小売り	商店街	繁華街	オフィスビル	工 場	
分類	品 目	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)		
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		折込広告	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		雑誌・本	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		段ボール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		紙パック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他紙類(リサイクル可)	2.4	0.0	0.0	0.1	0.0		
	プラスチック製容器包装	食品トレイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		レジ袋(中身あり)	0.1	0.0	0.8	0.0	0.0	
		レジ袋(中身なし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他プラスチック製容器包装	0.5	0.1	0.1	2.2	0.0	
	ペットボトル・缶	生きびん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		飲食用びん	2.2	28.4	10.6	7.7	0.1	
		飲用・食用スチール缶	9.2	8.2	29.6	13.0	0.9	
		飲用・食用アルミ缶	0.0	1.8	0.0	0.1	0.0	
		ペットボトル	0.0	2.0	0.1	0.0	0.0	
	有害物	乾電池	単1から単5	0.2	0.3	0.9	0.0	0.0
			角型9V	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			コイン型電池(CR、BRのみ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		蛍光灯・蛍光管	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	
		水銀体温計・水銀血圧計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	小型家電	14.3	4.9	9.2	14.4	0.3		
可燃物	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
		その他紙類(リサイクル不可)	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	
	布類	布類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
	生ごみ	調理くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		直接廃棄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		食べ残し	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	木・草類	木・草類	1.0	0.1	0.1	0.0	0.0	
	プラ・ゴム	製品プラスチック	4.4	6.9	0.7	1.1	0.0	
		ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	
	その他可燃物	その他の製品プラスチック	0.5	4.8	4.8	8.3	0.8	
その他可燃物		0.0	0.0	0.0	0.4	0.0		
不燃物	危険物・	スプレー缶等	3.2	3.0	0.3	2.3	1.1	
		電池類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		ライター	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他不燃物	その他金属	28.9	21.0	5.0	22.6	8.8	
その他不燃物		31.8	15.3	36.2	26.8	87.6		
外袋	プラスチック製	0.5	1.9	0.8	0.3	0.4		
	レジ袋	0.0	0.6	0.0	0.1	0.0		
	紙袋	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0		
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
資源物		29.0	45.7	51.6	37.5	1.3		
可燃物		6.5	12.5	6.0	10.2	0.8		
不燃物		64.0	39.3	41.5	51.7	97.5		
外袋		0.5	2.5	0.9	0.6	0.4		
適合物		64.5	41.8	42.4	52.3	97.9		
分別不適物		35.5	58.2	57.6	47.7	2.1		

・飲食系は対象無し

### (3) プラスチック製容器包装詳細

燃やすごみのプラスチック製容器包装の内訳は、フィルム・袋類が 51.6%、容器類が 20.0%、レジ袋(中身あり)が 6.8%などである。陶器・ガラス・金属ごみのプラスチック製容器包装の内訳は、キャップ類が 41.1%、容器類が 29.6%、レジ袋(中身あり)が 17.5%などである。

図5-11 プラスチック製容器包装の調査結果(燃やすごみ)

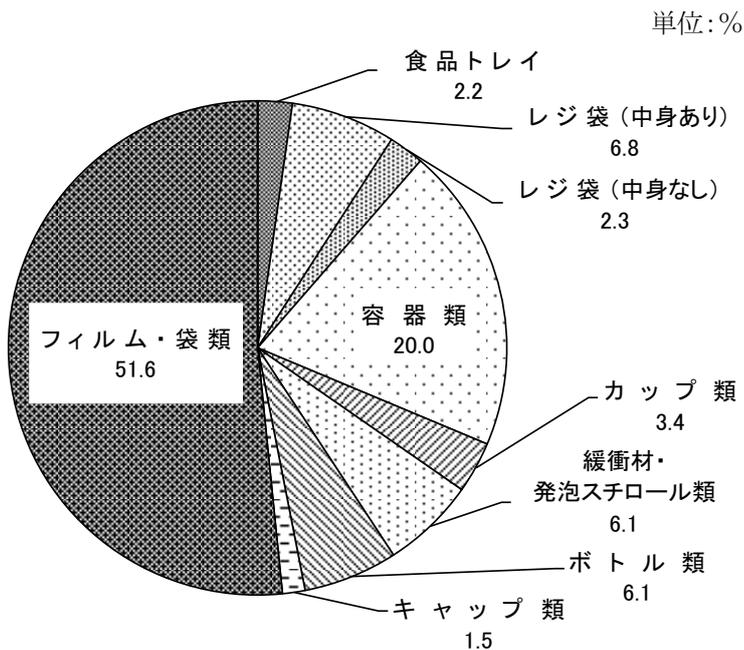


図5-12 プラスチック製容器包装の調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

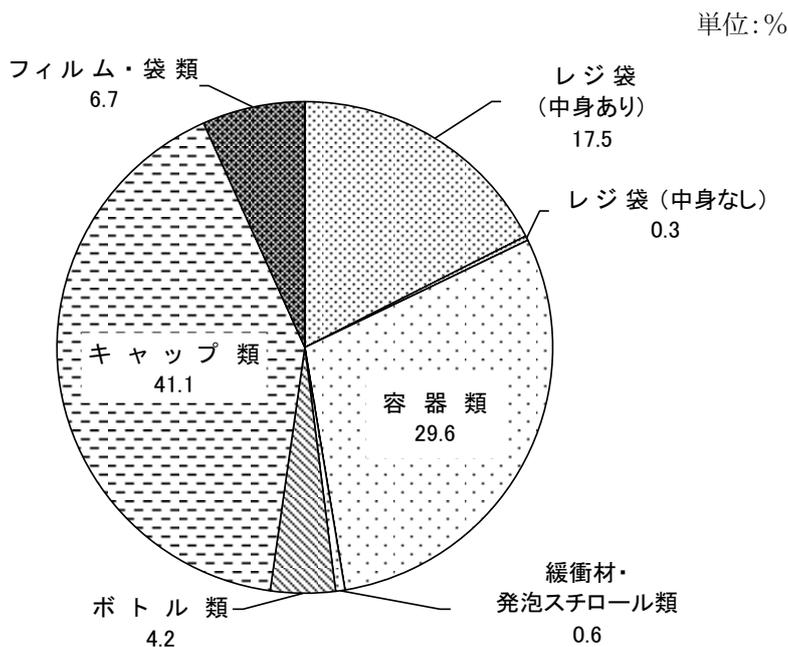


表5-23 プラスチック製容器包装の調査結果

品 目	燃 や す ご み		陶 ガ 金 ご み	
	重 量 (kg)	割 合 (%)	重 量 (kg)	割 合 (%)
食 品 ト レ イ	2.76	2.2	0.00	0.0
レ ジ 袋 (中身あり)	8.35	6.8	0.58	17.5
レ ジ 袋 (中身なし)	2.91	2.3	0.01	0.3
容 器 類	24.64	20.0	0.98	29.6
カ ッ プ 類	4.14	3.4	0.00	0.0
緩 衝 材 ・ 発 泡 ス チ ロ ー ル 類	7.50	6.1	0.02	0.6
ボ ト ル 類	7.53	6.1	0.14	4.2
キャ ッ プ 類	1.80	1.5	1.36	41.1
フ ィ ル ム ・ 袋 類	63.47	51.6	0.22	6.7
そ の 他	0.00	0.0	0.00	0.0
合 計	123.10	100.0	3.31	100.0

#### (4) 生ごみ詳細

燃やすごみの生ごみの内訳は、調理くずが 54.8%、直接廃棄が 18.1%、食べ残しが 22.7%、過剰除去(環境省 令和3年度食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査報告書による推計値)が 4.4%である。直接廃棄 18.1%の内訳は、100%残存が 14.9%、50%以上残存が 2.0%、50%未満が 1.2%である。

過剰除去、直接廃棄、食べ残しを合計した食品ロスは生ごみ中の 45.2%であり、燃やすごみ全体の 11.1%である。

図5-13 生ごみの調査結果(燃やすごみ)

単位:%

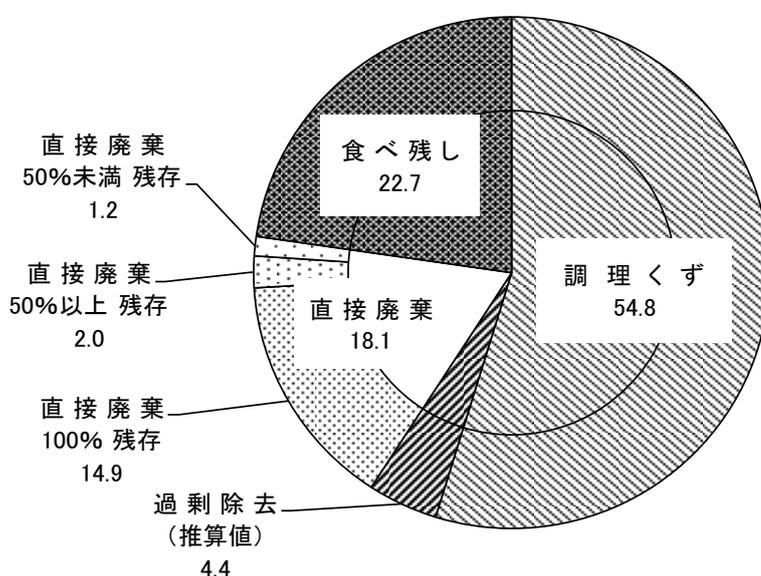


表5-24 生ごみの調査結果(燃やすごみ)

項目	重量 (kg)	割合 (%)		区分
		生ごみ中	ごみ全体中	
調理くず	136.15	54.8	13.4	不可食
過剰除去(推算値)	10.93	4.4	1.1	食品ロス 11.1
直接廃棄	100%残存	37.03	3.6	
	50%以上残存	4.79	0.5	
	50%未満残存	3.04	0.3	
食べ残し	56.50	22.7	5.6	
合計	248.44	100.0	24.5	

(5) 製品プラスチック詳細

燃やすごみの製品プラスチックの内訳は、植木鉢が 30.3%、文房具が 18.8%、食品保存袋が 11.6%などである。陶器・ガラス・金属ごみの製品プラスチックの内訳は、収納用品が 60.7%、文房具が 24.3%、CD・DVD 類が 13.3%などである。

図5-14 製品プラスチックの調査結果(燃やすごみ)

単位:%

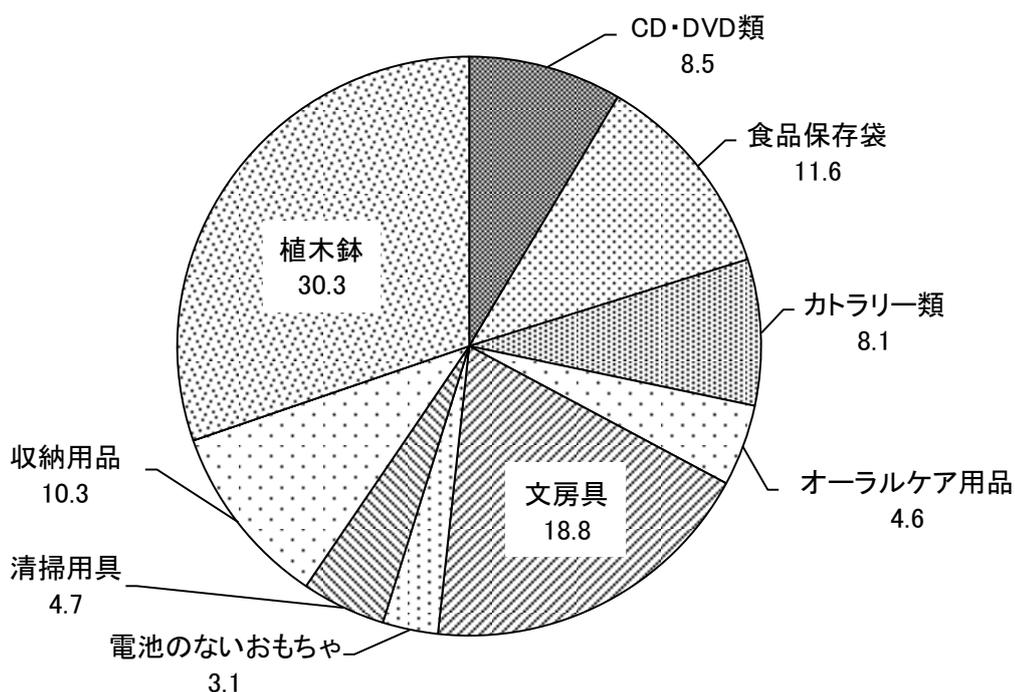


表5-25 製品プラスチックの調査結果(燃やすごみ)

品目	重量 (kg)	割合 (%)
CD・DVD類 (本体)	0.81	8.5
食品保存袋 (タッパーウェア、ジップロック)	1.10	11.6
カトラリー類 (フォーク、スプーン、ナイフ、ストロー)	0.77	8.1
オーラルケア用品 (歯ブラシ、歯間ブラシ、ピック)	0.43	4.6
文房具 (ボールペン、マーカーペン、定規、下敷き、ファイル)	1.78	18.8
電池のないおもちゃ (プラモデルの枠も含む)	0.29	3.1
清掃用具 (ちりとり、ブラシ)	0.44	4.7
収納用品 (ケース類)	0.97	10.3
台所用品 (まな板、お玉、フライ返し)	0.00	0.0
植木鉢	2.86	30.3
合計	9.45	100.0

図5-15 製品プラスチックの調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

単位:%

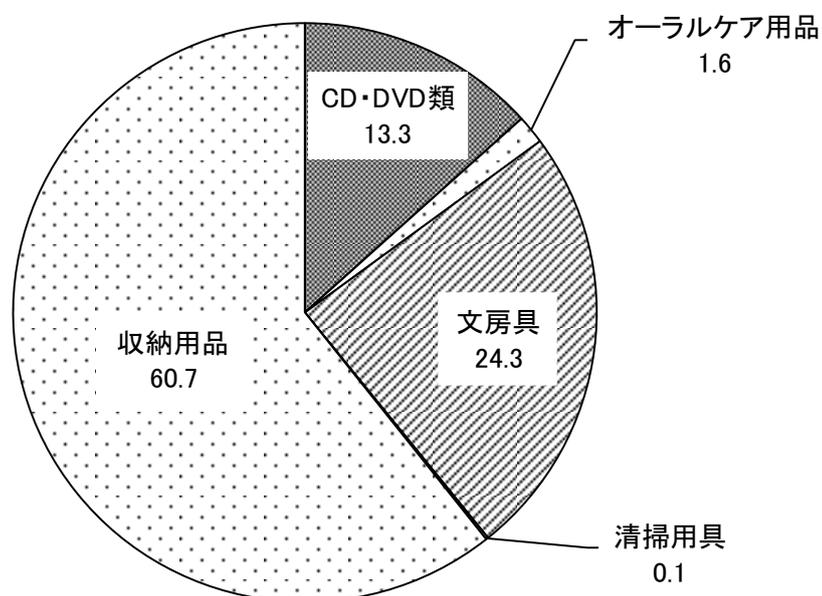


表5-26 製品プラスチックの調査結果(陶器・ガラス・金属ごみ)

品 目	重 量 (kg)	割 合 (%)
CD・DVD類(本体)	1.08	13.3
食品保存袋(タッパーウェア、ジップロック)	0.00	0.0
カトラリー類(フォーク、スプーン、ナイフ、ストロー)	0.00	0.0
オーラルケア用品(歯ブラシ、歯間ブラシ、ピック)	0.12	1.6
文房具(ボールペン、マーカーペン、定規、下敷き、ファイル)	1.97	24.3
電池のないおもちゃ(プラモデルの枠も含む)	0.00	0.0
清掃用具(ちりとり、ブラシ)	0.01	0.1
収納用品(ケース類)	4.92	60.7
台所用品(まな板、お玉、フライ返し)	0.00	0.0
植木鉢	0.00	0.0
合 計	8.10	100.0

## 5-4 スプレー缶等分析

### (1) 調査方法

家庭ごみ、事業系ごみの燃やすごみ及び陶器・ガラス・金属ごみから出たスプレー缶等について、次の項目を調査した。

- ・製品種類
- ・穴あけの有無
- ・残存ガスの有無
- ・ガス抜きキャップの有無および使用状況

### (2) サンプル数

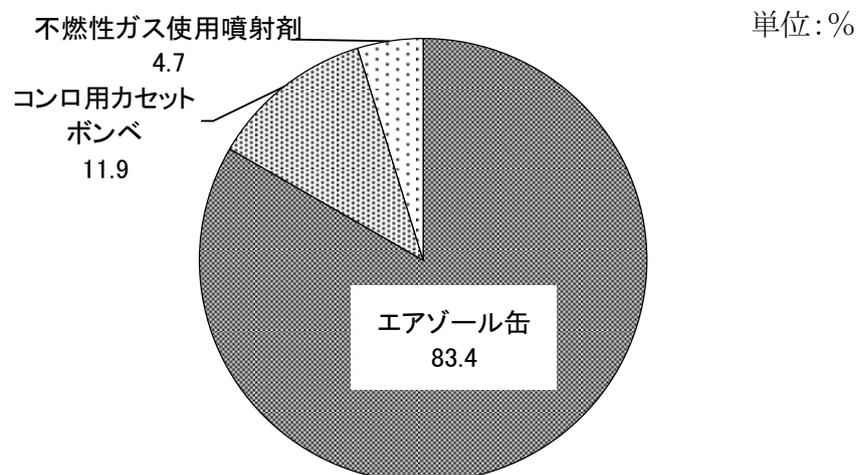
合計 507 本のうち、エアゾール缶は 423 本、コンロ用カセットボンベは 60 本である。噴射剤として窒素ガスや炭酸ガスなどの不燃性ガスを使用している 24 本は本数のみの調査とし、他の 483 本について詳細調査、集計した。

表5-27 スプレー缶等のサンプル数の内訳

製品種類	本数(本)					割合 (%)
	燃やすごみ	陶器 ごみ	家庭 ごみ	事業系 ごみ	合計	
エアゾール缶	10	413	371	52	423	83.4
コンロ用カセットボンベ	0	60	45	15	60	
不燃性ガス使用噴射剤	0	24	15	9	24	4.7
合計	10	497	431	76	507	100.0

※不燃性ガス使用噴射剤は個数のみ調査した

図5-16 スプレー缶等のサンプルの内訳



### (3) 穴の有無、残量の有無、ガス抜きキャップの状況

本区では、スプレー缶等については穴をあけずに使い切って排出するように指導している。エアゾール缶 423 本のうち、「穴あけあり(残存ガスなし)」が 40 本(9.5%)、「穴あけなし(残存ガスなし)」が 192 本(45.4%)、「穴あけなし(残存ガスあり)」が 191 本(45.2%)である。

エアゾール缶の中には、使用後にガスを完全に抜くためのガス抜きキャップがついている製品がある。「ガス抜きキャップが使用されているもの」が 64 本(15.1%)、「使用されていないもの」が 66 本(15.6%)、「使用不明なもの」が 34 本(8.0%)である。

エアゾール缶とコンロ用カセットボンベを合わせると「穴あけあり(残存ガスなし)」が 11.2%、「穴あけなし(残存ガスなし)」が 48.9%、「穴あけなし(残存ガスあり)」が 39.9%である。

48.9%が穴をあけずに使い切って正しく排出されている一方、39.9%は残量があるまま排出されている。これらは火災や爆発など重大な事故の要因になるため対策が必要である。

また、穴があるものの割合は 11.2%であり、1割程度の人が穴をあけている。穴をあけることも危険な行為であることを周知徹底する必要がある。ガス抜きキャップがついている製品でガス抜きキャップが使用されたものの割合は 13.3%である。

表5-28 エアゾール缶、コンロ用カセットボンベの本数内訳

製品種類	調査項目	穴の有無			合計	ガス抜きキャップの有無				合計
	状態	穴有	穴無			有			無	
	調査項目		残量の有無			ガス抜きキャップ 使用の有無				
	状態		残無	残有		有	無	不明		
エアゾール缶		40	192	191	423	64	66	34	259	423
コンロ用カセットボンベ		14	44	2	60	0	0	0	60	60
合計		54	236	193	483	64	66	34	319	483

表5-29 エアゾール缶、コンロ用カセットボンベの穴の有無、残量、ガス抜きキャップの状況

単位:%

製品種類	調査項目	穴の有無			合計	ガス抜きキャップの有無				合計
	状態	穴有	穴無			有			無	
	調査項目		残量の有無			ガス抜きキャップ 使用の有無				
	状態		残無	残有		有	無	不明		
エアゾール缶		8.3	39.8	39.5	87.6	13.3	13.7	7.0	53.6	87.6
コンロ用カセットボンベ		2.9	9.1	0.4	12.4	0.0	0.0	0.0	12.4	12.4
合計		11.2	48.9	39.9	100.0	13.3	13.7	7.0	66.0	100.0

図5-17 エアゾール缶、コンロ用カセットボンベの穴の有無、残量の状況

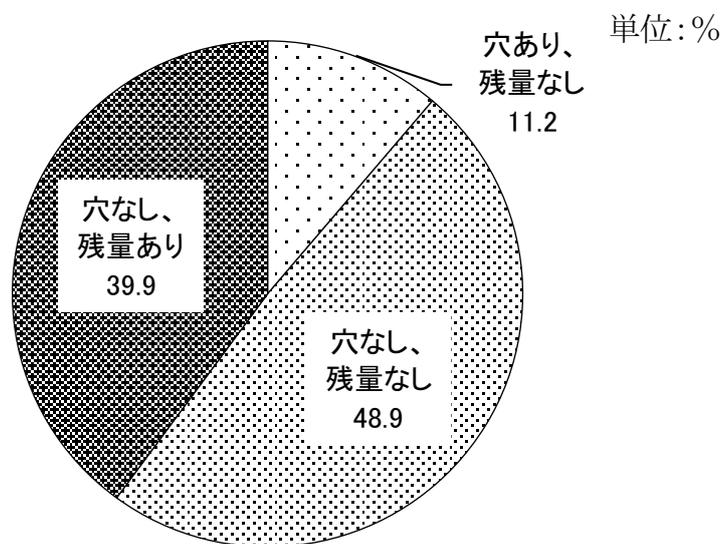


図5-18 エアゾール缶、コンロ用カセットボンベのガス抜きキャップの状況

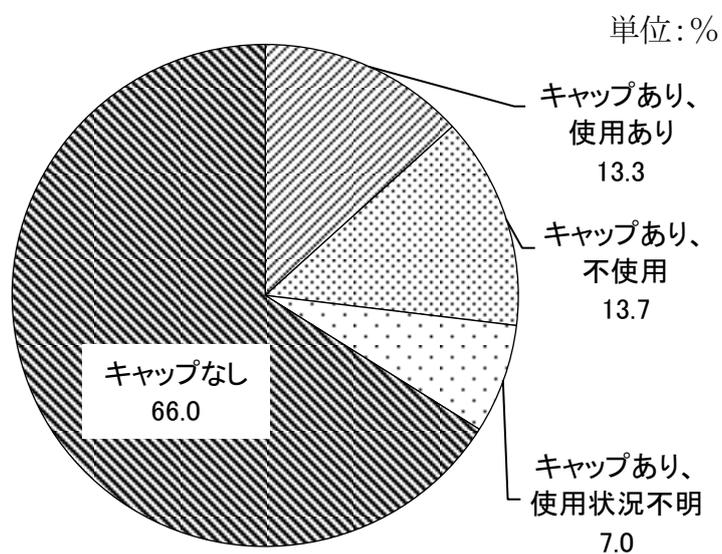


表5-30 エアゾール缶のみの穴の有無、残量、ガス抜きキャップの状況割合

単位:%

製品種類	調査項目	穴の有無			ガス抜きキャップの有無					
	状態	穴有	穴無		合計	有			無	合計
	調査項目		残量の有無			ガス抜きキャップ 使用の有無				
	状態	残無	残有	有	無	不明				
エアゾール缶		9.5	45.4	45.1	100.0	15.2	15.6	8.0	61.2	100.0

図5-19 エアゾール缶の穴の有無、残量の状況

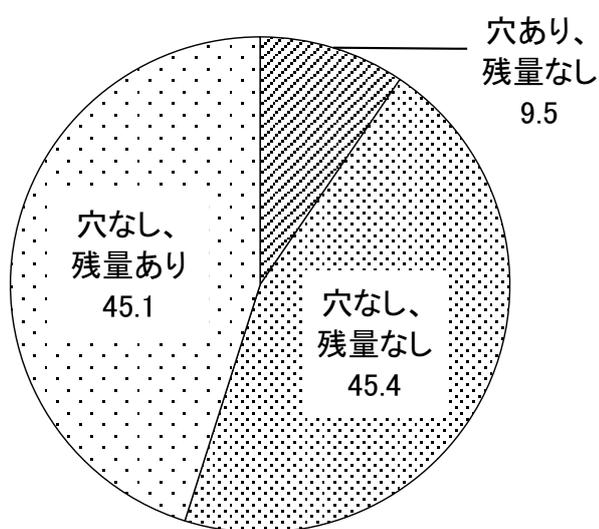
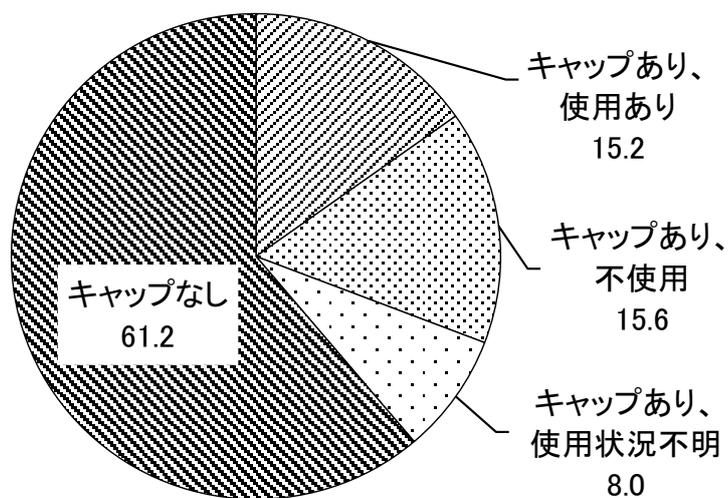


図5-20 エアゾール缶のガス抜きキャップの状況



## 5-5 小型家電詳細

### (1) 調査目的

平成 25 年度4月1日、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)」が施行された。回収された小型家電は、認定事業者などに引き渡され、含まれている金属などがリサイクルされている。

本区では、家庭ごみ、事業系ごみの燃やすごみ及び陶器・ガラス・金属ごみから出た小型家電について調査した。

### (2) 調査方法

ごみ組成分析調査で分類した小型家電を製品種類別に分類し、個数と重量を測定した。分類は、小型家電政令指定 28 品目に準じた。

### (2) 調査結果

家庭ごみ、事業系ごみの燃やすごみ及び陶器・ガラス・金属ごみから出た小型家電は、品川区で拠点回収の対象とする品目が 36.66kg、それ以外の品目が 71.23kg、記載のない小型家電が 22.08kgである。

重量の比率では「8. 付属品(ACアダプター、延長コード)」が最も多く 15.6%であり、「23. 台所用電気機械器具(電子ジャー、トースター、フードプロセッサー)」の 13.8%と続く。「25. 衣料用または衛生用の電気機械器具(電気アイロン、電気こて、掃除機、ハンドクリーナー)」7.3%、「1. 携帯電話(スマホ・PHS含む)」7.1%、「24. 空調用電気機械器具(扇風機、除湿器、サーキュレーター)」7.0% なども比較的多い。

個数の比率を見ると「1. 携帯電話(スマホ・PHS含む)」が 28.9%、「8. 付属品(ACアダプター、延長コード)」28.4%と特に多く、この2品目を合わせると 57.3%を占める。

表5-31 小型家電の調査結果

区 分	重 量 (kg)	割 合 (%)	個 数 (個)	割 合 (%)
品川区で拠点回収の 対象とする品目(10×25cm以内)	36.66	28.2	375	59.8
それ以外の品目	71.23	54.8	146	23.3
上記に記載のないもの	22.08	17.0	104	16.9
合 計	129.97	100.0	625	100.0

表5-32 小型家電の調査結果詳細

区分	品目	重量 (kg)	割合 (%)	個数 (個)	割合 (%)
小型家電 (品川区で 拠点回収 の対象と する品目 10×25cm 以内)	1 携帯電話(スマホ・PHS含む)	9.25	7.1	181	28.9
	2 携帯音楽プレーヤー(CD・MDプレーヤー、ICレコーダー、テープレコーダー)	4.21	3.2	2	0.3
	3 デジタルカメラ、ビデオカメラ	1.34	1.0	4	0.6
	4 携帯ゲーム機	0.22	0.2	1	0.2
	5 車載機器(カーナビ、ETCユニット)	0.00	0.0	0	0.0
	6 電子辞書	0.76	0.6	5	0.8
	7 電卓	0.59	0.5	4	0.6
	8 付属品(ACアダプター、延長コード)	20.29	15.6	178	28.4
	9 タブレット(最近需要が高く、認めたもの)	0.00	0.0	0	0.0
小型家電 それ以外 の品目	10 電話機、ファクシミリ装置その他の有線通信機器器具	3.75	2.9	1	0.2
	11 ラジオ	1.13	0.9	2	0.3
	12 映像用機器器具(DVDレコーダー、プレイヤー)	0.00	0.0	0	0.0
	13 パソコン	0.00	0.0	0	0.0
	14 磁気ディスク装置、光ディスク装置その他の記憶装置(ハードディスク、USBメモリ、ゲームソフト)	0.58	0.5	11	1.7
	15 プリンターその他の印刷装置	0.00	0.0	0	0.0
	16 ディスプレイその他の表示装置(モニター、プロジェクター)	0.89	0.7	2	0.3
	17 電動ミシン	0.00	0.0	0	0.0
	18 電動工具(電動グラインダー、電動ドリル)	0.91	0.7	1	0.2
	19 事務用電気機器器具(ワープロ)	0.00	0.0	0	0.0
	20 計量用または測定用の電気機器器具(電子式ヘルスメーター、デジタル歩数計)	2.89	2.2	5	0.8
	21 医療用電気機械器具(電気治療器、家庭用吸入器)	0.00	0.0	0	0.0
	22 フィルムカメラ	0.00	0.0	0	0.0
	23 台所用電気機械器具(電子ジャー、トースター、フードプロセッサー)	17.99	13.8	12	1.9
	24 空調用電気機械器具(扇風機、除湿器、サーキュレーター)	9.13	7.0	15	2.4
	25 衣料用または衛生用の電気機械器具(電気アイロン、電気こて、掃除機、ハンドクリーナー)	9.46	7.3	10	1.6
	26 保温用電気機械器具(電気こたつ、電気ストーブ、電気毛布)	2.00	1.5	1	0.2
	27 理容用電気機械器具(ドライヤー、電気カミソリ、電動歯ブラシ)	8.89	6.8	29	4.6
	28 電気マッサージ器	0.00	0.0	0	0.0
	29 運動用機械器具(ランニングマシン)	3.41	2.6	1	0.2
	30 園芸用電気機械器具(電気芝刈り機)	0.00	0.0	0	0.0
	31 電気照明器具	4.97	3.8	19	3.0
	32 電子・電気時計	5.00	3.9	32	5.1
	33 電子・電気楽器	0.23	0.2	5	0.8
上記に 記載の ないもの	34 その他(上記に記載のないもの) 小計	22.08	17.0	104	16.9
	音姫のスイッチ	0.05	0.0	1	0.2
	水槽用エアポンプ	0.19	0.2	1	0.2
	テーブルタップ等	0.58	0.5	5	0.8
	電動歯ブラシ	0.20	0.2	1	0.2
	イヤホン、ヘッドホン	1.11	0.9	18	2.9
	キーボード	1.54	1.2	2	0.3
	マウス	1.07	0.8	14	2.2
	シュレッダー	1.81	1.4	1	0.2
	スピーカー	2.77	2.1	7	1.1
	ストップウォッチ	0.09	0.1	2	0.3
	電子蚊取り器	0.40	0.3	3	0.5
	ゲームコントローラー	1.31	1.0	8	1.2
	モバイルバッテリー	0.27	0.2	3	0.5
	基盤・金属パーツ等	0.26	0.2	5	0.8
	火災報知器	0.53	0.4	3	0.5
	キッチンタイマー	0.15	0.1	3	0.5
	WiFiルーター	2.01	1.5	5	0.8
	フロッピーディスクドライブ	0.23	0.2	1	0.2
	チューナー	1.99	1.5	1	0.2
	玩具	0.35	0.3	3	0.5
	警報機	0.05	0.0	1	0.2
	オートソープディスペンサー	0.92	0.7	2	0.3
	アルコールディスペンサー	0.43	0.3	1	0.2
	缶ビールの泡立て器	0.06	0.0	1	0.2
	電子タバコ	0.23	0.2	5	0.8
	不明(用途、名称不明)	3.48	2.7	7	1.1
	合計		129.97	100.0	625

図5-21 小型家電比率(重量)

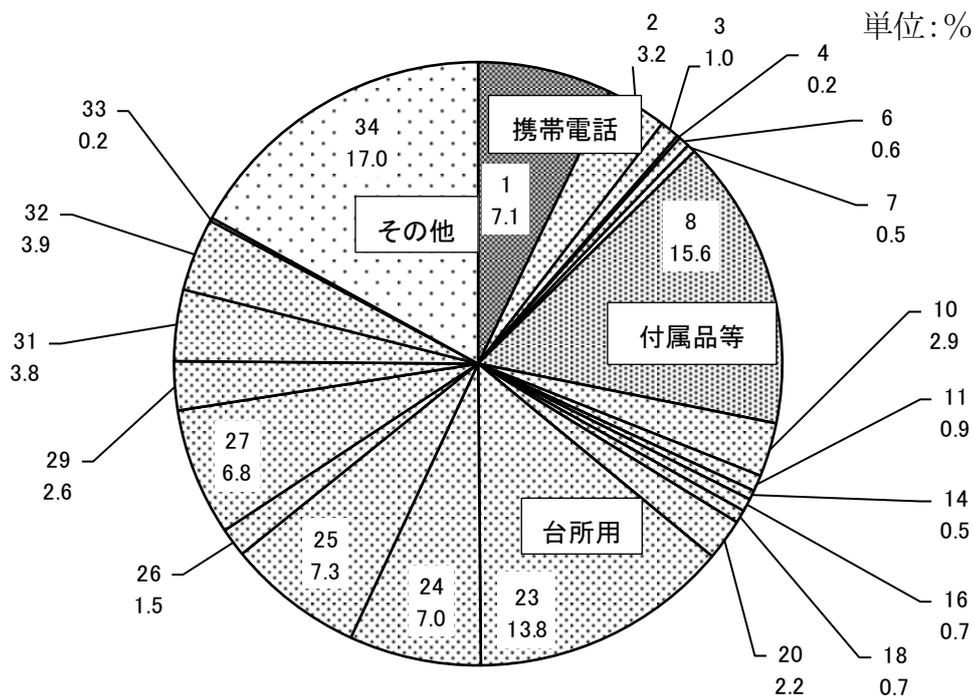
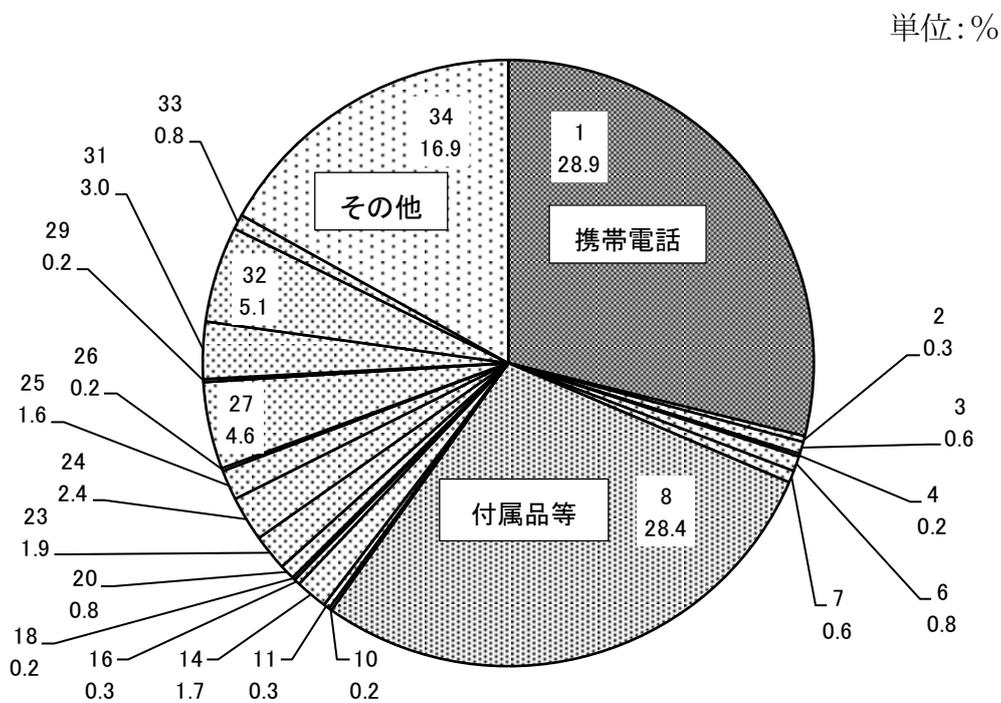


図5-22 小型家電比率(個数)



## 5-6 排出容器

### (1) 家庭ごみ燃やすごみ

家庭ごみの燃やすごみの排出容器別の重量の割合は、透明・半透明の袋が70.2%、容量表示のある袋が16.5%、レジ袋が11.9%である。

個数の割合では、透明・半透明の袋が57.5%、容量表示のある袋が12.1%、レジ袋が28.7%である。

排出容器1個当たりのごみの重量は、透明・半透明の袋では2.61kg、容量表示のある袋では2.92kg、レジ袋では0.89kgである。また、全体の容器1個当たりの重量は2.14kgである。

表5-33 家庭ごみ燃やすごみの排出容器

排出容器の種類		重量		個数		容器1個当たりの重量 (kg/個)
		重量 (kg)	割合 (%)	個数 (個)	割合 (%)	
容量表示のある袋	30リットル	26.82	1.4	13	1.5	2.06
	45リットル	128.01	6.8	55	6.3	2.33
	70リットル	142.56	7.6	35	4.0	4.07
	90リットル	12.45	0.7	3	0.3	4.15
	小計	309.84	16.5	106	12.1	2.92
レジ袋		223.04	11.9	251	28.7	0.89
透明・半透明袋		1315.27	70.2	504	57.5	2.61
紙袋		10.44	0.6	6	0.7	1.74
段ボール		10.34	0.6	6	0.7	1.72
その他		3.80	0.2	3	0.3	-
合計		1872.73	100.0	876	100.0	2.14

・合計の容器1個当たりの重量は”その他”の個数、および重量を除外して求めた。

図5-23 家庭ごみ燃やすごみの排出容器（重量）

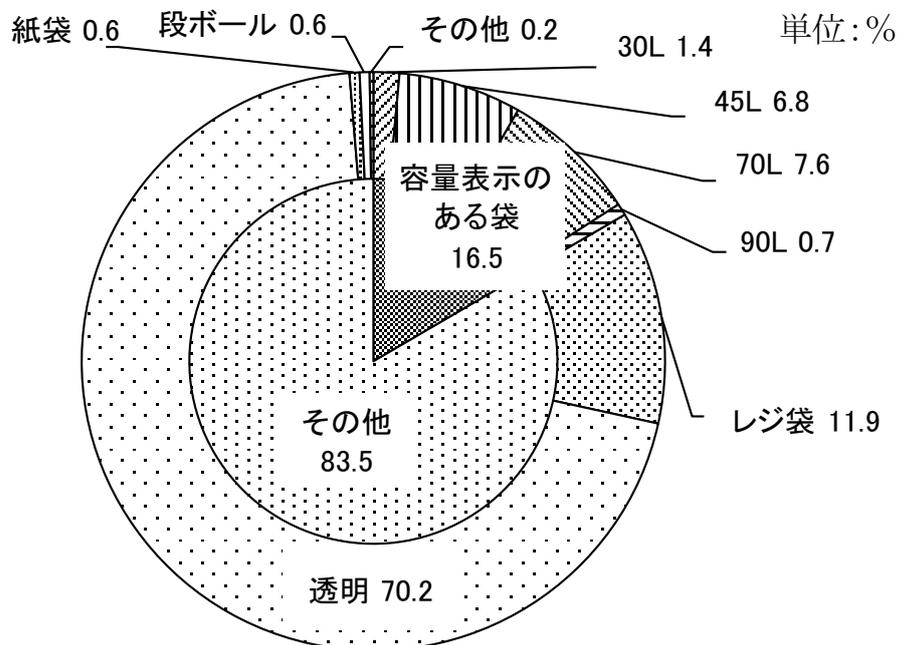
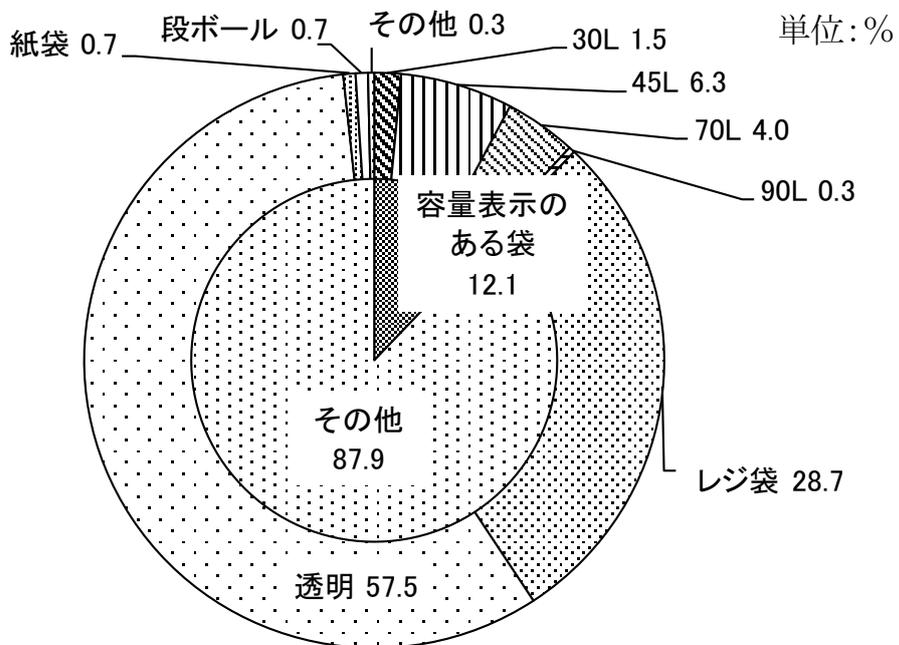


図5-24 家庭ごみ燃やすごみの排出容器（個数）



(2) 家庭ごみ陶器・ガラス・金属ごみ

家庭ごみの陶器・ガラス・金属ごみの排出容器別の重量の割合は、レジ袋が 38.7%、透明・半透明の袋が 29.2%、段ボールが 8.4%である。

個数の割合では、レジ袋が 58.5%、透明・半透明の袋が 23.7%、段ボールが 2.5%である。

排出容器1個当たりのごみの重量は、レジ袋が 1.06kg、透明・半透明袋が 1.98kg、段ボールが 5.46kgである。また、全体の容器1個当たりの重量は 1.51kgである。

表5-34 家庭ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器

排出容器の種類		重量		個数		容器1個当たりの重量 (kg/個)
		重量 (kg)	割合 (%)	個数 (個)	割合 (%)	
容量表示のある袋	30リットル	2.16	0.3	1	0.2	2.16
	45リットル	22.50	3.2	5	1.1	4.50
	70リットル	2.31	0.3	1	0.2	2.31
	90リットル	0.00	0.0	0	0.0	-
	小計	26.97	3.8	7	1.5	3.85
レジ袋		274.84	38.7	259	58.5	1.06
透明・半透明袋		207.49	29.2	105	23.7	1.98
紙袋		31.78	4.5	16	3.6	1.99
段ボール		60.11	8.4	11	2.5	5.46
その他		109.81	15.4	45	10.2	-
合計		711.00	100.0	443	100.0	1.51

・合計の容器1個当たりの重量は”その他”の個数、および重量を除外して求めた。

図5-25 家庭ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器（重量）

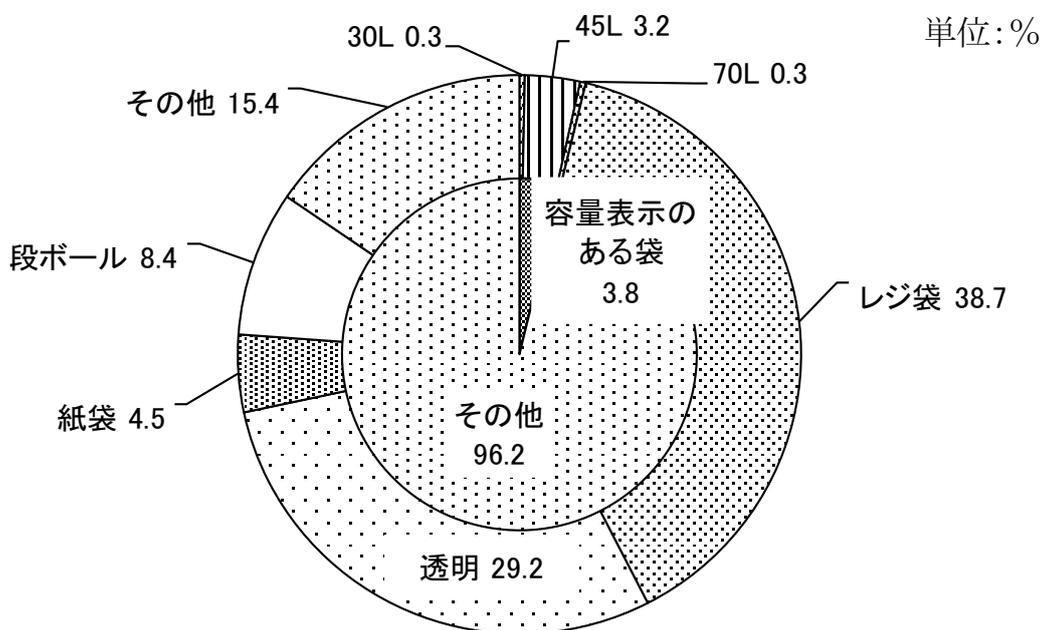
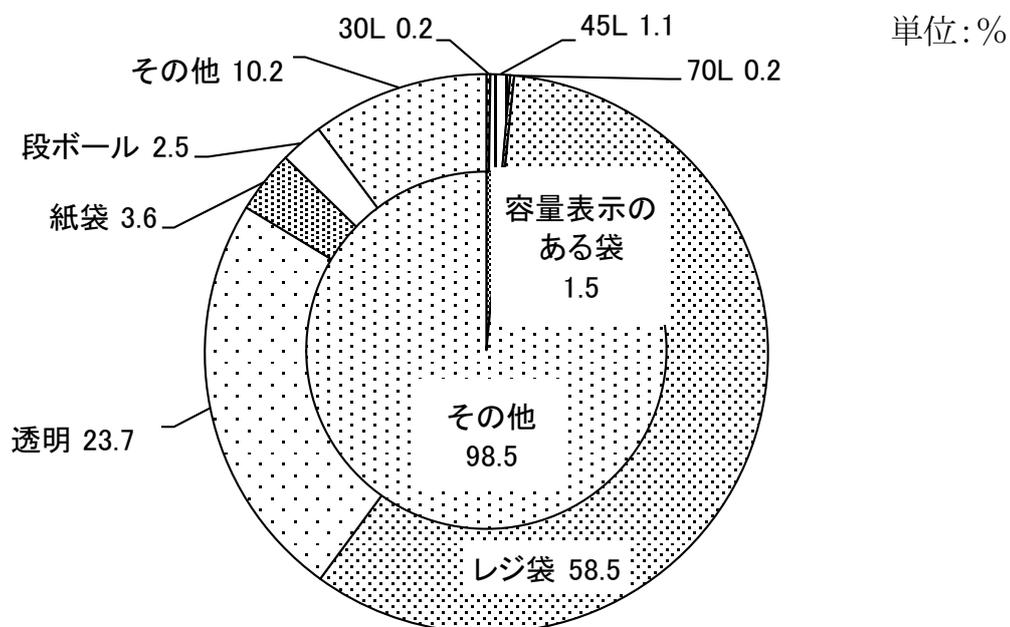


図5-26 家庭ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器（個数）



### (3) 事業系ごみ燃やすごみ

事業系ごみの燃やすごみの排出容器別の重量の割合は、透明・半透明の袋が74.4%、容量表示のある袋が14.9%、段ボールは2.7%である。

個数の割合では、透明・半透明の袋が73.8%、容量表示のある袋が20.7%、段ボールが1.8%である。

排出容器1個当たりのごみの重量は、透明・半透明の袋が4.74kg、容量表示のある袋では3.38kg、段ボールが6.84kgである。また、全体の容器1個当たりの重量は4.49kgである。

表5-35 事業系ごみの燃やすごみの排出容器

排出容器の種類		重量		個数		容器1個当たりの重量 (kg/個)
		重量 (kg)	割合 (%)	個数 (個)	割合 (%)	
容量表示のある袋	30リットル	3.17	0.3	4	1.8	0.79
	45リットル	129.27	12.7	37	17.1	3.49
	70リットル	19.85	1.9	4	1.8	4.96
	90リットル	0.00	0.0	0	0.0	-
	小計	152.29	14.9	45	20.7	3.38
レジ袋		0.00	0.0	0	0.0	-
透明・半透明袋		758.81	74.4	160	73.8	4.74
紙袋		9.26	0.9	2	0.9	4.63
段ボール		27.35	2.7	4	1.8	6.84
その他		72.08	7.1	6	2.8	-
合計		1019.79	100.0	217	100.0	4.49

・合計の容器1個当たりの重量は”その他”の個数、および重量を除外して求めた。

図5-27 事業系ごみ燃やすごみの排出容器（重量）

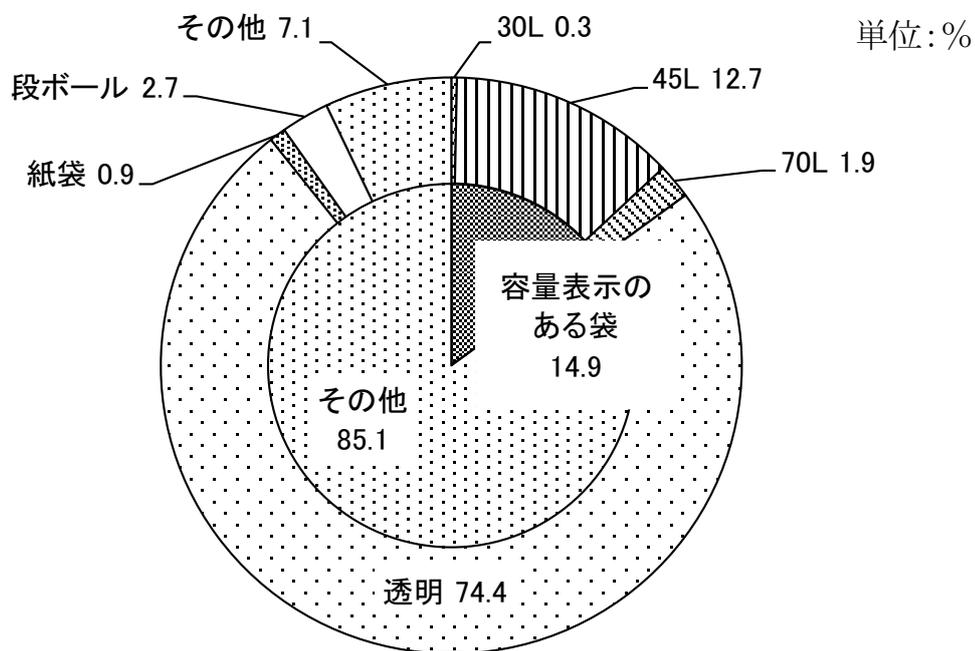
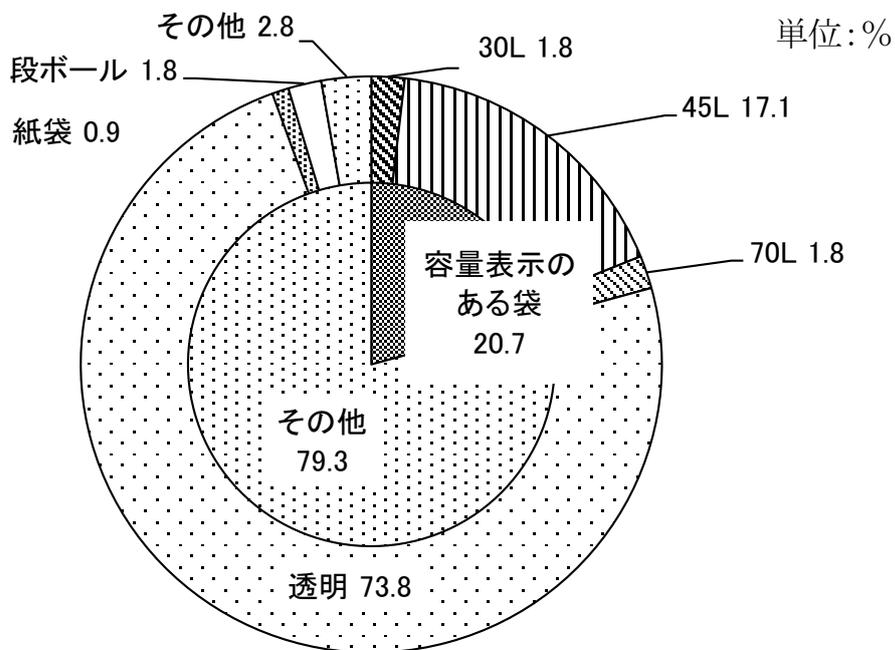


図5-28 事業系ごみ燃やすごみの排出容器（個数）



#### (4) 事業系ごみ陶器・ガラス・金属ごみ

事業系ごみの陶器・ガラス・金属ごみの排出容器別の重量の割合は、透明・半透明の袋が88.1%、レジ袋は4.3%、容量表示のある袋が4.0%である。

個数の割合では、透明・半透明の袋が69.3%、レジ袋が16.0%、容量表示のある袋が6.7%である。

排出容器1個あたりのごみの重量は、透明・半透明の袋が7.04kg、レジ袋が1.49kg、容量表示のある袋では3.33kgである。また、全体の容器1個当たりの重量は5.71kgである。

表5-36 事業系ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器

排出容器の種類		重 量		個 数		容器1個 当たりの重量 (kg/個)
		重量 (kg)	割合 (%)	個 数 (個)	割 合 (%)	
容量表示の ある袋	30リットル	0.00	0.0	0	0.0	-
	45リットル	16.65	4.0	5	6.7	3.33
	70リットル	0.00	0.0	0	0.0	-
	90リットル	0.00	0.0	0	0.0	-
	小 計	16.65	4.0	5	6.7	3.33
レ ジ 袋		17.86	4.3	12	16.0	1.49
透 明 ・ 半 透 明 袋		366.07	88.1	52	69.3	7.04
紙 袋		4.70	1.1	2	2.7	2.35
段 ボ ール		0.00	0.0	0	0.0	-
そ の 他		10.18	2.5	4	5.3	-
合 計		415.46	100.0	75	100.0	5.71

・合計の容器1個当たりの重量は”その他”の個数、および重量を除外して求めた。

図5-29 事業系ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器（重量）

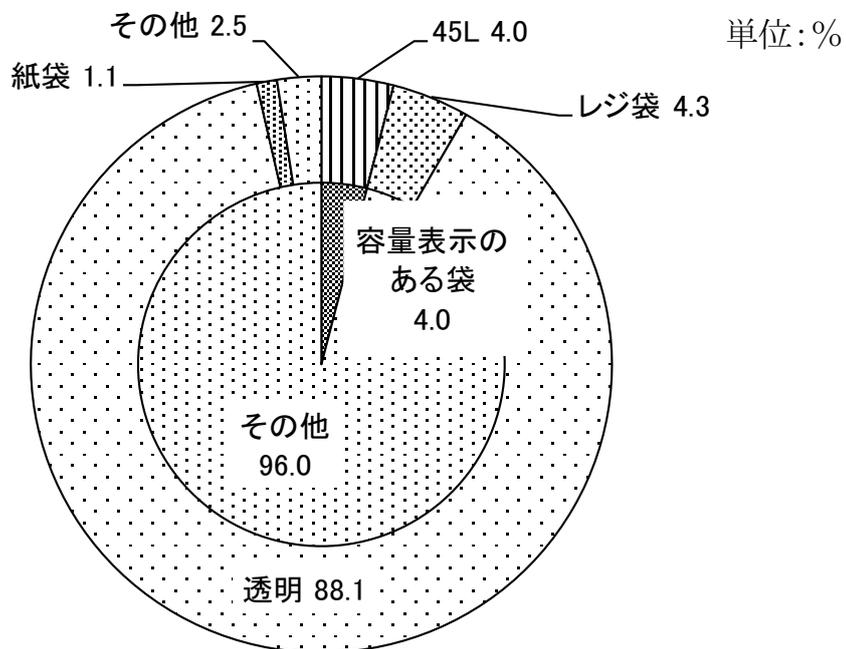


図5-30 事業系ごみ陶器・ガラス・金属ごみの排出容器（個数）

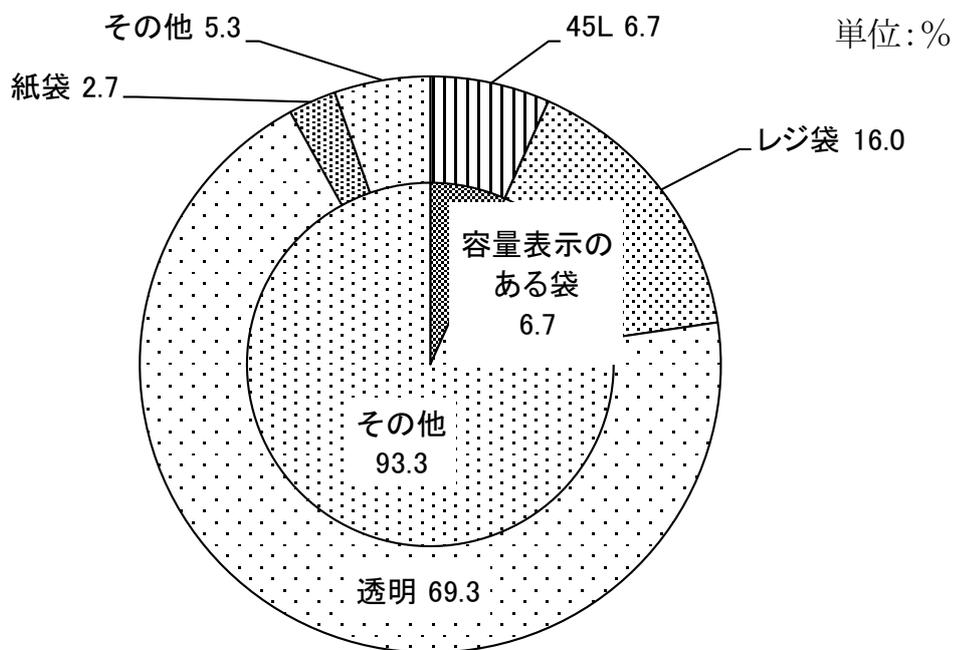


表5-37 排出容器重量割合比較

排出容器の種類		家庭系		事業系	
		燃やすごみ	陶ガ金ごみ	燃やすごみ	陶ガ金ごみ
容量表示のある袋	30リットル	1.4	0.3	0.3	0.0
	45リットル	6.8	3.2	12.7	4.0
	70リットル	7.6	0.3	1.9	0.0
	90リットル	0.7	0.0	0.0	0.0
	小計	16.5	3.8	14.9	4.0
レジ袋		11.9	38.7	0.0	4.3
透明・半透明袋		70.2	29.2	74.4	88.1
紙袋		0.6	4.5	0.9	1.1
段ボール		0.6	8.4	2.7	0.0
その他		0.2	15.4	7.1	2.5
合計		100.0	100.0	100.0	100.0

図5-31 排出容器重量割合比較

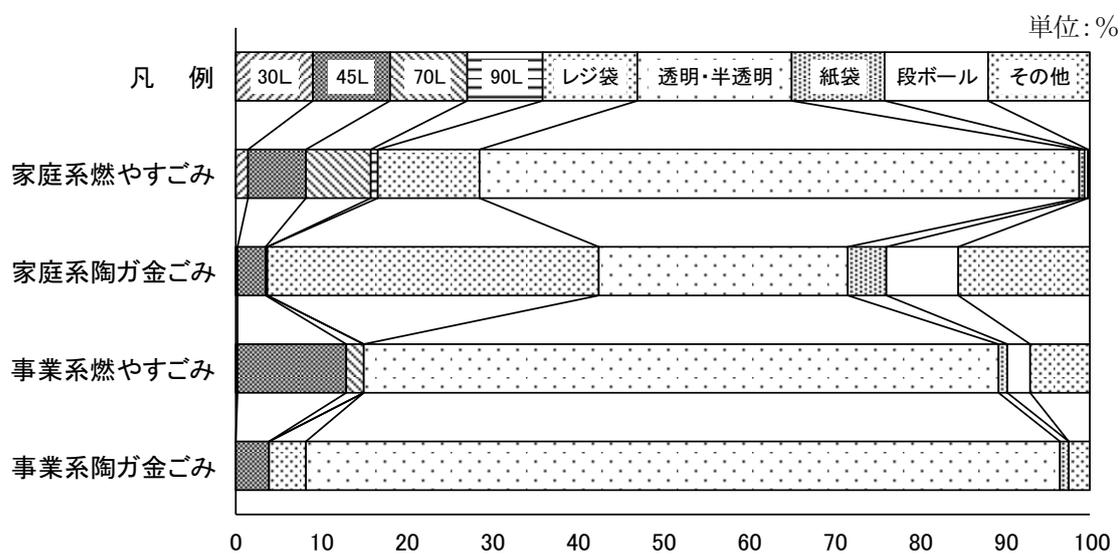
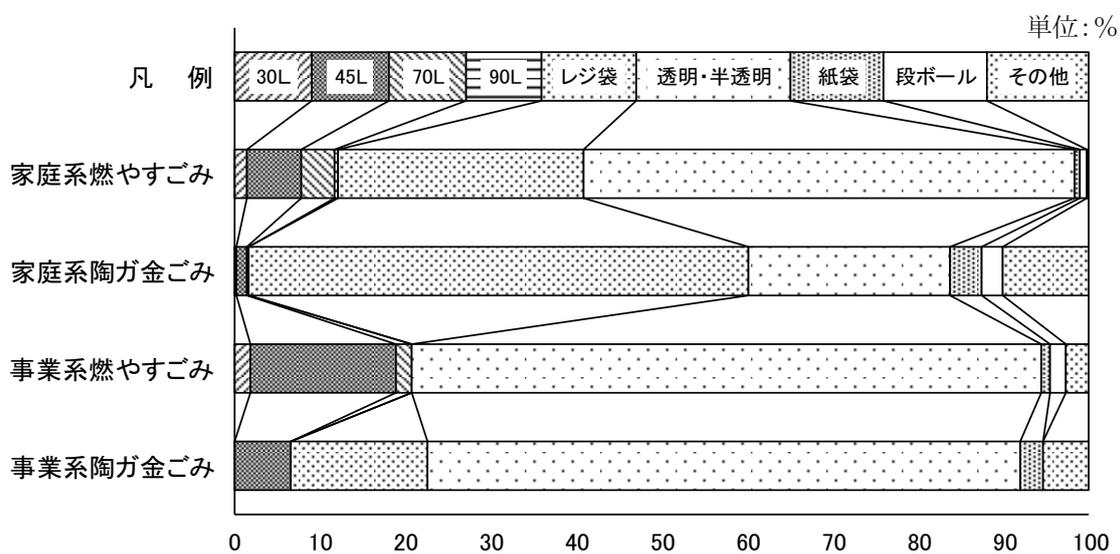


表5-38 排出容器個数割合比較

排出容器の種類		家庭系		事業系	
		燃やすごみ	陶ガ金ごみ	燃やすごみ	陶ガ金ごみ
容量表示のある袋	30リットル	1.5	0.2	1.8	0.0
	45リットル	6.3	1.1	17.1	6.7
	70リットル	4.0	0.2	1.8	0.0
	90リットル	0.3	0.0	0.0	0.0
	小計	12.1	1.5	20.7	6.7
レジ袋		28.7	58.5	0.0	16.0
透明・半透明袋		57.5	23.7	73.8	69.3
紙袋		0.7	3.6	0.9	2.7
段ボール		0.7	2.5	1.8	0.0
その他		0.3	10.2	2.8	5.3
合計		100.0	100.0	100.0	100.0

図5-32 排出容器個数割合比較



## 第6章 事業系有料ごみ処理券貼付状況分析調査

### 6-1 調査結果

#### (1) 調査目的

区収集事業系ごみについては、事業系有料ごみ処理券の未貼付あるいは料金不足のものが排出され、区の財政収入に影響していることが懸念される。事業系ごみ処理手数料の適正徴収は、家庭ごみ有料化の検討の前提条件にもなるため、事業系有料ごみ処理券の貼付率等を把握することとした。

#### (2) 調査方法

- ① 事業系ごみの組成調査試料を調査の対象とした。
- ② 収集した事業系ごみについて、ごみ処理券の貼付の有無、袋容量、処理券容量などを記録し、貼付率等を算定する。

#### (3) 調査期間

次に示す日程で調査を実施した。

実施日	7/15	7/18	7/19	7/20	8/4	8/6
曜日	金	月祝	火	水	木	土

#### (4) 調査結果

事業系ごみとして排出された 276 袋を事業系有料ごみ処理券貼付率を求めるための調査対象とした。その結果、有料ごみ処理券が貼付されているものが 76.4%、貼付されていないものが 23.6%あった。貼付のあった処理券容量の内訳は、10 リットルが 9.8%、20 リットルが 11.2%、45 リットルが 54.3%、70 リットルが 1.1%であり、45 リットルが最も多く半数以上を占める。

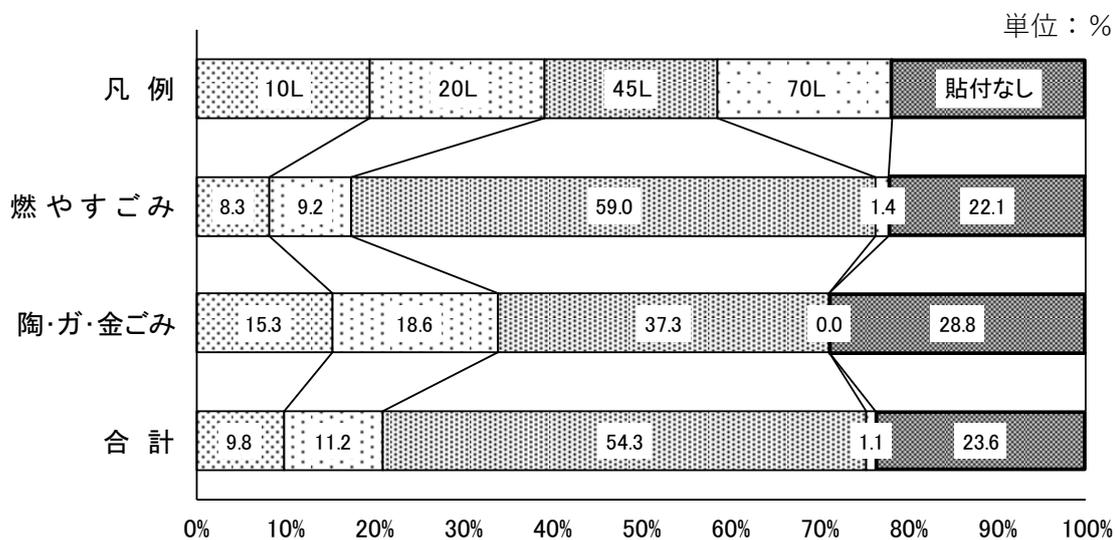
表6-1 事業系有料ゴミ処理券貼付状況分析調査結果

処理券 貼付有無	処理券 容量	燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		合計	
		個数(個)	割合(%)	個数(個)	割合(%)	個数(個)	割合(%)
貼付有	10リットル	18	8.3	9	15.3	27	9.8
	20リットル	20	9.2	11	18.6	31	11.2
	45リットル	128	59.0	22	37.3	150	54.3
	70リットル	3	1.4	0	0.0	3	1.1
	小計	169	77.9	42	71.2	211	76.4
貼付なし		48	22.1	17	28.8	65	23.6
合計		217	100.0	59	100.0	276	100.0

ごみの種別による有料ゴミ処理券貼付率を比較すると次のようになる。

貼付のない割合は燃やすごみでは22.1%、陶磁器・ガラス・金属ごみでは28.8%であり、陶磁器・ガラス・金属ごみの方が貼付のない比率が高い。

図6-1 事業系有料ゴミ処理券貼付状況分析調査結果比較



## 第7章 資源・ごみのフロー推計

### 7-1 家庭ごみの品目別の量推計

推計した家庭の燃やすごみの量を、組成分析調査の結果で按分して、家庭ごみの品目別の量を推計した。

表7-1 家庭ごみ品目別の量推計

分類	No.	品目	燃やすごみ		陶器・ガラス・金属ごみ		
			組成調査 割合(%)	推計量 (t/年)	組成調査 割合(%)	推計量 (t/年)	
資源物	1	新聞(きれいな状態)	0.67	399	0.02	0	
	2	折込広告	1.01	602	0.00	0	
	3	雑誌・本	1.13	673	0.02	0	
	4	段ボール	0.98	584	0.61	14	
	5	紙パック	0.58	346	0.00	0	
	6	容器包装紙類(リサイクル可)	3.89	2,318	0.13	3	
	7	その他紙類(リサイクル可)	3.28	1,955	0.02	0	
	8	食品トレイ	0.37	220	0.01	0	
	9	レジ袋(中身あり)	0.87	518	0.12	3	
	10	レジ袋(中身なし)	0.32	191	0.00	0	
	11	その他プラスチック製容器包装	12.73	7,586	0.79	18	
	12	生きびん	0.00	0	0.00	0	
	13	飲食用びん	0.17	101	5.89	135	
	14	飲用・食用 スチール缶	0.02	12	2.38	55	
	15	飲用・食用 アルミ缶	0.04	24	0.28	6	
	16	ペットボトル	0.50	298	0.06	1	
	17	乾電池	単1から単5	0.02	12	0.59	14
	18	電池	角型9V	0.00	0	0.00	0
	19	電池	コイン型電池(型番:CR、BRのみ)	0.00	0	0.00	0
	20	蛍光灯・蛍光管		0.00	0	0.01	0
	21	水銀体温計・水銀血圧計		0.00	0	0.00	0
22	その他	小型家電	0.21	125	12.91	296	
可燃物	23	紙類	容器包装紙類(リサイクル不可)	2.23	1,329	0.07	2
	24	紙類	その他紙類(リサイクル不可)	22.75	13,556	0.37	9
	25	布類	布類	6.23	3,712	0.30	7
	26	生ごみ	調理くず	18.89	11,256	0.01	0
	27	生ごみ	直接廃棄	5.39	3,212	0.00	0
	28	生ごみ	食べ残し	3.61	2,151	0.23	6
	29	木・草類	木・草類	4.32	2,574	0.57	13
	30	プラ・ゴム	製品プラスチック	0.67	399	0.95	22
	31	プラ・ゴム	ゴム・皮革類	1.47	876	0.88	21
	32	その他可燃物	その他の製品プラスチック	2.99	1,782	3.02	69
不燃物	33	その他可燃物	その他可燃物	3.03	1,806	0.23	5
	34	危険物・その他不燃物	スプレー缶等	0.04	24	5.60	128
	35	危険物・その他不燃物	電池類	0.00	0	0.01	0
	36	危険物・その他不燃物	ライター	0.01	6	0.37	8
	37	危険物・その他不燃物	その他金属	0.26	155	24.38	558
	38	危険物・その他不燃物	その他不燃物	0.30	179	38.40	879
外袋	39	プラスチック製	プラスチック製	0.77	459	0.24	5
	40	レジ袋	レジ袋	0.23	137	0.41	9
	41	紙袋	紙袋	0.02	12	0.12	3
合計			100.00	59,589	100.00	2,289	

## 7-2 事業系ごみの量推計

区内の事業所に宛てたアンケートの結果から区収集分の収集量の推計をすると次のようになる。区内の事業所数 24,533 社(R3経済センサスデータから)であり、社員数5人未満を小規模事業所とし、その割合 52.2%(H28経済センサスデータから)を乗じた 12,806 事業所に1社あたりの年間収集量を乗じて年間収集量を求めた。一般廃棄物収集業者やリサイクル業者に排出しているのは 11,727 事業所であり同様に収集量を求めた。

表7-2 事業系ごみの区収集分の収集量の推計

区分	1週間/1社 (kg)	年/1社 (kg)	事業所数	区全体 (t/年)
資源	4.1	213.2	12,806	2,730
ごみ	11.8	613.6	12,806	7,858

一般廃棄物収集業者やリサイクル業者に排出している資源量・ごみの量を推計すると次のようになる。

表7-3 事業系ごみの一般廃棄物収集業者やリサイクル業者に排出している量の推計

区分	1週間/1社 (kg)	年/1社 (kg)	事業所数	区全体 (t/年)
資源	33.9	1,762.8	11,727	20,672
ごみ	40.9	2,126.8	11,727	24,941

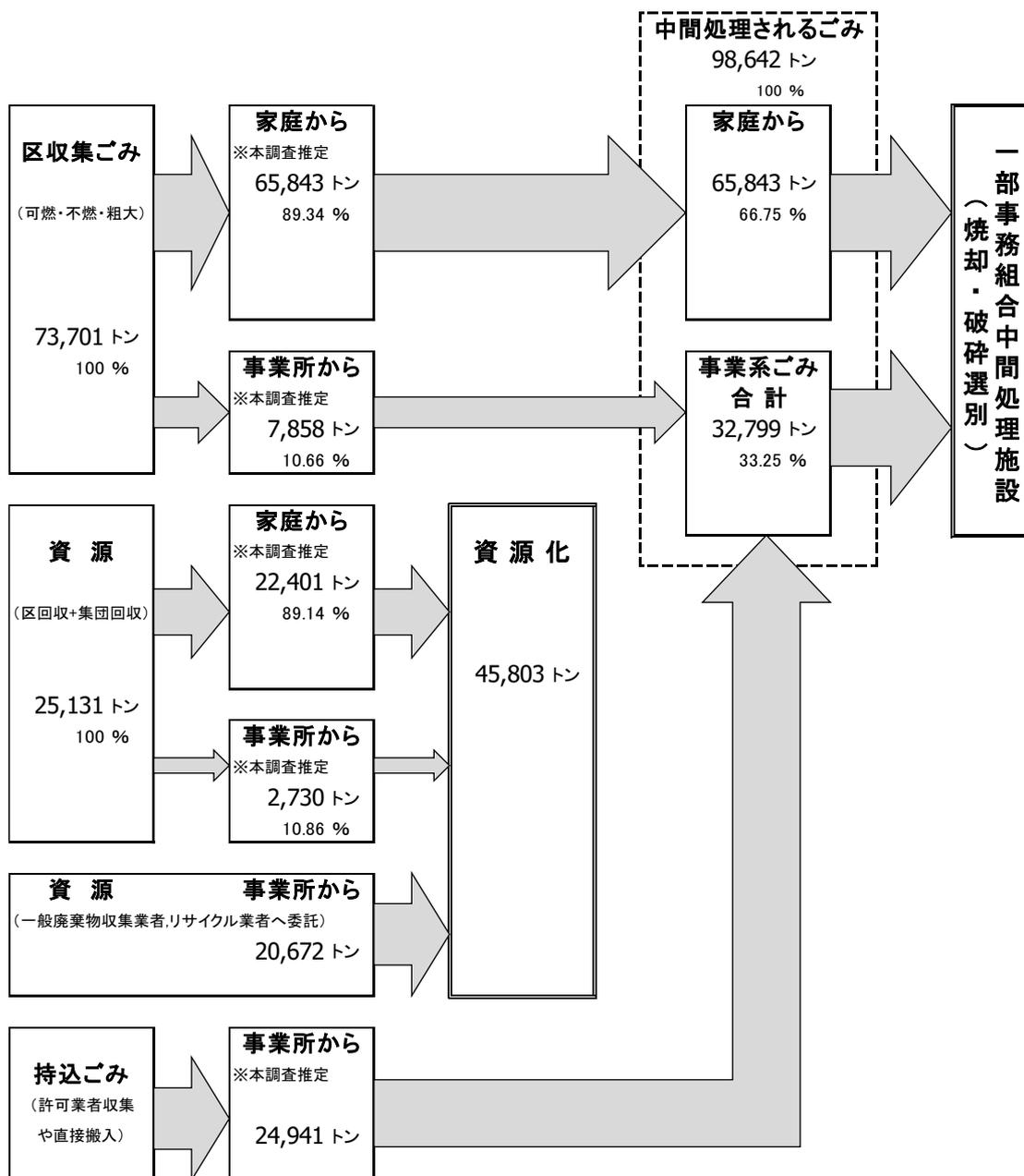
表7-4 事業系ごみ資源化率算出

区分	資源量 (t/年)	ごみ量 (t/年)	合計 (t/年)	資源化率 (%)
区収集	2,730	7,858	10,588	25.78
業者委託	20,672	24,941	45,613	45.32
全体	23,402	32,799	56,201	41.64

### 7-3 ごみの排出構造のまとめ

これまでの拡大推計結果と区の既存統計データとを合わせ、令和3年度のごみ排出構造を図7-1にまとめた。

図7-1 ごみの排出構造推計結果



## 第8章 考察

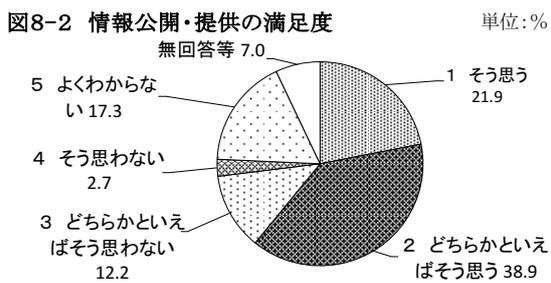
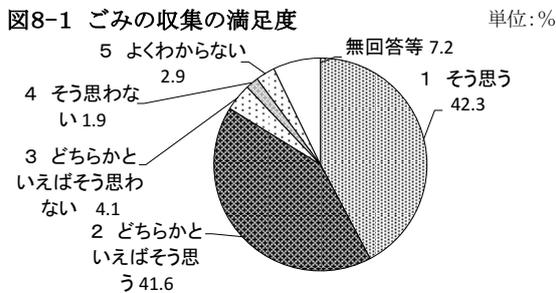
### 8-1 家庭ごみ(区民)アンケート調査

区民 2,000 世帯に対して行ったアンケート調査の回答率は 34.9%であった。回答の中には積極的で建設的な意見も見られ、区民の関心の高さが感じられる。

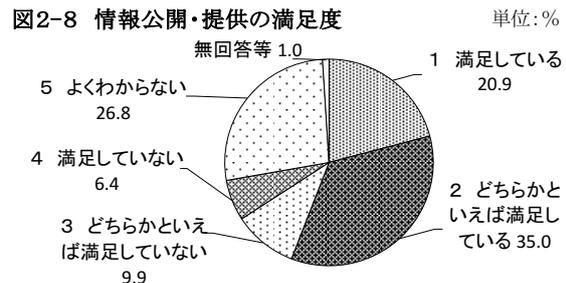
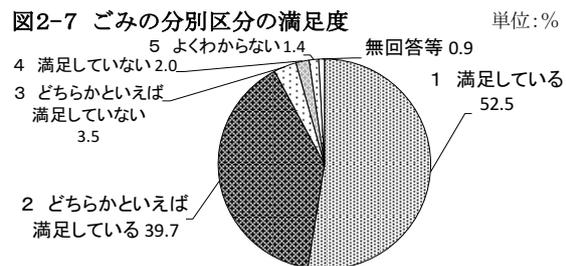
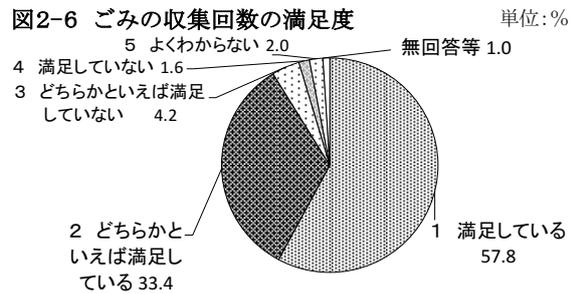
『(2)意識・意向調査』について、各項目の満足度を尋ねた設問では『①ごみ回収の回数』、『②分別区分』、『⑤街の清潔さ』において「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計は9割前後であり、高い割合で満足を得ている。『③情報公開・提供』、『④3Rの取り組み』に関しては、半数以上の満足を得ているが、改善の余地がある。

『③情報公開・提供』に関して平成 24 年の調査結果(以後、“前回調査”という)と比較すると「満足している」、「どちらかといえば満足している」はやや下がっており、「満足していない」が 2.7%から 6.5%、「よくわからない」が 17.3%から 26.8%と増加している。『④3Rの取り組み』についても、同様の傾向にある。『⑤街の清潔さ』については「満足している」、「どちらかといえば満足している」が 81.0%から 86.7%に上がっている。

前回調査



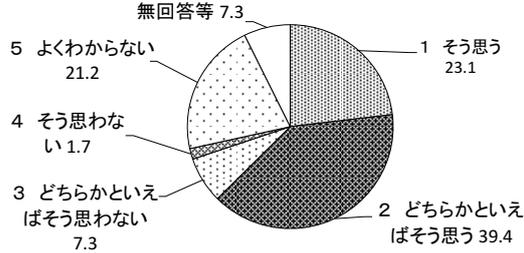
今回調査



前回調査

図8-3 3Rの取り組みの満足度

単位:%



今回調査

図2-9 3Rの取り組みの満足度

単位:%

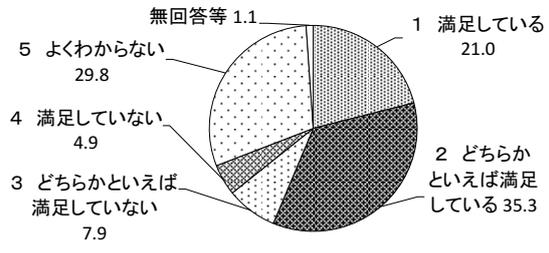


図8-4 街の清潔さの満足度

単位:%

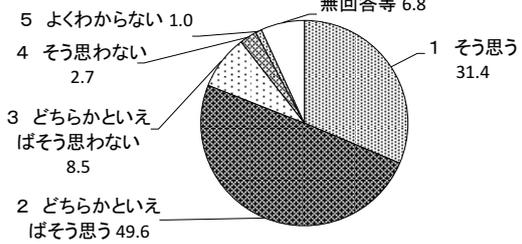
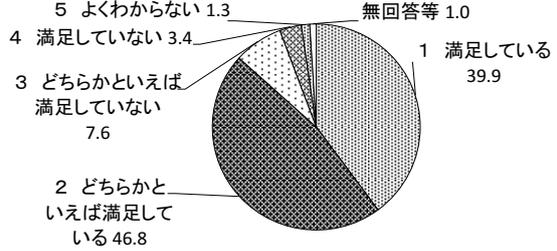


図2-10 街の清潔さの満足度

単位:%

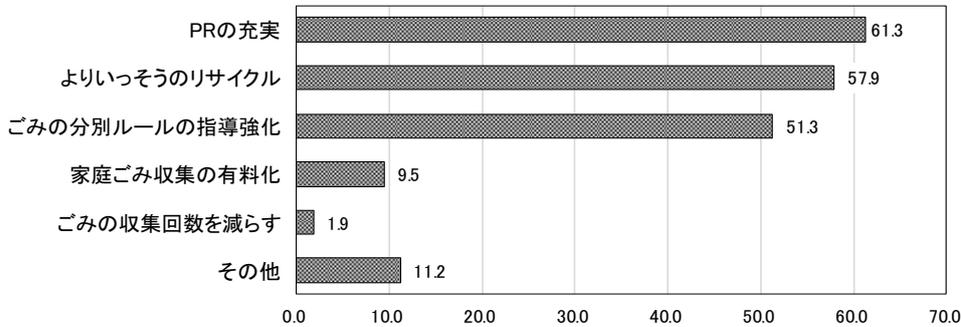


『⑥清掃・リサイクル事業で必要なこと』としては「資源ごみ出しのPR 充実」が65.0%で最も高く、前の設問とも連動している。前回調査の結果と比較するとほぼ同様の結果となっているが、「指導の強化」については51.3%から45.8%とやや下がった。

前回調査

図8-5 清掃・リサイクル事業で必要なこと

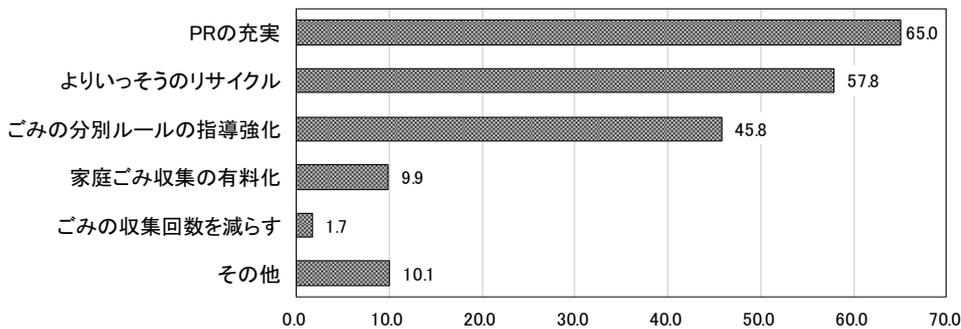
単位:%



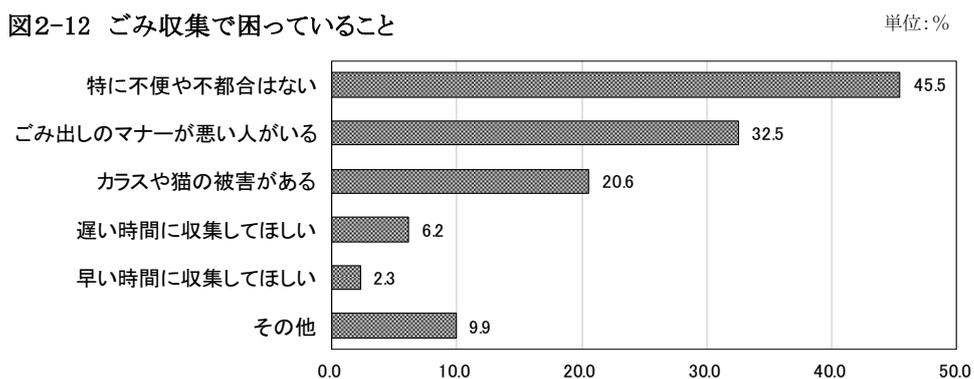
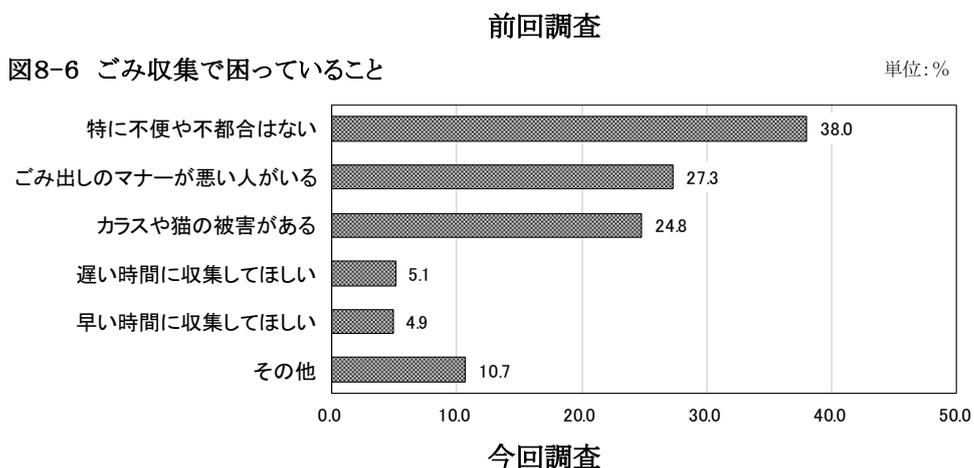
今回調査

図2-11 清掃・リサイクル事業で必要なこと

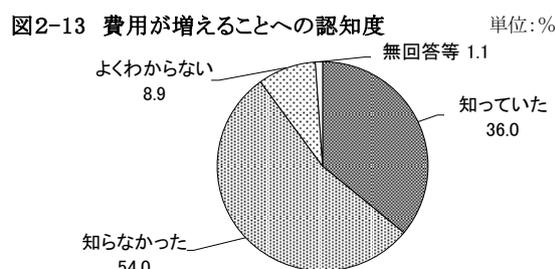
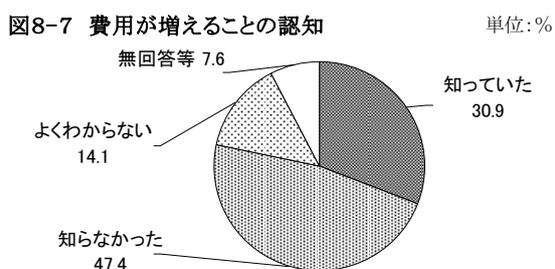
単位:%

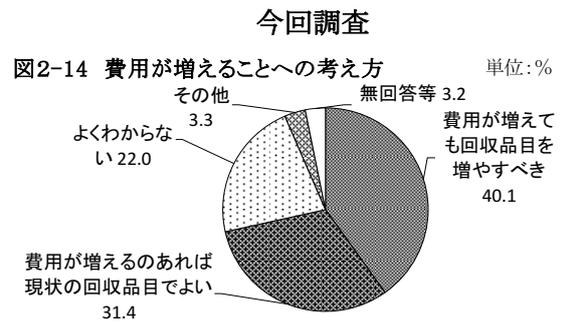
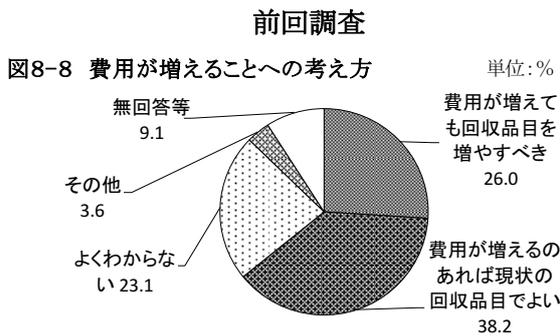


『⑦ごみ収集で困っていること』を尋ねた設問では、前回調査の結果と比較すると、「特に不都合はない」とした人が 38.0%から 45.5%に増加したものの、「ごみ出しのマナーが悪い人がいる」とした人は 27.3%から 32.5%に増加している。「カラスや猫の被害がある」とした人は 24.8%から 20.6%に減少している。

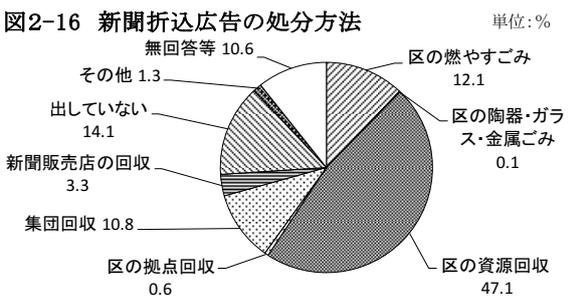
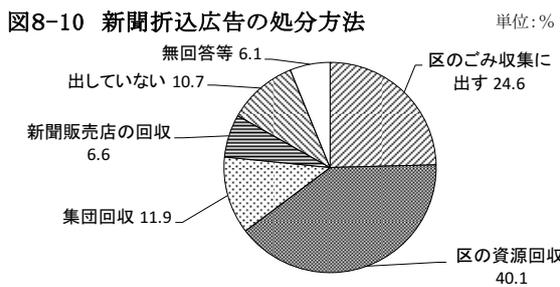
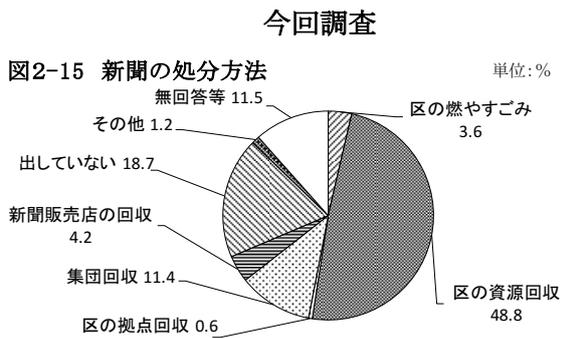
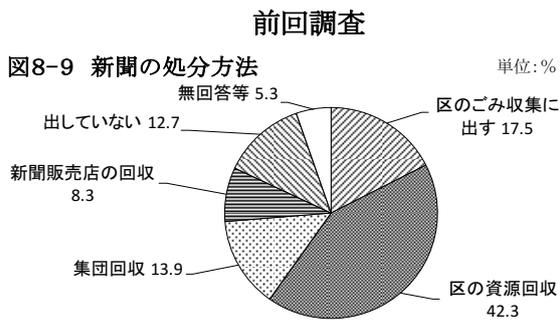


『⑧資源回収品目を増やすことによる費用増加の認知度』については、半数以上が「知らなかった」と回答しており認知度は高いとは言えないが、「知っていた」と回答した人は、前回調査より 30.9%から 36.0%と増加している。『⑨費用が増えることへの考え方』については「費用が増加しても資源回収の品目を増やすべき」とした割合が 26.0%から 40.1%へと増加しており、リサイクル推進意識が高まっている。

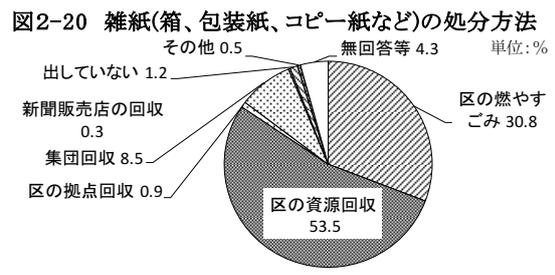
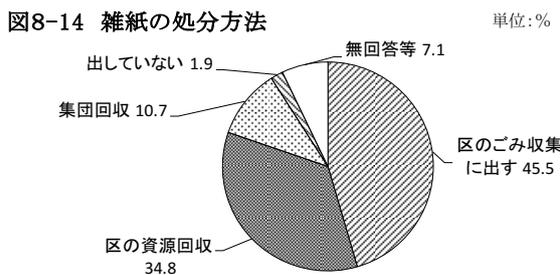
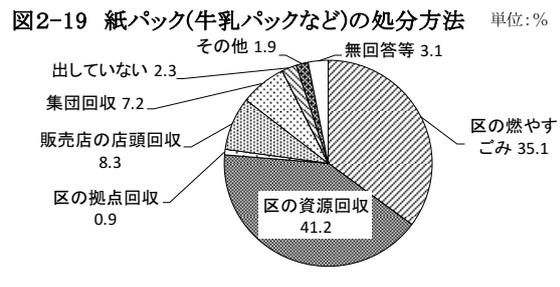
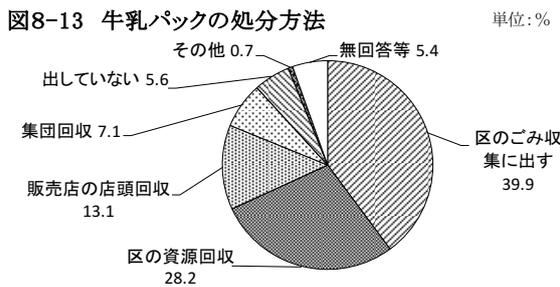
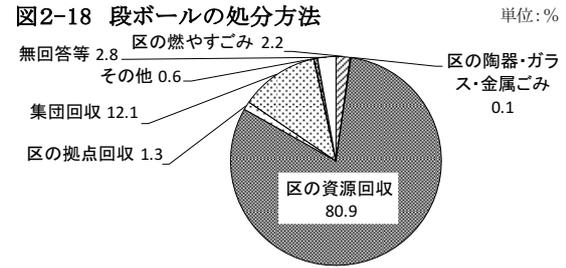
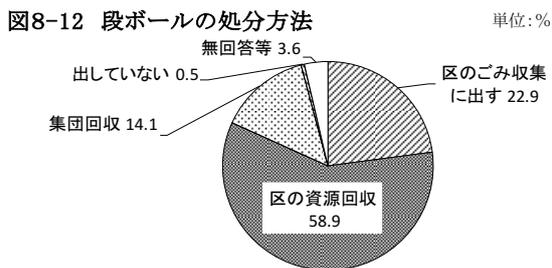
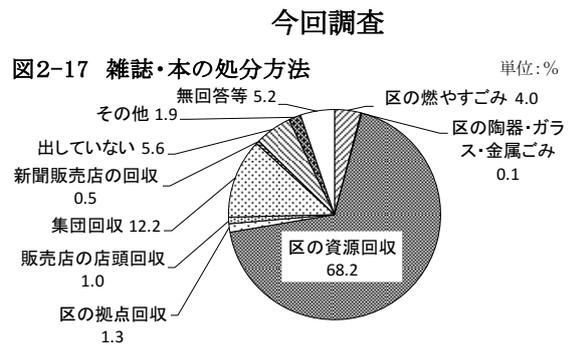
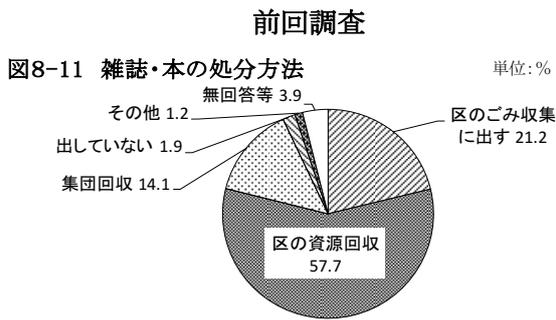




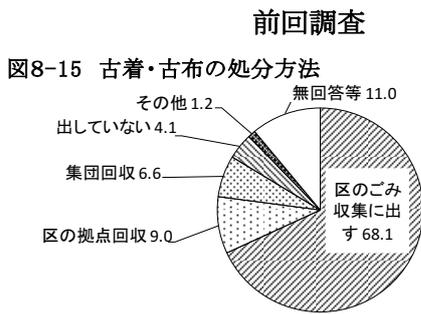
『(3)資源・ごみの処分方法』について、『①～⑥の紙類』はほとんどの品目で6割以上が何らかの方法で資源回収され、前回調査よりも増えている傾向にある。また、「区の燃やすごみ」に出す傾向が大きく減少している。リサイクル啓発活動の効果が出ていると考えられる。『①新聞』、『②新聞折込広告』については、「不用物として出していない」が増加しているが、新聞を購読しない人が増えていることが考えられる。



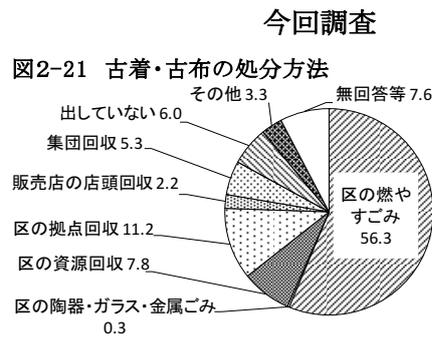
『③雑誌・本』については83.2%、『④段ボール』に至っては94.3%が資源として回収されているが、『⑤紙パック』、『⑥雑紙』は他と比べて資源回収に出す割合が低い。資源回収に出すまでに洗ったり、乾かしたり、ビニール部分を取り除くなどと手間が掛かる要因が考えられる。



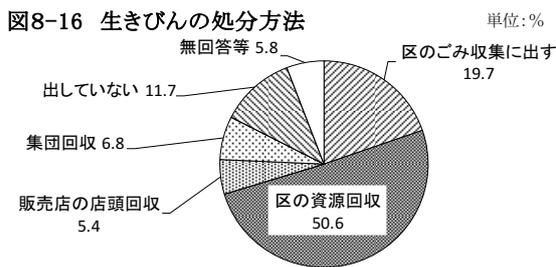
『⑦古着・古布』は資源回収される率が26.5%と低く、多くが「燃やすごみ」として出されている。『⑧生きびん』、『⑨雑びん』、『⑭発泡スチロール』は約6割が区のリソース回収に出されている一方、『⑧生きびん』、『⑨雑びん』については、「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」と回答した割合も高く、さらに回収率を高める施策が必要である。



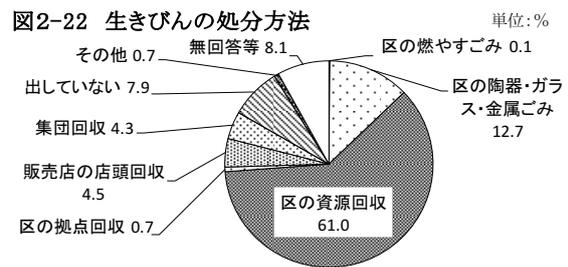
単位: %



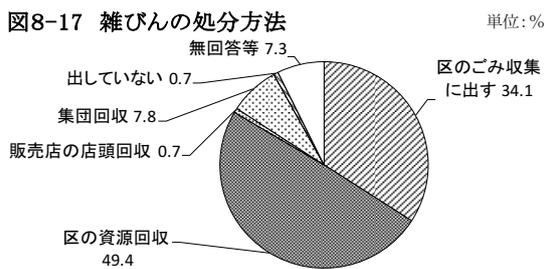
単位: %



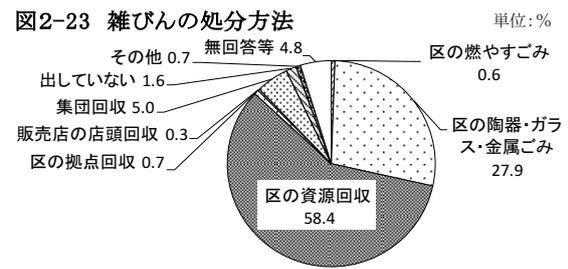
単位: %



単位: %



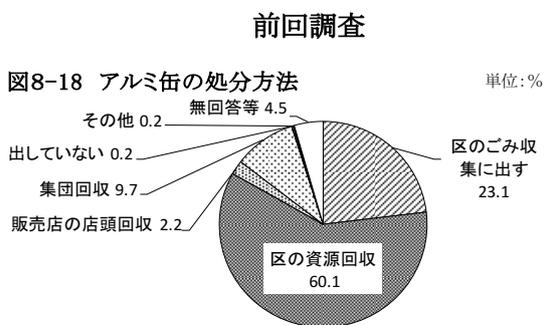
単位: %



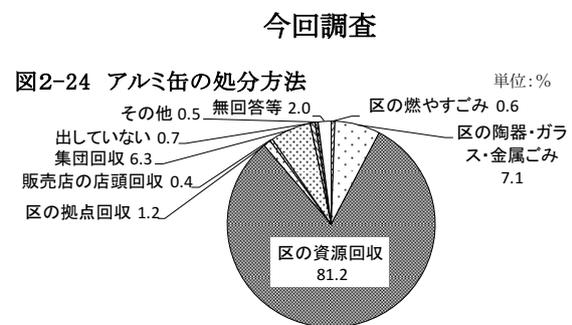
単位: %

『⑩アルミ缶』、『⑪スチール缶』は、89.1%、84.8%と資源回収に出す割合は高い。「区の陶器・ガラス・金属ごみに出す」と回答した割合も10%弱あり、びんと同様に回収率を高める施策が必要である。

『⑫ペットボトル』は9割以上が資源回収に出されている。



単位: %

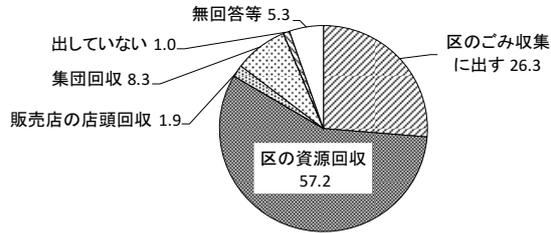


単位: %

前回調査

図8-19 スチール缶の処分方法

単位:%



今回調査

図2-25 スチール缶の処分方法

単位:%

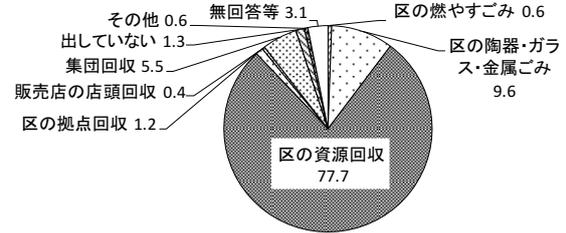


図8-20 ペットボトルの処分方法

単位:%

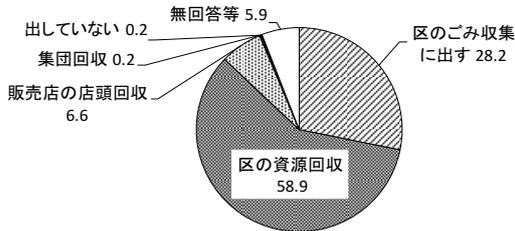


図2-26 ペットボトルの処分方法

単位:%

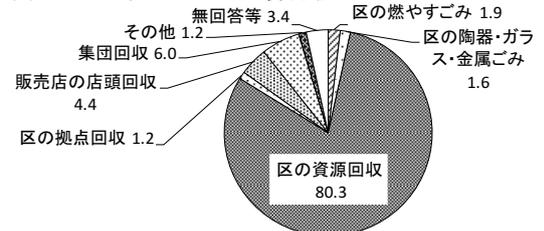


図8-21 食品用発泡スチロールトレイの処分方法

単位:%

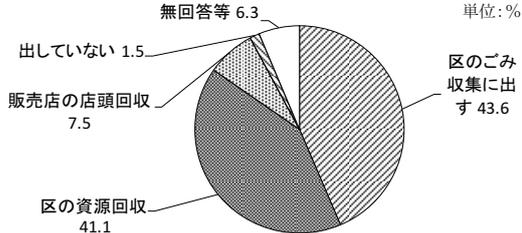


図2-27 食品用トレイの処分方法

単位:%

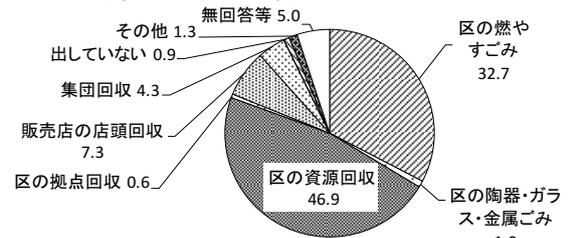
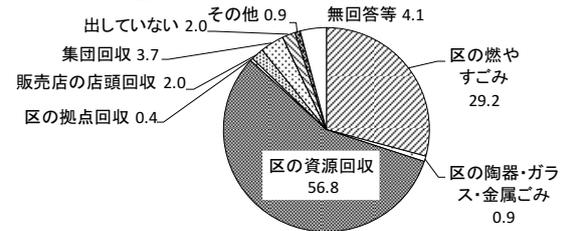
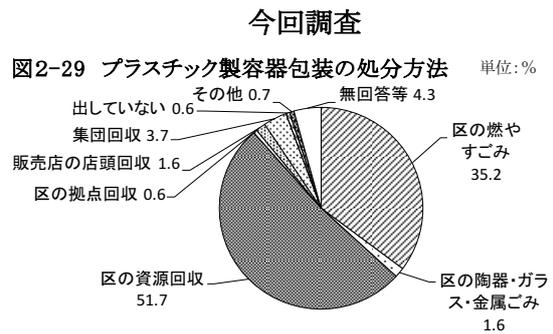
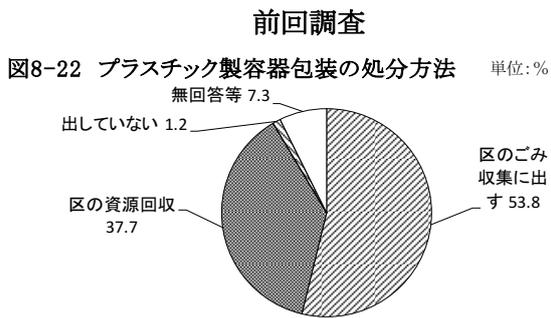


図2-28 発泡スチロールの処分方法

単位:%



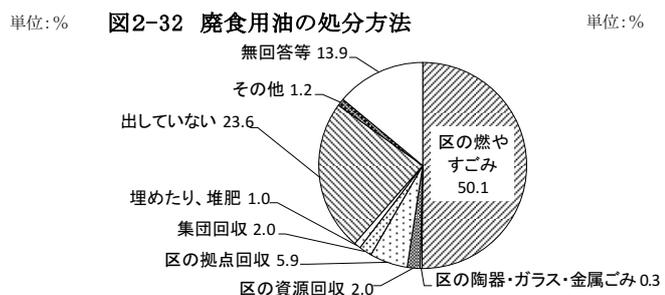
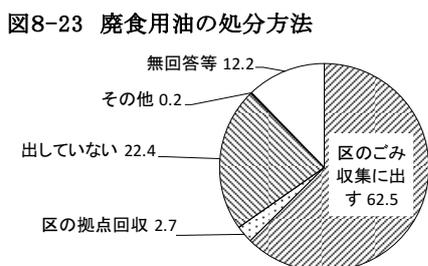
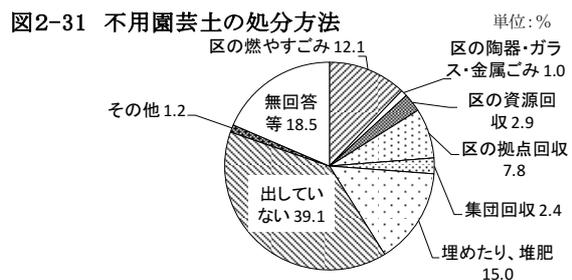
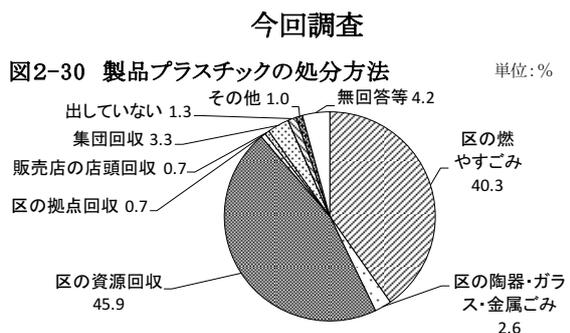
『⑮プラスチック製容器包装』については「区のリソース回収に出す」が37.7%から51.7%に増加しているが、汚れていると資源扱いではなく可燃ごみとなるため、まだ3割以上が「区の燃やすごみに出す」としている。総菜の汁など汚れているものが多く、資源に出すには、区民の洗浄するひと手間が必要となることが要因の一つと考えられる。



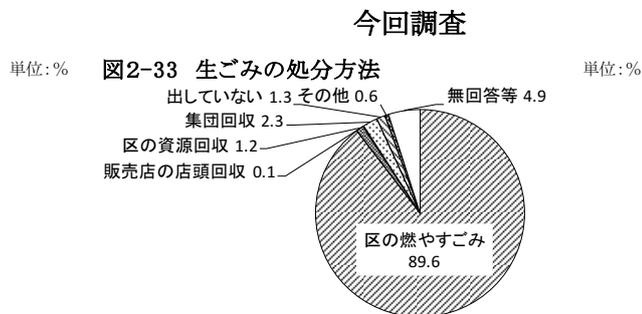
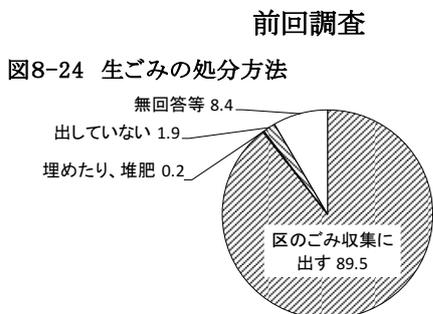
『⑩製品プラスチック』については、「区の燃やすごみ」に分別することになっている。プラスチック資源循環促進法が施行され製品プラスチックの資源回収が行われることで、「区の資源回収」が増えていくことが予想される。

『⑰不用園芸土』、『⑱廃食用油』は、区の拠点回収を行っているが、低い割合にとっており、さらなる啓発が必要である。

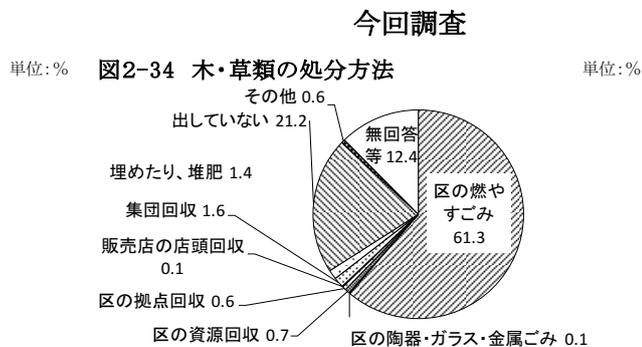
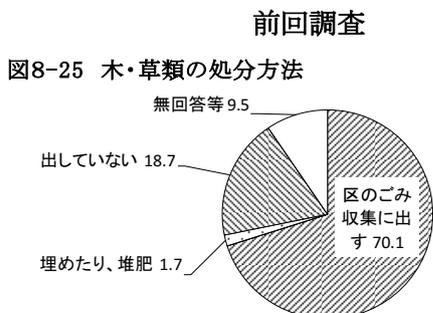
前回調査



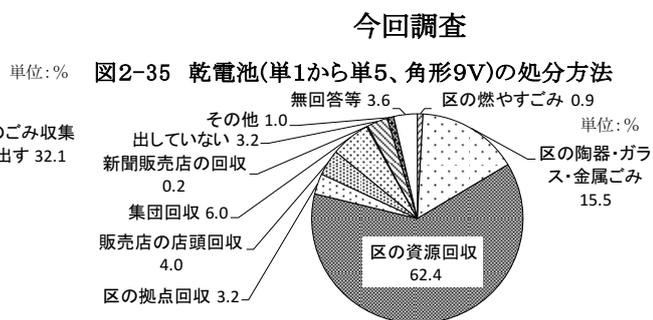
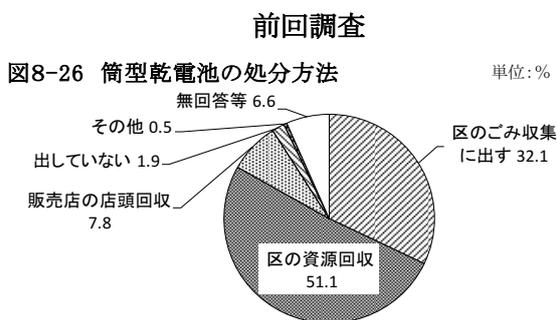
『⑱生ごみ』については、9割が「区の燃やすごみ」であり、前回調査と同様である。区排出物の割合も高く、今後のリサイクル手法についての施策が必要であると考える。



『㉑木・草類』は、「区の燃やすごみ」の割合が高い。リサイクルの工夫が求められる。



『㉑～㉓の電池類』は概ね7割は何らかの方法で資源回収に出されている。電池類は有害物質の拡散や、発火・爆発などの危険もあることに加え、貴重なレアメタルを含むこともあり適切な資源回収と処理が重要である。また、電池の種類によって分別が異なるため、廃棄する場合には回収方法・場所などの区民にわかりやすい周知が必要である。



前回調査

今回調査

図2-36 コイン型電池(CR・BRのみ)の処分方法

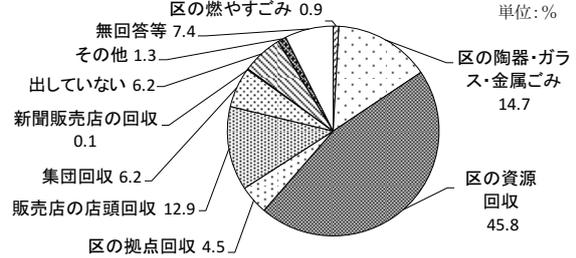


図8-27 充電式電池・ボタン型電池の処分方法

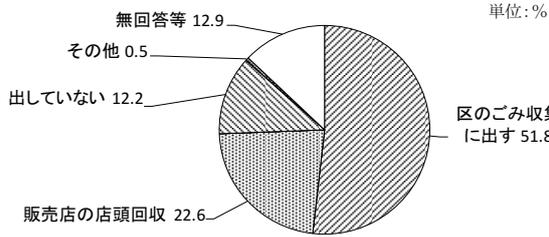
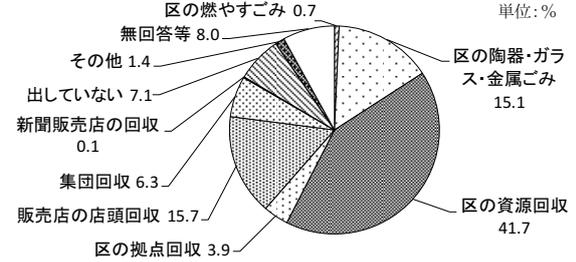


図2-37 充電式電池・ボタン型電池の処分方法



『⑳蛍光灯・蛍光管㉑電球・LED』は今後、LED化が進み減っていくことが予想されるが、過渡期においては適切な資源回収と処理が重要である。『㉒水銀体温計・水銀血圧計』については、有害な水銀を含有する機器は数的には多くはないものの、廃棄する場合には正しく排出するよう指導、PRが重要である。

前回調査

今回調査

図8-28 蛍光灯・蛍光管の処分方法

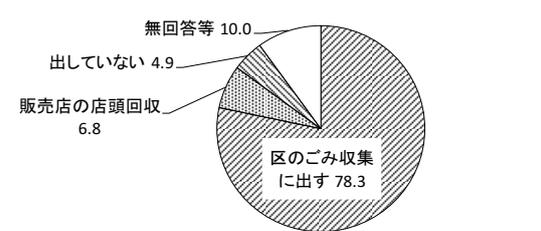


図2-38 蛍光灯・蛍光管の処分方法

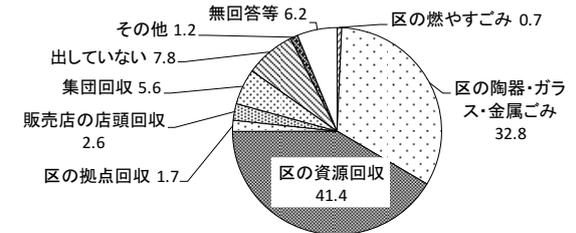
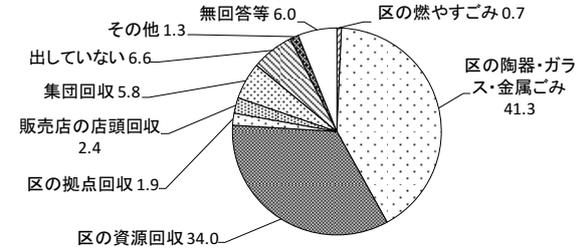


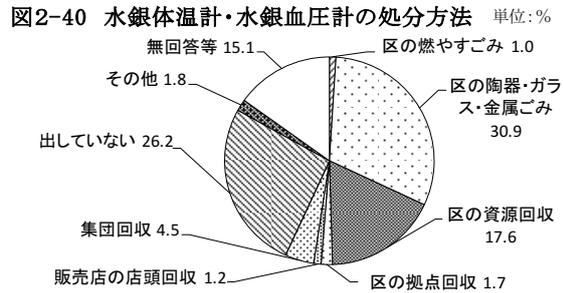
図8-28 蛍光灯・蛍光管の処分方法

図2-39 電球・LEDの処分方法



前回調査

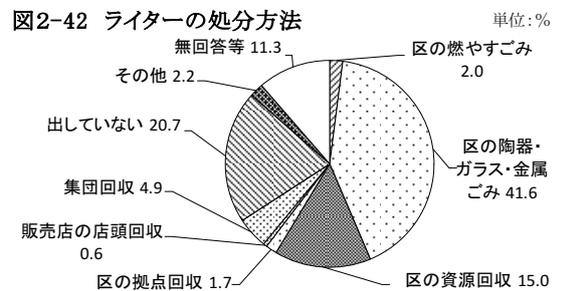
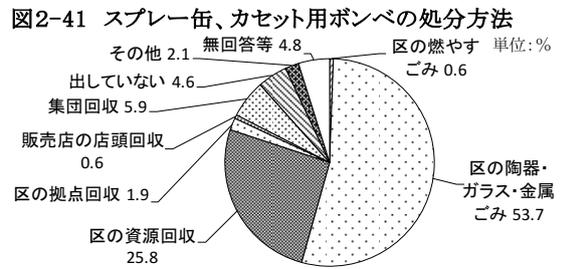
今回調査



『㉗スプレー缶、カセット用ボンベ』、『㉘ライター』なども発火・爆発などの危険があるため、廃棄する場合には正しく排出するよう指導、PRが重要である。また、安全に処理できる機器などの導入も必要である。

前回調査

今回調査



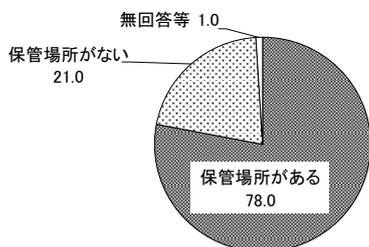
8-2 事業所ごみアンケート調査

区内の約 2,000 事業所に対して行ったアンケート調査の回答率は 28.9%であった。

約7割の事業所において資源やごみの『保管場所』があると回答しているが、平成 26 年の調査結果(以後、“前回調査”という)と比較すると 78.0%から 73.1%とその割合がやや減少している。『資源回収、ごみ処理の方法』では、4割以上の事業所が『民間業者の回収、ごみの処理を委託している』と回答している。(第3章 図3-4 参照)

### 前回調査

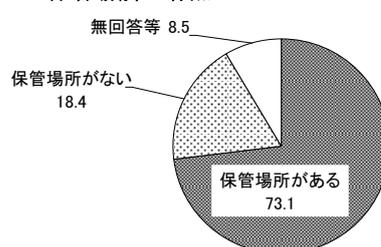
図8-29 保管場所の有無



単位:%

### 今回調査

図3-3 保管場所の有無



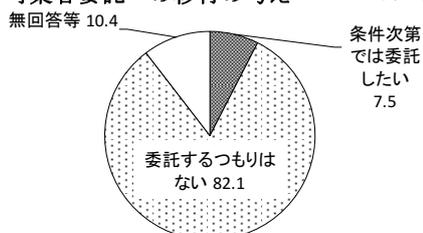
単位:%

『現在委託している民間処理業者を選んだ理由』(第3章 図3-5 参照)としては「信頼できる業者だから」、「環境に配慮してくれるから」などが上位に挙げられているが、「共同委託している」、「親会社、関連会社が決定している」、「ビル管理会社が決定している」などの理由で事業所が独自に選定できない事情もうかがえる。『民間処理業者に委託していない理由』(第3章 図3-16 参照)については「発生量が少なく業者に委託するほどではないから」と回答した事業所が圧倒的に多い。

民間業者に処理を委託していないと回答した事業所に『許可業者委託への移行の考え』があるか尋ねたところ、約8割の事業所は「委託するつもりはない」と回答している。前回調査と比較すると、「条件次第では委託したい」が7.5%から5.5%、「委託するつもりはない」が82.1%から79.4%とともに減少しており、「無回答等」が10.4%から15.1%に増加している。

### 前回調査

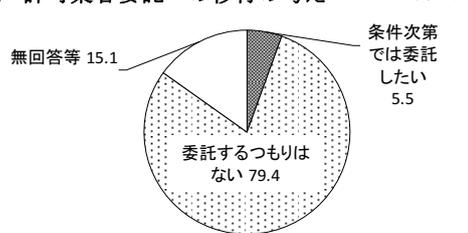
図8-30 許可業者委託への移行の考え



単位:%

### 今回調査

図3-17 許可業者委託への移行の考え

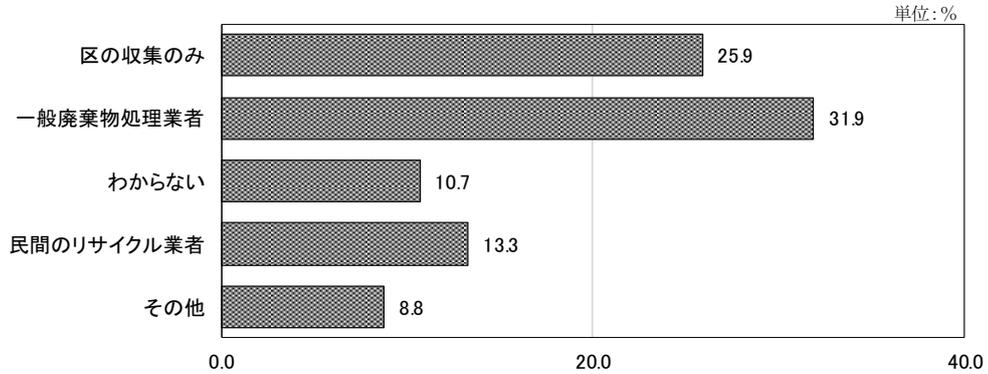


単位:%

『区収集以外で利用している処理方法』としては、今回の調査では「区の収集のみ」と回答している事業所が31.3%と最も多く、前回調査の25.9%から増加している。「民間のリサイクル業者」と回答した事業所は21.0%であり、前回調査の13.3%から増加している。

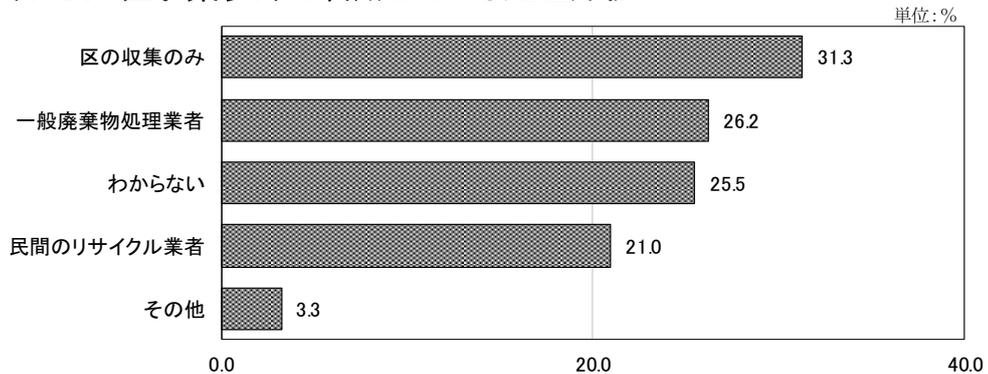
前回調査

図8-31 区収集以外で利用している処理方法



今回調査

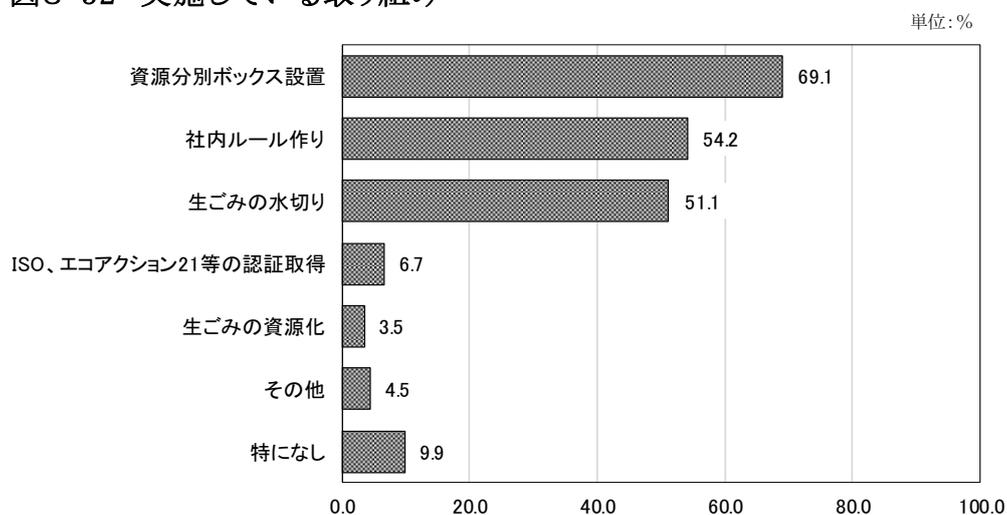
図3-18 区収集以外で利用している処理方法



リサイクルやごみ減量の取り組みについて尋ねたところ、『実施している取り組み』として8割弱の事業所が職場に「資源の分別ボックスを設置している」と回答した。前回調査と比較すると、69.1%から76.9%に増加した。しかし、スペースも必要なことから狭い事業所では設置が難しいことも考えられる。リサイクルやごみ減量の「社内ルール作り」は約半数の事業所で実施されているが、これについてはどのような事業所においても実施可能であると思われる。「生ごみの水切り」も約半数の事業所で実施されているが、確実に効果のある取り組みである。

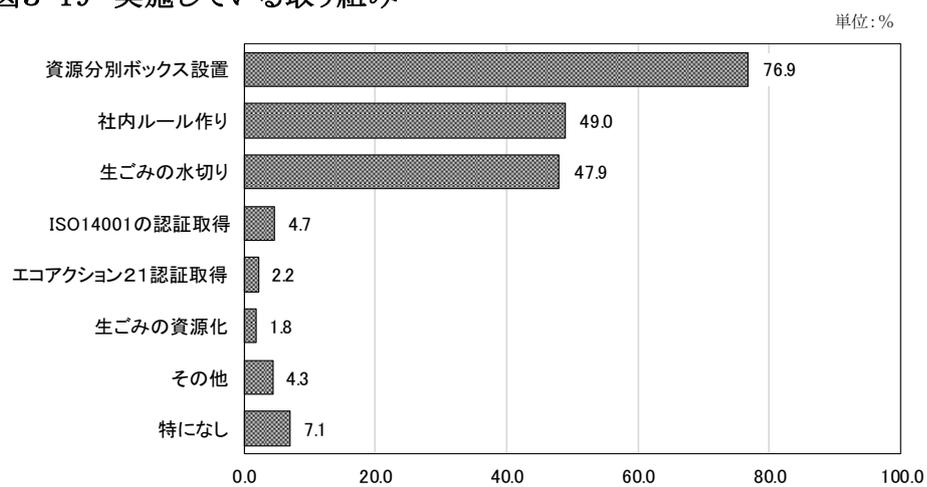
### 前回調査

図8-32 実施している取り組み



### 今回調査

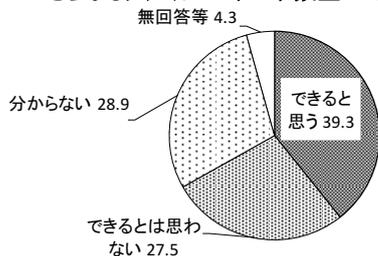
図3-19 実施している取り組み



『さらなるリサイクルやごみ減量の可能性』において、前回調査と比較すると、「できると思う」が39.3%から32.5%に減少している。「わからない」が28.9%から38.0%に増加した。できることはおおかた実施し、次にできることを模索しているとも考えられる。

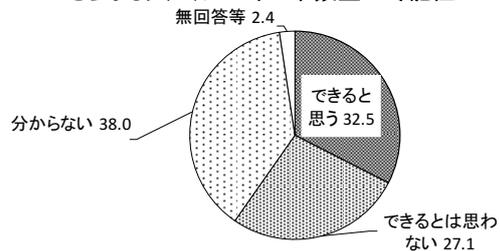
前回調査

図8-33 さらなるリサイクルやごみ減量の可能性 単位:%



今回調査

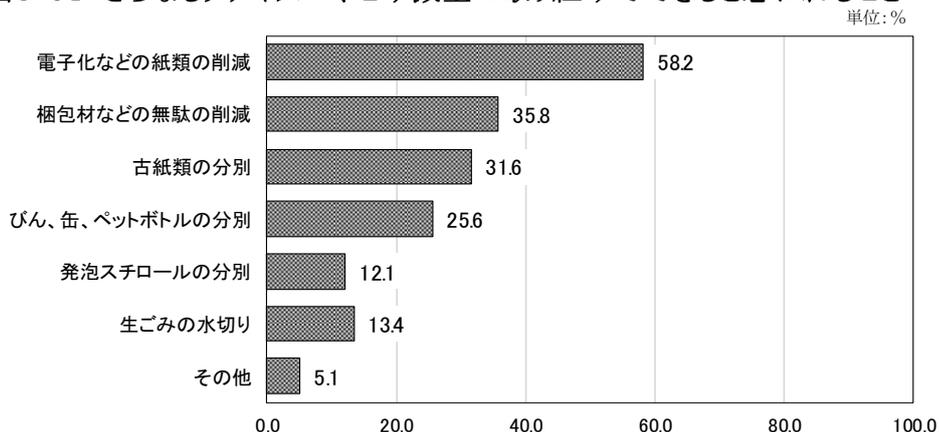
図3-22 さらなるリサイクルやごみ減量の可能性 単位:%



『さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること』については、「電子化などの紙類の削減」が7割以上である。前回調査と比較すると、「びん・缶・ペットボトルの分別」などの項目において増加傾向にある。

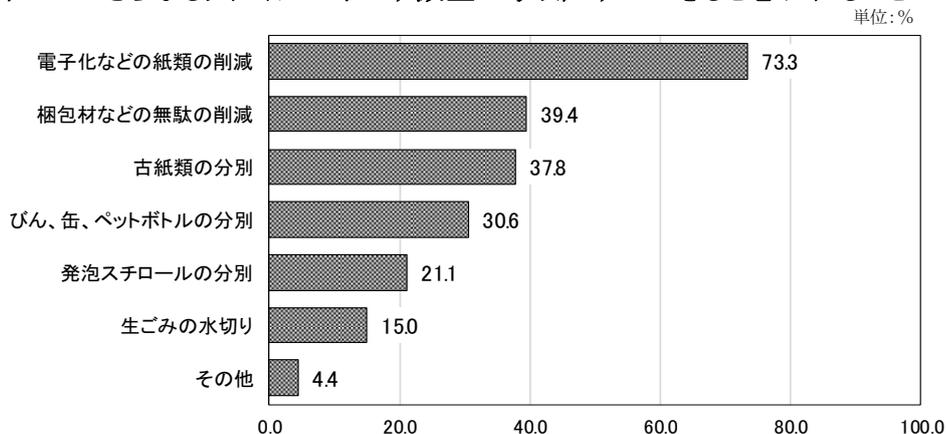
前回調査

図8-34 さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること 単位:%



今回調査

図3-25 さらなるリサイクルやごみ減量の取り組みでできると思われること 単位:%

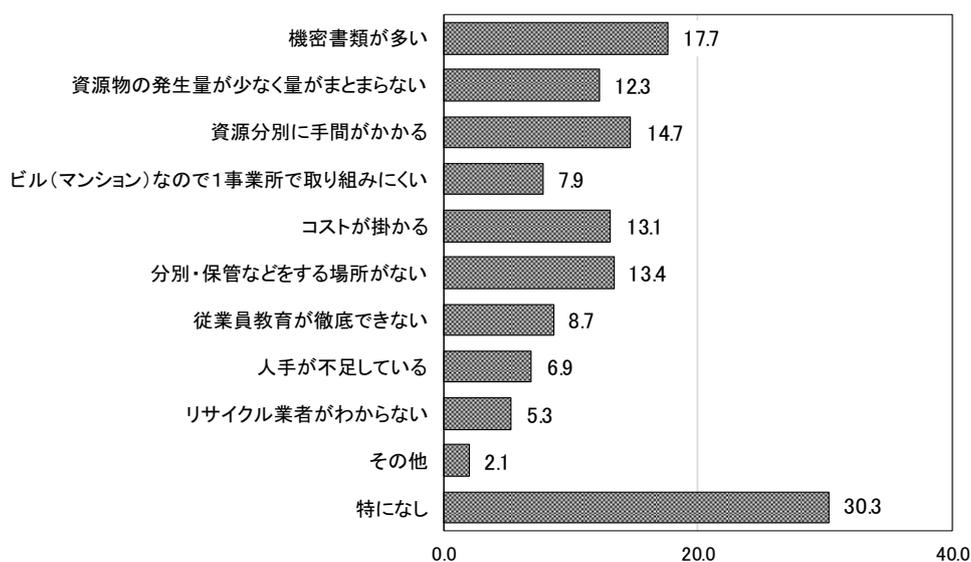


『リサイクルやごみ減量を進めるうえでの課題』については、いろいろな理由が挙げられているが「機密書類が多い」が今回の調査でも前回の調査でも最も多く、個人情報や機密情報を含む書類などの処分には課題があり、容易にリサイクルに出せない事情もくみ取れる。

### 前回調査

図8-35 リサイクルやごみ減量を進める上での課題

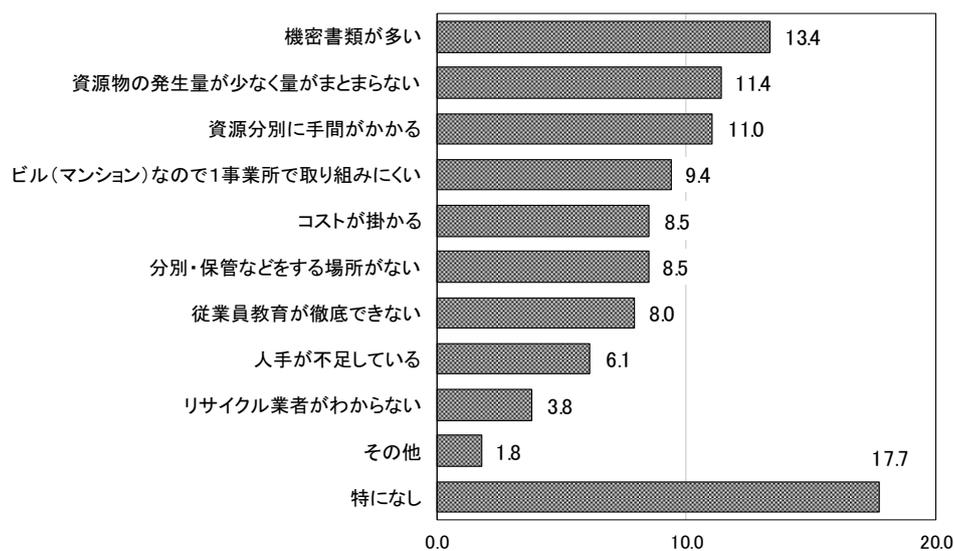
単位：%



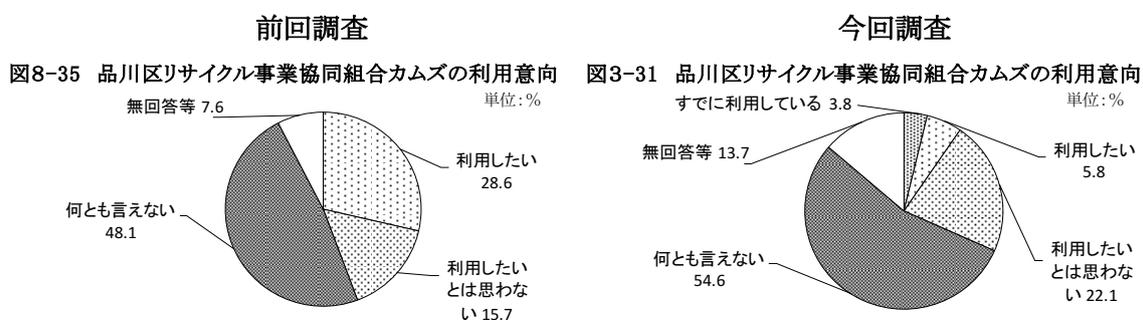
### 今回調査

図3-28 リサイクルやごみ減量を進める上での課題

単位：%



『品川区リサイクル事業協同組合カムズについて』の設問では、「何とも言えない」が半数を占め、「利用したいと思わない」と合わせると8割近い。無回答等も多いことから、まだ十分に認知されていないことが予想される。



『「プラスチック資源循環法」について』(第3章 図3-33 参照)は、「内容も含め知っている」が8.5%であり、十分に認知されているとは言えない結果となった。

『リサイクル・ごみ減量を推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策』(第3章 図3-37 参照)としては「事業系ごみ分別の手引きの配布」が3割以上となっている。『リサイクル・ごみ減量を推進するために必要な情報』(第3章 図3-39 参照)としては「区の事業や収集に関する情報」、「処理業者・資源回収業者に関する情報」などとしている。『区からの情報はどのような方法が入りやすいか』(第3章 図3-41 参照)については「区の広報・チラシ・パンフレット」、「インターネット(SNS、メールマガジン等)」などとしている。

自由に意見を記入してもらった中では「指導強化」、「啓発活動の仕方、PR」に関する意見が多い。適切な情報発信や指導、アドバイスが求められている。

### 8-3 家庭ごみ排出原単位調査

『燃やすごみの排出原単位』が最も多いのは1人世帯(若年層以外)であり、513.0g/人・日である。最も少ないのは1人世帯(若年層)の237.8g/人・日である。1人世帯(若年層)を除くと世帯人数が多いほど排出原単位が少なくなる傾向にある。居住形態別に見ると、一戸建てが399.7g/人・日であり最も多い。(第4章 表4-3 参照)

表8-1 排出原単位(燃やすごみ)比較(前回調査と今回調査)

世帯人数	排出原単位 (g/人・日)	
	前回調査	今回調査
1人世帯(若年層)	343.3	237.8
1人世帯(若年層以外)	526.9	513.0
2人世帯	448.7	439.4
3人世帯	362.0	408.9
4人以上世帯	319.1	357.4
全体	405.0	416.7

『陶器・ガラス・金属ごみの排出原単位』では、1人世帯(若年層)が11.0g/人・日であり、平成24年の調査結果(以後、“前回調査”という)の18.3g/人・日と比較すると、大きく減少している。1人世帯(若年層)以外は16.9g/人・日であり、前回調査の17.3g/人・日と比較しても大きな差はみられない。

表8-2 排出原単位(陶器・ガラス・金属ごみ)比較(前回調査と今回調査)

世帯人数	排出原単位 (g/人・日)	
	前回調査	今回調査
1人世帯(若年層)	18.3	11.0
1人世帯(若年層)以外	17.3	16.9
全体	17.4	16.5

今回はディスプレイを設置した集合住宅(2棟)の調査も行った。(第4章 表4-7 参照)その結果は228g/人・日であり、設置が無い世帯での調査から推算した416.7g/人・日に比べおよそ半分程度のごみ排出量削減効果が確認できた。

ごみ減量を推進していくためには様々な属性ごとの特性を調査分析し、対策していくことが有効と考えられる。また、今後は高齢化が進み単身の高齢者が増加することが予想されるためこうした世帯へのごみ発生抑制の働きかけも重要となる。

## 8-4 ごみ組成分析調査

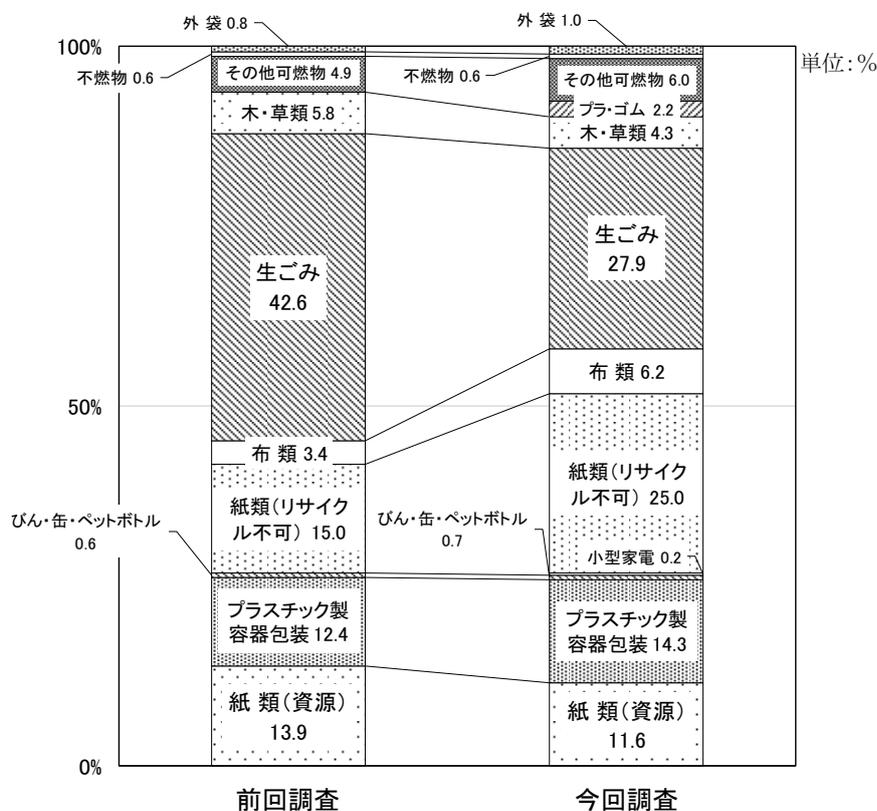
### (1) ごみ組成分析結果(家庭ごみ)

『(1)燃やすごみ』について見てみると(第5章 表5-9 参照)全体の27.4%に資源物や不燃物などの分別不適合物が混入していた。これらは、正しく分別することで資源化、あるいは減量できる可能性がある。地域で比較すると品川地区は27.1%、荏原地区は27.9%であり、荏原地域の方がやや高い。居住形態で比較すると(第5章 表5-10 参照)一戸建てでは25.1%、集合住宅では29.8%であり、集合住宅の方が高いことがわかる。

混入していた資源ごみで多いものは、「その他プラスチック製容器包装」や、「容器包装紙類」などである。リサイクルできるプラスチック類や紙類についての見分け方や、基準などをわかりやすくPRし、より一層の周知徹底と普及啓発が必要である。

前回調査と比較すると可燃物は、71.7%から71.6%と大きな差はみられない。可燃物の内訳をみると、「生ごみ」が42.6%から27.9%に減少、「紙類(リサイクル不可)」は15.0%から25.0%に増加している。資源物は、14.5%から26.8%に増加している。これは、今回調査で、「プラスチック製容器包装」が資源物として分類されたためである。

図8-37 家庭ごみ組成分析結果(燃やすごみ)比較(前回調査と今回調査)

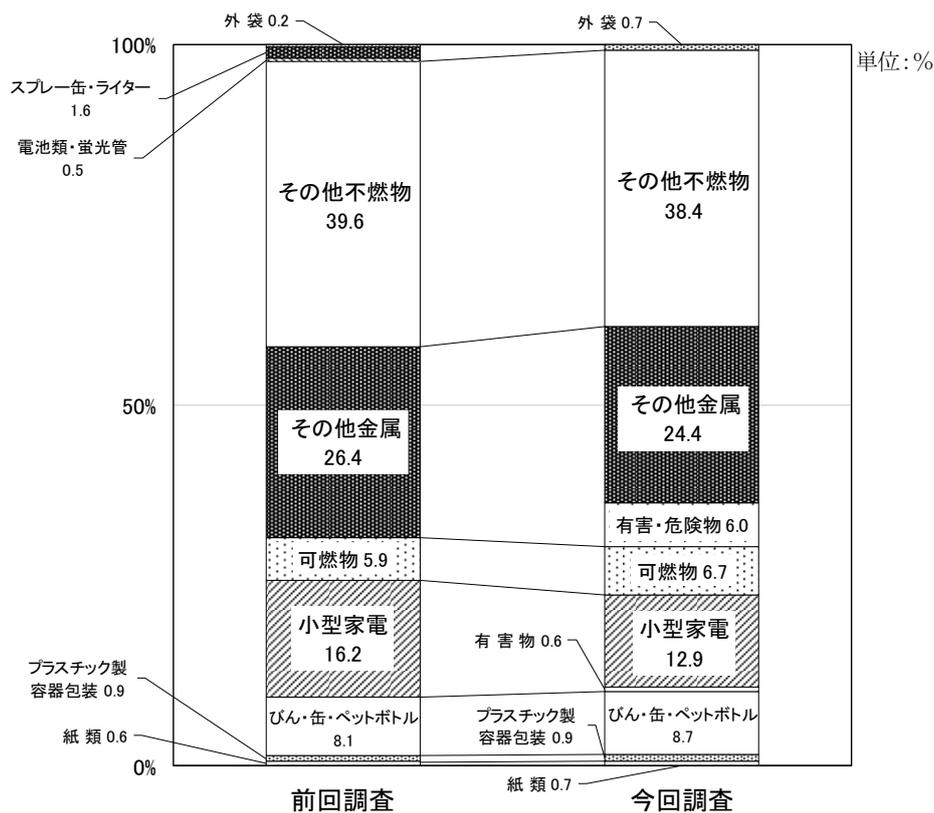


『(2)陶器・ガラス・金属ごみ』について見てみると(第5章 表5-11 参照)全体の30.5%に資源物や可燃物などの分別不適合物が混入していた。これらは本来、混入していないことが求められるものであり、正しく分別することで資源化、あるいは減量できる可能性がある。地域で比較すると品川地区は23.5%、荏原地区は38.2%であり、荏原地域の方が高い。居住形態で比較すると(第5章 表5-12 参照)一戸建てでは35.0%、集合住宅では20.5%であり、一戸建ての方が高いことがわかる。

資源物で最も多いものは「小型家電」であり、「飲料用びん」、「スチール缶」なども比較的多い。混入していた可燃物は「その他の製品プラスチック」、「製品プラスチック」、「ゴム・皮革類」、「木・草類」などである。より一層の分別の周知徹底と普及啓発が必要である。

前回調査と比較すると「不燃物」は、84.3%から68.8%に減少している。「資源物」は、8.6%から23.8%と大幅に増加している。これは、今回調査で、「小型家電」が資源物として分類されたためである。

図8-38 家庭ごみ組成分析結果(陶器・ガラス・金属ごみ)比較(前回調査と今回調査)



『(3)プラスチック製容器包装詳細』を見ると、(第5章 図5-4 参照)燃やすごみは、「フィルム・袋類」が最も多く、半分以上を占める。陶器・ガラス・金属ごみでは、(第5章 図5-5 参照)「ボトル類」が最も多く、4割以上を占める。

『(4)生ごみ詳細』を見ると、(第5章 図5-6 参照)調理くずが6割以上を占める。「直接廃棄」、「食べ残し」、「過剰除去(推計値)」を合計した食品ロスは残りの約4割である。これらの食品ロスの多くは削減が可能なものであるので、より一層の周知徹底と普及啓発が必要である。

『(5)製品プラスチック詳細』を見ると(第5章 図5-7 参照)「文房具」、「食品保存袋」などの割合が比較的高い。陶器・ガラス・金属ごみでは、(第5章 図5-8 参照)「台所用品」、「収納用品」などの割合が比較的高い。

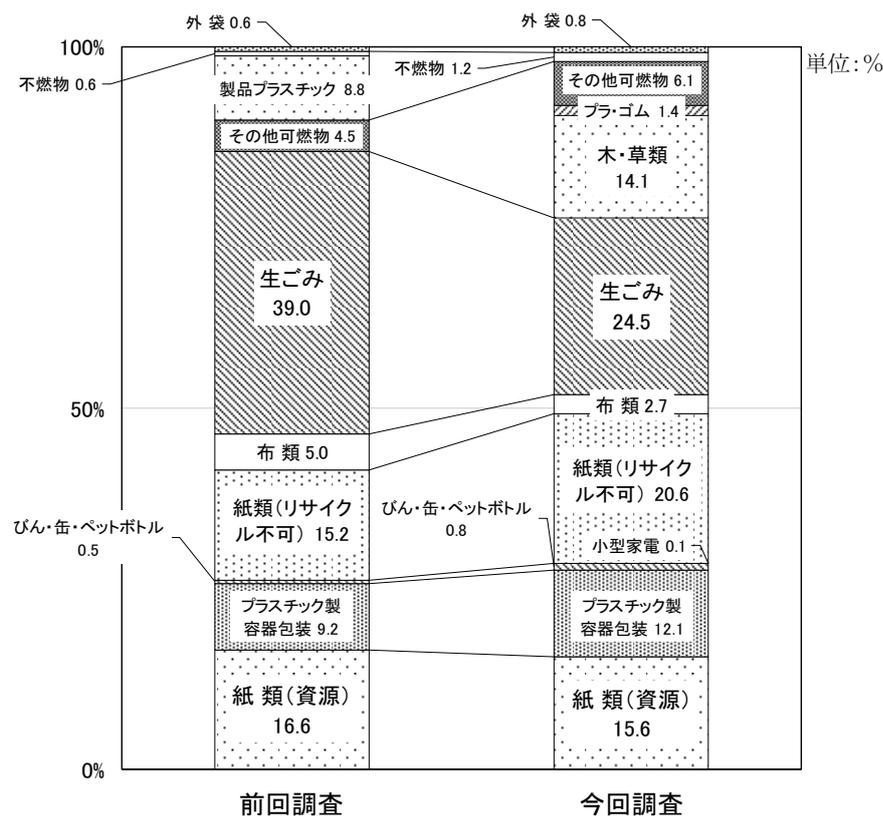
## (2) ごみ組成分析結果(事業系ごみ)

『(1)燃やすごみ』について見てみると(第5章 表5-17 参照)全体の29.8%に資源物や不燃物の分別不適合物が混入していた。これらは、正しく分別することで資源化、あるいは減量できる可能性がある。地域で比較すると品川地区は32.4%、荏原地区は22.5%であり、品川地域の方が高い。業種別に比較すると(第5章 表5-19 参照)オフィスビルは47.4%、小売り業は32.8%、工場が27.4%であり、特にオフィスビルが高いことがわかる。

混入していた資源物で多いものは、「紙類」や「プラスチック製容器包装」などである。各業種の特徴に応じたきめ細かい分別の周知徹底と指導が必要である。

前回調査と比較すると可燃物は、72.5%から69.4%とやや減少している。資源物は、17.1%から28.6%に増加している。家庭ごみと同様に今回調査では、「プラスチック製容器包装」を資源物として分類されたためである。

図 8-39 事業系ごみ組成分析結果(燃やすごみ)比較(前回調査と今回調査)



『(2)陶器・ガラス・金属ごみ』について見てみると(第5章 表5-20 参照)全体の33.8%に資源物や可燃物の分別不適合物が混入していた。これらは、正しく分別することで資源化、あるいは減量できる可能性がある。業種別に比較すると(第5章 表5-22 参照)商店街は

58.2%、繁華街は 57.6%であり、適合物よりも分別不適物の割合が高いことがわかる。

混入していた資源物で多いものは、「飲用・食用スチール缶」、「飲食用びん」で、洗浄のひと手間がかかるため、より一層の分別の周知徹底と指導が必要である。

『(3)プラスチック製容器包装詳細』を見ると、(第5章 図5-11 参照)燃やすごみは、「フィルム・袋類」が最も多く、半分近くを占める。陶器・ガラス・金属ごみでは、(第5章 図5-12 参照)「キャップ類」が最も多く、4割以上を占める。

『(4)生ごみ詳細』を見ると、(第5章 図5-13 参照)調理くずが5割以上を占める。「直接廃棄」、「食べ残し」、「過剰除去(推計値)」を合計した食品ロスは約4割である。これらの食品ロスの多くは削減が可能なものであるため、より一層の周知徹底と普及啓発が必要である。

『(5)製品プラスチック詳細』を見ると、(第5章 図5-14 参照)割合が高いのは、燃やすごみでは、「植木鉢」30.3%、「文房具」18.8%、陶器・ガラス・金属ごみでは、(第5章 図5-15 参照)「収納用品」が 60.7%、「文房具」が 24.3%となっている。

### (3) スプレー缶等

エアゾール缶 423 本、コンロ用カセットボンベ 60 本の計 483 本のスプレー缶等を調査したところ、エアゾール缶 191 本(45.1%)、コンロ用カセットボンベでは2本(3.3%)に穴がなく、かつ残量があった。これらは発火、爆発などの重大事故の原因となりうる危険なものである。不適切な排出方法による危険性を訴え、正しい排出方法のより一層の周知徹底と普及啓発が必要である。

エアゾール缶に注目して見てみると、「穴なし残量なし」は 26.2%から 45.4%に増加している。区では、スプレー缶等については、穴をあけずに使い切って排出するように指導しており、今回調査で適正な排出方法で捨てている人が 19.2%増加していることがわかった。ガス抜きキャップの使用状況は、「ガス抜きキャップあり、使用あり」が 2.7%から 15.2%に増加している。ガス抜きキャップがあるものについては使用されることが多くなった。

図8-40 エアゾール缶穴あけと残存  
ガスの前回調査との比較

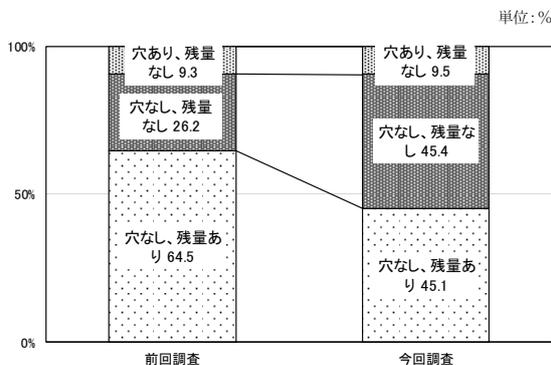
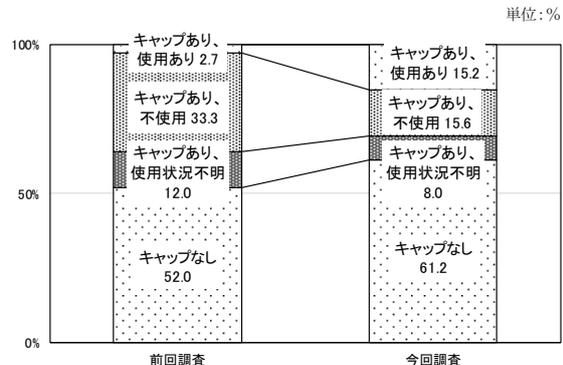


図8-41 エアゾール缶のガス抜きキャップ  
使用状況の前回調査との比較



#### (4) 小型家電

区で拠点回収の対象とする9品目は、重量の割合を見ると全体の28.2%であった。(第5章表5-31 参照)割合の多い順に「付属品」、「携帯電話」、「携帯音楽プレーヤー」と続く。(第5章表5-32 参照)

個数の割合でも「付属品」、「携帯電話」の割合は特に高く、この2品目を合わせると6割に近い。「区で拠点回収の対象とする9品目以外」は54.8%、「上記に記載のないもの」は17.0%であり、合計すると重量ベースで全体の71.8%であった。重量ベースで割合の多い順に「台所用電気機械器具(電子ジャー、トースター、フードプロセッサー)」、「衣料用または衛生用の電気器具(電気アイロン・電気こて、掃除機、ハンドクリーナー)」、「空調用電気機械器具(扇風機・除湿器・サーキュレーター)」、「理容用電気機械器具(ドライヤー、電気カミソリ、電動歯ブラシ)」となる。

重量で見ても、個数で見ても「付属品」、「携帯電話」などの数品目を除いては少数で多品目に及ぶことが特徴と言える。今後は回収品目を増やすことも重要であるが、少数で多岐にわたる品目を効率よく回収し、有効に処理できる仕組みを検討する必要がある。小型家電には鉄や、銅、アルミなどの金属のみならず、レアメタルや貴金属などの貴重な資源も含まれていることもなどもPRして一層、資源としての回収率向上につなげる必要がある。

#### (5) 排出容器

品川区では『(1)家庭系ごみの燃やすごみ』(第5章表5-33 参照)は中身の見える袋で出すこととしているが、一部では、透明や半透明でないレジ袋や、紙袋、段ボール箱などの中身が見えにくい袋での排出が確認された。回収時の安全の面からも、正しい排出容器を使うよう、より一層の周知徹底と指導が必要である。

『(2)家庭ごみ陶器・ガラス・金属ごみ』(第5章表5-34 参照)においても中身の見える袋で出すこととしているが、重量ベースでは「透明・半透明袋」は3割に満たない。「レジ袋」の割合が4割弱と高い。個数ベースでは「透明・半透明袋」は3割に満たない。レジ袋の割合が約6割と高い。燃やすごみと同様に回収時の安全の面からも、正しい排出容器を使うよう、より一層の周知徹底と指導が必要である。

『(3)事業系ごみ燃やすごみ』(第5章表5-35 参照)では、「容量表示のある袋」と「透明・半透明袋」の合計で重量ベース、個数ベースとも約9割となる。

『(4)事業系ごみ陶器・ガラス・金属ごみ』(第5章表5-36 参照)では、「容量表示のある袋」と「透明・半透明袋」の合計で重量ベースは約9割、個数ベースは約7割となる。

#### 8-5 事業系有料ごみ処理券貼付状況分析調査 (第6章表6-1 参照)

燃やすごみ22.1%、陶器・ガラス・金属ごみ28.8%、全体として23.6%の割合で有料ごみ処理券が貼られていないことが分かった。これらは明らかなルール違反であるので適切に対処する必要がある。

# 資 料 編

## 別紙1 区民宛てアンケート依頼文

令和4年7月1日

### 資源とごみに関するアンケート調査へのご協力をお願い

日ごろから区の清掃リサイクル事業にご協力いただき、ありがとうございます。

本年度、品川区では「一般廃棄物処理基本計画」（ごみ処理やリサイクルなどに関する計画）の改定を予定しています。この計画に、区民の皆さまのご意見を反映させることを目的として、アンケート調査を実施することになりました。

ご回答いただいた調査票は、「こういうご意見をお持ちの方が何パーセント」というように数字として取りまとめますので、あなた様のお名前が外部に漏れたりする心配は一切ございません。

お忙しいところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 1 送付書類

- お願い文（この用紙です）
- アンケート調査票
- 返信用封筒

#### 2 回答方法

**アンケート調査票に直接記入し、切手を貼らずに返信用封筒に入れてお送りください。**

なお、回答なさる方のご住所、お名前などを記入する必要はありません。

#### 3 回答期限

**7月25日（月曜日）**までにポストに投函していただきますようお願いいたします。

#### 4 個人情報の取り扱い等

- この調査票は、区の住民基本台帳から、無作為に2,000人を選んでお送りしています。
- 回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- 返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を、特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。
- 本調査は、区が実施するものですが、集計処理については、(株)ユーロフィン日本環境に委託しています。そのため、返信用封筒の宛名は、この委託事業者の所在となっており、ご了承くださいますようお願いいたします。

◎この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<調査主体>	品川区清掃事務所 担当：有川、関本 電話 03-3490-7705（直通）
<集計委託先>	ユーロフィン日本環境株式会社 担当：仁平 電話 049-236-6939

## 品川区の資源とごみに関するアンケート調査

### ご記入に際してのお願い

日頃より、区政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
今後の取組の参考にさせていただきますので、お忙しいところ恐れ入りますが、  
ご協力下さいますようお願いいたします。

- このアンケートのご回答は、ご家族の中で主にごみを出している人をお願いいたします。  
ご本人ではわからないことは家族の中でわかる方がご回答くださってもかまいません。
- ご回答は次のようをお願いいたします。
  - ・各項目について、思ったことをお気軽にお答えください。
  - ・ご回答は当てはまる番号に○をつけてください。
  - ・その他の（ ）内や自由記入には、具体的なご意見等をお書きください。

### あなたご自身やご家族についておたずねします

**Q 1 あなたの年齢** (あてはまるもの1つに○)

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| 1 30歳未満 | 2 30歳代 | 3 40歳代  |
| 4 50歳代  | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

**Q 2 あなたの性別** (あてはまるもの1つに○)

- 1 男性      2 女性

**Q 3 あなたを含めたご家族の人数** (あてはまるもの1つに○)

- 1 1人      2 2人      3 3人      4 4人      5 5人以上

**Q 4 お住まいの種類** (あてはまるもの1つに○)

- 1 一戸建て      2 2階建てまでの集合住宅      3 3階建て以上の集合住宅

**Q 5 品川区にお住いの年数** (あてはまるもの1つに○)

- 1 1年未満  
2 1年以上～5年未満  
3 5年以上～10年未満  
4 10年以上～20年未満  
5 20年以上

## 次の項目についてどのようにお考えですか

お考えに最も近いものをお選びください。

**Q 6 ごみの収集回数などに関して** (近いものに1つに○)

- 1 満足している      2 どちらかといえば満足している  
3 どちらかといえば満足していない      4 満足していない      5 よくわからない

**Q 7 ごみの分別区分などに関して** (近いものに1つに○)

- 1 満足している      2 どちらかといえば満足している  
3 どちらかといえば満足していない      4 満足していない      5 よくわからない

**Q 8 ごみ処理や3R（発生抑制・再使用・リサイクル）情報の公開・提供に関して**  
(近いものに1つに○)

- 1 満足している      2 どちらかといえば満足している  
3 どちらかといえば満足していない      4 満足していない      5 よくわからない

**Q 9 3R（発生抑制・再使用・リサイクル）への取り組みに関して** (近いものに1つに○)

- 1 満足している      2 どちらかといえば満足している  
3 どちらかといえば満足していない      4 満足していない      5 よくわからない

**Q 10 住んでいる街の清潔さに関して** (近いものに1つに○)

- 1 満足している      2 どちらかといえば満足している  
3 どちらかといえば満足していない      4 満足していない      5 よくわからない

## ごみやリサイクルについておたずねします

23区のごみの最終処分場である新海面処分場は、おおむね50年で満杯となり、その後、新たな処分場を設置することは困難です。ごみ減量化には区民の皆様のご協力が不可欠です。

**Q 11 今後の清掃・リサイクル事業で必要だと思うことは何ですか。** (○はいくつでも)

- 1 家庭ごみ収集の有料化
- 2 ごみの分別を守らない人などに対する指導強化
- 3 よりいっそうのリサイクル
- 4 不要な物を買わないことや、資源・ごみの出し方などのPRの充実
- 5 ごみの収集回数を減らす
- 6 その他（具体的に

Q12 ごみの収集で困っていることは何ですか。 (○はいくつでも)

- 1 もっと早い時間に収集してほしい
- 2 もっと遅い時間に収集してほしい
- 3 ごみ出しのマナーが悪い人がいる
- 4 カラスや猫の被害がある
- 5 特に不便や不都合はない
- 6 その他(具体的に

Q13 ごみ減量のためには、資源回収の品目を増やすことが有効ですが、費用もかかります。このことをご存じでしたか。 (あてはまるもの1つに○)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった
- 3 よくわからない

Q14 費用が掛かることについてどのようにお考えですか。 (あてはまるもの1つに○)

- 1 費用が増えても、積極的に資源回収の品目を増やすべき
- 2 費用が増えるのであれば、現状の回収品目でよい
- 3 よくわからない・どちらともいえない
- 4 その他(具体的に

Q15 品川区の清掃・リサイクル事業へご意見やご要望がありましたら、何でも結構ですのでご自由にお書きください。

**次の品目の処分方法等についておたずねします**

Q16 次の品目について、最も多い処分方法をお答えください。 (品目ごとに○はひとつ)  
次のページの表の該当する数字に○を付けてください。

【記入方法の例】

新聞と新聞折込広告を新聞販売店の回収に出し、  
雑誌・本を区の資源回収に出している場合

新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9
新聞折込広告	1	2	3	4	5	6	7	8	9
雑誌・本	1	2	3	4	5	6	7	8	9

**回答は次ページにお願いします**



【回答欄】

該当する数字に○を付けてください。

処分方法  品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	区の燃やすごみに出す	区の陶器・ガラス・金属ごみに出す	区の資源回収に出す	区の拠点回収に持っていく	販売店の店頭回収に持っていく	集団回収に出す	新聞販売店の回収に出す	庭に埋めたり、堆肥にする	不用物として出していない	その他 (具体的な方法をご記入ください)
新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
新聞折込広告	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
雑誌・本	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
段ボール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
紙パック(牛乳パックなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
雑紙(箱、包装紙、コピー紙など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
古着・古布	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
生きびん(注)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
雑びん(生きびん以外のびん)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
アルミ缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
スチール缶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
食品用トレイ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
発泡スチロール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
プラスチック製容器包装	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
製品プラスチック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
不用園芸土	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
廃食用油	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
生ごみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
木・草類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
乾電池(単1から単5、角形9V)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
コイン型電池(CR・BRのみ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
充電式電池・ボタン型電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
蛍光灯・蛍光管	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
電球・LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
水銀体温計・水銀血圧計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
スプレー缶、カセット用ボンベ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ライター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

注：生きびんとは、一升びん、ビールびんなど、洗って繰り返し使えるびんのことです。

ご協力まことにありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

## 別紙3 事業所宛てアンケート依頼文

令和4年7月1日

### 資源とごみに関するアンケート調査へのご協力をお願い

日ごろから区の清掃リサイクル事業にご協力いただき、ありがとうございます。

本年度、品川区では「一般廃棄物処理基本計画」（ごみ処理やりサイクルなどに関する計画）の改定を予定しています。この計画に、各事業所のご意見を反映させることを目的として、アンケート調査を実施することになりました。

ご回答いただいた調査票は、「こういうご意見をお持ちの事業所が何パーセント」というように数字として取りまとめますので、貴事業所名が外部に漏れたりする心配は一切ございません。

お忙しいところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力ください。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

#### 1 送付書類

- お願い文（この用紙です）
- アンケート調査票
- 返信用封筒

#### 2 回答方法

**アンケート調査票に直接記入し、切手を貼らずに返信用封筒に入れてお送りください。**

なお、回答なさる方のご住所、貴事業所名などを記入する必要はありません。

#### 3 回答期限

**7月25日（月曜日）**までにポストに投函していただきますようお願いいたします。

#### 4 会社情報の取り扱い等

- この調査票は、無作為に2,000事業所を選んでお送りしています。
- 回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- 返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を、特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。
- 本調査は、区が実施するものですが、集計処理については、(株)ユーロフィン日本環境に委託しています。そのため、返信用封筒の宛名は、この委託事業者の所在となっており、ご了承ください。

◎この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<調査主体>	品川区清掃事務所 担当：有川、関本 電話 03-3490-7705（直通）
<集計委託先>	ユーロフィン日本環境株式会社 担当：仁平 電話 049-236-6939

## 品川区 事業系ごみ排出実態調査アンケート

### ご記入上のご注意

- このアンケートのご回答は、事業所でごみの管理を担当している方をお願いいたします。
- このアンケート調査票が届いた**事業所の単位**でお答えください。  
(本社や本店ではなく貴事業所が支店であれば支店での考えや状況をお答えください)
- 事業所で発生する廃棄物についてお答えください。  
(建設業で発生する建築廃材、製品の製造工程で発生する廃棄物などは除く)
- 質問のあてはまると思う番号に○を付けるか ( ) の中に具体的にご記入ください。
- ご記入後、**切手を貼らずに同封の返信用封筒**に入れてご投函ください。
- ご返送は **令和4年7月25日(月)** までをお願いいたします。

### 貴事業所の概要についてお聞きます

**Q1 貴事業所の業種について代表的なものをお選びください。**

複数に該当する場合は**主なもの**をお選びください。(主なもの1つに○)

- |               |            |               |
|---------------|------------|---------------|
| 1. 建設業        | 2. 製造業     | 3. 情報通信業      |
| 4. 運輸業、郵便業    | 5. 卸売業     | 6. 小売業        |
| 7. 飲食サービス業    | 8. 金融業、保険業 | 9. 不動産業、物品賃貸業 |
| 10. 生活関連サービス業 | 11. 医療、福祉業 |               |
| 12. その他 (     |            |               |

**Q2 貴事業所について該当する番号に○をつけてください。**

(該当するもの1つに○)

- |              |           |              |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 店舗        | 2. 飲食店    | 3. 事業所       |
| 4. 工場等       | 5. 輸送センター | 6. 住居と併用の事務所 |
| 7. その他 (具体的に |           |              |

**Q3 従業員は何人くらいですか。**

(おおよその人数を記入)

パート・アルバイト、役員等も含む、一日に平均して働いている人の数。

約 \_\_\_\_\_ 人

**Q4 貴事業所で使用している延床面積をお答えください。**

約 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

**Q5 貴事業所の建物形態は次の中でどれにあてはまりますか。**

(該当するもの1つに○)

- |             |            |          |
|-------------|------------|----------|
| 1. 戸建住宅と兼用  | 2. 共同住宅と兼用 | 3. 単独事業所 |
| 4. 事業所ビルに入居 | 5. その他 (   |          |

**Q6 資源やごみの保管場所がありますか。**

(該当するもの1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 保管場所がある | 2. 保管場所がない |
|------------|------------|

### 貴事業所の資源回収・ごみ処理についてお聞きます

**Q7 資源回収、ごみ処理の方法について、○をつけてください。**

(○はいくつでも)

- |  |                  |
|--|------------------|
| 1. 民間業者に処理を委託している                              |                  |
| 2. 区の収集に「有料シール」を貼って出している                       |                  |
| 3. 量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している (「有料シール」は貼っていない) |                  |
| 4. 資源回収 (ステーション回収) に出している                      |                  |
| 5. 集団回収に資源を出している                               | 6. 拠点回収に資源を出している |
| 7. 発生しない                                       | 8. わからない         |
| 9. その他 (                                       |                  |

**Q7で1に○をされた事業所にお聞きします**

**Q 8 現在委託している民間処理業者を選んだ理由について、○をつけてください。**

(○はいくつでも)

1. 信頼できる業者だから
2. リサイクルをするなど環境に配慮しているから
3. 収集日が多いから
4. 希望する時間に収集してくれるから
5. 値段が安いから
6. 集積所まで運ぶ必要がないから
7. 商店街やテナントなどで共同委託しているから
8. 親会社や関連会社が決定しているから
9. その他 (

**Q7で1に○をされなかった事業所にお聞きします**

**Q 9 一週間に品川区の収集に排出している資源量・ごみの量はどのくらいでしょうか。**

一週間当たり 資源 約 \_\_\_\_\_ kg      ごみ 約 \_\_\_\_\_ kg

**【資源やごみの排出量の目安】**

- ・紙くずなどが主体の一般ごみ：45ℓごみ袋で約5.4kg（1ℓあたり約0.12kg）
- ・生ごみ：45ℓのポリ容器で約20kg。45ℓ袋で約12kg
- ・新聞紙：4つ折り（A4判大）で縛った場合、厚さ20cmで約6kg。
- ・ダンボール：ミカン箱程度のもので10枚約4kg。
- ・OA紙：A4判で縛った場合、厚さ20cmで約8kg。
- ・発泡スチロール：トロ箱で約0.2kg。

**Q 10 資源・ごみの中には、下表の品目が重量換算でどの程度含まれますか。**

※パーセントの合計が100%になるようにご回答ください。

資源	リサイクルできる紙類	%
	プラスチック（容器包装などの資源）	%
	びん・缶・ペットボトル	%
	その他	%
ごみ	生ごみ	%
	リサイクルできない紙類	%
	プラスチック（製品・汚れたもの等）	%
	その他	%

**Q 11 民間処理業者に委託していない理由について、○をつけてください。**

1. 発生量が少なく、業者に委託するほどではないから (○はいくつでも)
2. 値段が高いから
3. どの業者がよいかよくわからないから
4. 契約手続き等が手間だと感じるから
5. 親会社や関連会社が決定しているから
6. その他 (

**Q 12 今後、廃棄物処理業者に処理を委託するお考えはありますか。**

1. 条件次第では委託したい → 1. を選択した方：希望する条件等をお聞かせください
2. 委託するつもりはない (条件等：)

**全ての事業所にお聞きします**

**品川区の収集以外で利用している処理方法についてお聞きします**

**Q 13 利用している処理方法全てに○をつけてください。（該当するものすべてに○）**

1. 民間のリサイクル業者に引き渡している
2. 一般廃棄物処理業者に委託している
3. その他 (
4. 区の収集以外は利用していない
5. ビル管理業者に委託しておりわからない

委託処理などを利用している事業所のみご回答ください

(Q13で1～3を選択した方のみ)

Q14 一週間に一般廃棄物収集業者やリサイクル業者に排出している資源量・ごみの量はどのくらいでしょうか。おおよその量でお答えください。

排出量の目安はQ9の注釈をご参照ください。

一週間当たり 資源 約 \_\_\_\_\_ kg ごみ 約 \_\_\_\_\_ kg

Q15 委託処理などを行っている資源・ごみの中には、下表の品目が重量換算でどの程度含まれますか。

※パーセントの合計が100%になるようにご回答ください。

資源	リサイクルできる紙類	%
	プラスチック（容器包装などの資源）	%
	びん・缶・ペットボトル	%
	その他	%
ごみ	生ごみ	%
	リサイクルできない紙類	%
	プラスチック（製品・汚れたもの等）	%
	その他	%

全ての事業所にお聞きします

貴事業所のごみ減量やリサイクルの取り組みについてお聞きします

Q16 貴事業所での取り組みについて実施しているものすべてに○をつけてください。

1. 生ごみは水切りしている (該当するものすべてに○)
2. 生ごみの資源化（堆肥化・肥料化や飼料化、バイオガス利用など）を行っている
3. 職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別ボックスを配置している
4. 資源やごみの出し方、分け方の社内ルールを作り実行している
5. ISO14001の認証を取得し、ごみ減量に取り組んでいる
6. エコアクション21の認証を取得し、ごみ減量に取り組んでいる
7. その他（具体的に
8. 特に取り組んでいることはない

Q17 貴事業所では、今よりもっとごみ減量やリサイクルができますか。

(該当するもの1つに○)

1. できると思う
2. できるとは思わない
3. 分からない

Q17で1.と回答された事業所にお聞きします

Q18 できると思われることは何ですか。 (該当するものすべてに○)

1. 生ごみの水切り
2. 梱包材などの無駄の削減
3. 電子化などの紙類の削減
4. 古紙類の分別
5. びん、缶、ペットボトルの分別
6. 発泡スチロールの分別
7. その他（具体的に

Q19 ごみ減量やリサイクルを進めるうえで課題となっていることはありますか。

(○は3つまで)

1. 人手が不足している
2. どのようなリサイクル業者に頼んだらよいかわからない
3. コストが掛かる
4. 資源を分別するのに手間がかかる
5. 従業員の教育が徹底できない
6. 分別・保管などをする場所がない
7. 資源物の発生量が少なく量がまとまらない
8. 個人情報や営業上の秘密に類する書類が多い
9. ビル（マンション）なので1事業所だけだと取り組みにくい
10. その他（具体的に
11. 特になし

**Q 2 0 事業者向けの資源回収を有料で行っている「品川区リサイクル事業協同組合カムズ」を利用していますか、または利用したいですか。** (該当するもの1つに○)

1. すでに利用している
2. 利用したい
3. 利用したいとは思わない
4. 何とも言えない

**Q 2 1 令和4年4月1日に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(プラスチック資源循環法)についてご存知ですか。** (該当するもの1つに○)

1. 内容も含めて知っている
2. 内容は詳しく知らないが施行されたことは知っている
3. 施行されたことや詳細は知らないが、法律自体は聞いたことがある
4. 全く知らない

**Q 2 2 現在、プラスチック容器包装以外のプラスチックについて、どのように処理していますか。** (該当するもの1つに○)

1. 民間業者に処理を委託している
2. 区の収集に「有料シール」を貼って出している
3. 量が少ないので家庭系ごみと一緒に区の収集に出している(「有料シール」は貼っていない)
4. 資源回収(ステーション回収)に出している
5. 集団回収に資源を出している
6. 拠点回収に資源を出している
7. 発生しない
8. わからない
9. その他(

**Q 2 3 今後、ごみの減量・リサイクルを推進するにあたり、区に取り組んで欲しい施策をお答えください。** (該当するものすべてに○)

1. 事業所への指導・監督の強化
2. 収集業者への指導・監督の強化
3. 民間の資源回収業者との連携(紹介等)
4. 事業系ごみ分別の手引きの配布
5. 講習会(出前講座)の開催機会の増加
6. 特になし
7. その他(

**Q 2 4 今後、ごみの減量・リサイクルを推進するために、どのような情報が必要ですか。** (○は3つまで)

1. 処理業者・資源回収業者に関する情報
2. 法律や条例等規制に関する情報
3. 区の事業や収集に関する情報
4. 国の動向に関する情報
5. 類似事業所での成功事例などの情報
6. 特に必要ない
7. その他(

**Q 2 5 区からの情報については、どのような方法が入手しやすいですか。** (○は3つまで)

1. 区の広報・チラシ・パンフレット
2. 国や都などの広報・チラシ・パンフレット
3. インターネット(SNS、メールマガジン等)
4. 新聞・雑誌
5. 商工会や所属する団体から
6. 収集運搬・処理業者から
7. 説明会・セミナーなど
8. ラジオやテレビ
9. その他(

**Q 2 6 ごみ問題やリサイクルに関するご意見・ご要望等がございましたら下の欄にご自由にお書きください。**

ご協力まことにありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

「品川区一般廃棄物排出実態調査等業務委託」  
業 務 報 告 書

令和4年9月 発行

発行：品川区清掃事務所

〒141-0032

品川区大崎1-14-1

電話 03-3490-7705